

松山市ひとり親世帯実態調査結果報告書

**令和6年10月
松山市**

目 次

1 調査の概要.....	1
(1) 調査の目的	1
(2) 調査の設計	1
(3) 回収状況	1
(4) 調査結果の表示方法.....	2
2 調査結果	3
(1) 世帯の状況	3
(2) 住まいの状況	13
(3) 仕事について	18
(4) 各種資格・免許について	38
(5) 経済状況について.....	44
(6) 養育費について	57
(7) 親子交流について.....	67
(8) こどもに関することについて	73
(9) 相談相手や困りごとについて	94
(10) 福祉関係の公的制度等について.....	99
(11) 自由記述について.....	118

1 調査の概要

(1) 調査の目的

松山市では、令和3年から令和7年度までの5か年を計画期間とする「第3期松山市ひとり親家庭等自立促進計画」を策定し、ひとり親家庭の自立支援事業を進めてきた。今回、令和7年度から令和11年度の5年間の計画として策定する「こども計画」と一体的に策定するため、計画期間を1年前倒し、令和6年度末までとし、令和7年度からの次期計画策定に必要となる基礎資料を得ることを目的にアンケート調査を実施した。

(2) 調査の設計

調査対象	松山市在住の母子世帯および父子世帯 ※「母子世帯」：20歳未満のこどもを扶養している配偶者のない女子とこどもからなる家庭。（母子以外の同居者がある場合を含む） ※「父子世帯」：20歳未満のこどもを扶養している配偶者のない男子とこどもからなる家庭。（父子以外の同居者がある場合を含む）
抽出方法	松山市の児童扶養手当受給資格者及びひとり親家庭医療助成対象者より、母子世帯2,000件、父子世帯300件を無作為に抽出
調査方法	郵送配布、郵送回収またはWeb回答
調査期間	令和6年5月16日～6月14日

(3) 回収状況

	送付数	有効回収数	有効回収率
母子家庭	2,000件	785件	39.3%
父子家庭	300件	121件	40.3%
合計	2,300件	906件	39.4%

(4) 調査結果の表示方法

- 設問ごとの集計母数は表、グラフ中に（n = ○○）と表記。
- 集計結果の百分率（%）は、小数点第2位を四捨五入した値を表記している。このため、回答設問の選択肢ごとの構成比の見かけ上の合計が100.0%にならない場合がある。
- 複数回答設問では、当該設問に回答すべき回答者数を母数として選択肢ごとにそれぞれ構成比を求めている。そのため、構成比率の合計は通常100.0%とならない。
- 前回調査（令和2年度実施）と全国調査（令和3年度実施）のグラフを参考値として掲載している。
- 本文中では「松山市ひとり親世帯実態調査結果報告書（令和2（2020）年実施）」（以下、「R2調査」または「前回調査」）と厚生労働省こども家庭局の「令和3年度全国ひとり親世帯等調査結果報告（令和3（2021）年実施）」（以下、「R3全国」）の結果を参考資料として掲載している。

2 調査結果

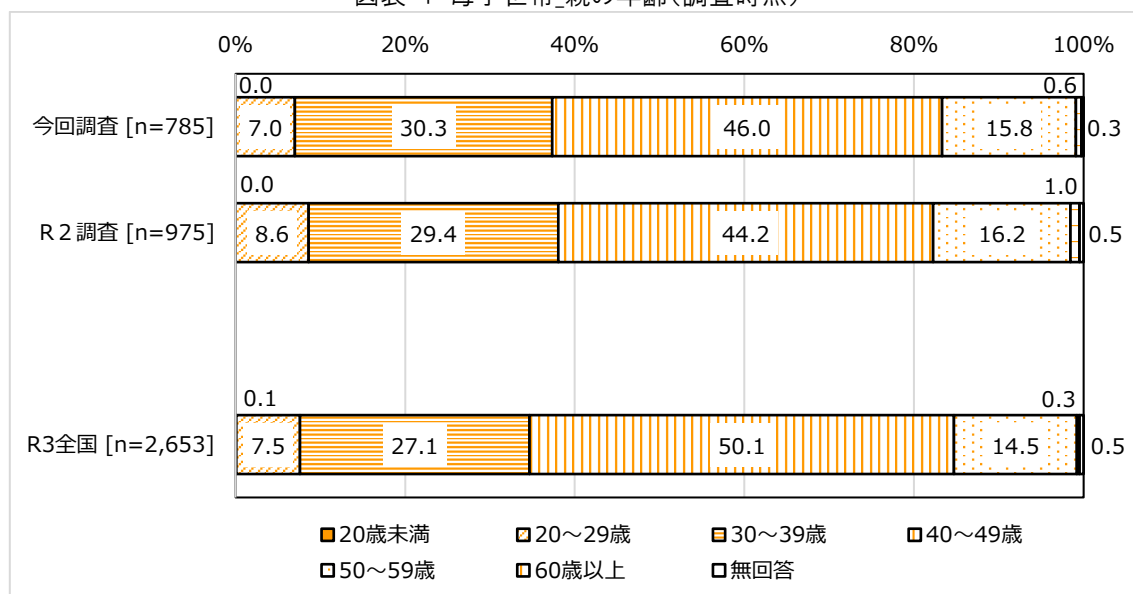
(1) 世帯の状況

①親の年齢（令和6年4月1日現在）

【母子世帯】

親の年齢は「40～49歳」が最も高く46.0%、次いで「30～39歳」が30.3%、「50～59歳」が15.8%などとなっている。平均年齢は41.7歳となっており、「前回調査」から変化はない。

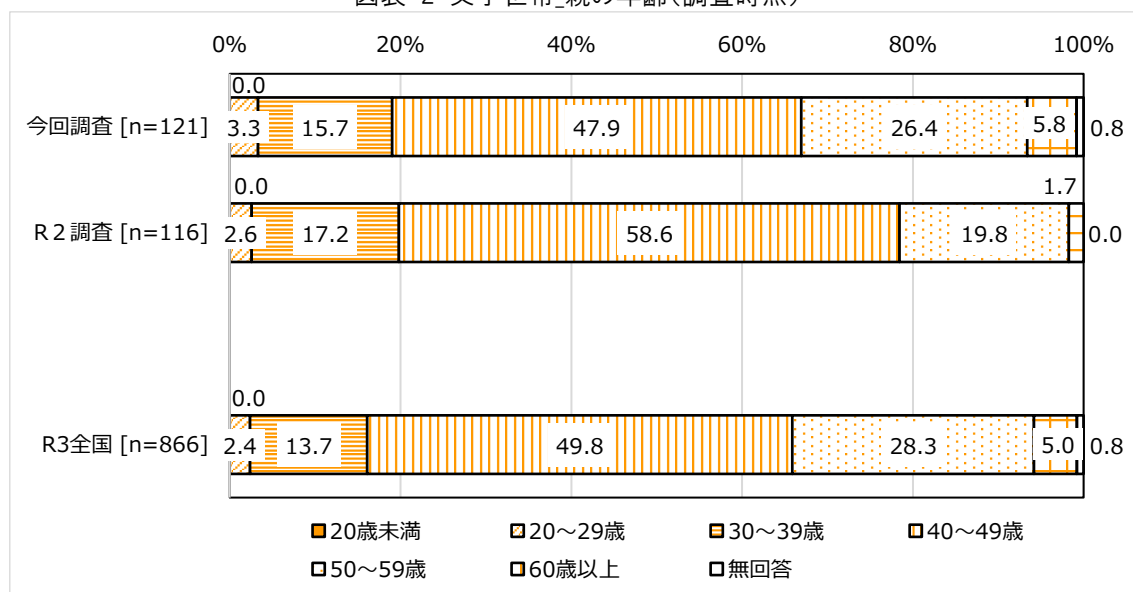
図表 1 母子世帯_親の年齢(調査時点)



【父子世帯】

親の年齢は「40～49歳」が最も高く47.9%、次いで「50～59歳」が26.4%、「30～39歳」が15.7%などとなっている。平均年齢は46.4歳となっており、「前回調査」では44.8歳となっている。

図表 2 父子世帯_親の年齢(調査時点)



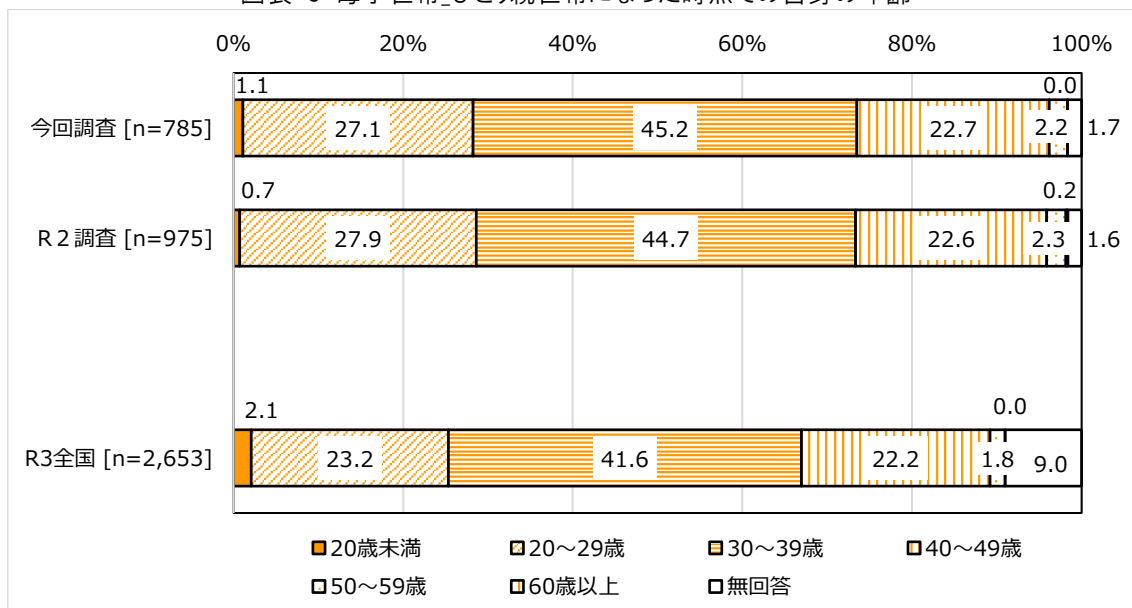
②ひとり親世帯になった時点での自身の年齢と末子の年齢

【母子世帯】

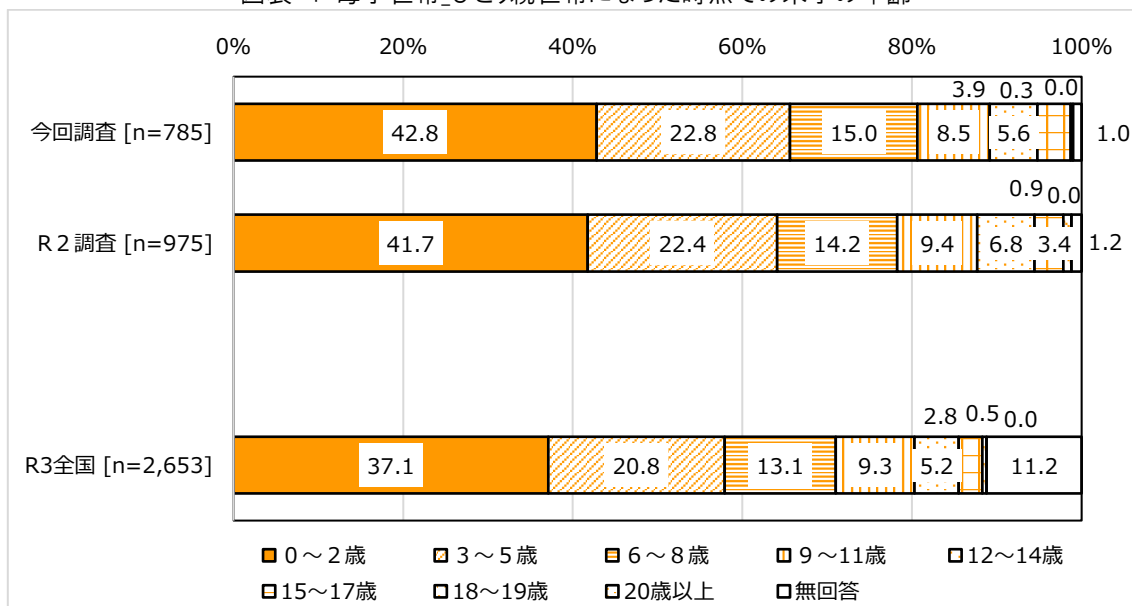
ひとり親世帯になった時点での自身の年齢は「30～39歳」が最も高く45.2%、次いで「20～29歳」が27.1%、「40～49歳」が22.7%などとなっている。平均年齢は34.3歳となっており、「前回調査」では30.4歳となっている。

末子の年齢は「0～2歳」が最も高く42.8%、次いで「3～5歳」が22.8%、「6～8歳」が15.0%などとなっている。末子の平均年齢は4.5歳となっており、「前回調査」では4.8歳となっている。

図表 3 母子世帯_ひとり親世帯になった時点での自身の年齢



図表 4 母子世帯_ひとり親世帯になった時点での末子の年齢

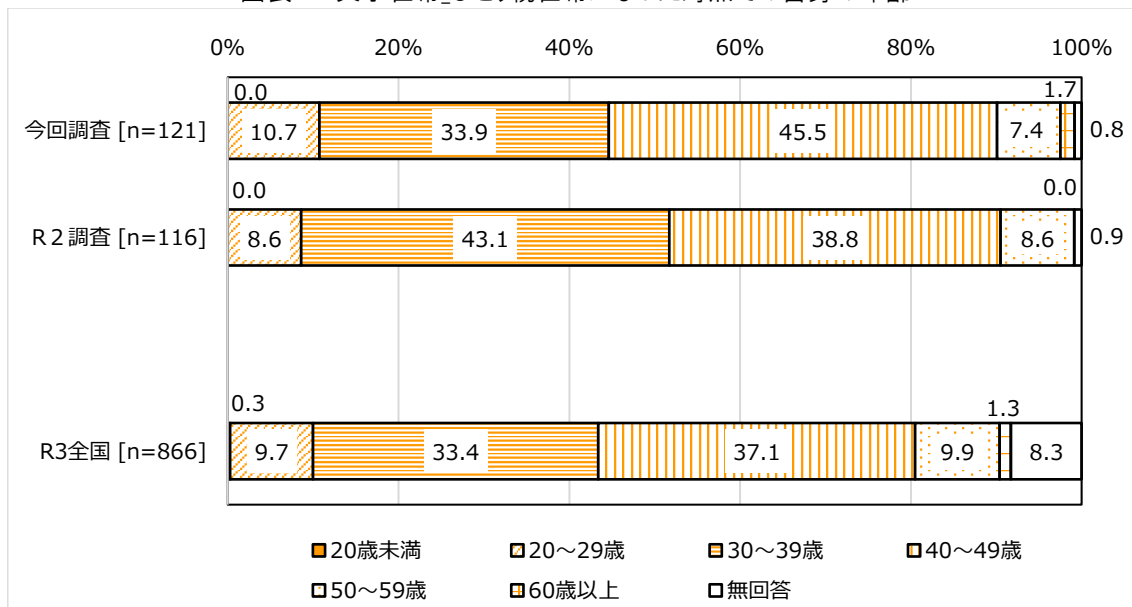


【父子世帯】

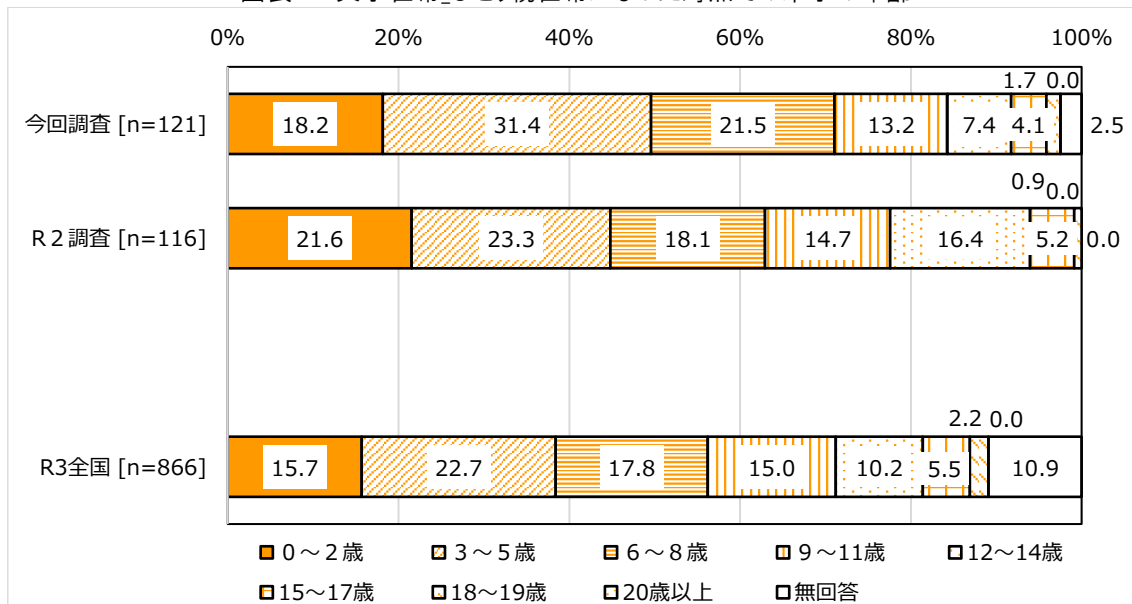
ひとり親世帯になった時点での自身の年齢は「40～49歳」が最も高く45.5%、次いで「30～39歳」が33.9%、「20～29歳」が10.7%などとなっている。平均年齢は40.0歳となっており、「前回調査」では39.3歳となっている。

末子の年齢は「3～5歳」が最も高く31.4%、次いで「6～8歳」が21.5%、「0～2歳」が18.2%などとなっている。末子の平均年齢は6.5歳となっており、「前回調査」では7.0歳となっている。

図表 5 父子世帯_ひとり親世帯になった時点での自身の年齢



図表 6 父子世帯_ひとり親世帯になった時点での末子の年齢

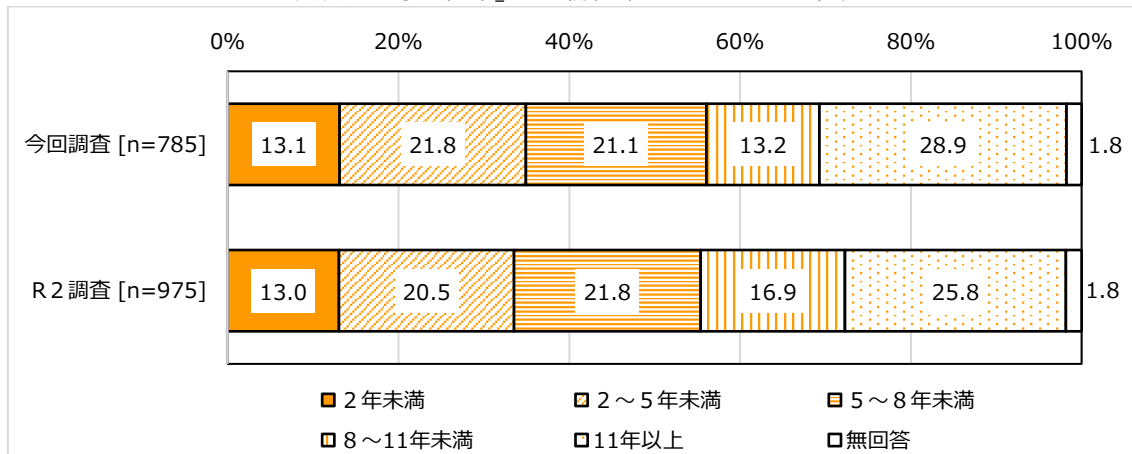


③ひとり親世帯になってからの年数

【母子世帯】

ひとり親になってからの年数は「11年以上」が最も高く28.9%、次いで「2～5年未満」が21.8%、「5～8年未満」が21.1%などとなっている。

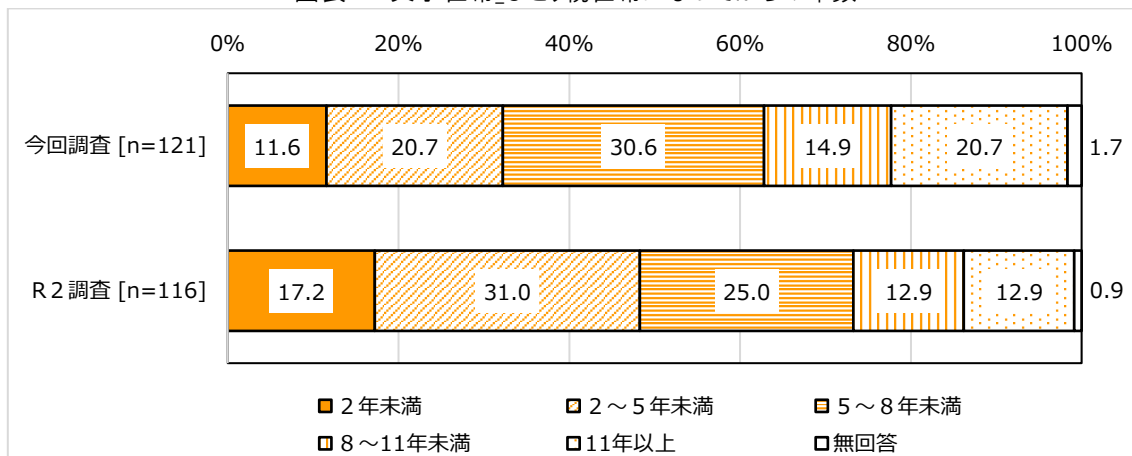
図表 7 母子世帯_ひとり親世帯になってからの年数



【父子世帯】

ひとり親になってからの年数は「5～8年未満」が最も高く30.6%、次いで「2～5年未満」「11年以上」がそれぞれ20.7%などとなっている。

図表 8 父子世帯_ひとり親世帯になってからの年数



④世帯の構成

(ア)こども以外の同居者の有無と人数等

【母子世帯】

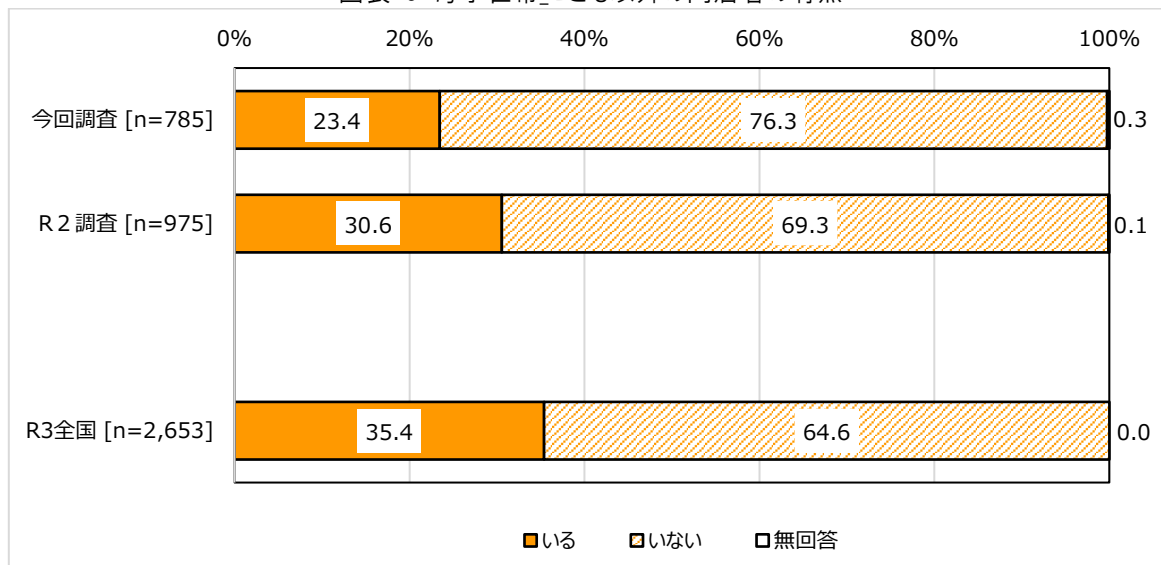
こども以外の同居者は「いる」が23.4%、「いない」が76.3%となっている。

平均世帯人員は1.9人となっており、「前回調査」はで2.5人となっている。

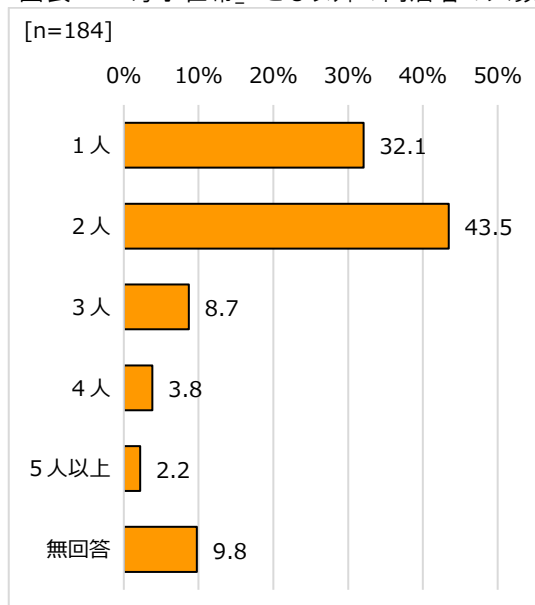
こども以外の同居者の人数は「2人」が最も高く43.5%、次いで「1人」が32.1%、「3人」が8.7%などとなっている。

同居者と母親との関係をみると、「母」が最も高く85.3%、次いで「父」が51.1%などとなっている。

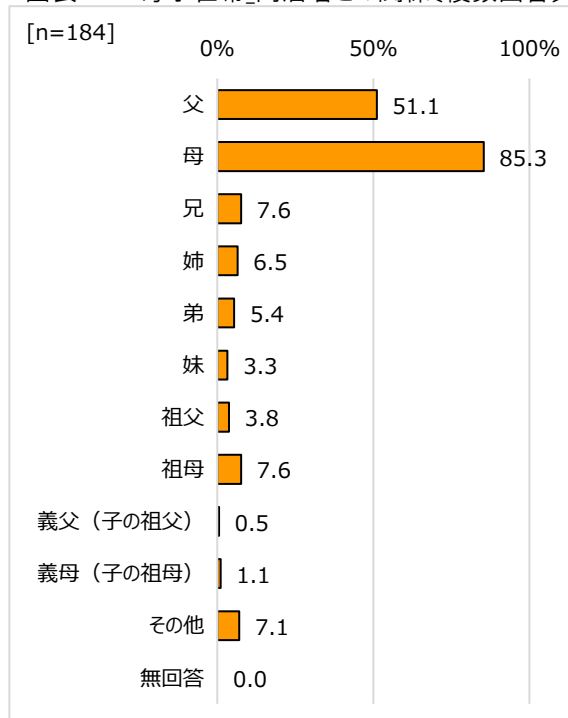
図表 9 母子世帯_こども以外の同居者の有無



図表 10 母子世帯_こども以外の同居者の人数



図表 11 母子世帯_同居者との関係〔複数回答〕



【父子世帯】

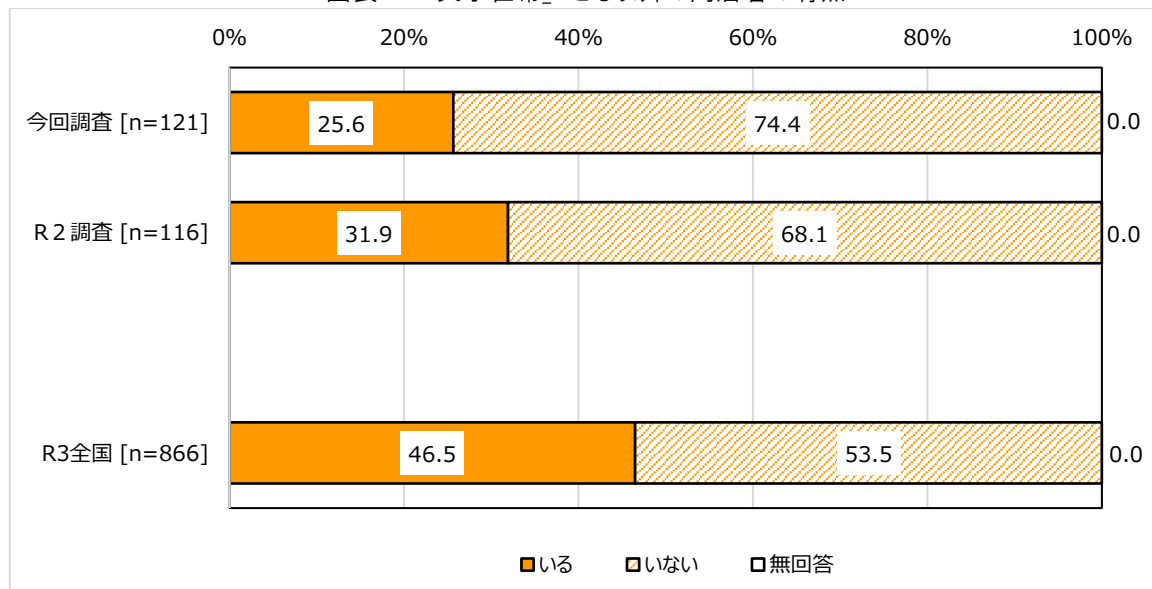
こども以外の同居者は「いる」が25.6%、「いない」が74.4%となっている。

平均世帯人員は1.8人、「前回調査」は2.59人となっている。

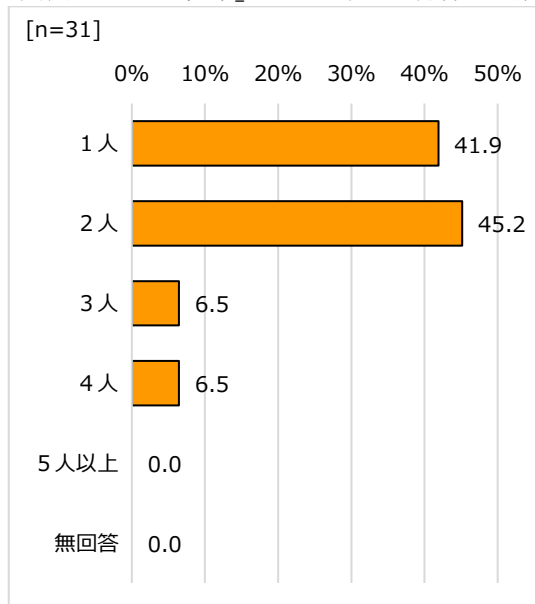
こども以外の同居者の人数は「2人」が最も高く45.2%、次いで「1人」が41.9%、「3人」「4人」がそれぞれ6.5%などとなっている。

同居者と父親との関係をみると、「母」が最も高く83.9%、次いで「父」が41.9%などとなっている。

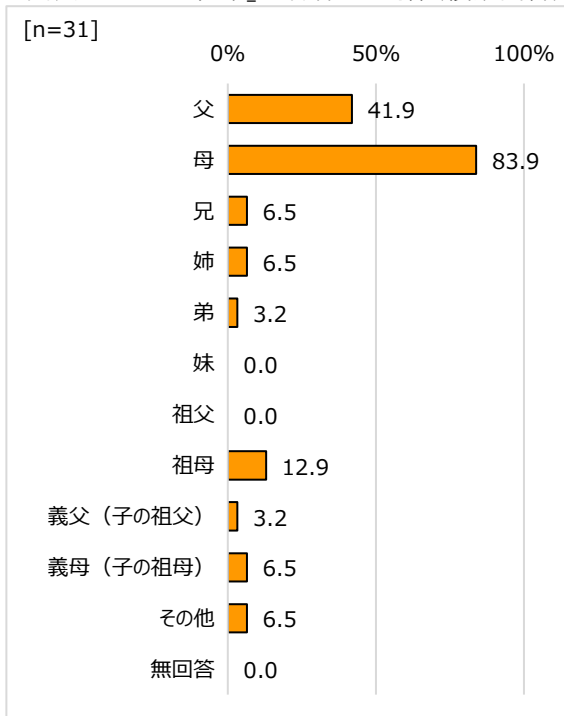
図表 12 父子世帯_こども以外の同居者の有無



図表 13 父子世帯_こども以外の同居者の人数



図表 14 父子世帯_同居者との関係〔複数回答〕



(イ)こどもの人数と就学状況

【母子世帯】

こどもの人数は「1人」が最も高く56.6%、次いで「2人」が32.1%、「3人以上」が10.1%となっている。

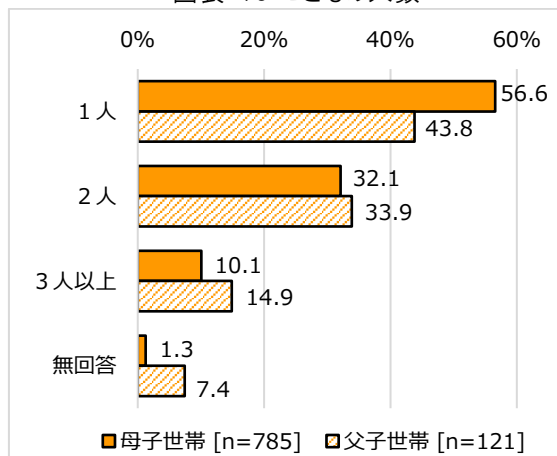
こどもの就学状況は「小学生」が最も高く30.5%、次いで「高校生」が24.5%、「中学生」が21.1%などとなっている。

【父子世帯】

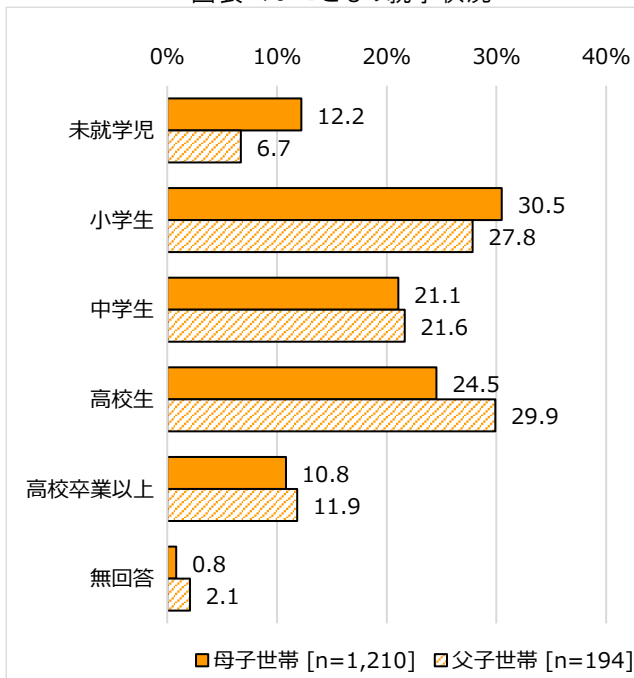
こどもの人数は「1人」が最も高く43.8%、次いで「2人」が33.9%、「3人以上」が14.9%となっている。

こどもの就学状況は「高校生」が最も高く29.9%、「小学生」が27.8%、「中学生」が21.6%などとなっている。

図表 15 こどもの人数



図表 16 こどもの就学状況

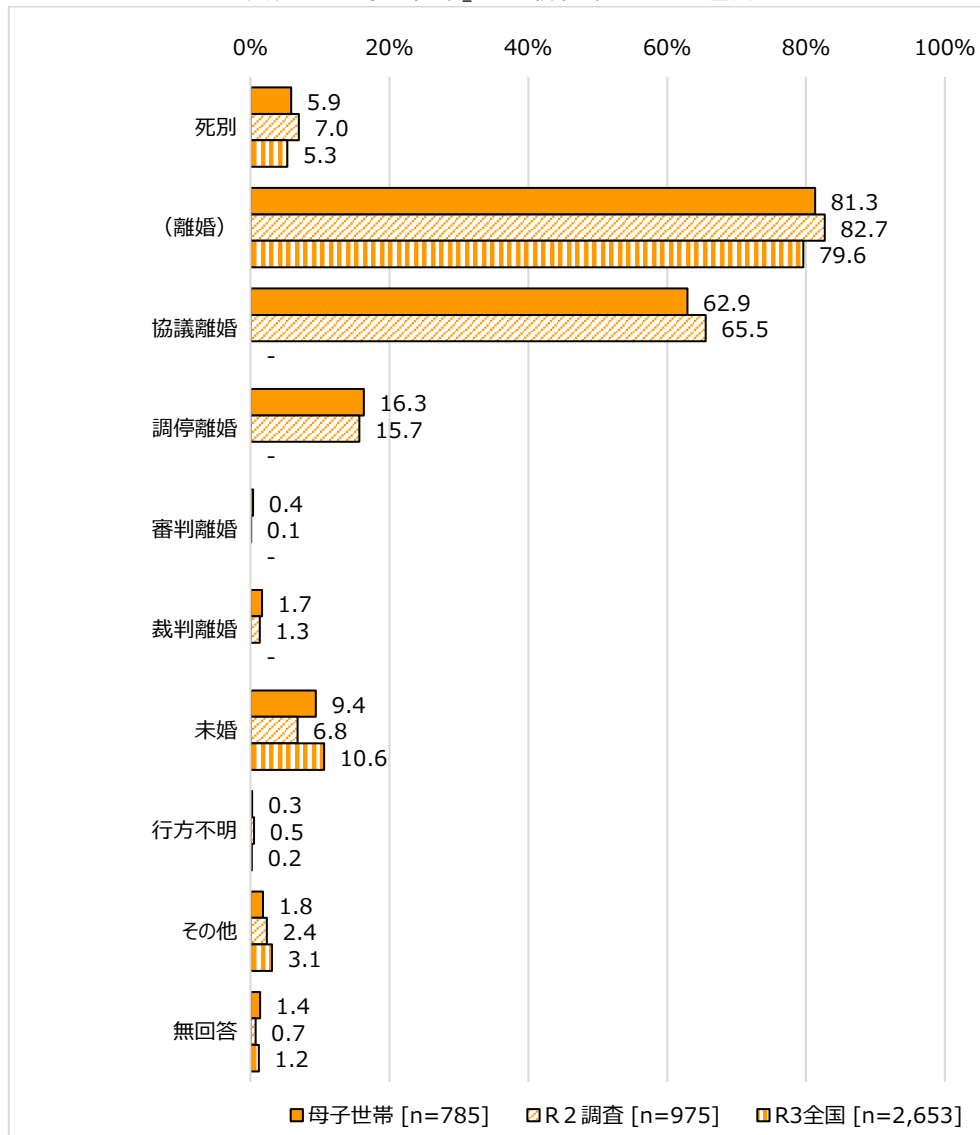


⑤ひとり親世帯になった理由

【母子世帯】

ひとり親になった理由は「協議離婚」が最も高く62.9%、次いで「調停離婚」が16.3%、「未婚」が9.4%などとなっている。

図表 17 母子世帯_ひとり親世帯になった理由

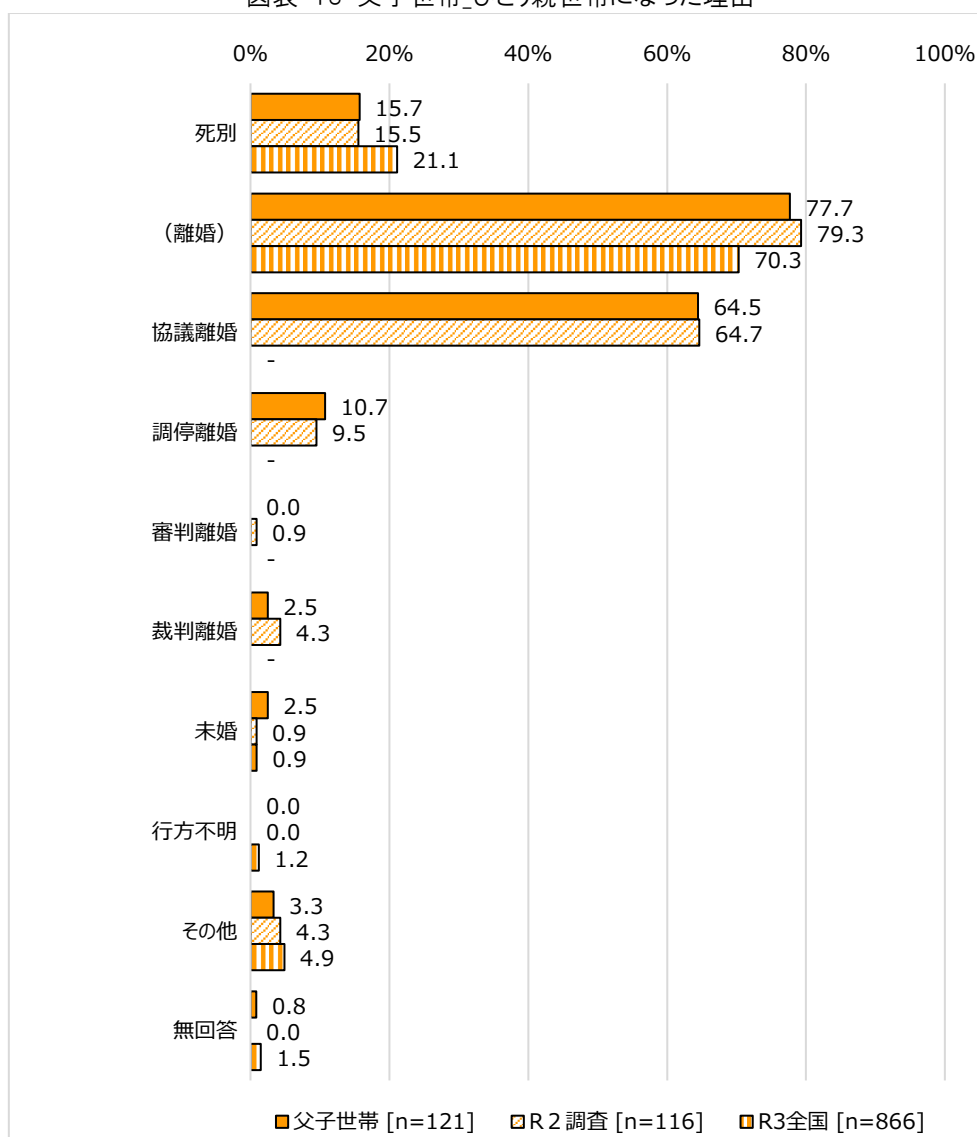


※R3全国では「協議離婚」「調停離婚」「審判離婚」「裁判離婚」の選択肢がなく、「離婚」1つ

【父子世帯】

ひとり親になった理由は「協議離婚」が最も高く64.5%、次いで「死別」が15.7%、「調停離婚」が10.7%などとなっている。

図表 18 父子世帯_ひとり親世帯になった理由



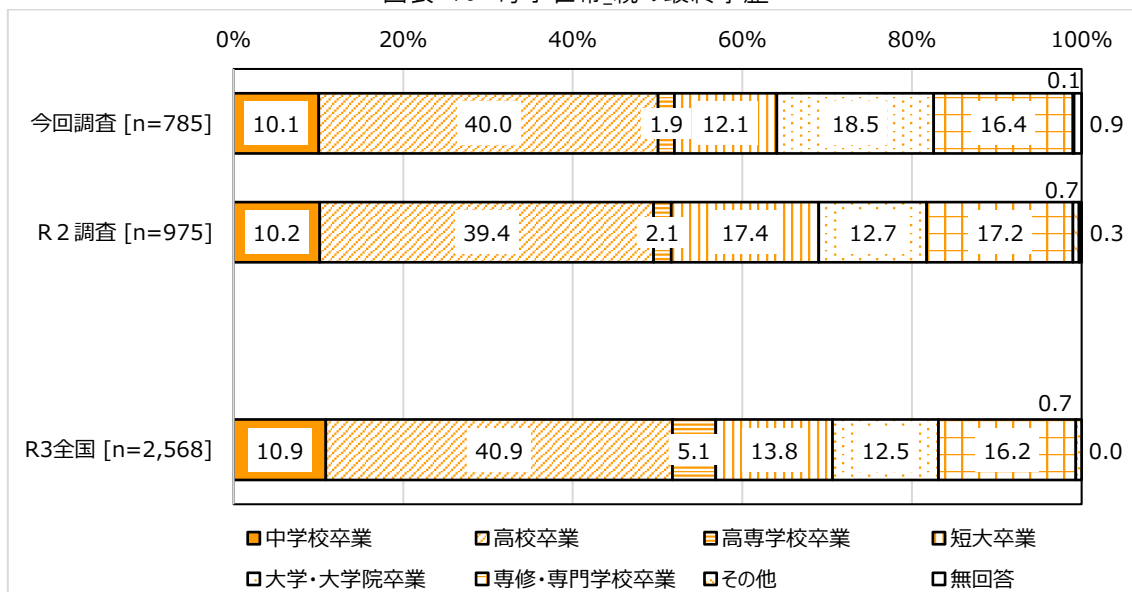
※R3全国では「協議離婚」「調停離婚」「審判離婚」「裁判離婚」の選択肢がなく、「離婚」1つ

⑥ひとり親世帯の親の最終学歴

【母子世帯】

ひとり親世帯の親の最終学歴は「高校卒業」が最も高く40.0%、次いで「大学・大学院卒業」が18.5%、「専修・専門学校卒業」が16.4%、「中学校卒業」が10.1%などとなっている。

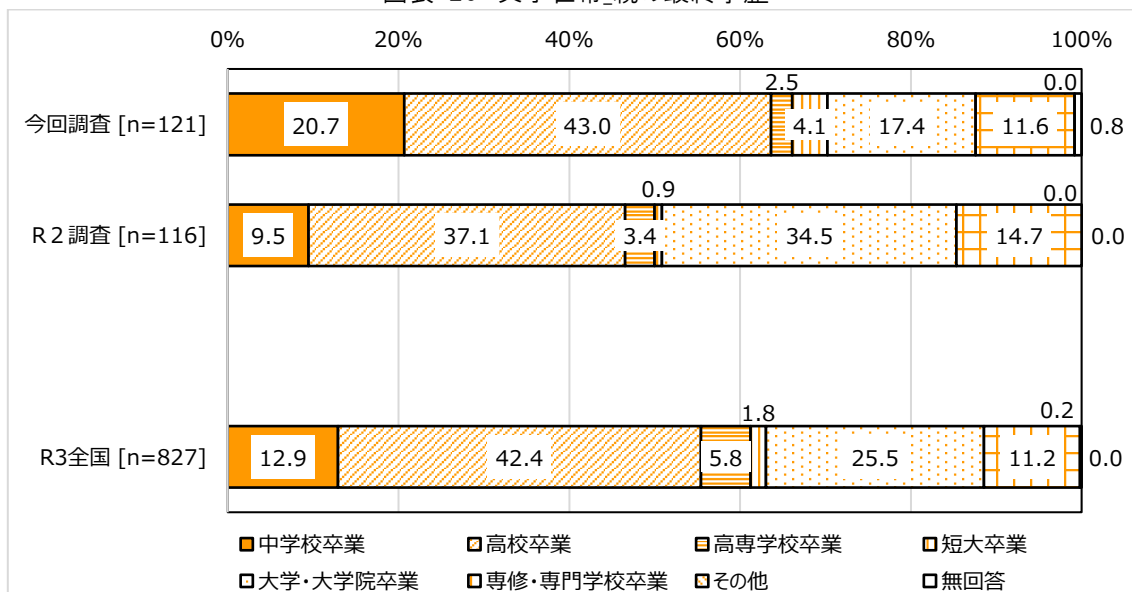
図表 19 母子世帯_親の最終学歴



【父子世帯】

ひとり親世帯の親の最終学歴は「高校卒業」が最も高く43.0%、次いで「中学校卒業」が20.7%、「大学・大学院卒業」が17.4%、「専修・専門学校卒業」が11.6%などとなっている。

図表 20 父子世帯_親の最終学歴



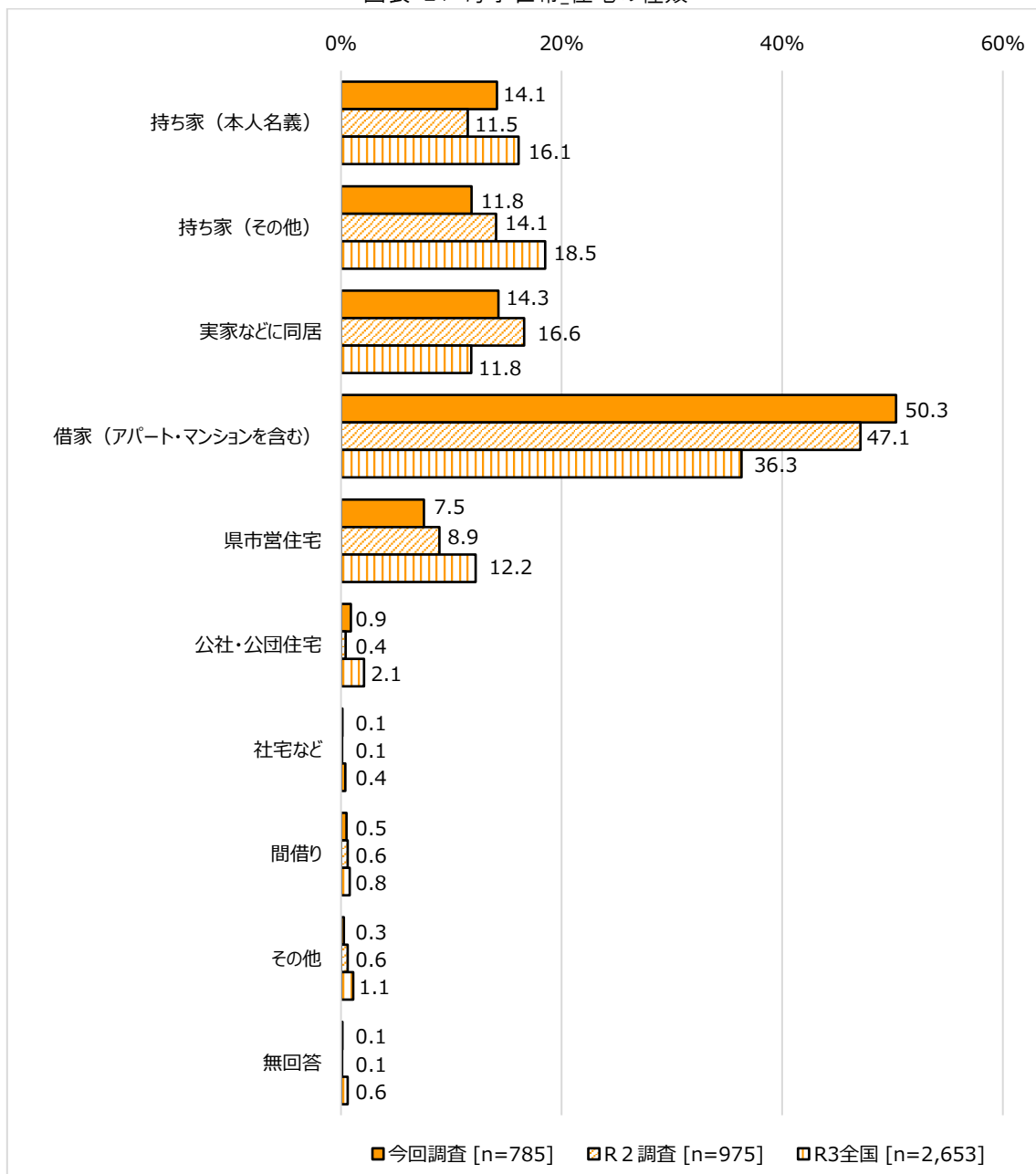
(2) 住まいの状況

①住宅の種類

【母子世帯】

住宅の種類は「借家（アパート・マンションを含む）」が最も高く50.3%、次いで「実家などに同居」が14.3%、「持ち家（本人名義）」が14.1%などとなっている。

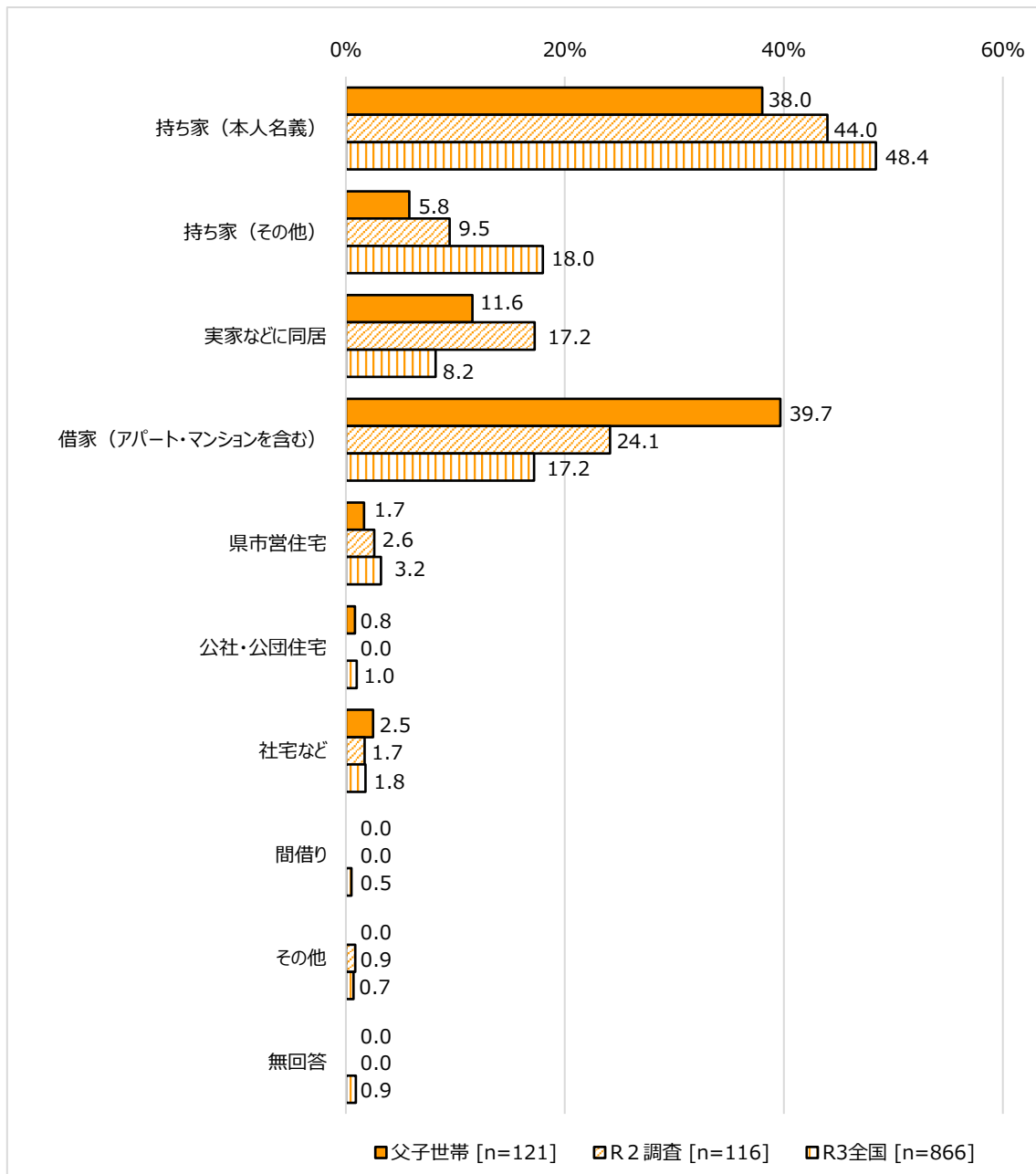
図表 21 母子世帯_住宅の種類



【父子世帯】

住宅の種類は「借家（アパート・マンションを含む）」が最も高く39.7%、次いで「持ち家（本人名義）」が38.0%、「実家などに同居」が11.6%などとなっている。

図表 22 父子世帯_住宅の種類

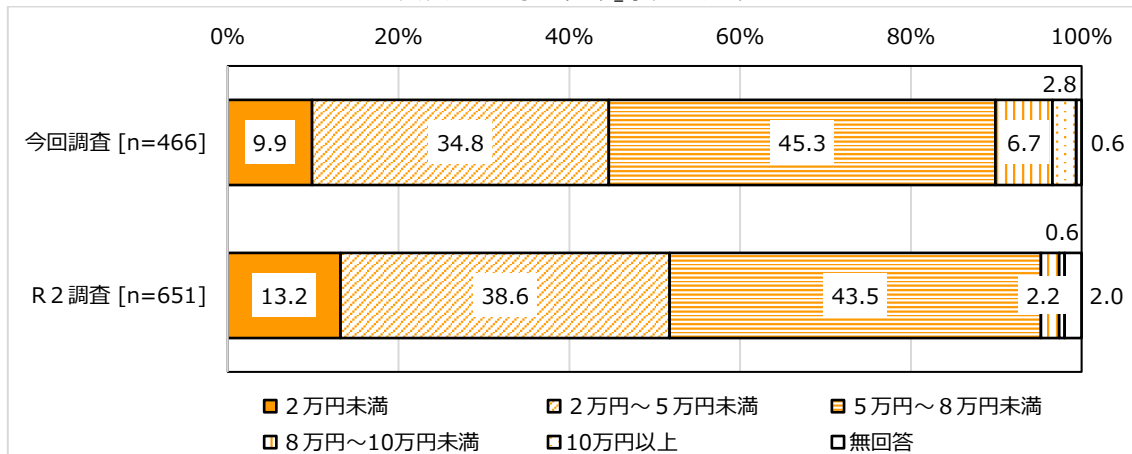


②家賃の月額

【母子世帯】

家賃の月額は「5万円～8万円未満」が最も高く45.3%、次いで「2万円～5万円未満」が34.8%、「2万円未満」が9.9%などとなっている。

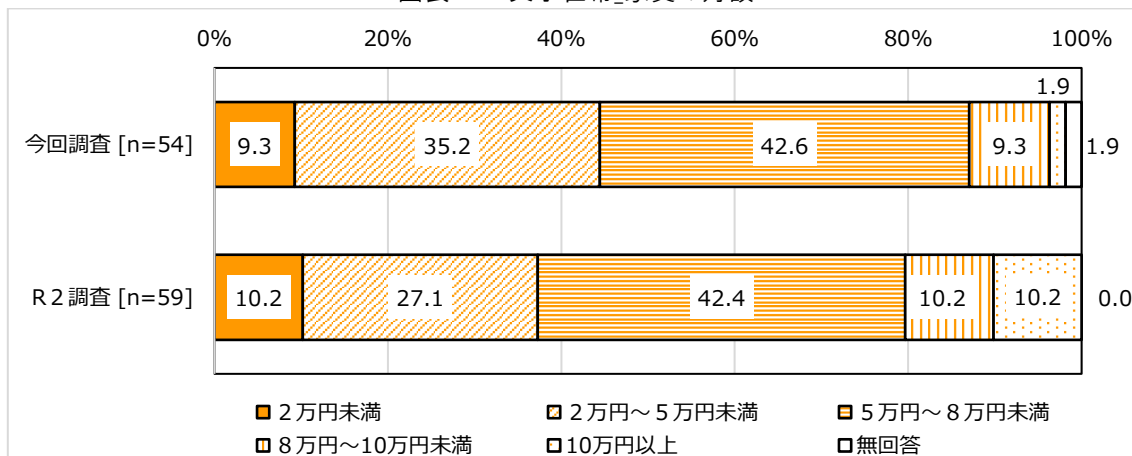
図表 23 母子世帯_家賃の月額



【父子世帯】

家賃の月額は「5万円～8万円未満」が最も高く42.6%、次いで「2万円～5万円未満」が35.2%、「2万円未満」「8万円～10万円未満」がそれぞれ9.3%などとなっている。

図表 24 父子世帯_家賃の月額



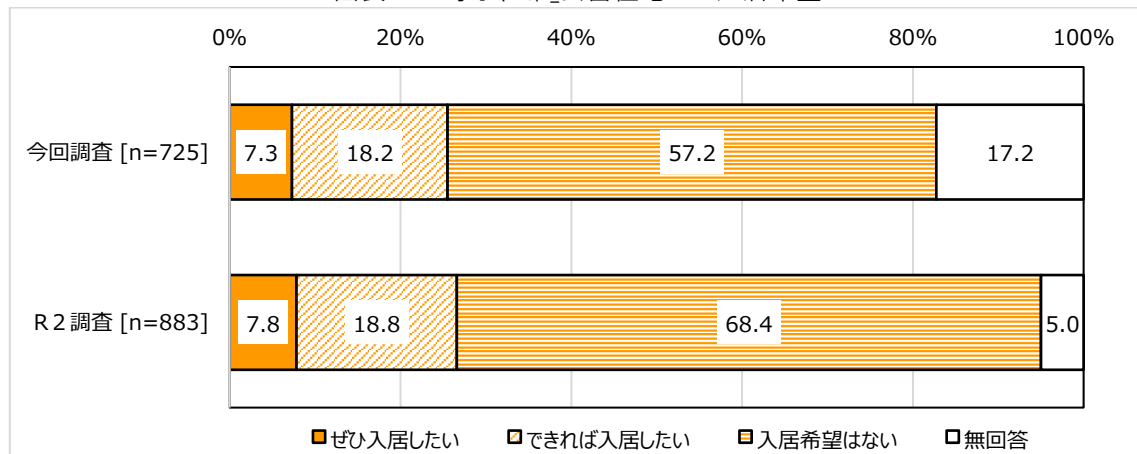
③公営住宅への入居希望

(ア)公営住宅への入居希望

【母子世帯】

公営住宅への入居希望は「入居希望はない」が最も高く57.2%、次いで「できれば入居したい」が18.2%、「ぜひ入居したい」が7.3%となっている。

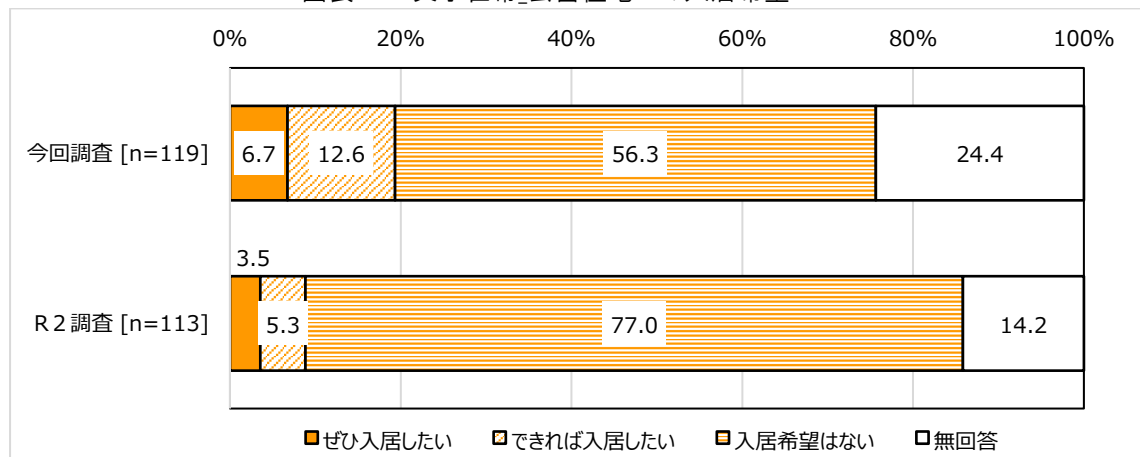
図表 25 母子世帯_公営住宅への入居希望



【父子世帯】

公営住宅への入居希望は「入居希望はない」が最も高く56.3%、次いで「できれば入居したい」が12.6%、「ぜひ入居したい」が6.7%となっている。

図表 26 父子世帯_公営住宅への入居希望

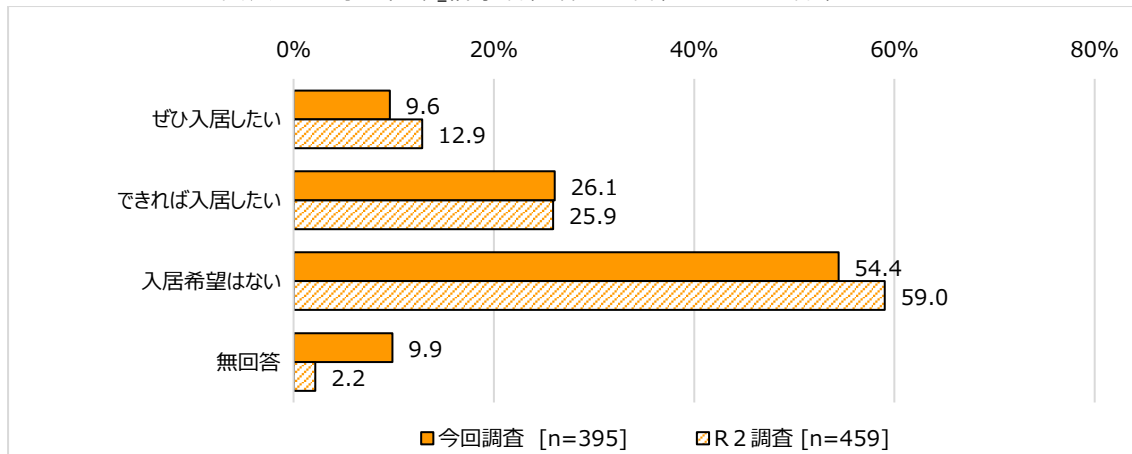


(イ)借家居住者の公営住宅への入居希望

【母子世帯】

「借家居住者（アパート・マンション含む）」の公営住宅の入居希望は「入居希望はない」が最も高く54.4%、次いで「できれば入居したい」が26.1%、「ぜひ入居したい」が9.6%となっている。

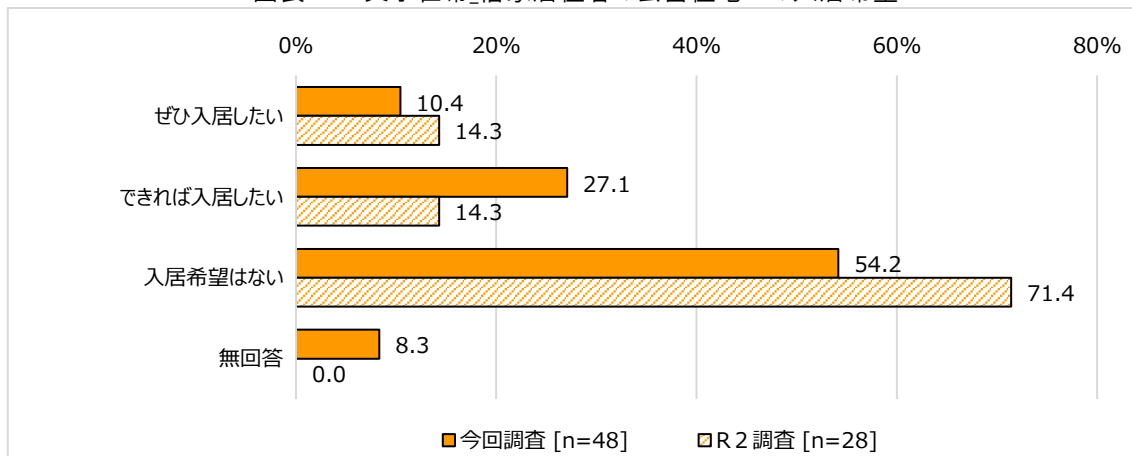
図表 27 母子世帯_借家居住者の公営住宅への入居希望



【父子世帯】

「借家居住者（アパート・マンション含む）」の公営住宅の入居希望は「入居希望はない」が最も高く54.2%、次いで「できれば入居したい」が27.1%、「ぜひ入居したい」が10.4%となっている。

図表 28 父子世帯_借家居住者の公営住宅への入居希望



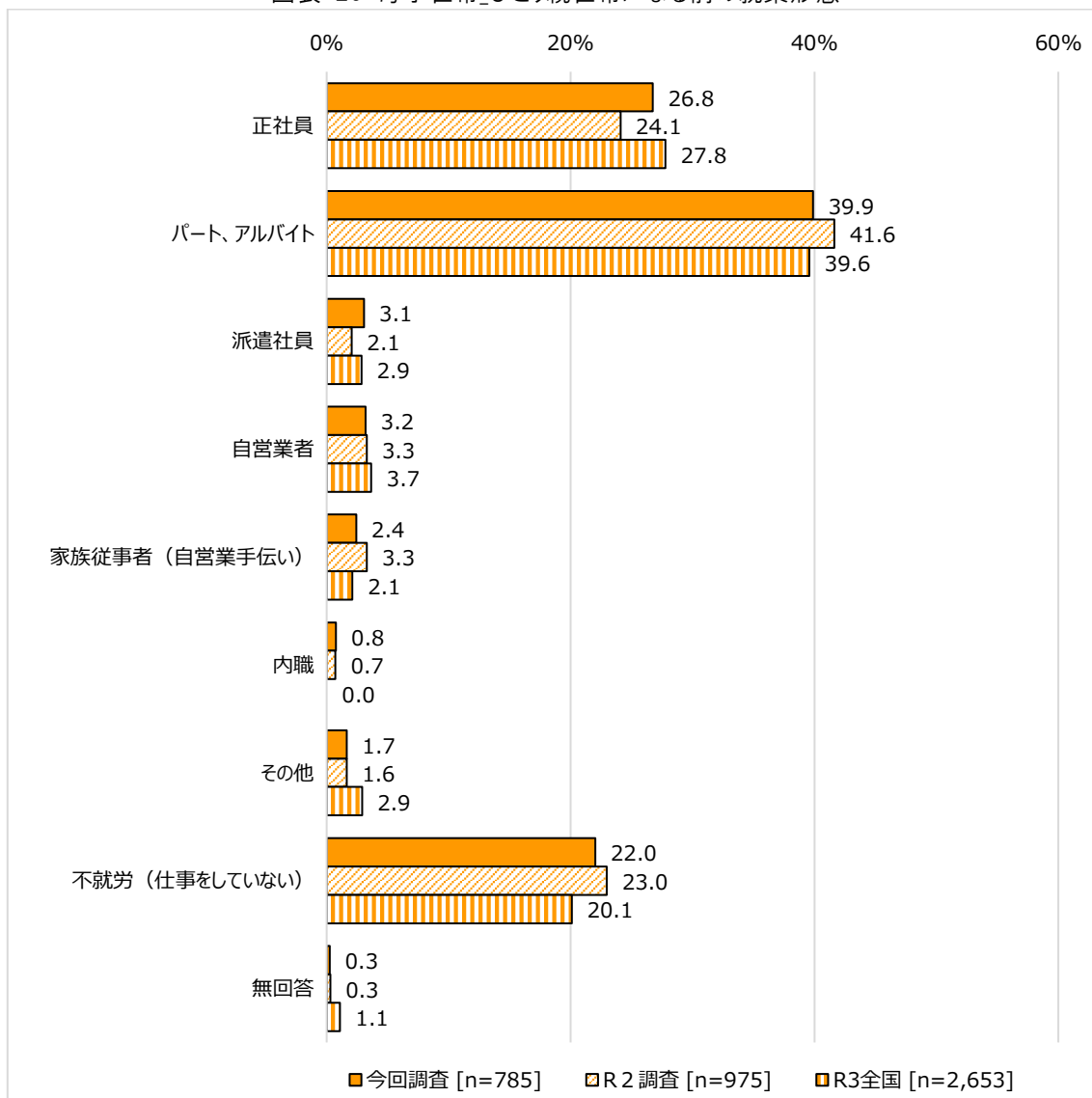
(3) 仕事について

①ひとり親世帯になる前の就業形態

【母子世帯】

ひとり親世帯になる前の就業形態は「パート・アルバイト」が最も高く39.9%、次いで「正社員」が26.8%、「不就労（仕事をしていない）」が22.0%などとなっている。

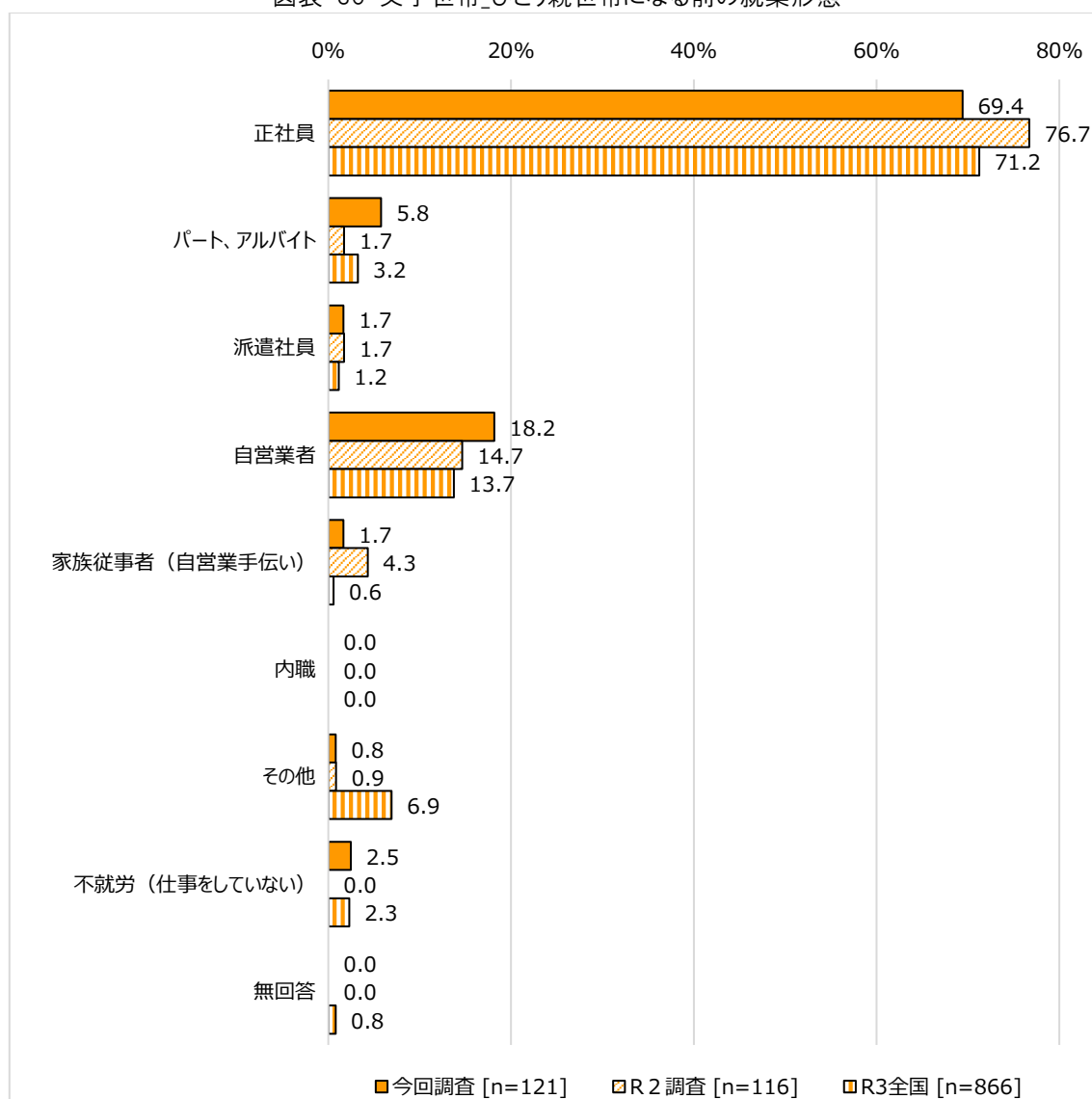
図表 29 母子世帯_ひとり親世帯になる前の就業形態



【父子世帯】

ひとり親世帯になる前の就業形態は「正社員」が最も高く69.4%、次いで「自営業者」が18.2%、「パート・アルバイト」が5.8%などとなっている。

図表 30 父子世帯_ひとり親世帯になる前の就業形態



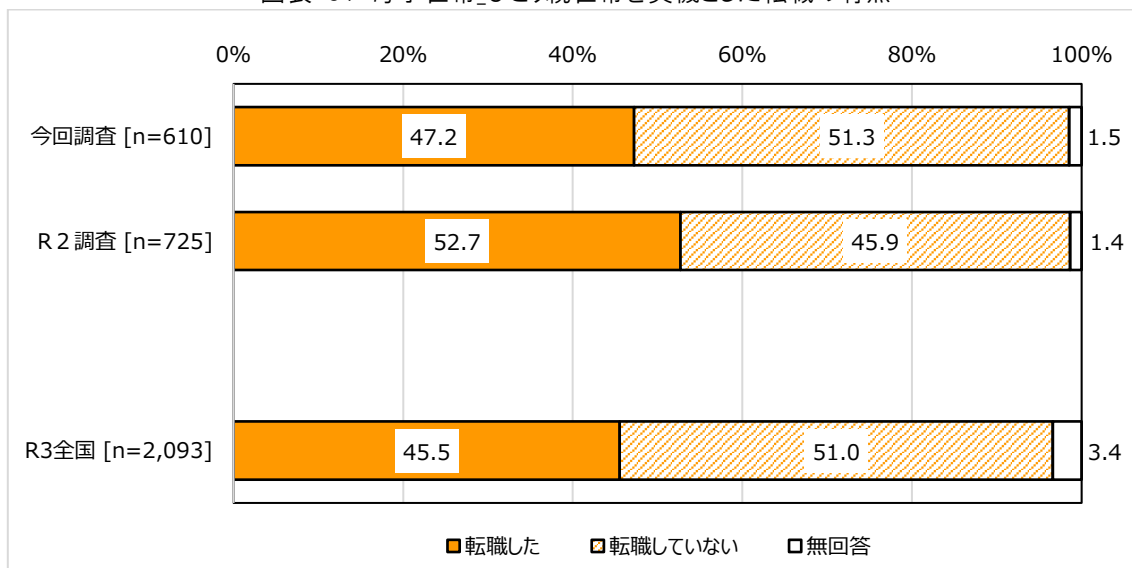
②ひとり親世帯を契機とした転職の有無とその理由

(ア)ひとり親世帯を契機とした転職の有無

【母子世帯】

ひとり親世帯を契機とした転職の有無は「転職した」が47.2%、「転職していない」が51.3%となっている。

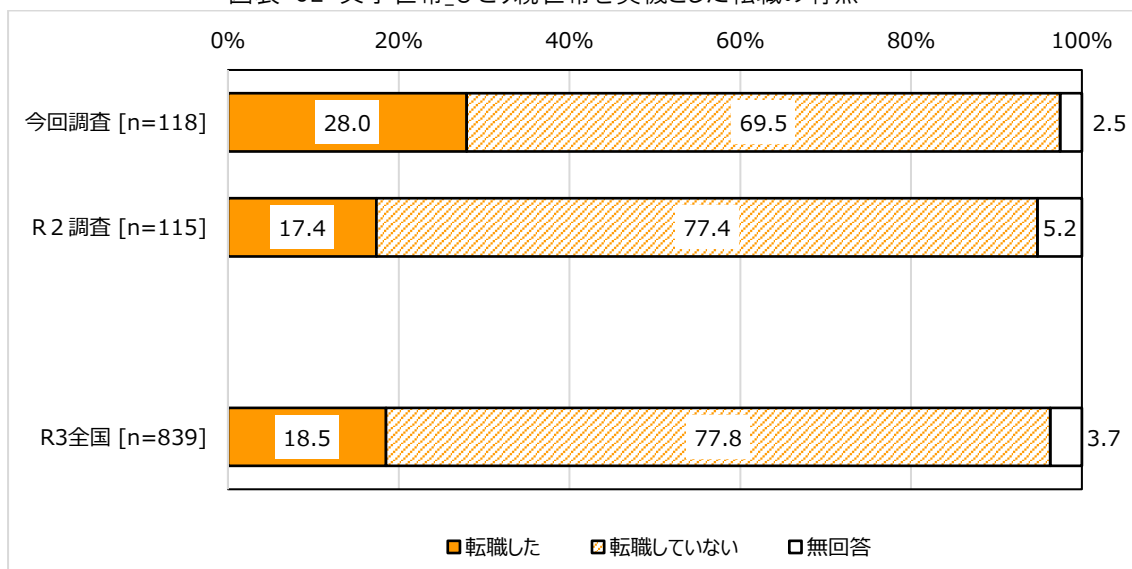
図表 31 母子世帯_ひとり親世帯を契機とした転職の有無



【父子世帯】

ひとり親世帯を契機とした転職の有無は「転職した」が28.0%、「転職していない」が69.5%となっている。

図表 32 父子世帯_ひとり親世帯を契機とした転職の有無

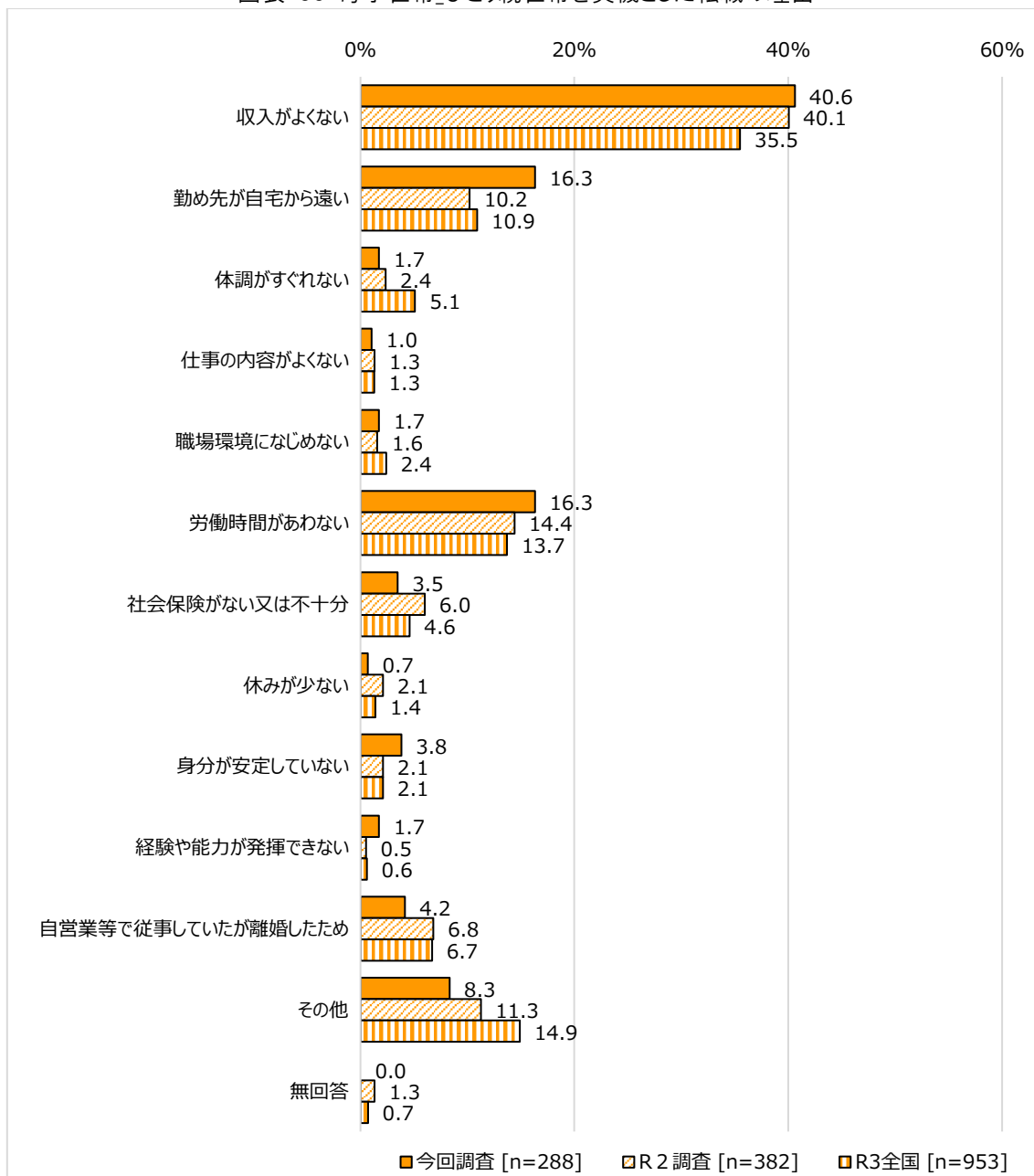


(イ)ひとり親世帯を契機とした転職の理由

【母子世帯】

ひとり親世帯を契機とした「転職をした」と回答した人のその主な理由は、「収入がよくない」が最も高く40.6%、次いで、「勤め先が自宅から遠い」「労働時間があわない」がそれぞれ16.3%などとなっている。

図表 33 母子世帯_ひとり親世帯を契機とした転職の理由

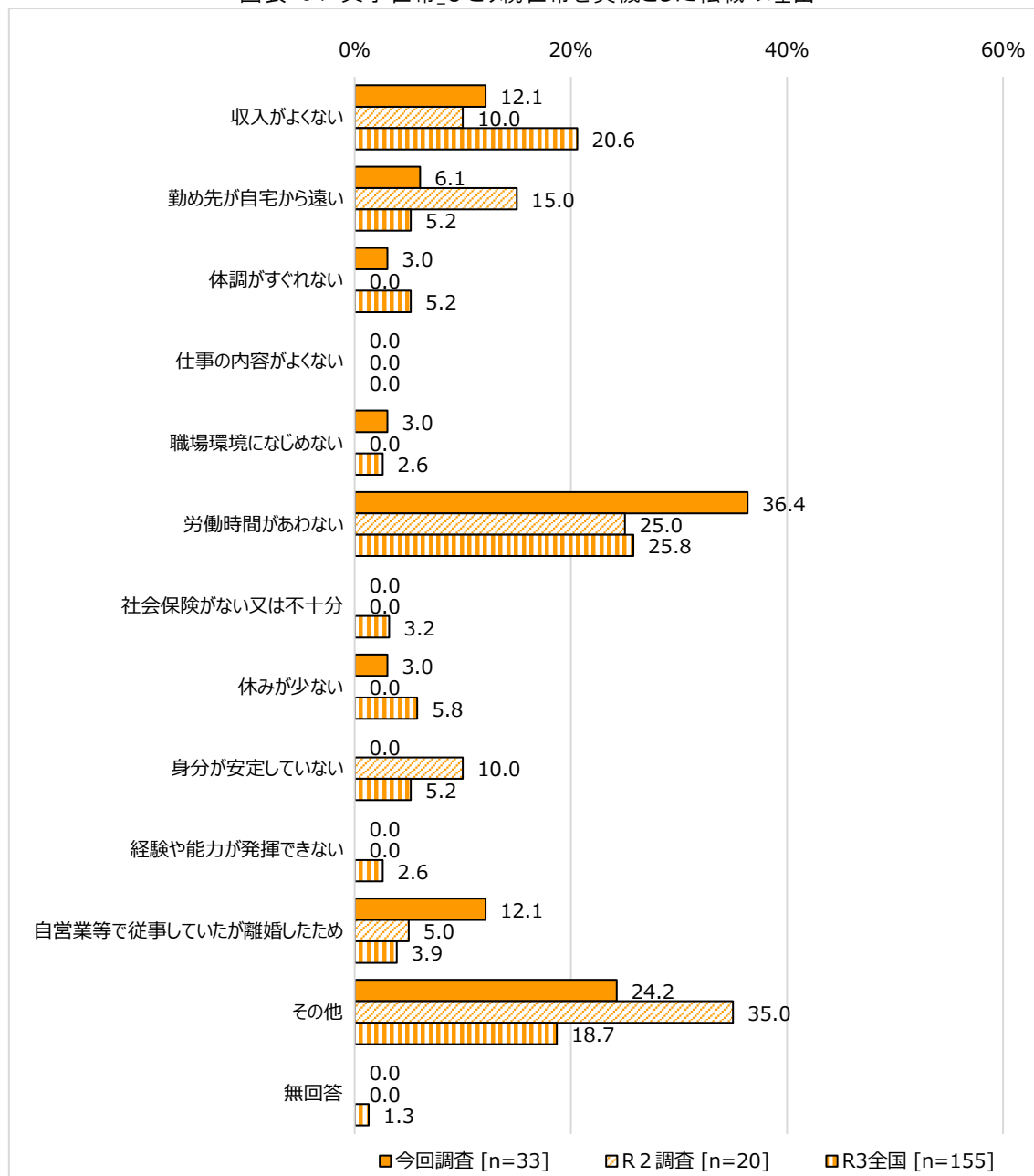


※R2調査は「体調がすぐれない」→「健康がすぐれない」

【父子世帯】

ひとり親世帯を契機とした「転職をした」と回答した人のその主な理由は、「労働時間があわない」が最も高く36.4%、次いで、「収入がよくない」「自営業等で従事していたが離婚したため」がそれぞれ12.1%などとなっている。

図表 34 父子世帯_ひとり親世帯を契機とした転職の理由



※R2調査は「体調がすぐれない」→「健康がすぐれない」

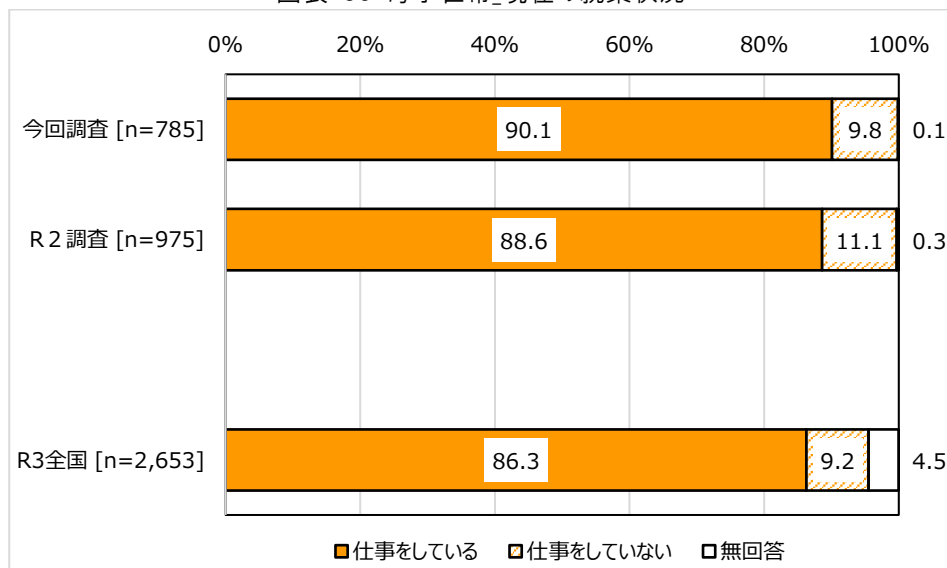
③現在の就業状況と仕事の数

【母子世帯】

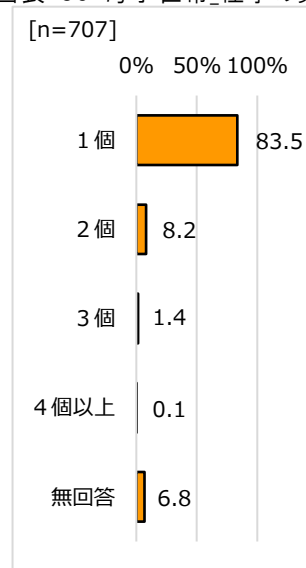
現在の就業状況は「仕事をしている」が90.1%、「仕事をしていない」が9.8%となっている。

仕事をしている人の現在の仕事の数は、「1個」が最も高く83.5%、次いで、「2個」が8.2%などとなっている。

図表 35 母子世帯_現在の就業状況



図表 36 母子世帯_仕事の数

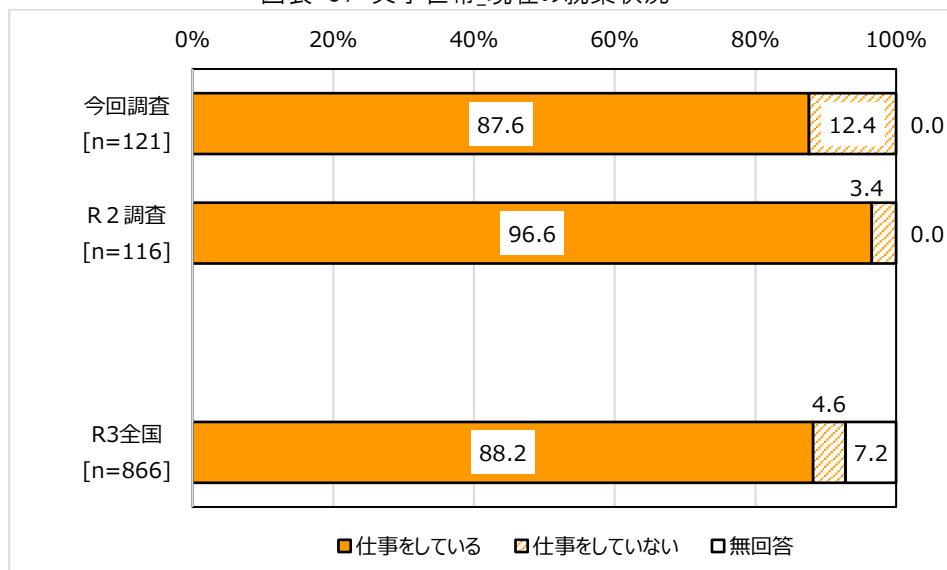


【父子世帯】

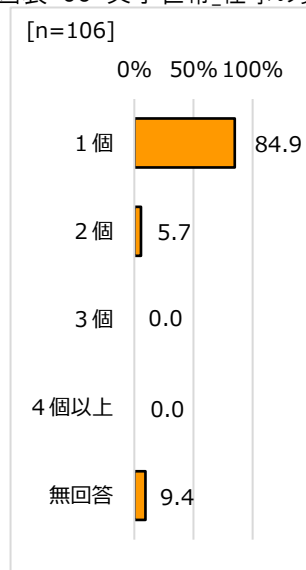
現在の就業状況は「仕事をしている」が87.6%、「仕事をしていない」が12.4%となっている。

仕事をしている人の現在の仕事の数は、「1個」が最も高く84.9%、次いで、「2個」が5.7%などとなっている。

図表 37 父子世帯_現在の就業状況



図表 38 父子世帯_仕事の数



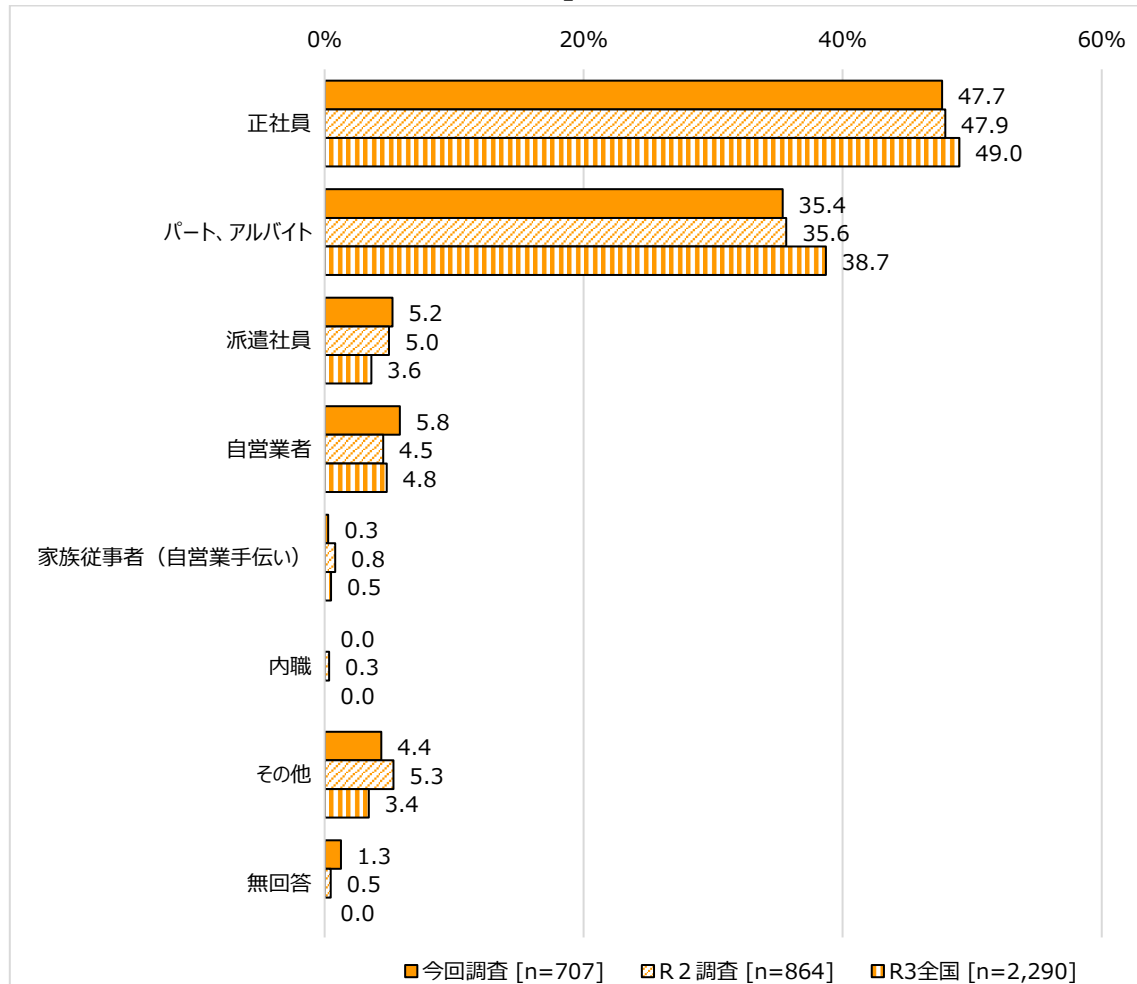
④現在の就業形態と職種

(ア)主な仕事の就業形態

【母子世帯】

仕事をしている人の主な仕事の就業形態は、「正社員」が最も高く47.7%、次いで、「パート・アルバイト」が35.4%、「自営業者」が5.8%などとなっている。

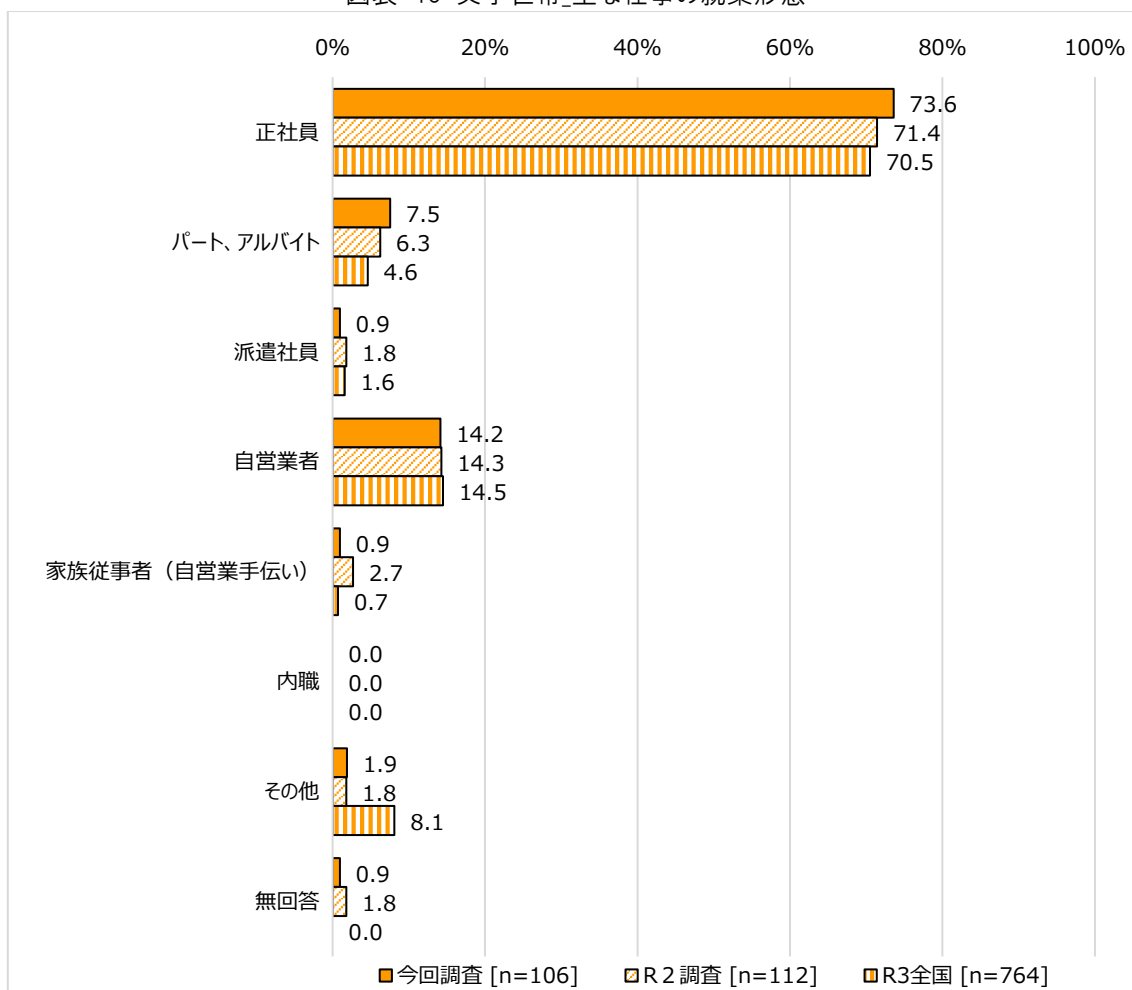
図表 39 母子世帯_主な仕事の就業形態



【父子世帯】

仕事をしている人の主な仕事の就業形態は、「正社員」が最も高く73.6%、次いで、「自営業者」が14.2%、「パート・アルバイト」が7.5%などとなっている。

図表 40 父子世帯_主な仕事の就業形態

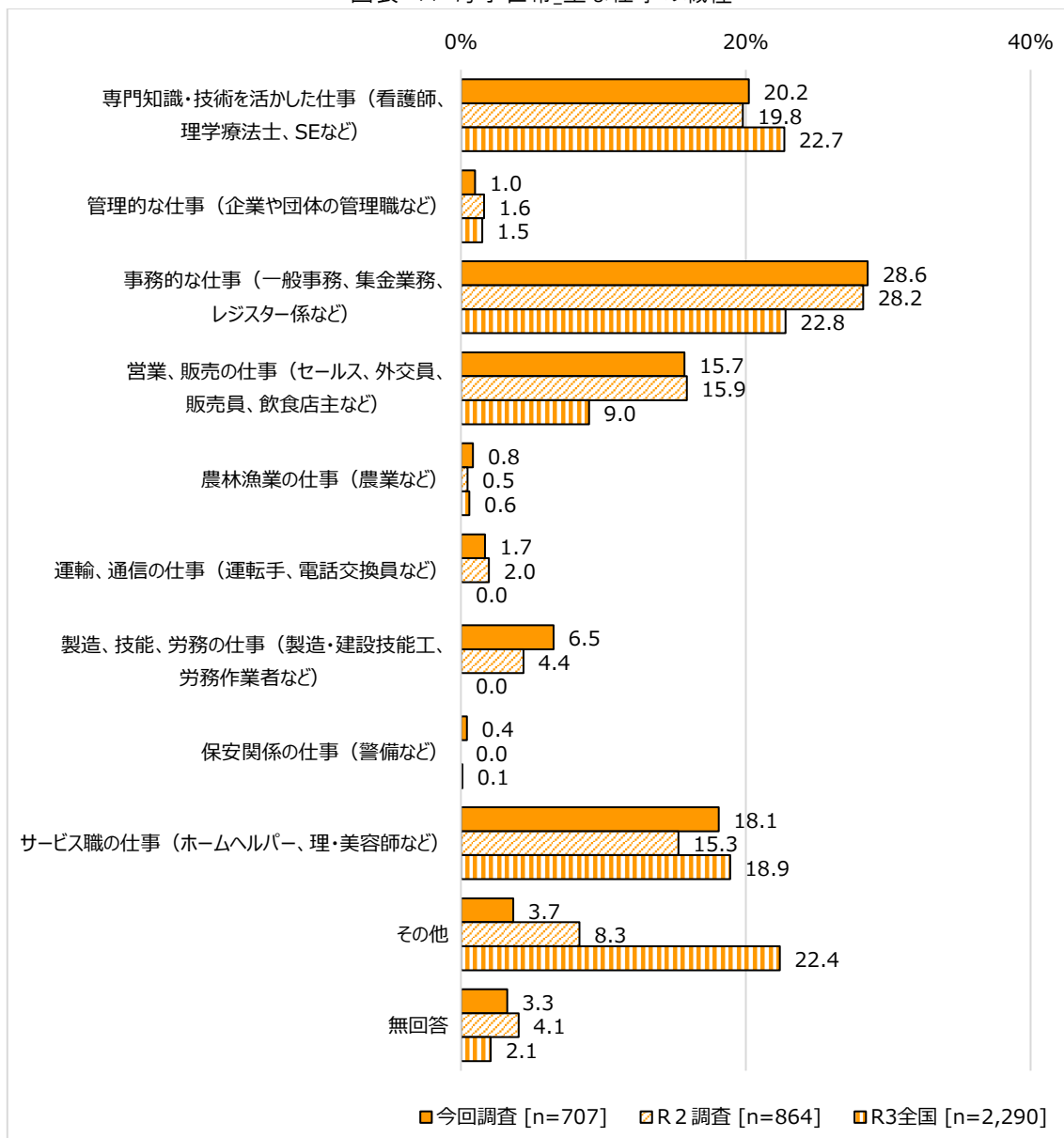


(イ)主な仕事の職種

【母子世帯】

仕事をしている人の主な仕事の職種は、「事務的な仕事（一般事務、集金業務、レジスター係など）」が最も高く28.6%、次いで、「専門知識・技術を活かした仕事（看護師、理学療法士、SEなど）」が20.2%、「サービス職の仕事（ホームヘルパー、理・美容師など）」が18.1%などとなっている。

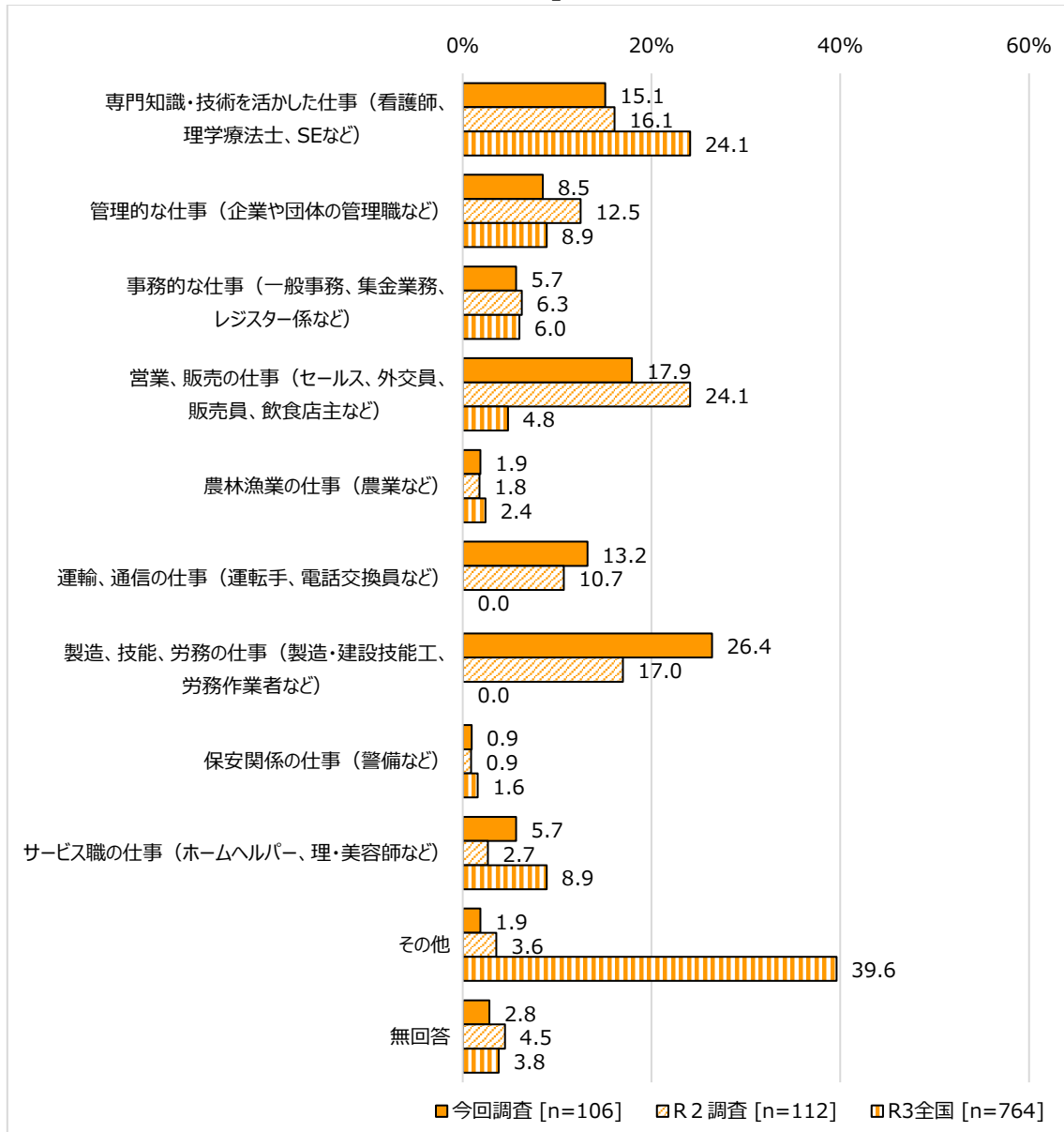
図表 41 母子世帯_主な仕事の職種



【父子世帯】

仕事をしている人の主な仕事の職種は、「製造、技能、労務の仕事（製造・建設技能工、労務作業者など）」が最も高く26.4%、次いで、「営業、販売の仕事（セールス、外交員、販売員、飲食店主など）」が17.9%、「専門知識・技術を活かした仕事（看護師、理学療法士、SEなど）」が15.1%などとなっている。

図表 42 父子世帯_主な仕事の職種



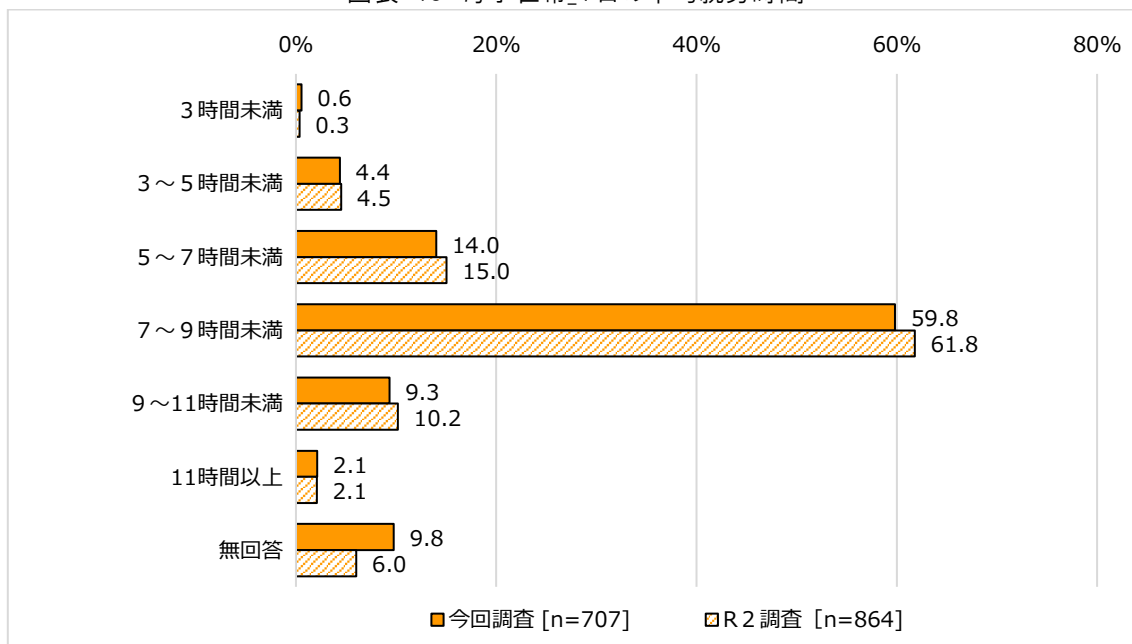
⑤1日の平均就労時間と出勤・帰宅時間

(ア)1日の平均就労時間

【母子世帯】

仕事をしている人の1日の平均就労時間は、「7～9時間未満」が最も高く59.8%、次いで、「5～7時間未満」が14.0%、「9～11時間未満」が9.3%などとなっている。

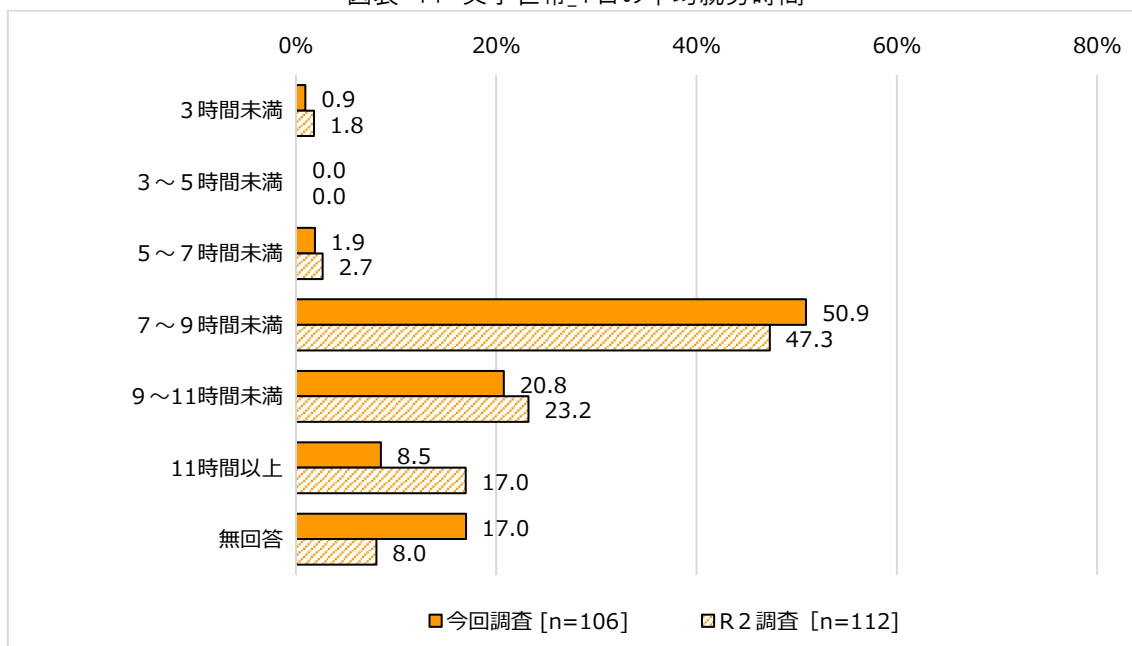
図表 43 母子世帯_1日の平均就労時間



【父子世帯】

仕事をしている人の1日の平均就労時間は、「7～9時間未満」が最も高く50.9%、次いで「9～11時間未満」が20.8%、「11時間以上」が8.5%などとなっている。

図表 44 父子世帯_1日の平均就労時間

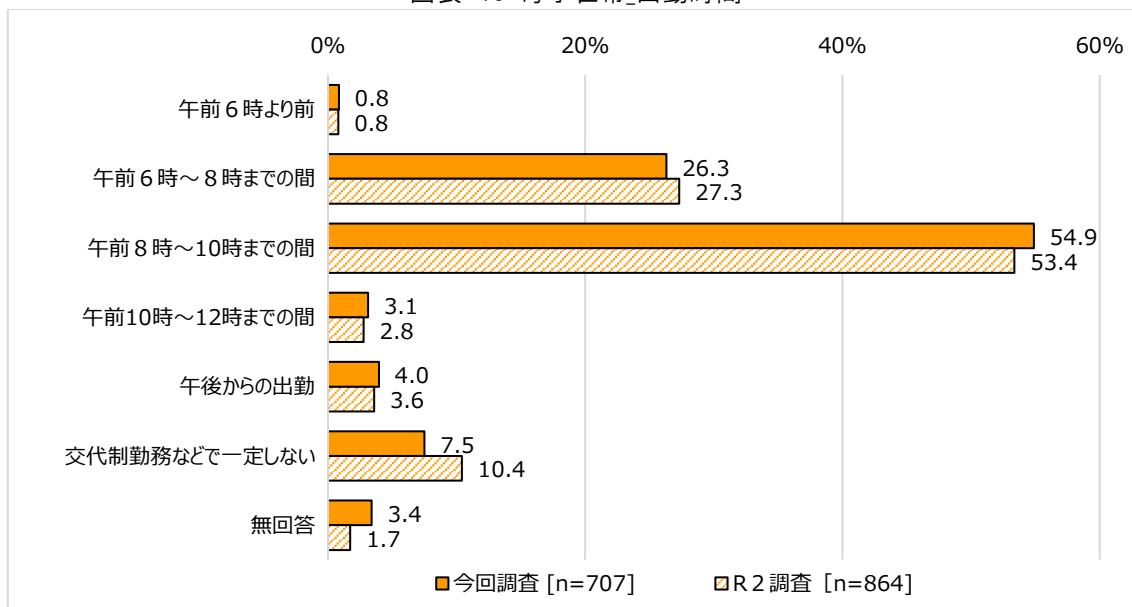


(イ)出勤時間

【母子世帯】

仕事をしている人の出勤時間は、「午前8時～10時までの間」が最も高く54.9%、次いで、「午前6時～8時までの間」が26.3%、「交代制勤務などで一定しない」が7.5%などとなっている。

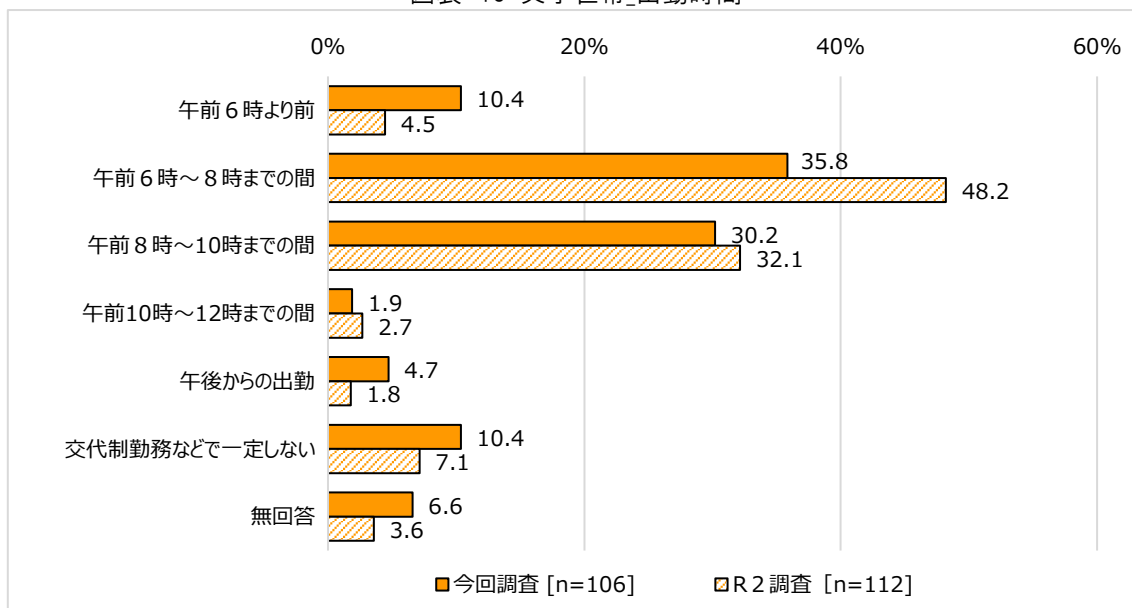
図表 45 母子世帯_出勤時間



【父子世帯】

仕事をしている人の出勤時間は、「午前6時～8時までの間」が最も高く35.8%、次いで、「午前8時～10時までの間」が30.2%、「午前6時より前」「交代制勤務などで一定しない」がそれぞれ10.4%となっている。

図表 46 父子世帯_出勤時間

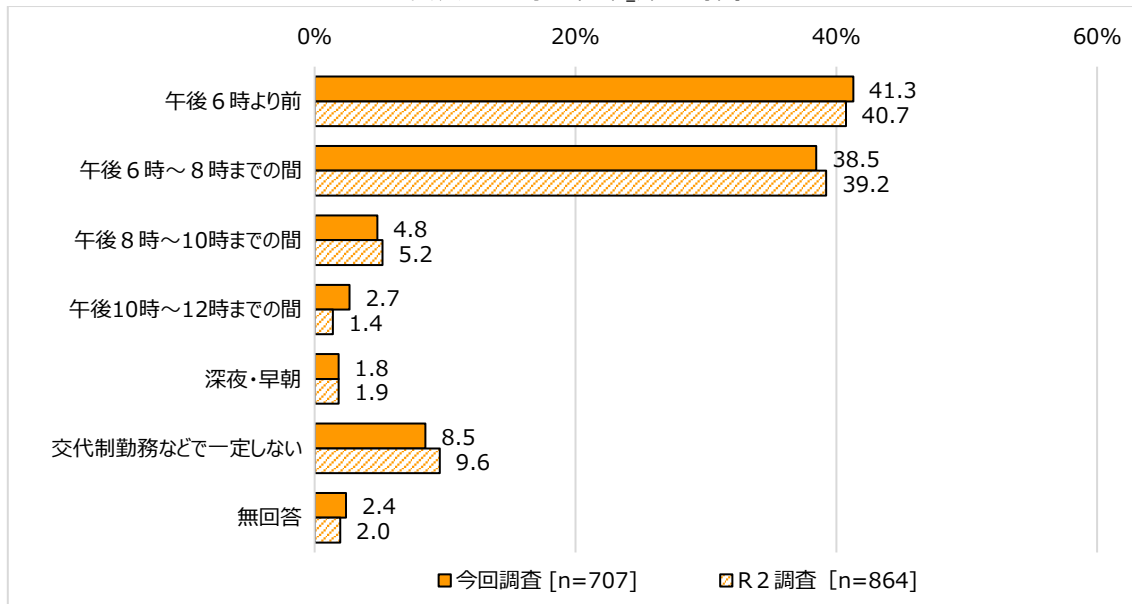


(ウ)帰宅時間

【母子世帯】

仕事をしている人の帰宅時間は、「午後6時より前」が最も高く41.3%、次いで、「午後6時～8時までの間」が38.5%、「交代制勤務などで一定しない」が8.5%などとなっている。

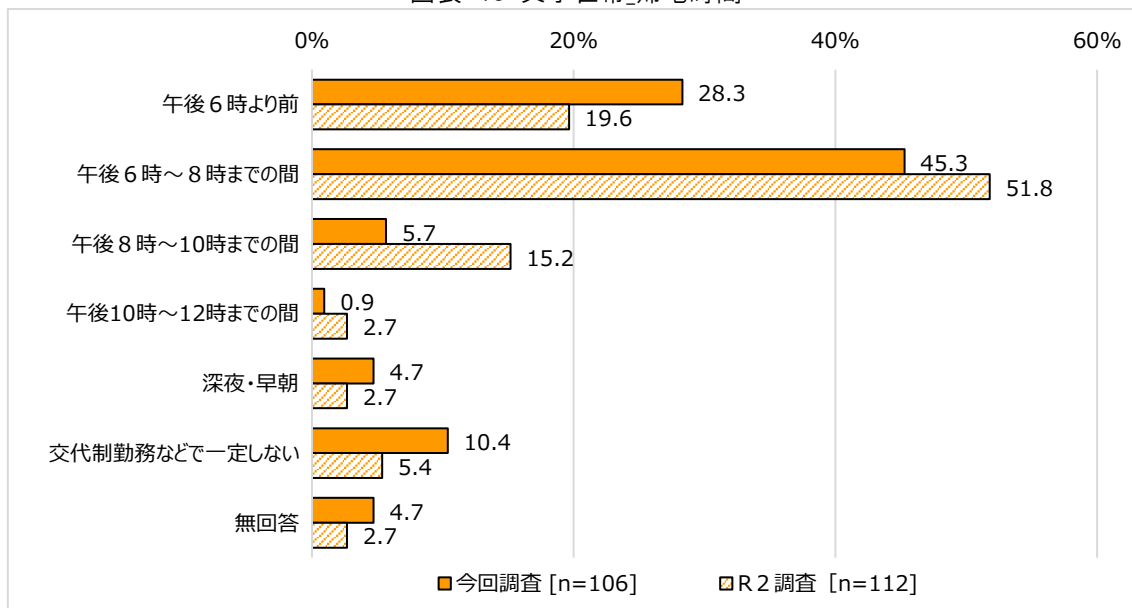
図表 47 母子世帯_帰宅時間



【父子世帯】

仕事をしている人の帰宅時間は、「午後6時～8時までの間」が最も高く45.3%、次いで、「午後6時より前」が28.3%、「交代制勤務などで一定しない」が10.4%などとなっている。

図表 48 父子世帯_帰宅時間



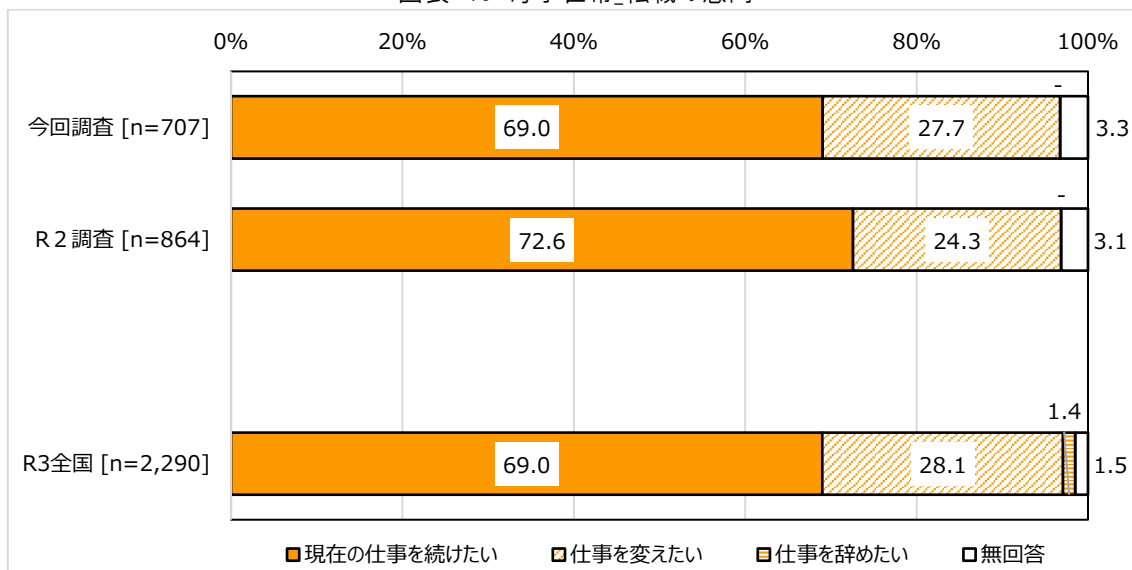
⑥転職の意向とその理由

(ア)転職の意向

【母子世帯】

仕事をしている人の転職の意向は、「現在の仕事を続けたい」が69.0%、「仕事を変えたい」が27.7%となっている。

図表 49 母子世帯_転職の意向

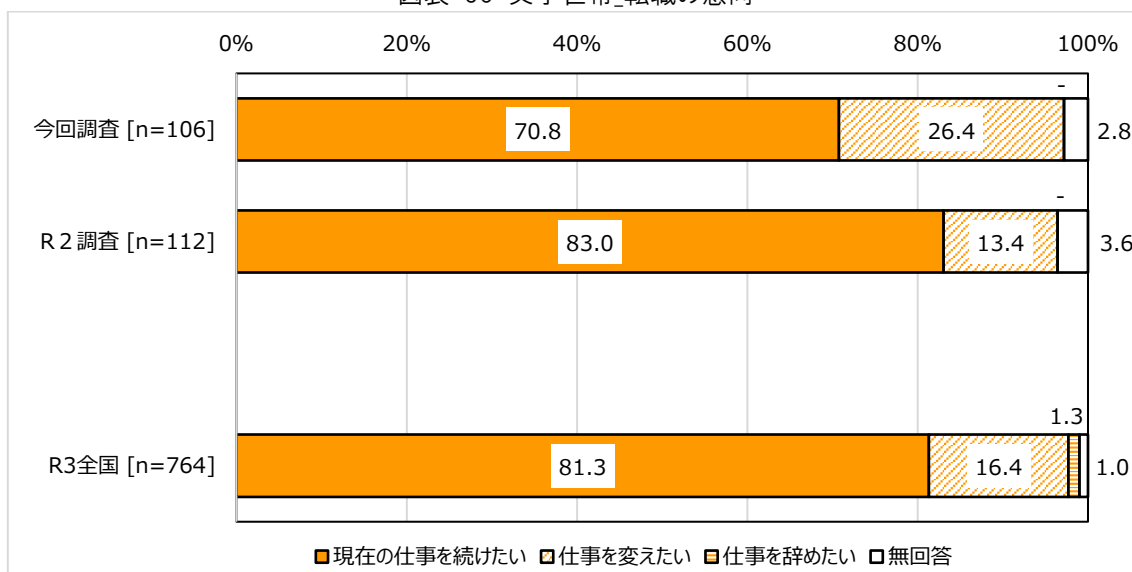


※「仕事をやめたい」の選択肢はR3全国のみ

【父子世帯】

仕事をしている人の転職の意向は、「現在の仕事を続けたい」が70.8%、「仕事を変えたい」が26.4%となっている。

図表 50 父子世帯_転職の意向



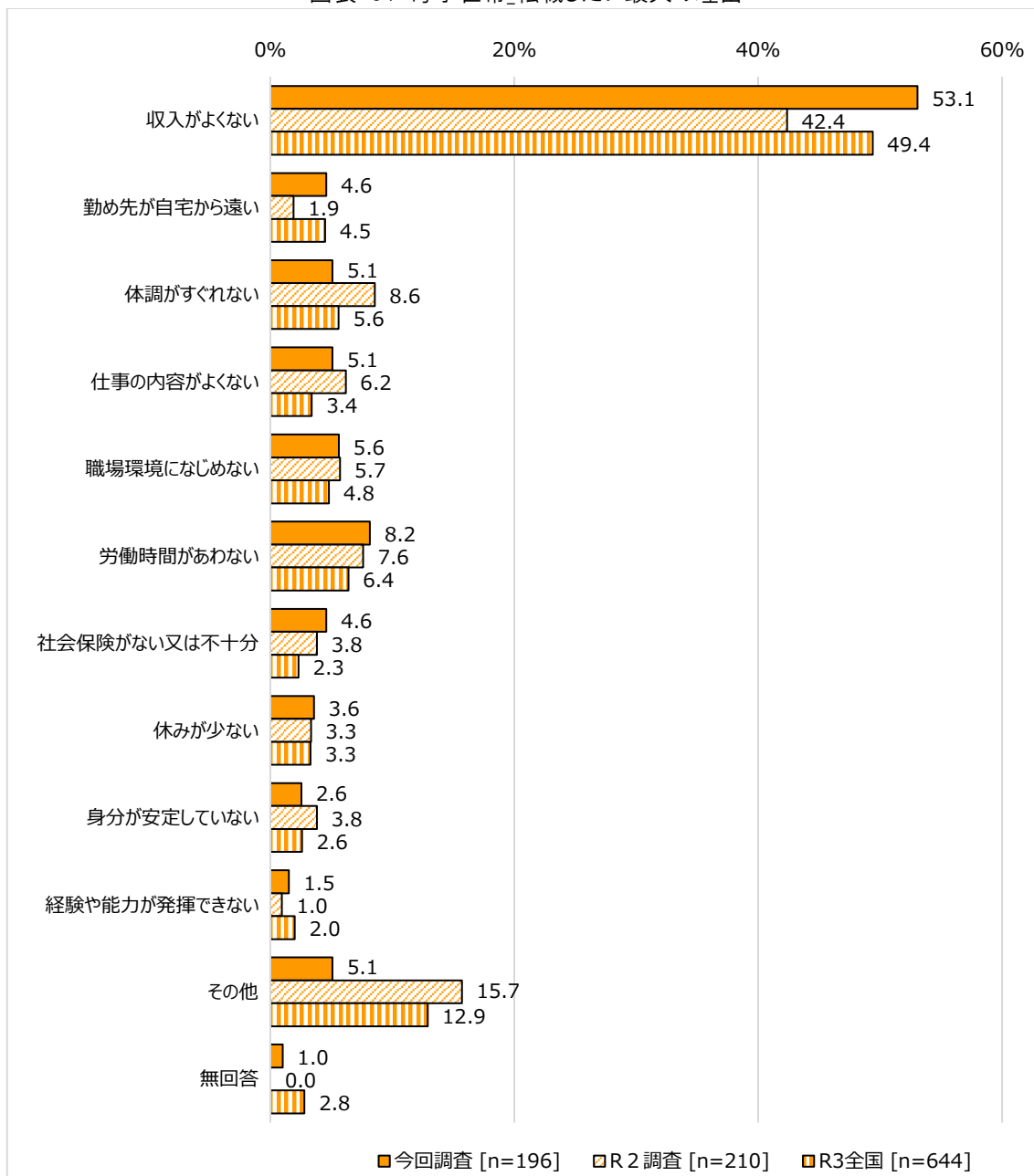
※「仕事をやめたい」の選択肢はR3全国のみ

(イ)転職したい最大の理由

【母子世帯】

仕事をしている人で「仕事を変えたい」と回答した人の最大の理由は、「収入がよくない」が最も高く53.1%、次いで「労働時間があわない」が8.2%、「職場環境になじめない」が5.6%などとなっている。

図表 51 母子世帯_転職したい最大の理由

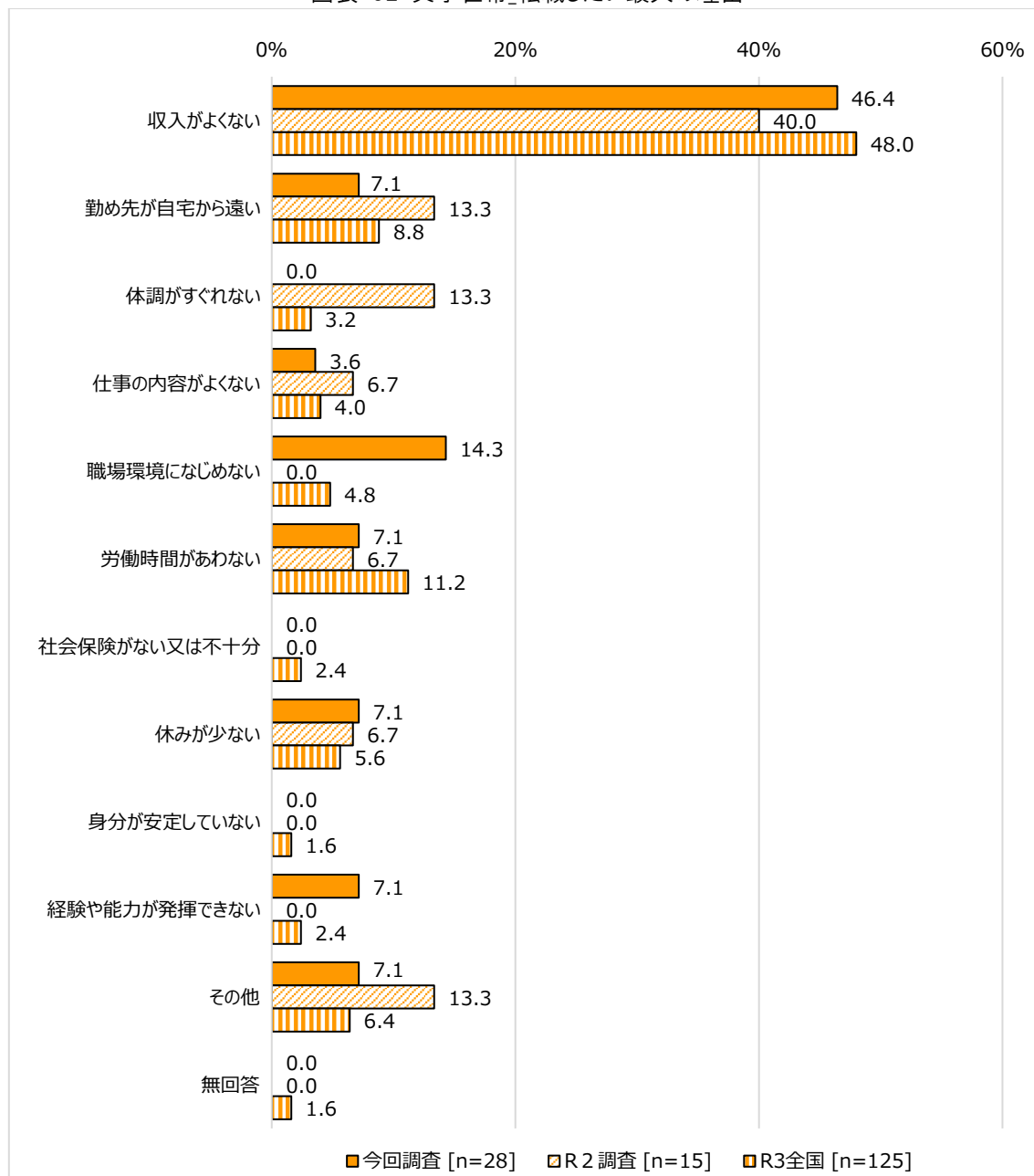


※R2調査、R3全国調査は「体調がすぐれない」→「健康がすぐれない」

【父子世帯】

仕事をしている人で「仕事を変えたい」と回答した人の最大の理由は、「収入がよくない」が最も高く46.4%、次いで「職場環境になじめない」が14.3%、「勤め先が自宅から遠い」「労働時間があわない」「休みが少ない」「経験や能力が発揮できない」がそれぞれ7.1%などとなっている。

図表 52 父子世帯_転職したい最大の理由



※R2調査、R3全国調査は「体調がすぐれない」→「健康がすぐれない」

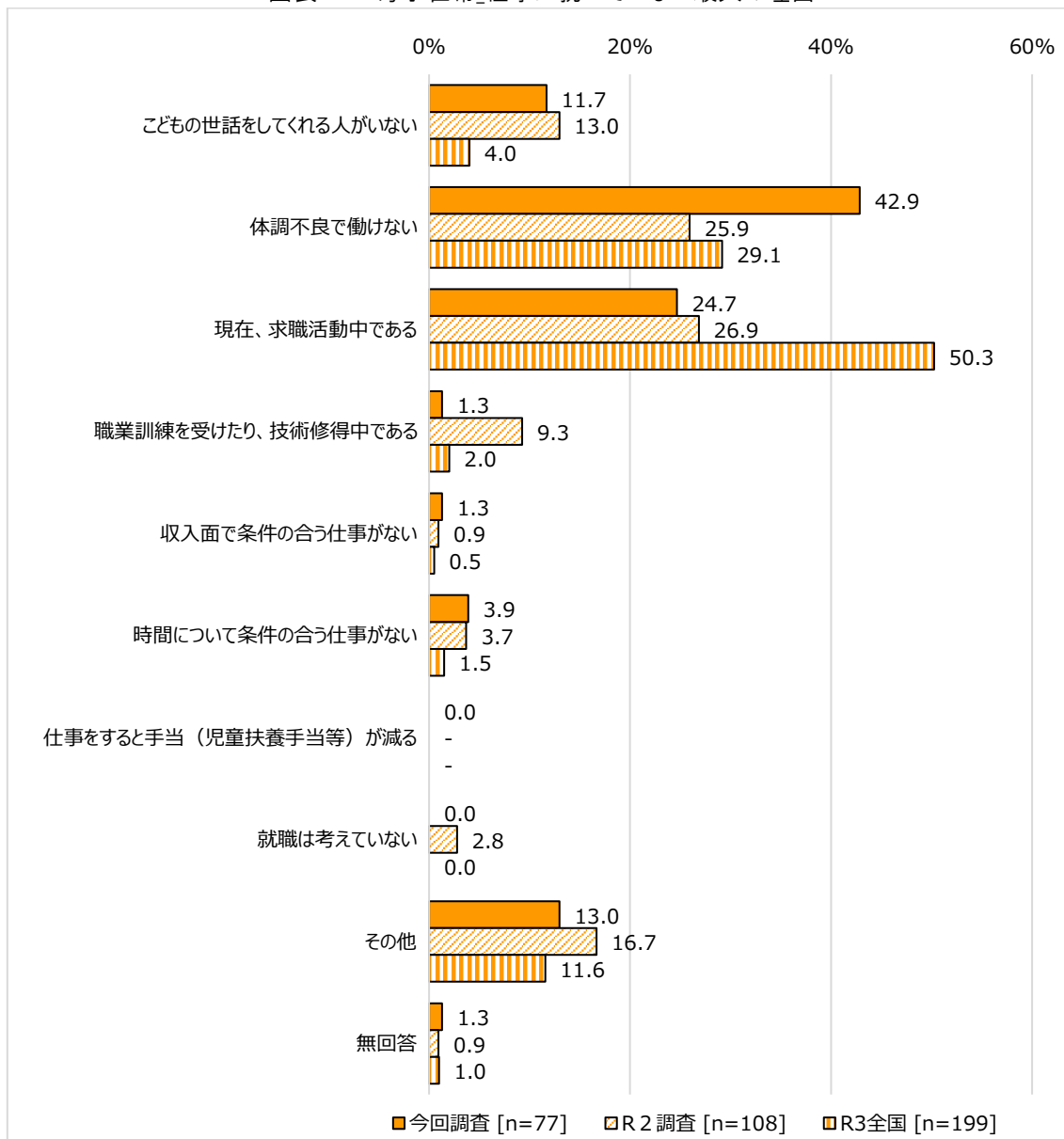
⑦仕事に就いていない最大の理由

<現在、仕事をしていない人のみ回答>

【母子世帯】

仕事をしていない人の仕事に就いていない最大の理由は、「体調不良で働けない」が最も高く42.9%、次いで「現在、求職活動中である」が24.7%、「こどもの世話をしてくれる人がいない」が11.7%などとなっている。

図表 53 母子世帯_仕事に就いていない最大の理由



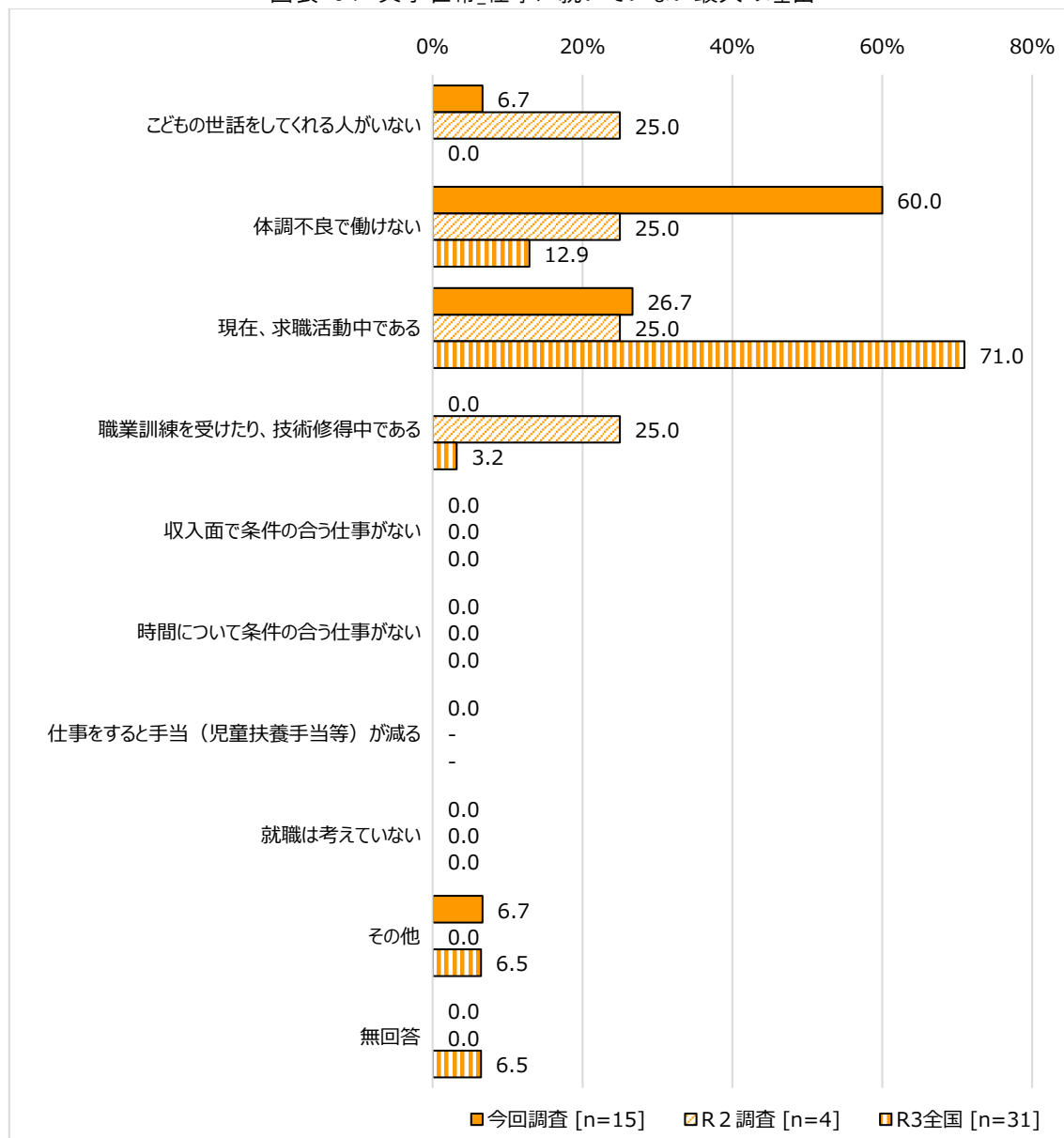
※R2調査、R3調査は「体調不良で働けない」→「病気（病弱）で働けない」

※「仕事をすると手当（児童扶養手当等）が減る」の選択肢は今回調査のみ

【父子世帯】

仕事をしていない人の仕事に就いていない最大の理由は、「体調不良で働けない」が最も高く60.0%、次いで「現在、求職活動中である」が26.7%、「こどもの世話をしてくれる人がいない」が6.7%などとなっている。

図表 54 父子世帯_仕事に就いていない最大の理由



※R2調査、R3調査は「体調不良で働けない」→「病気（病弱）で働けない」

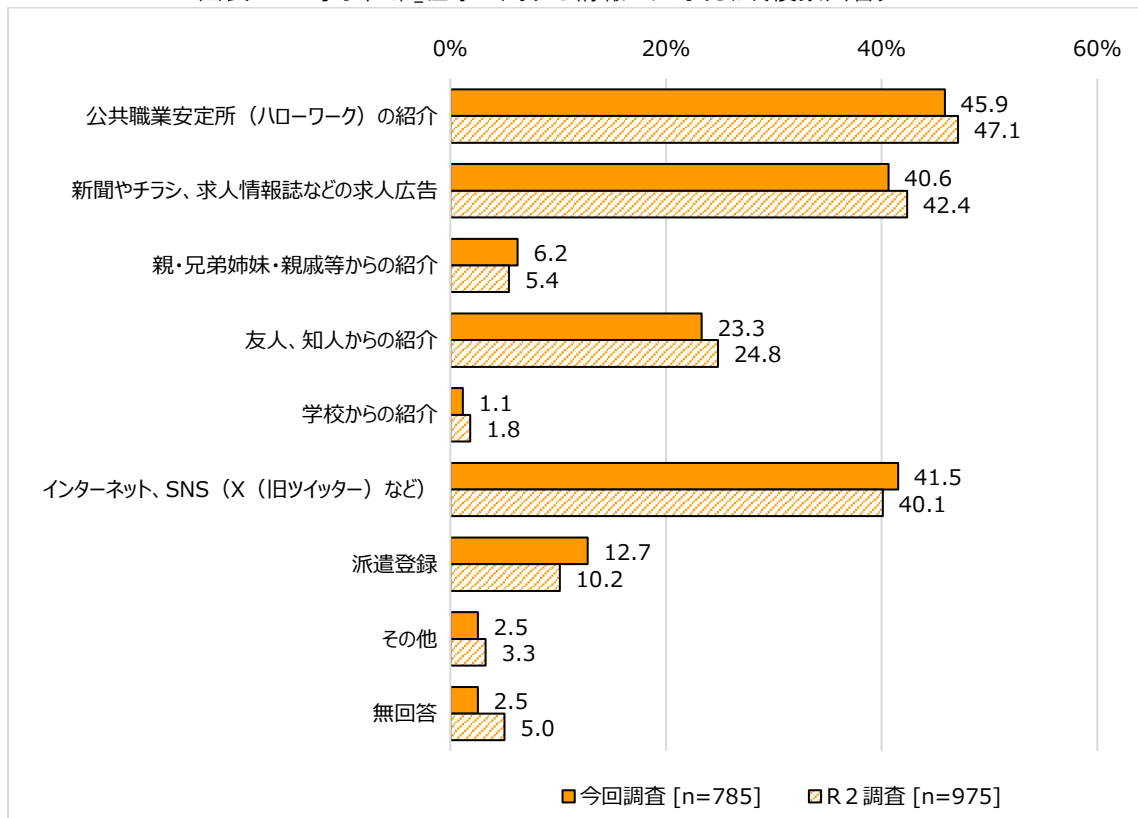
※「仕事をすると手当（児童扶養手当等）が減る」の選択肢は今回調査のみ

⑧仕事に関する情報の入手方法

【母子世帯】

仕事に関する情報の入手方法は、「公共職業安定所（ハローワーク）の紹介」が最も高く45.9%、次いで「インターネット、SNS（X（旧ツイッター）など）」が41.5%、「新聞やチラシ、求人情報誌などの求人広告」が40.6%などとなっている。

図表 55 母子世帯_仕事に関する情報の入手方法〔複数回答〕

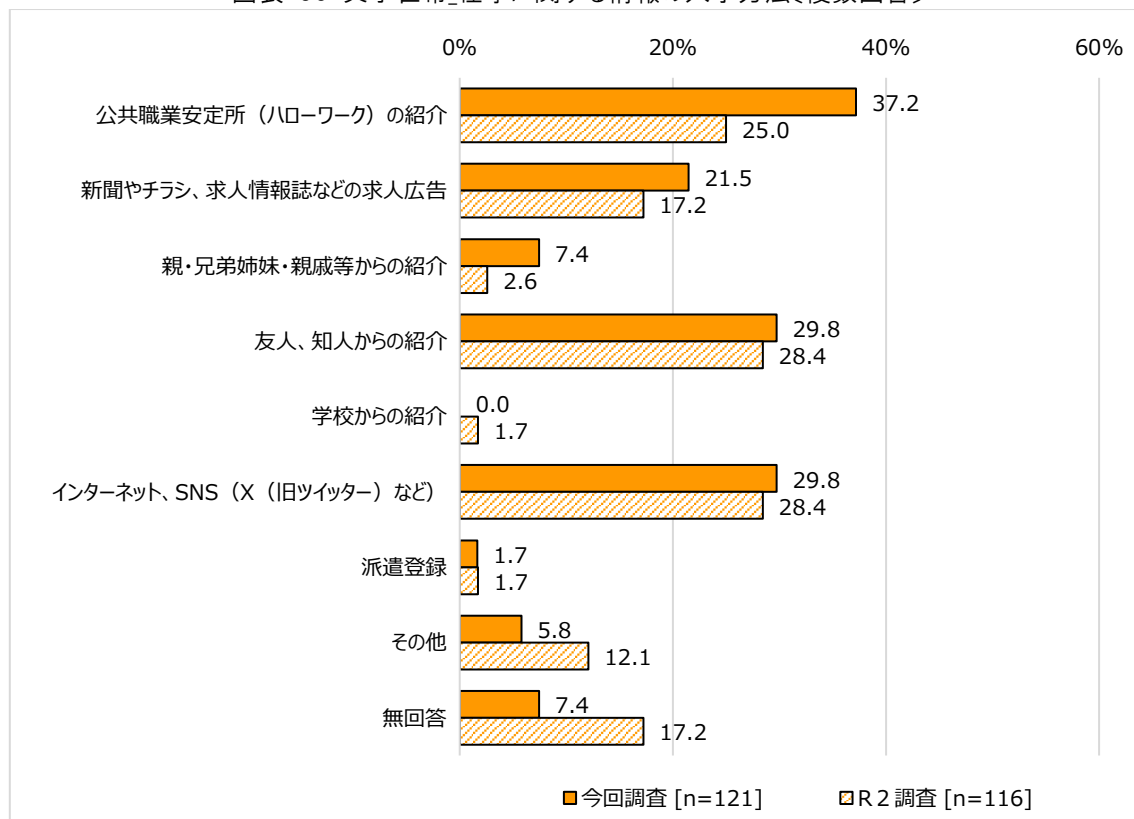


※R2調査は「インターネット、SNS（X（旧ツイッター）など）」→「インターネット」

【父子世帯】

仕事に関する情報の入手方法は、「公共職業安定所（ハローワーク）の紹介」が最も高く37.2%、次いで「友人、知人からの紹介」「インターネット、SNS（X（旧ツイッター）など）」が29.8%などとなっている。

図表 56 父子世帯_仕事に関する情報の入手方法〔複数回答〕



※R2調査は「インターネット、SNS（X（旧ツイッター）など）」→「インターネット」

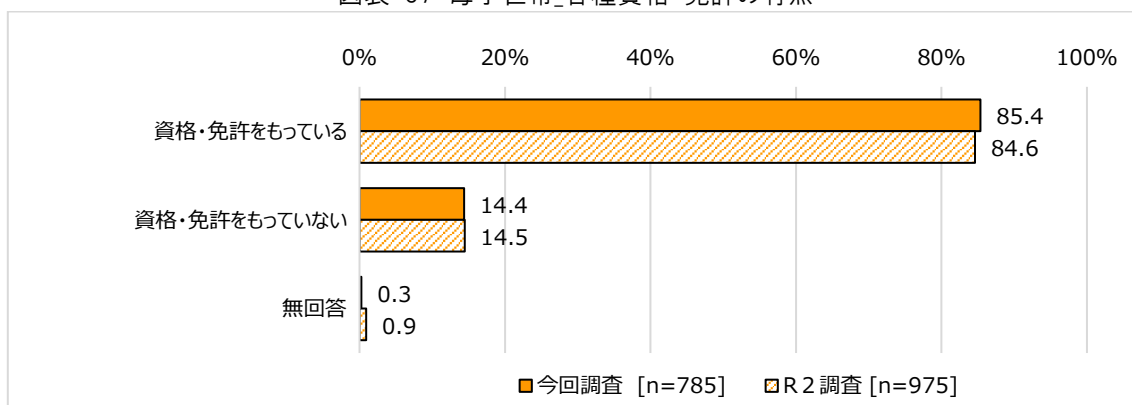
(4) 各種資格・免許について

①各種資格・免許の有無

【母子世帯】

各種資格・免許の有無は、「資格・免許をもっている」が85.4%、「資格・免許をもっていない」が14.4%となっている。

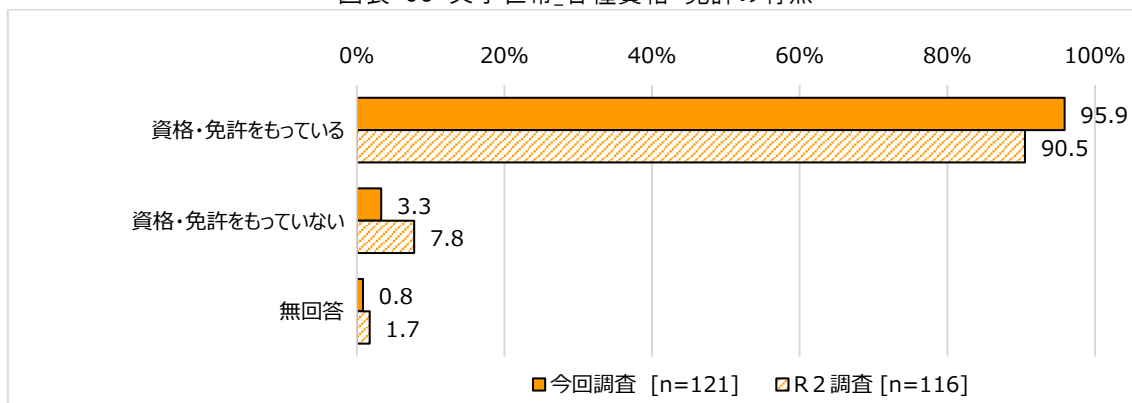
図表 57 母子世帯_各種資格・免許の有無



【父子世帯】

各種資格・免許の有無は、「資格・免許をもっている」が95.9%、「資格・免許をもっていない」が3.3%となっている。

図表 58 父子世帯_各種資格・免許の有無



②現在取得している資格・技能、仕事に役立っている資格・技能、今後取得したい資格・技能

【母子世帯】

資格・免許を持っている人の現在取得している資格・技能は、「自動車運転免許」が最も高く67.9%、次いで「簿記」が23.0%、「パソコン」が17.9%などとなっている。

仕事に役立っている資格・技能は、「自動車運転免許」が最も高く27.9%、次いで「パソコン」が10.1%、「看護師（准看護師含む）」が7.9%などとなっている。

今後取得したい資格・技能は、「パソコン」が最も高く13.0%、次いで「簿記」が6.4%、「医療事務」が5.9%などとなっている。

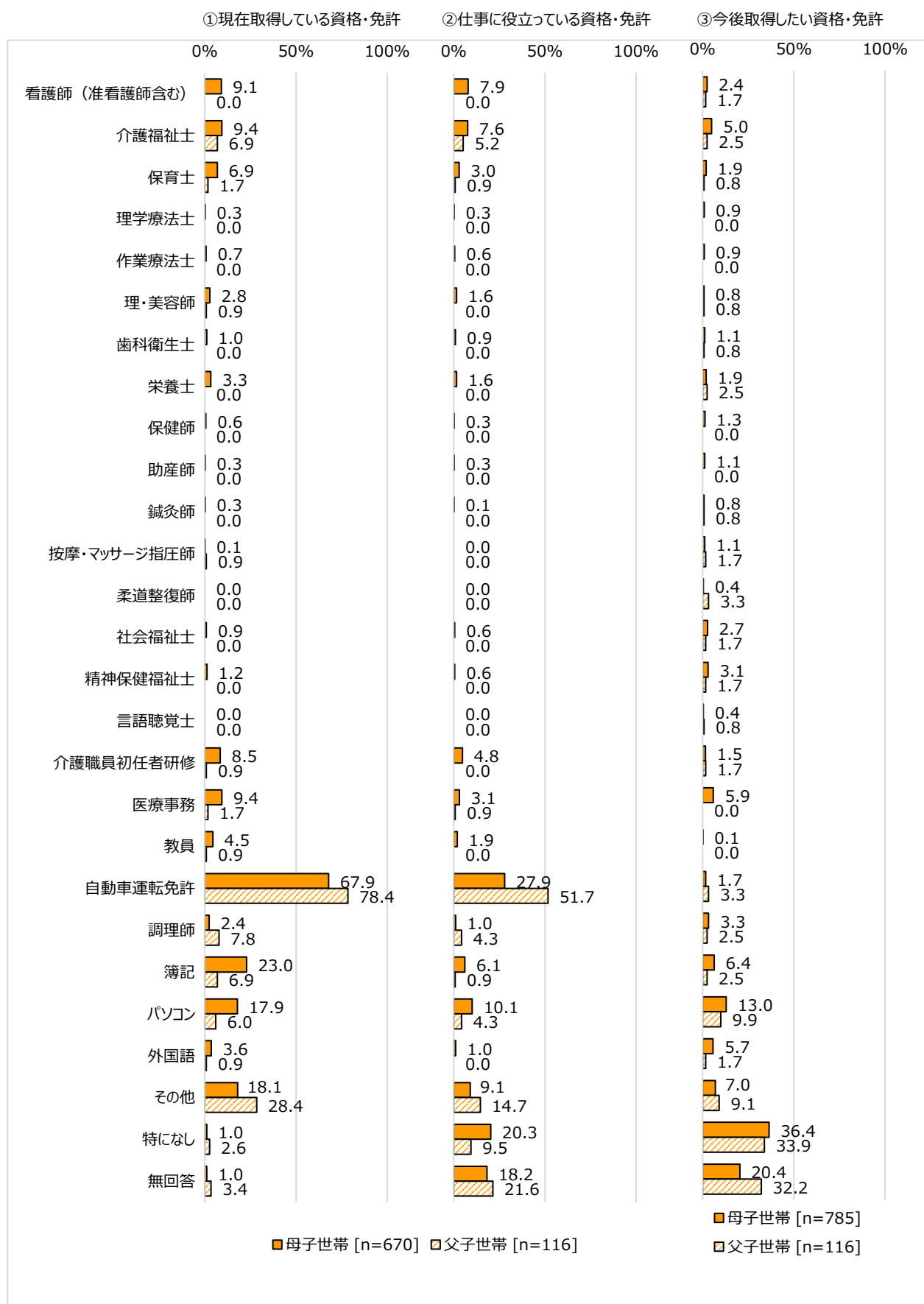
【父子世帯】

資格・免許を持っている人の現在取得している資格・技能は、「自動車運転免許」が最も高く78.4%、次いで「調理師」が7.8%、「介護福祉士」「簿記」が6.9%などとなっている。

仕事に役立っている資格・技能は、「自動車運転免許」が最も高く51.7%、次いで「介護福祉士」が5.2%、「調理師」「パソコン」がそれぞれ4.3%などとなっている。

今後取得したい資格・技能は、「パソコン」が最も高く9.9%、次いで「柔道整復師」「自動車運転免許」がそれぞれ3.3%などとなっている。

図表 59 現在取得している資格・技能、仕事に役立っている資格・技能、今後取得したい資格・技能〔複数回答〕



③松山市の就業支援講習会について

(ア)受講希望

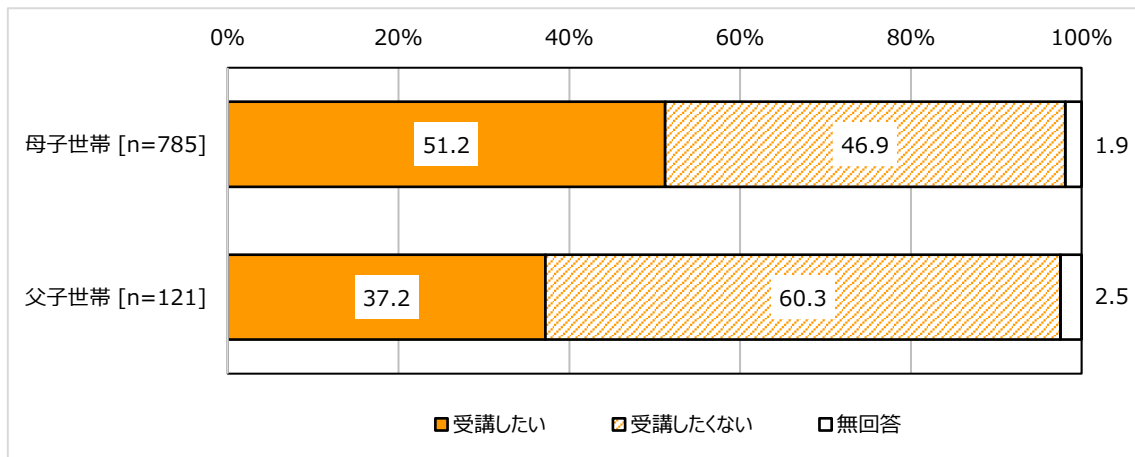
【母子世帯】

松山市の就業支援講習会の受講希望は、「受講したい」が51.2%、「受講したくない」が46.9%となっている。

【父子世帯】

松山市の就業支援講習会の受講希望は、「受講したい」が37.2%、「受講したくない」が60.3%となっている。

図表 60 松山市の就業支援講習会の受講希望



(イ)取得したい資格・技能

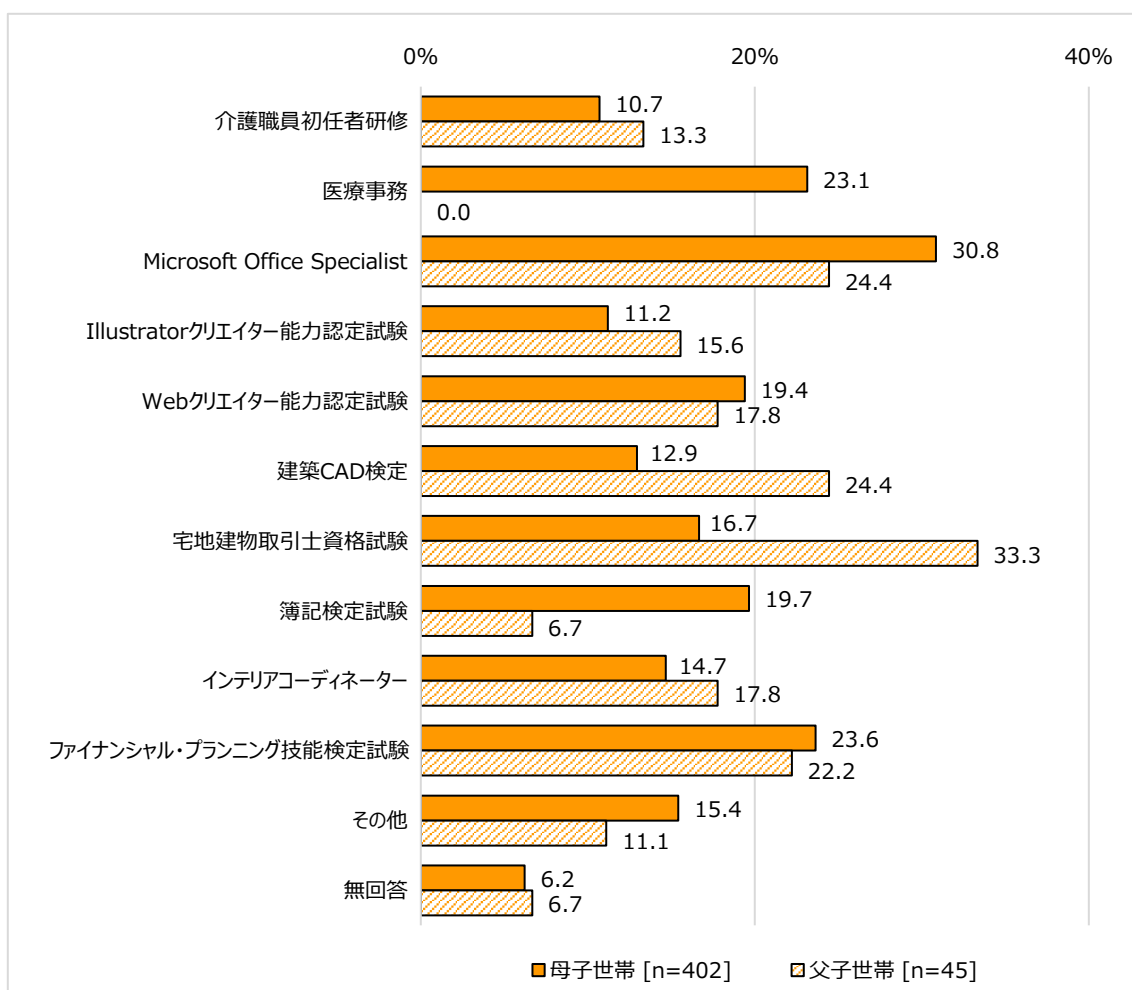
【母子世帯】

就業支援講習会を「受講したい」と回答した人の取得したい資格・技能は、「Microsoft Office Specialist」が最も高く30.8%、次いで「ファイナンシャル・プランニング技能検定試験」が23.6%、「医療事務」が23.1%などとなっている。

【父子世帯】

就業支援講習会を「受講したい」と回答した人の取得したい資格・技能は、「宅地建物取引士資格試験」が最も高く33.3%、次いで「Microsoft Office Specialist」「建築CAD検定」がそれぞれ24.4%などとなっている。

図表 61 取得したい資格・技能〔複数回答〕



(ウ)受講できる曜日・時間帯

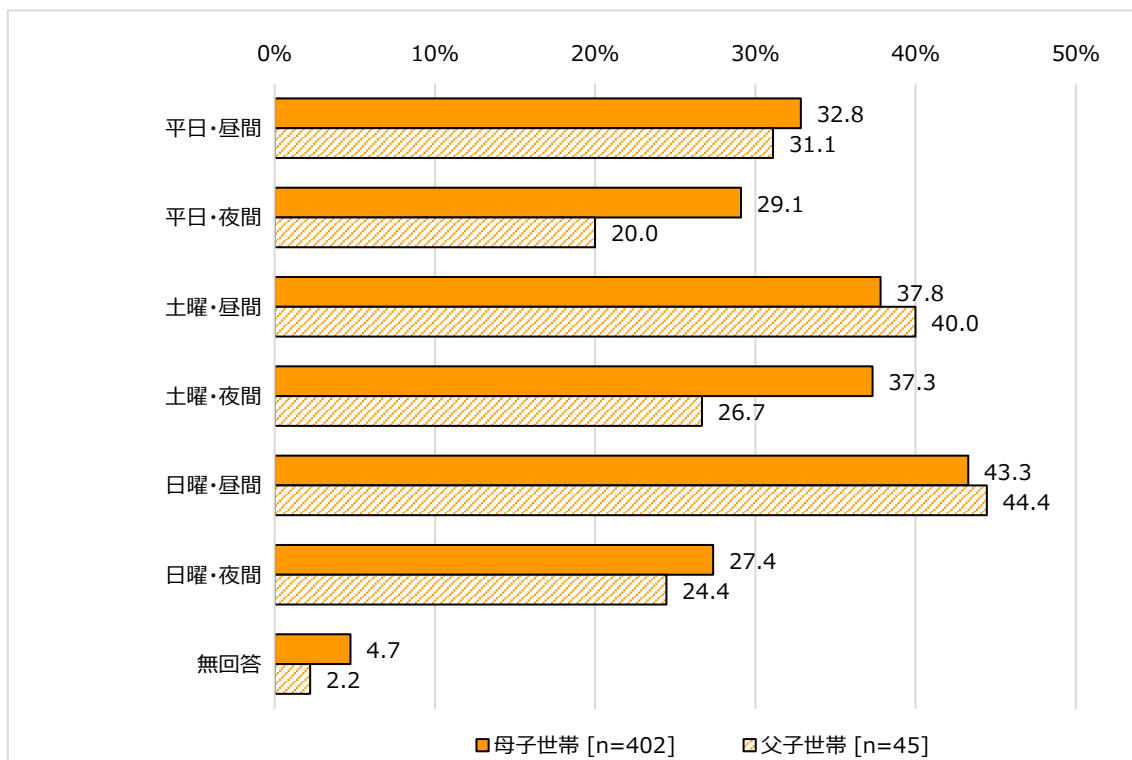
【母子世帯】

就業支援講習会を「受講したい」と回答した人の受講できる曜日・時間帯は、「日曜・昼間」が最も高く43.3%、次いで「土曜・昼間」が37.8%、「土曜・夜間」が37.3%などとなっている。

【父子世帯】

就業支援講習会を「受講したい」と回答した人の受講できる曜日・時間帯は、「日曜・昼間」が最も高く44.4%、次いで「土曜・昼間」が40.0%、「平日・昼間」が31.1%などとなっている。

図表 62 受講できる曜日・時間帯〔複数回答〕



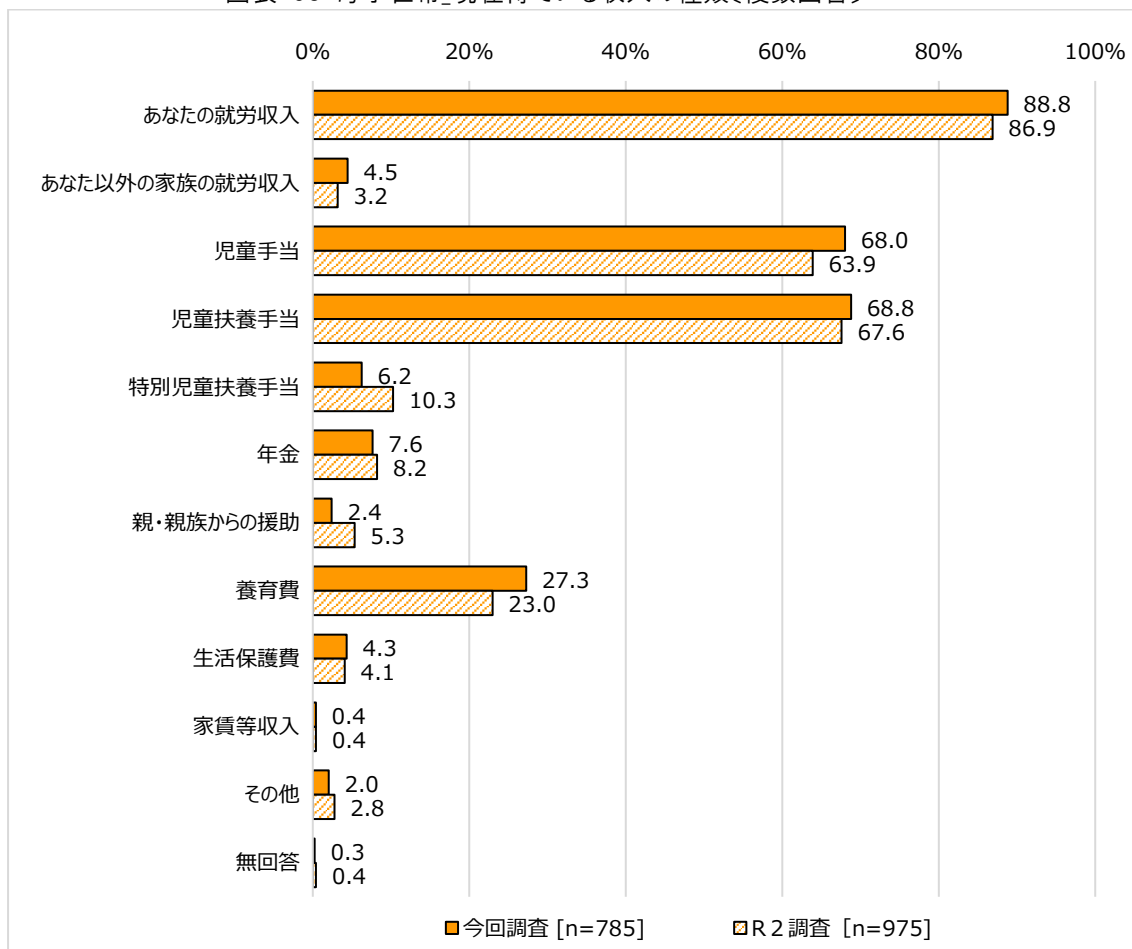
(5) 経済状況について

①現在得ている収入の種類

【母子世帯】

現在得ている収入の種類は、「あなたの就労収入」が最も高く88.8%、次いで「児童扶養手当」が68.8%、「児童手当」が68.0%などとなっている。

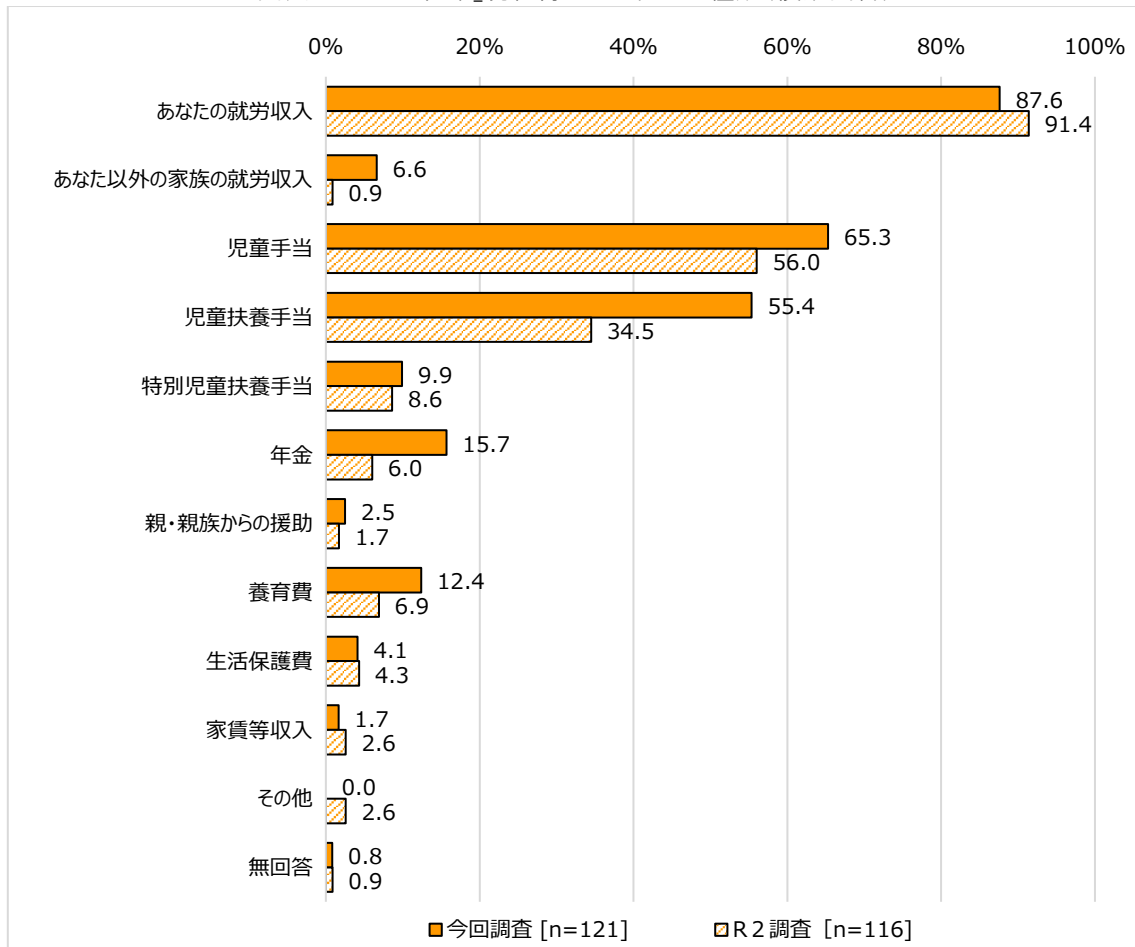
図表 63 母子世帯_現在得ている収入の種類〔複数回答〕



【父子世帯】

現在得ている収入の種類は、「あなたの就労収入」が最も高く87.6%、次いで「児童手当」が65.3%、「児童扶養手当」が55.4%などとなっている。

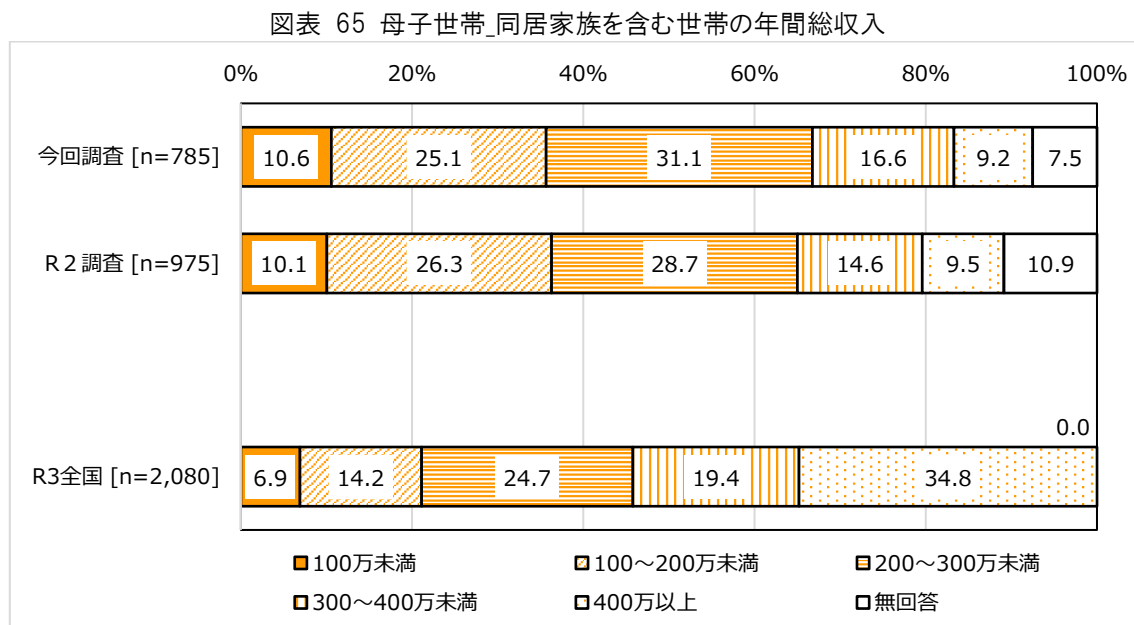
図表 64 父子世帯_現在得ている収入の種類〔複数回答〕



②同居家族を含む世帯の年間総収入

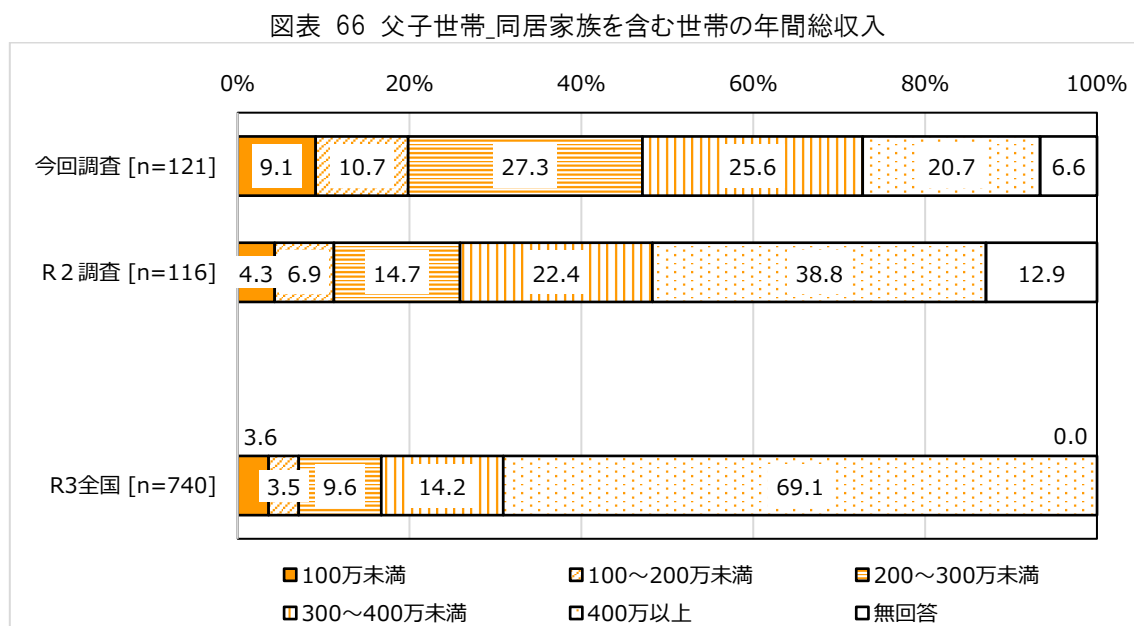
【母子世帯】

同居家族を含む世帯の年間総収入は、「200～300万未満」が最も高く31.1%、次いで「100～200万未満」が25.1%、「300～400万未満」が16.6%などとなっている。また、「100万未満」が10.6%となっている。



【父子世帯】

同居家族を含む世帯の年間総収入は、「200～300万未満」が最も高く27.3%、次いで「300～400万未満」が25.6%、「400万以上」が20.7%などとなっている。また、「100万未満」が9.1%となっている。

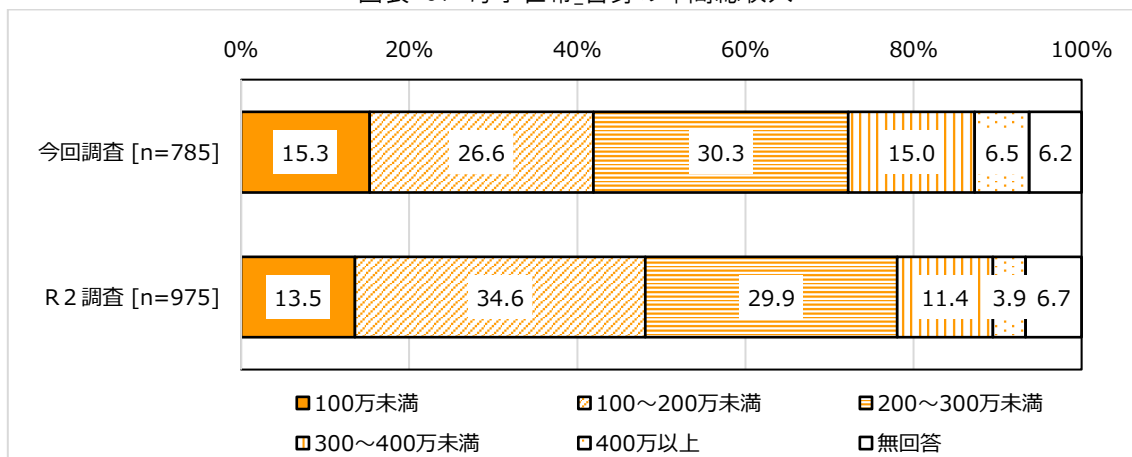


③自身の年間総収入

【母子世帯】

自身の年間総収入は、「200～300万未満」が最も高く30.3%、次いで「100～200万未満」が26.6%、「100万未満」が15.3%などとなっている。

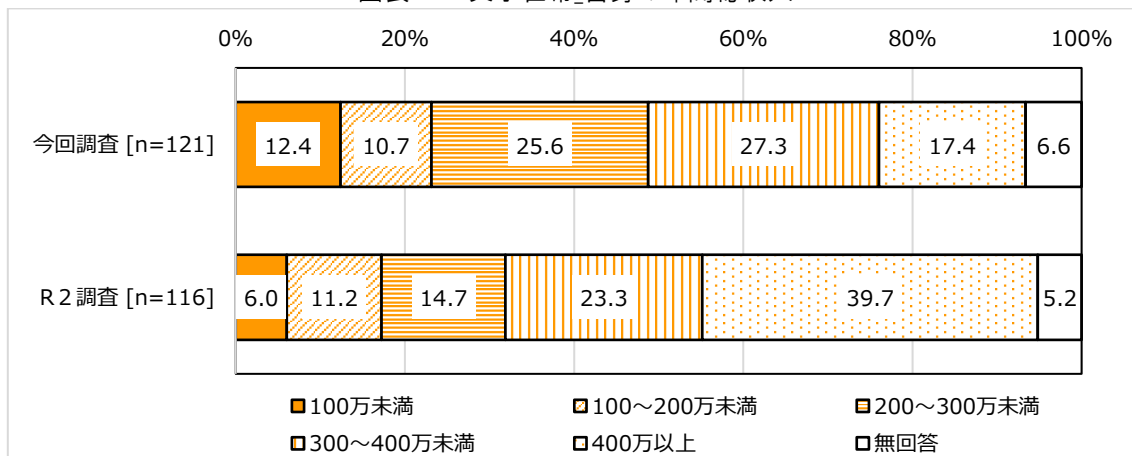
図表 67 母子世帯_自身の年間総収入



【父子世帯】

自身の年間総収入は、「300～400万未満」が最も高く27.3%、次いで「200～300万未満」が25.6%、「400万以上」が17.4%となっている。また、「100万未満」が12.4%などとなっている。

図表 68 父子世帯_自身の年間総収入

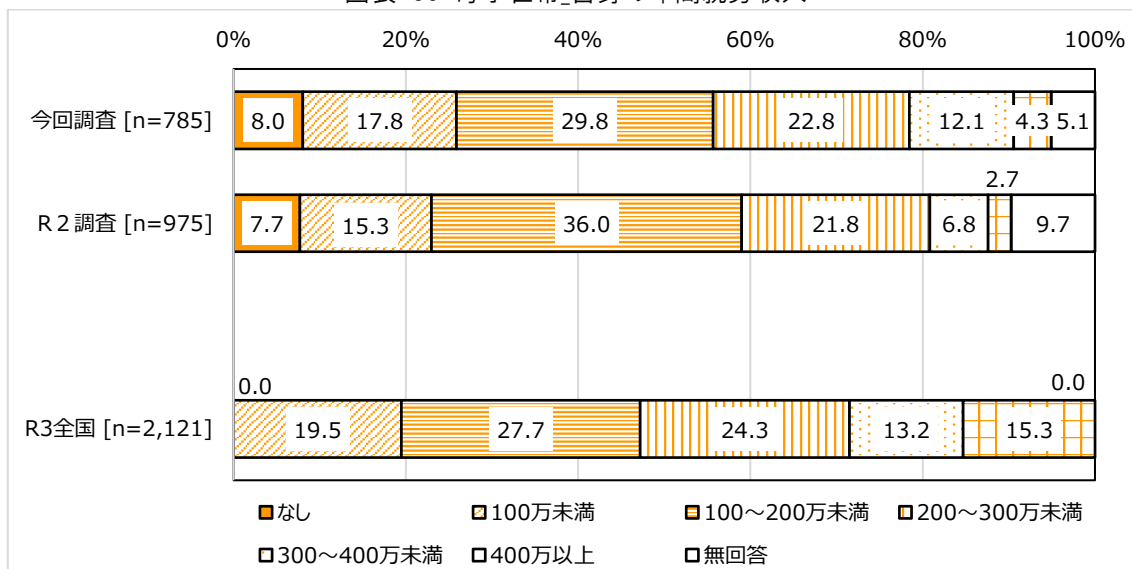


④自身の年間就労収入

【母子世帯】

自身の年間就労収入は、「100～200万未満」が最も高く29.8%、次いで「200～300万未満」が22.8%、「100万未満」が17.8%などとなっている。また、「なし」が8.0%となっている。

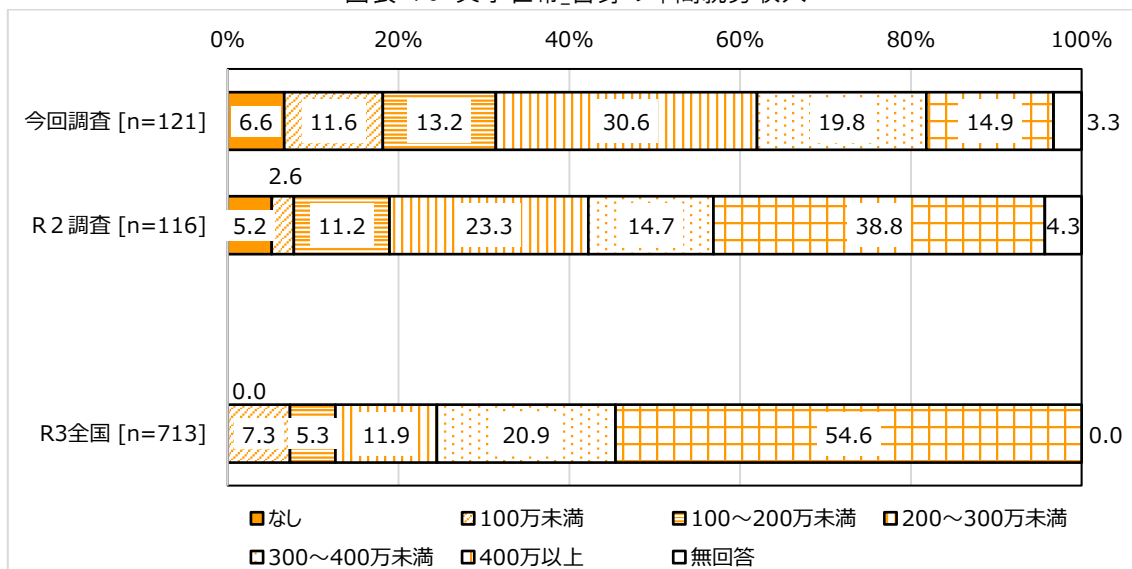
図表 69 母子世帯_自身の年間就労収入



【父子世帯】

自身の年間就労収入は、「200～300万未満」が最も高く30.6%、次いで「300～400万未満」が19.8%、「400万以上」が14.9%となっている。また、「なし」が6.6%となっている。

図表 70 父子世帯_自身の年間就労収入

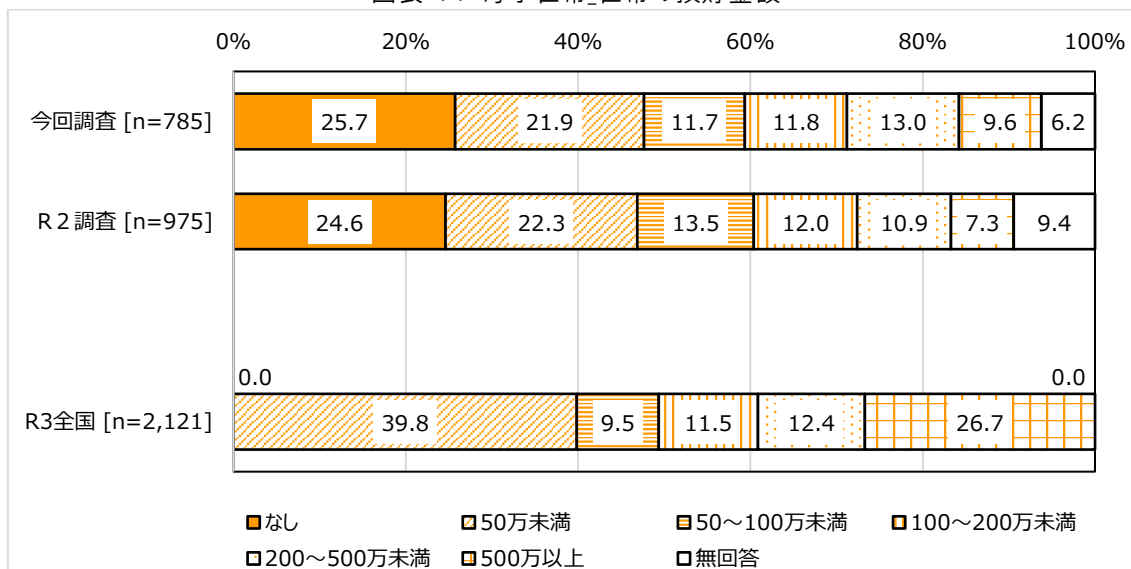


⑤世帯の預貯金額

【母子世帯】

世帯の預貯金額は、「なし」が最も高く25.7%、次いで「50万未満」が21.9%、「200～500万未満」が13.0%などとなっている。

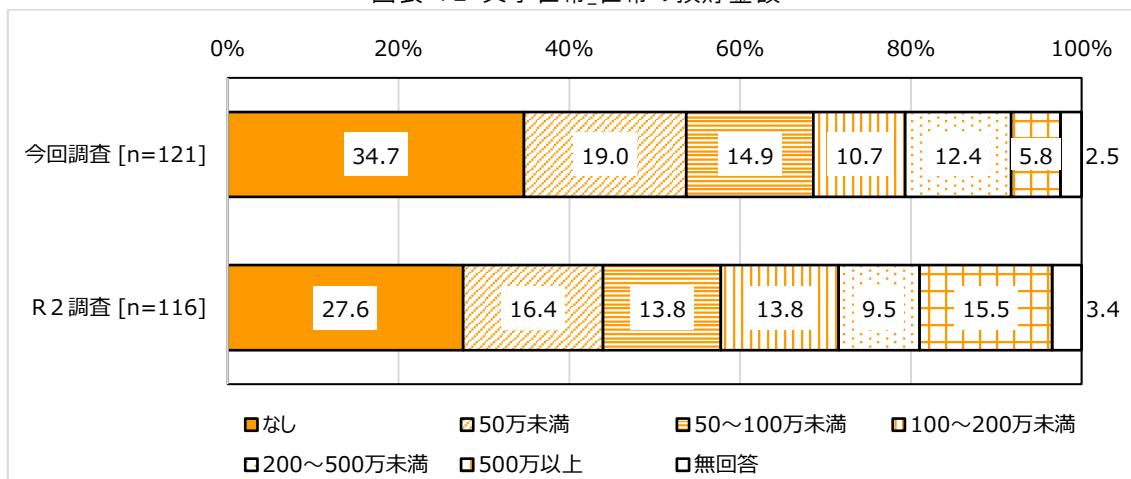
図表 71 母子世帯_世帯の預貯金額



【父子世帯】

世帯の預貯金額は、「なし」が最も高く34.7%、次いで「50万未満」が19.0%、「50～100万未満」が14.9%などとなっている。

図表 72 父子世帯_世帯の預貯金額



※R3全国は父子世帯の調査なし

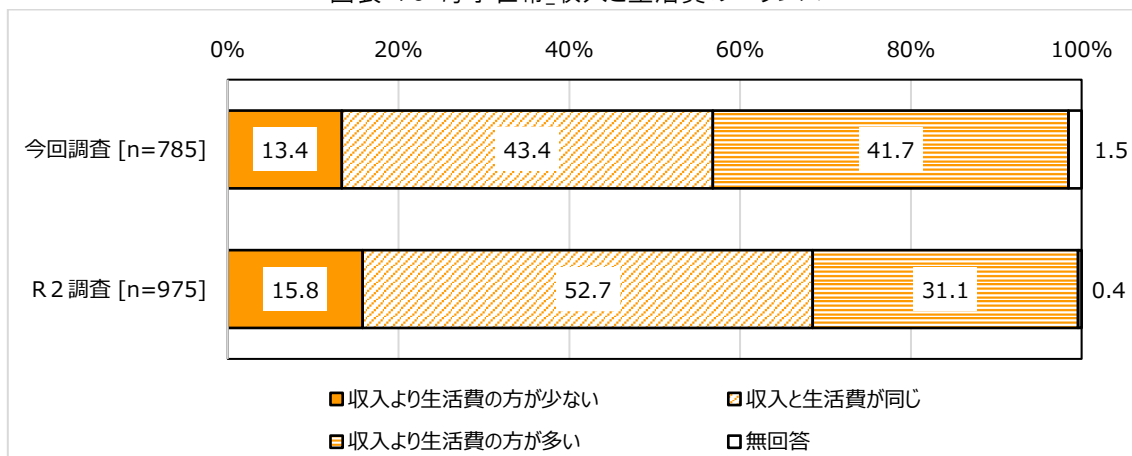
⑥収入と生活費のバランス

(ア)収入と生活費のバランス

【母子世帯】

収入と生活費のバランスは、「収入と生活費が同じ」が最も高く43.4%、次いで「収入より生活費が多い」が41.7%、「収入より生活費の方が少ない」が13.4%となっている。

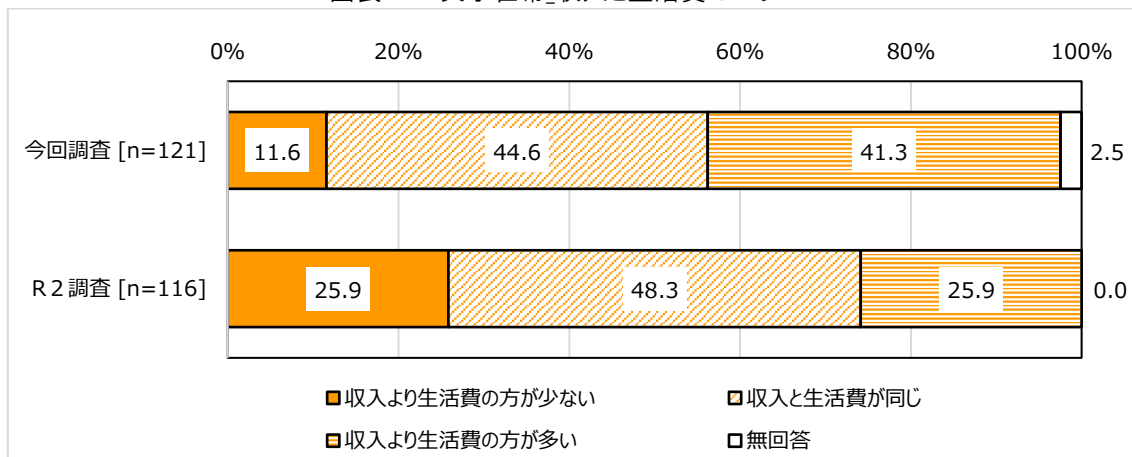
図表 73 母子世帯_収入と生活費のバランス



【父子世帯】

収入と生活費のバランスは、「収入と生活費が同じ」が最も高く44.6%、次いで「収入より生活費が多い」が41.3%、「収入より生活費の方が少ない」が11.6%となっている。

図表 74 父子世帯_収入と生活費のバランス

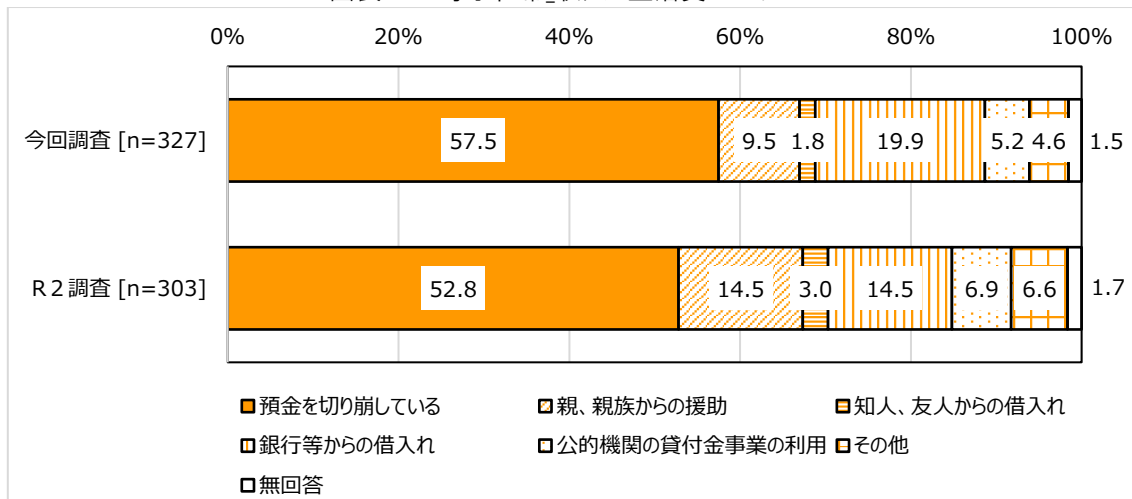


(イ)生活費の不足分を補てんする主な方法

【母子世帯】

「収入より生活費が多い」と回答した人の生活費の不足分を補てんする主な方法は、「預金を切り崩している」が最も高く57.5%、次いで「銀行等からの借入れ」が19.9%、「親、親族からの援助」が9.5%などとなっている。

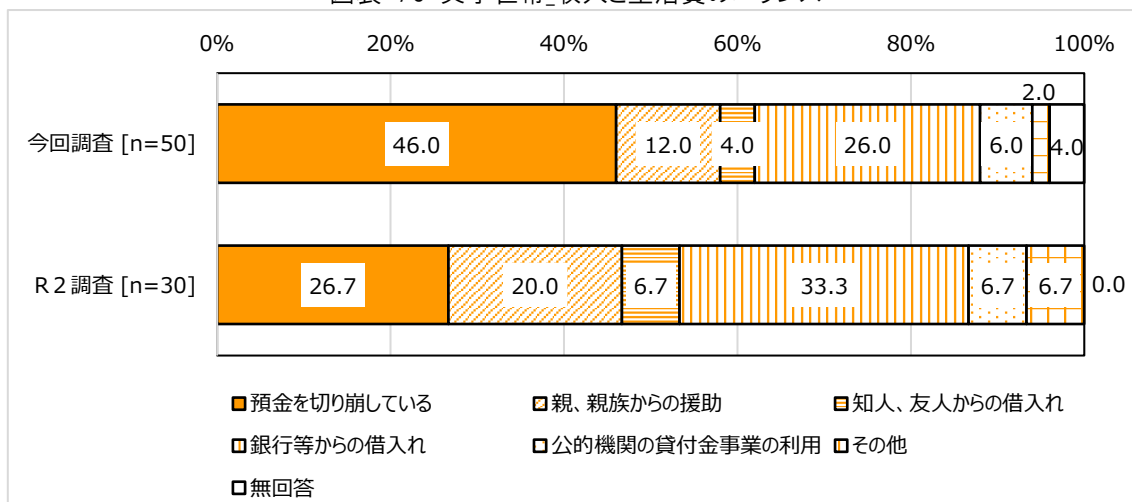
図表 75 母子世帯_収入と生活費のバランス



【父子世帯】

「収入より生活費が多い」と回答した人の生活費の不足分を補てんする主な方法は、「預金を切り崩している」が最も高く46.0%、次いで「銀行等からの借入れ」が26.0%、「親、親族からの援助」が12.0%などとなっている。

図表 76 父子世帯_収入と生活費のバランス



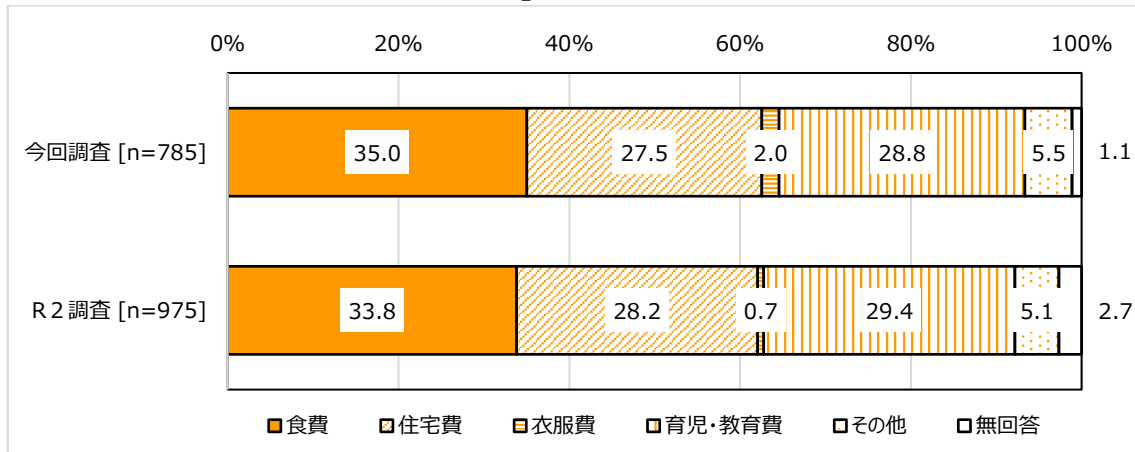
⑦家計を最も圧迫している費用

(ア)家計を最も圧迫している費用

【母子世帯】

家計を最も圧迫している費用は、「食費」が最も高く35.0%、次いで「育児・教育費」が28.8%、「住宅費」が27.5%などとなっている。

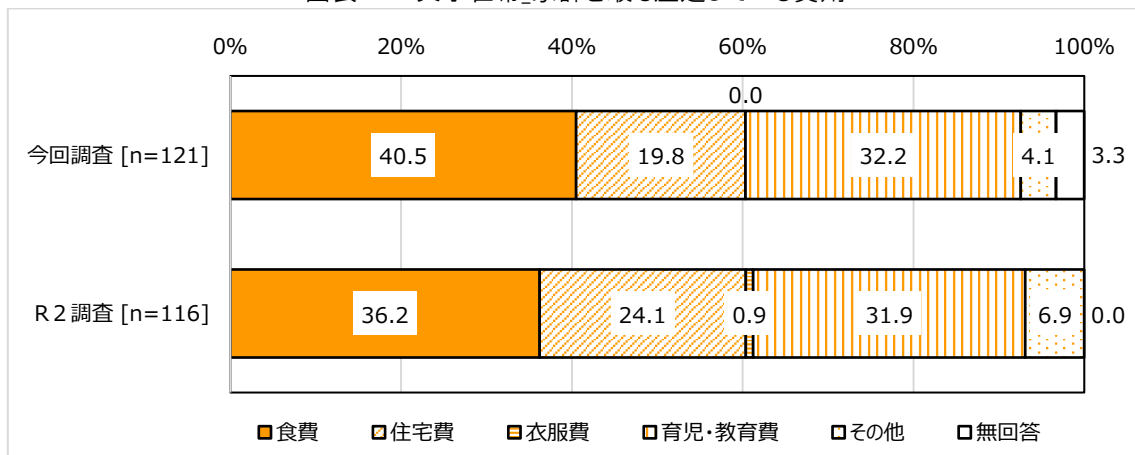
図表 77 母子世帯_家計を最も圧迫している費用



【父子世帯】

家計を最も圧迫している費用は、「食費」が最も高く40.5%、次いで「育児・教育費」が32.2%、「住宅費」が19.8%などとなっている。

図表 78 父子世帯_家計を最も圧迫している費用

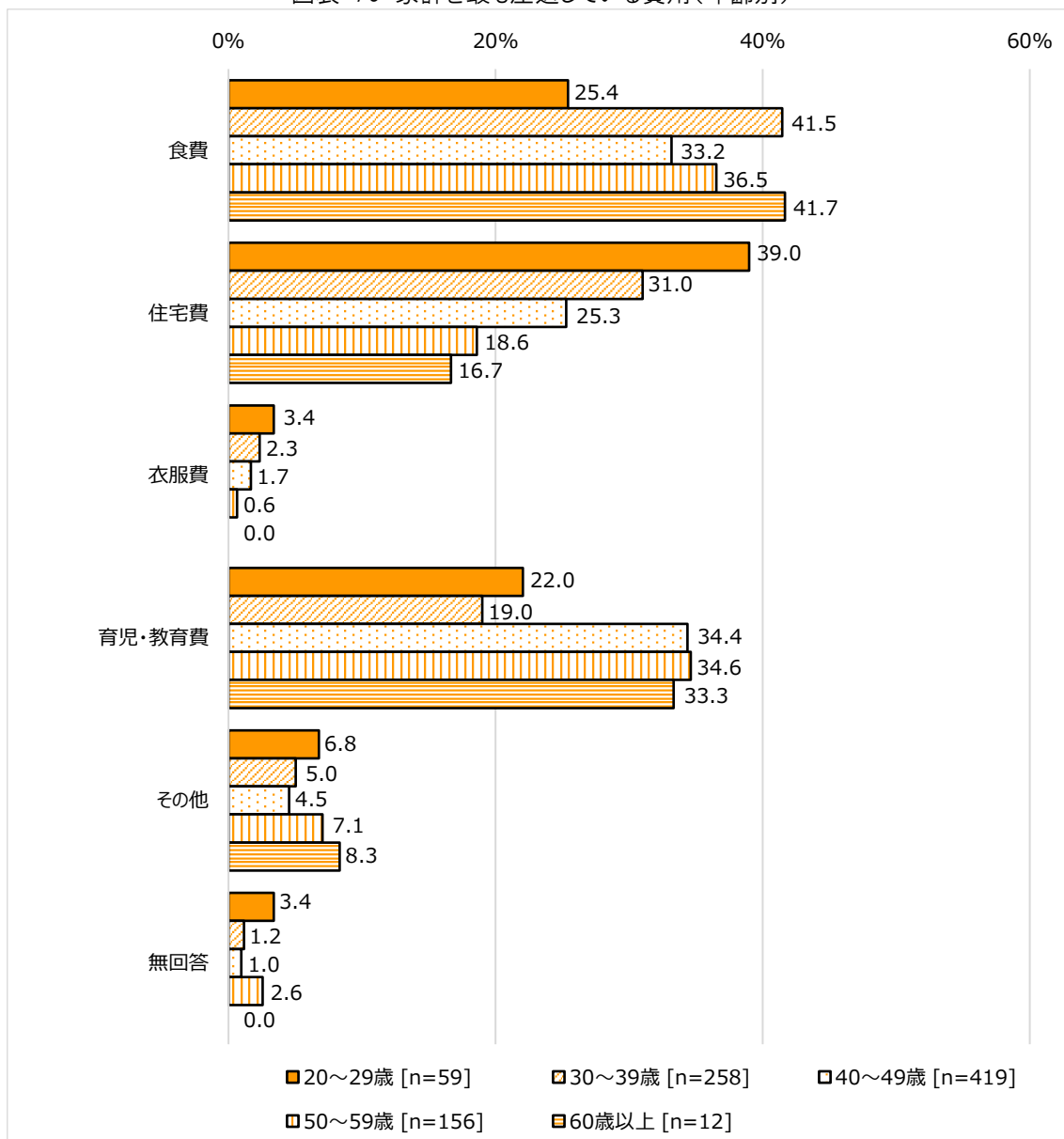


〔年齢別〕

保護者の年齢別にみると、「20～29歳」では「住宅費」が、「30～39歳」「50～59歳」「60歳以上」では「食費」が、「40～49歳」では「育児・教育費」が最も高くなっている。

「30～39歳」「60歳以上」では「食費」が、「20～29歳」では「住宅費」が、40歳以上では「育児・教育費」が他の年代よりも多くなっている。

図表 79 家計を最も圧迫している費用（年齢別）

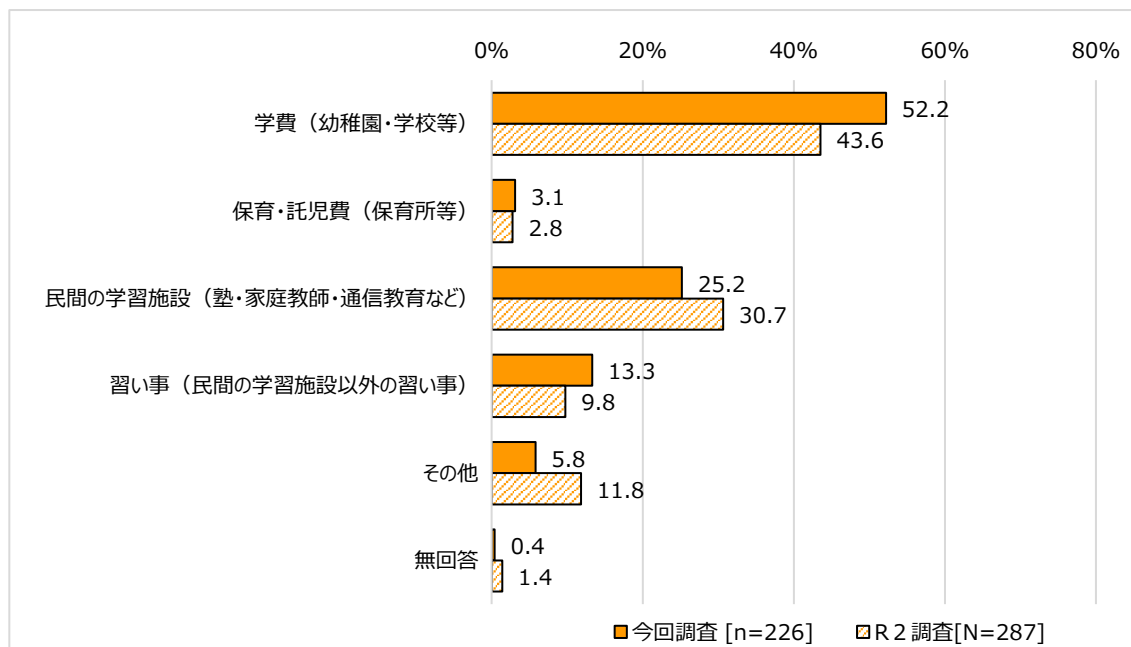


(イ)育児・教育費のうちで最も負担が大きいもの

【母子世帯】

家計を最も圧迫している費用として「育児・教育費」と回答した人の育児・教育費で最も負担の大きいものは、「学費（幼稚園・学校等）」が最も高く52.2%、次いで「民間の学習施設（塾・家庭教師・通信教育など）」が25.2%、「習い事（民間の学習施設以外の習い事）」が13.3%などとなっている。

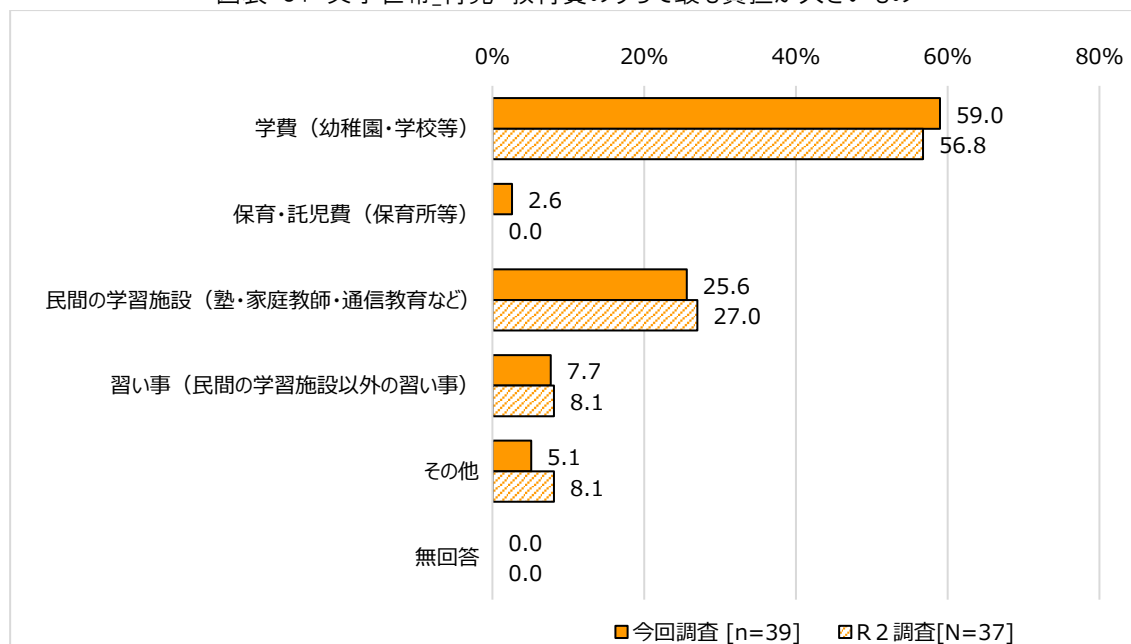
図表 80 母子世帯_育児・教育費のうちで最も負担が大きいもの



【父子世帯】

家計を最も圧迫している費用として「育児・教育費」と回答した人の育児・教育費で最も負担の大きいものは、「学費（幼稚園・学校等）」が最も高く59.0%、次いで「民間の学習施設（塾・家庭教師・通信教育など）」が25.6%、「習い事（民間の学習施設以外の習い事）」が7.7%などとなっている。

図表 81 父子世帯_育児・教育費のうちで最も負担が大きいもの



⑧年間就労収入について

(ア)年間就労収入の満足度

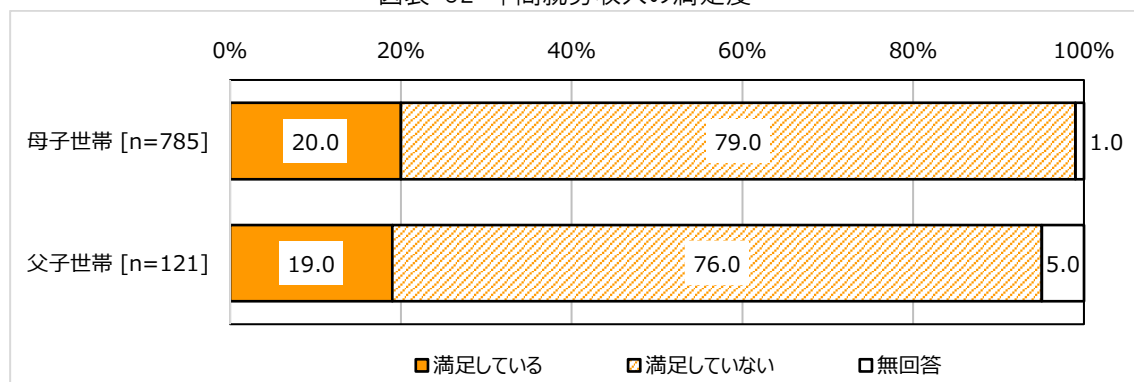
【母子世帯】

年間就労収入について、「満足している」が20.0%、「満足していない」が79.0%となっている。

【父子世帯】

年間就労収入について、「満足している」が19.0%、「満足していない」が76.0%となっている。

図表 82 年間就労収入の満足度



(イ)年間就労収入に満足している理由

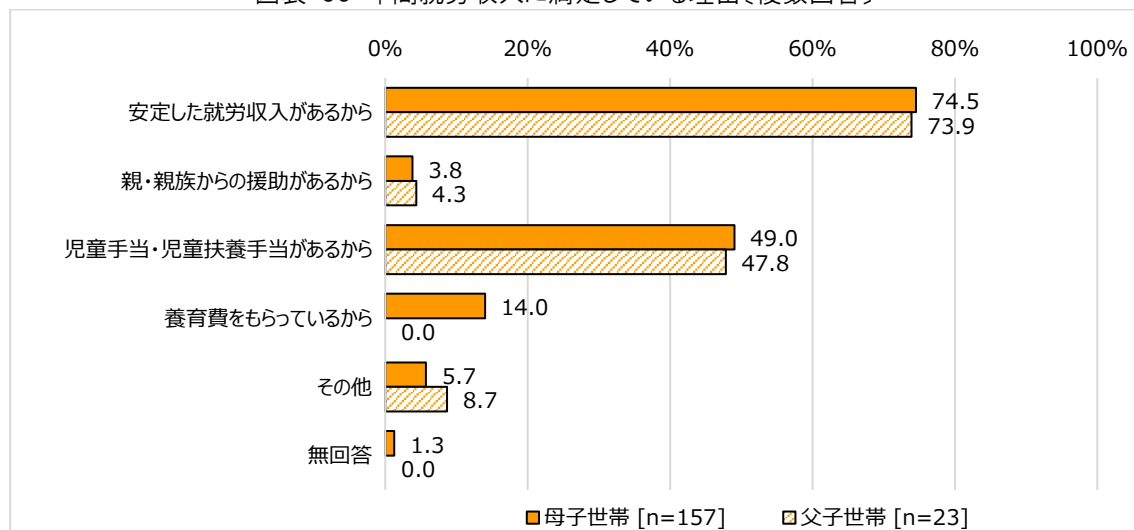
【母子世帯】

年間就労収入について「満足している」と回答した人にその理由を聞いたところ、「安定した就労収入があるから」が最も高く74.5%、次いで「児童手当・児童扶養手当があるから」が49.0%、「養育費をもらっているから」が14.0%などとなっている。

【父子世帯】

年間就労収入について「満足している」と回答した人にその理由を聞いたところ、「安定した就労収入があるから」が最も高く73.9%、次いで「児童手当・児童扶養手当があるから」が47.8%、「親・親族からの援助があるから」が4.3%などとなっている。

図表 83 年間就労収入に満足している理由〔複数回答〕



(ウ)就労収入を上げる方法

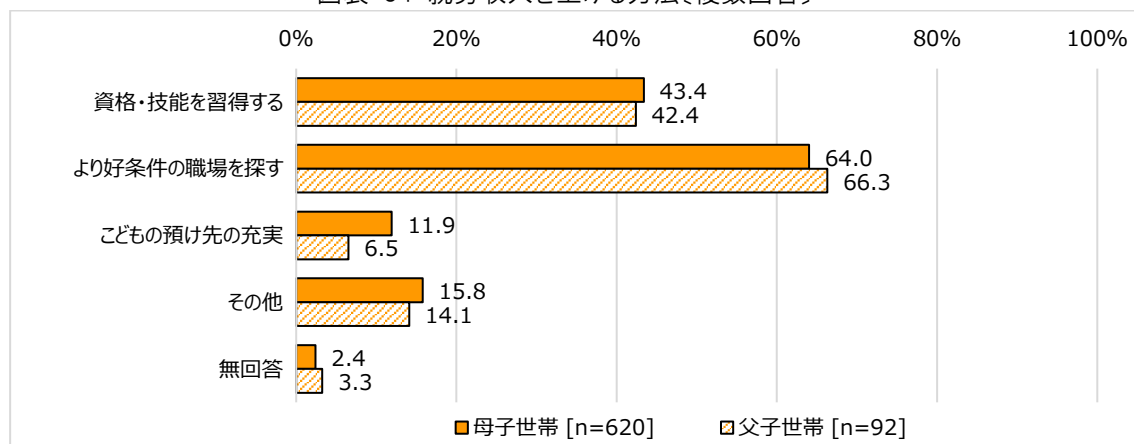
【母子世帯】

年間就労収入について「満足していない」と回答した人に就労収入を上げるためにはどうしたらよいか聞いたところ、「より好条件の職場を探す」が最も高く64.0%、次いで「資格・技能を習得する」が43.4%、「こどもの預け先の充実」が11.9%などとなっている。

【父子世帯】

年間就労収入について「満足していない」と回答した人に就労収入を上げるためにはどうしたらよいか聞いたところ、「より好条件の職場を探す」が最も高く66.3%、次いで「資格・技能を習得する」が42.4%、「こどもの預け先の充実」が6.5%などとなっている。

図表 84 就労収入を上げる方法〔複数回答〕



(エ)生活を安定させるために必要な収入

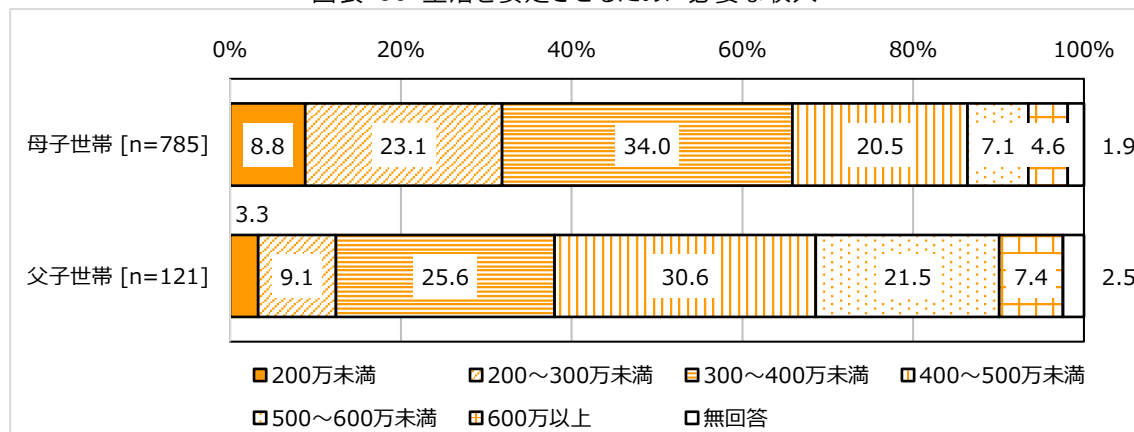
【母子世帯】

生活を安定させるために必要な収入は、「300～400万未満」が最も高く34.0%、次いで「200～300万未満」が23.1%、「400～500万未満」が20.5%などとなっている。

【父子世帯】

生活を安定させるために必要な収入は、「400～500万未満」が最も高く30.6%、次いで「300～400万未満」が25.6%、「500～600万未満」が21.5%などとなっている。

図表 85 生活を安定させるために必要な収入



(6) 養育費について

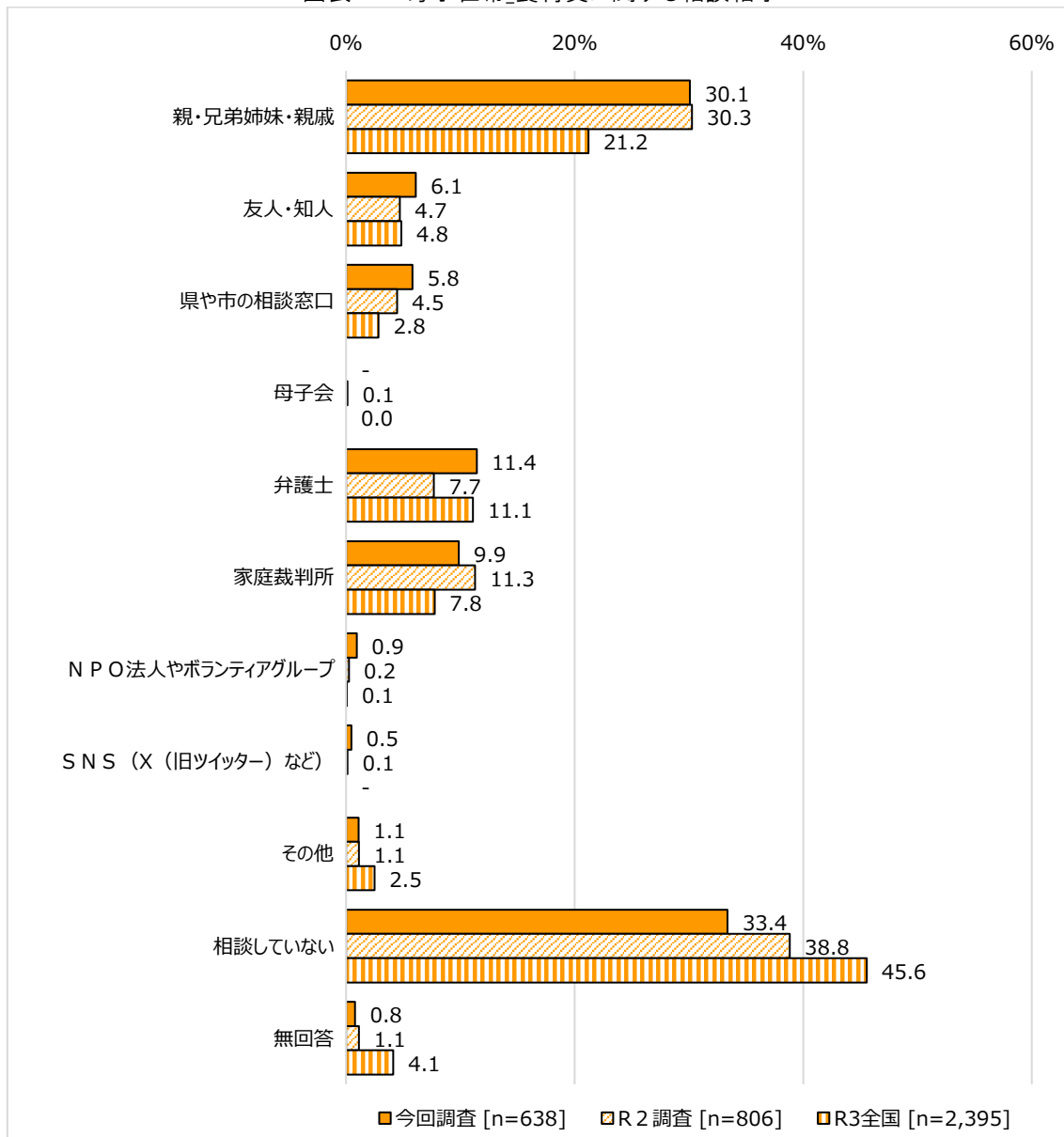
<協議離婚、調停離婚、審判離婚、裁判離婚によりひとり親世帯になった人のみ回答>

①養育費に関する相談相手

【母子世帯】

養育費に関する相談相手は、「相談していない」が最も高く33.4%、次いで「親・兄弟姉妹・親戚」が30.1%、「弁護士」が11.4%などとなっている。

図表 86 母子世帯_養育費に関する相談相手



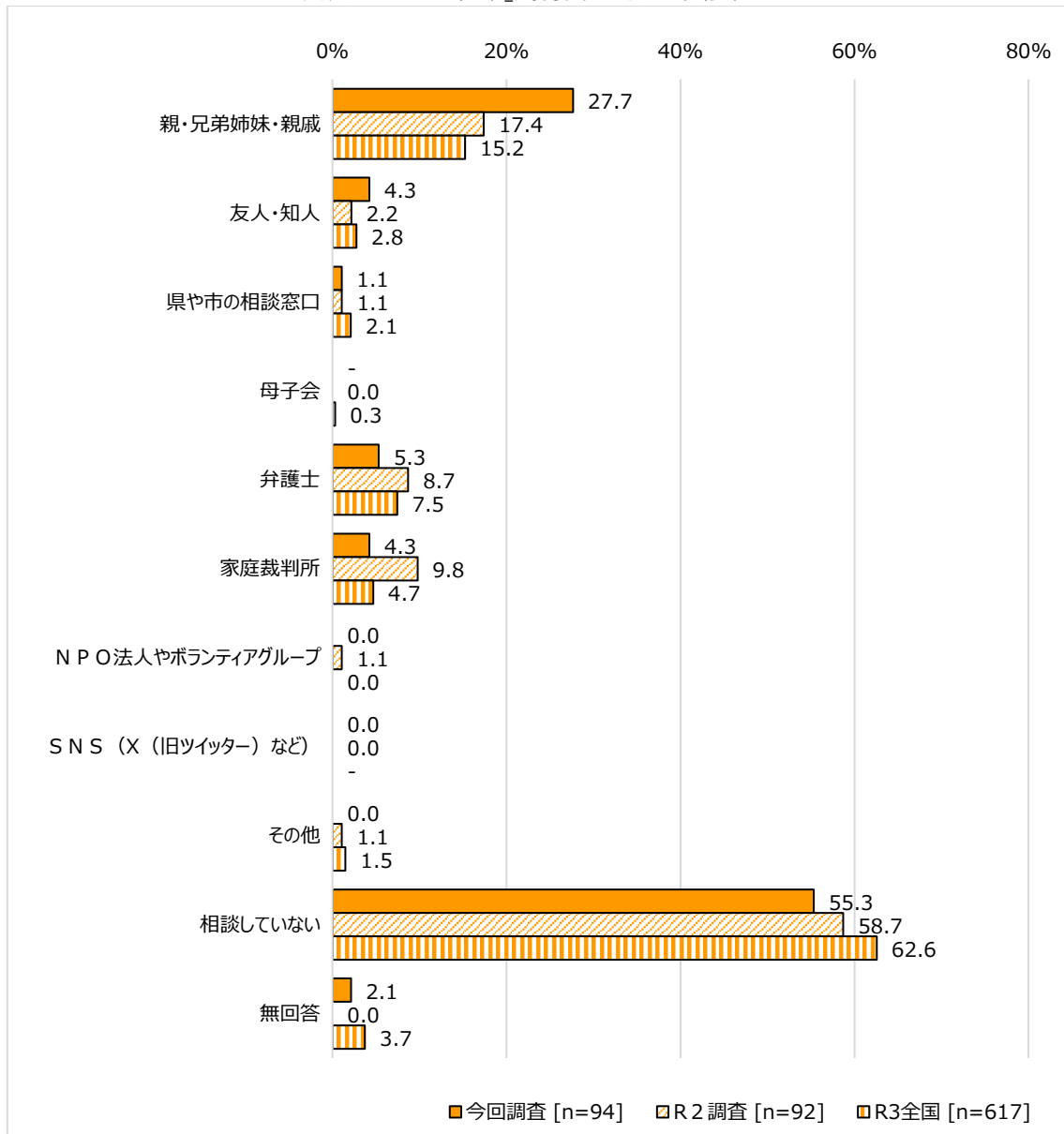
※R2調査、R3全国は「友人・知人」→「知人・隣人」

※「母子会」は今回調査の選択肢なし、「SNS (X (旧ツイッター) など)」はR3全国を選択肢なし

【父子世帯】

養育費に関する相談相手は、「相談していない」が最も高く55.3%、次いで「親・兄弟姉妹・親戚」が27.7%、「弁護士」が5.3%などとなっている。

図表 87 父子世帯_養育費に関する相談相手



※R2調査、R3全国は「友人・知人」→「知人・隣人」

※「母子会」は今回調査の選択肢なし、「SNS (X (旧ツイッター) など)」はR3全国を選択肢なし

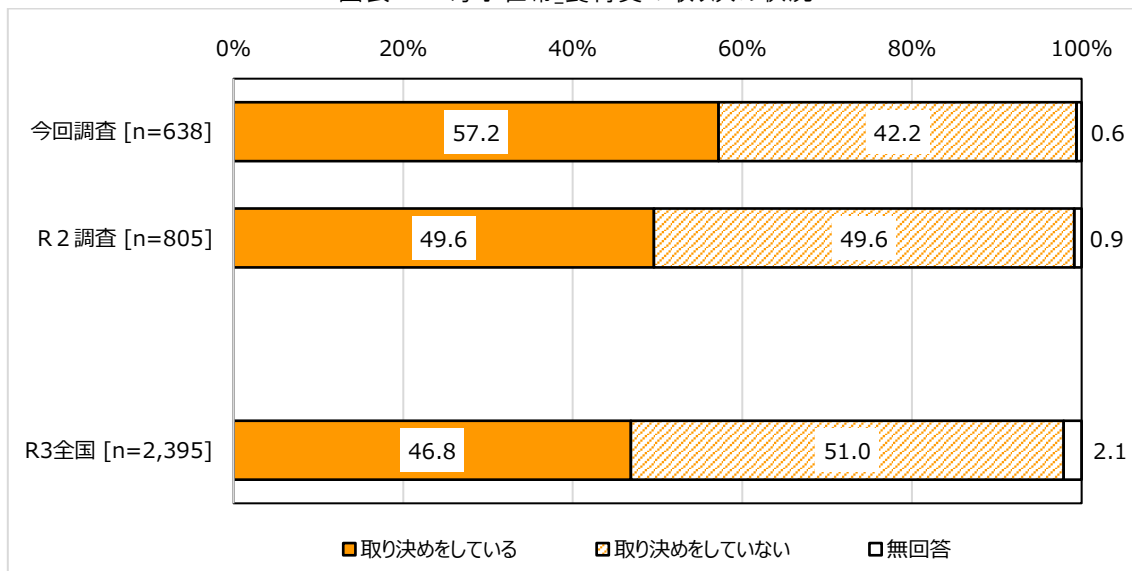
②養育費の取り決め状況と取り決め内容を記した文書の有無

【母子世帯】

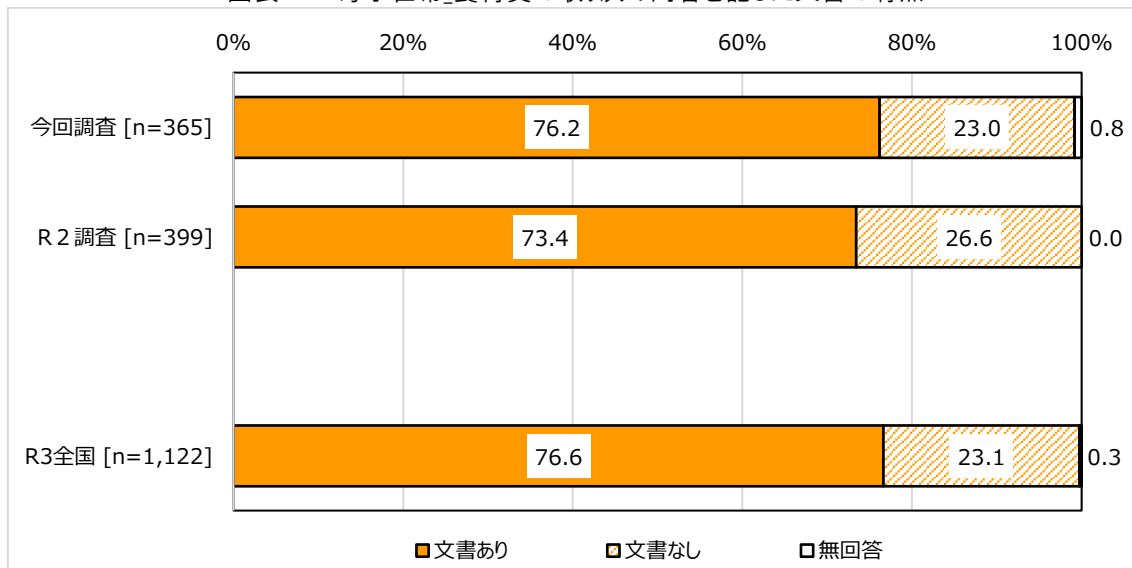
養育費の取り決め状況は、「取り決めている」が57.2%、「取り決めているない」が42.2%となっている。

「取り決めている」と回答した人のうち、「文書あり」が76.2%、「文書なし」が23.0%となっている。

図表 88 母子世帯_養育費の取り決め状況



図表 89 母子世帯_養育費の取り決め内容を記した文書の有無

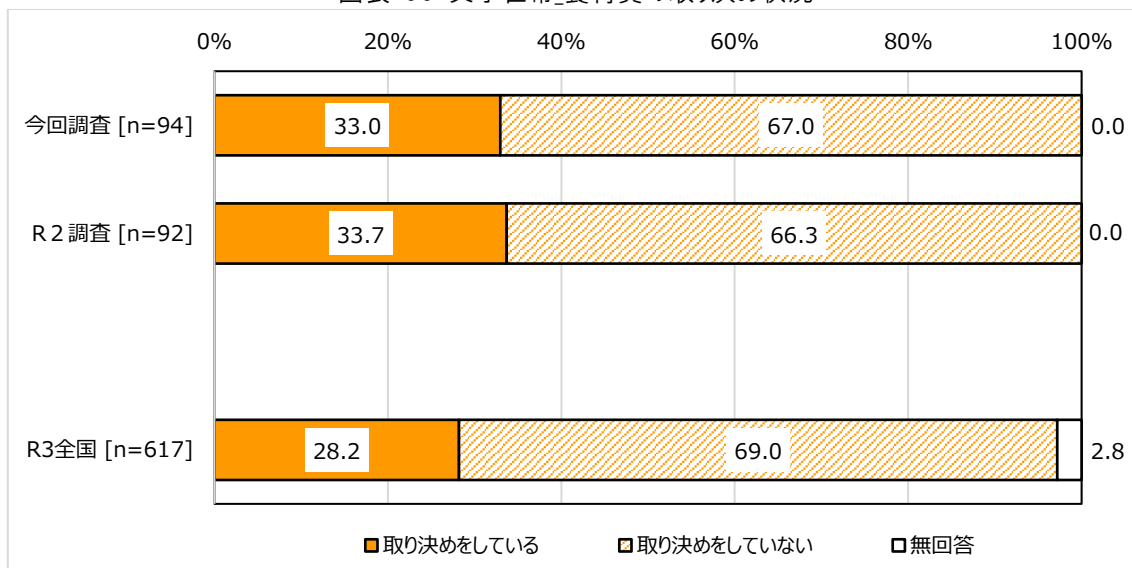


【父子世帯】

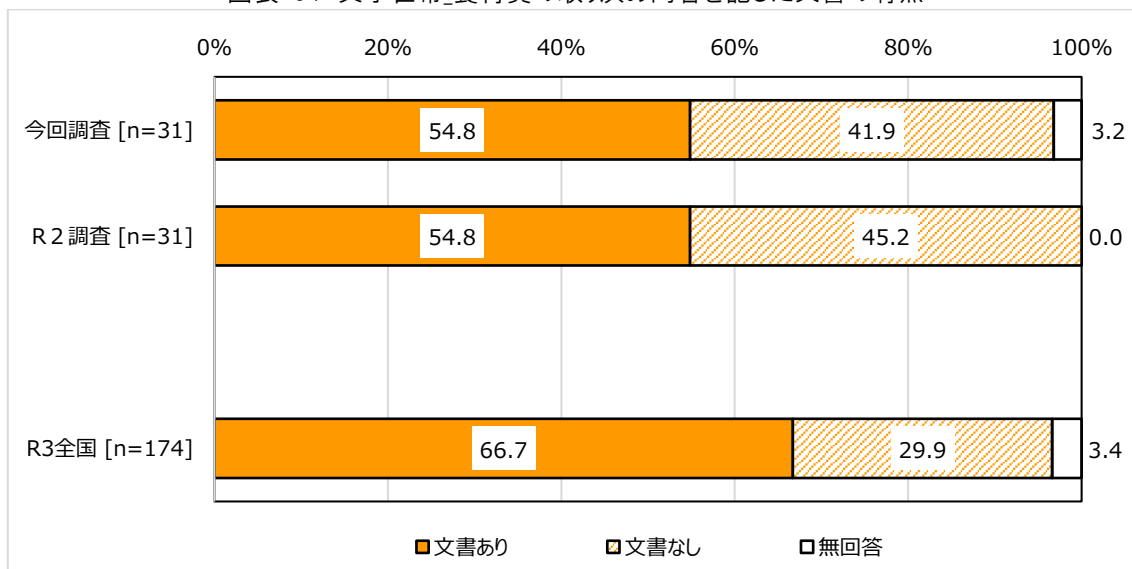
養育費の取り決め状況は、「取り決めている」が33.0%、「取り決めている」が67.0%となっている。

「取り決めている」と回答した人のうち、「文書あり」が54.8%、「文書なし」が41.9%となっている。

図表 90 父子世帯_養育費の取り決め状況



図表 91 父子世帯_養育費の取り決め内容を記した文書の有無

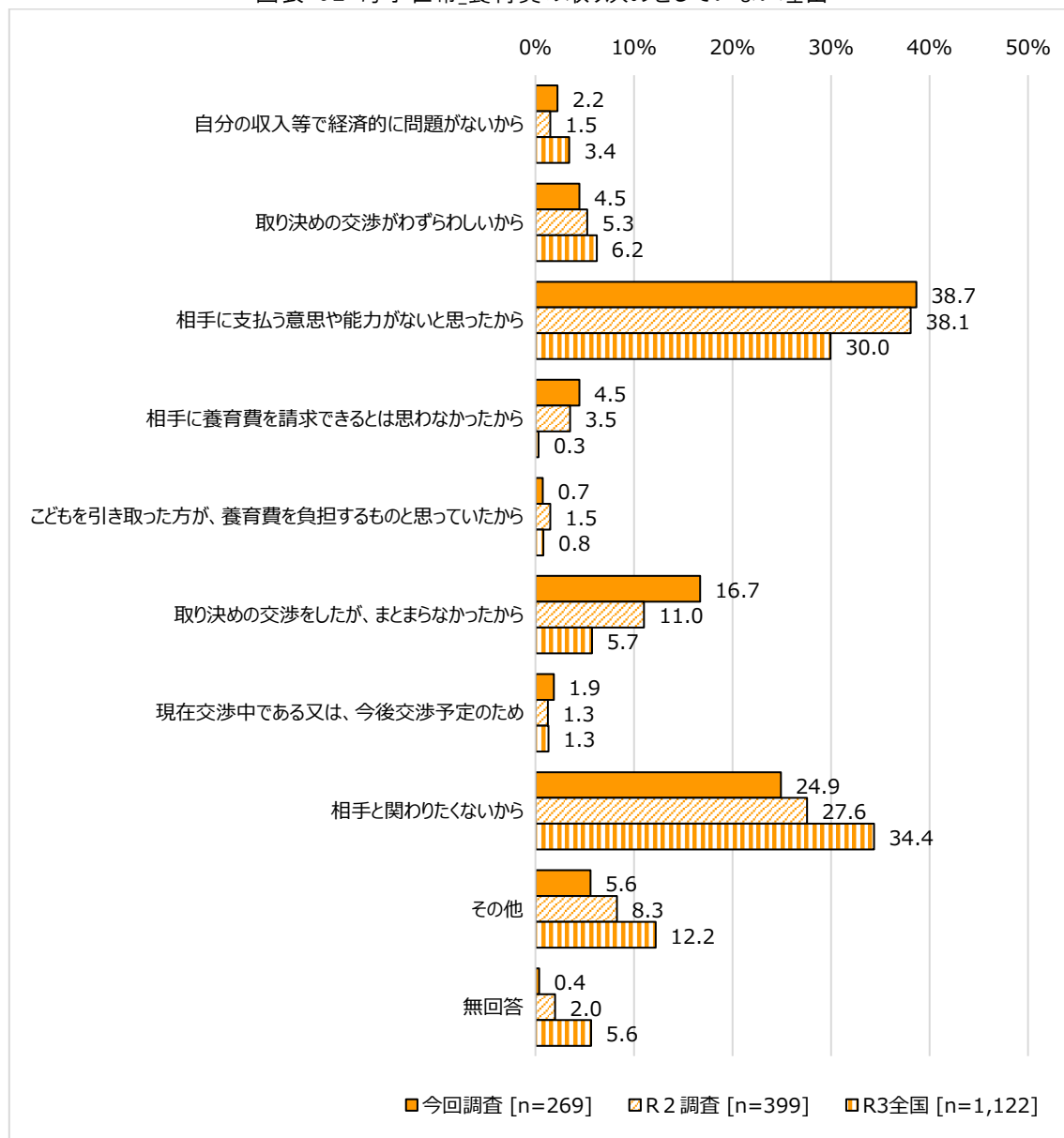


③養育費の取り決めをしていない理由

【母子世帯】

養育費の「取り決めをしていない」と回答した人のその理由は、「相手に支払う意思や能力がないと思ったから」が最も高く38.7%、次いで「相手と関わりたくないから」が24.9%、「取り決めの交渉をしたが、まとまらなかったから」が16.7%などとなっている。

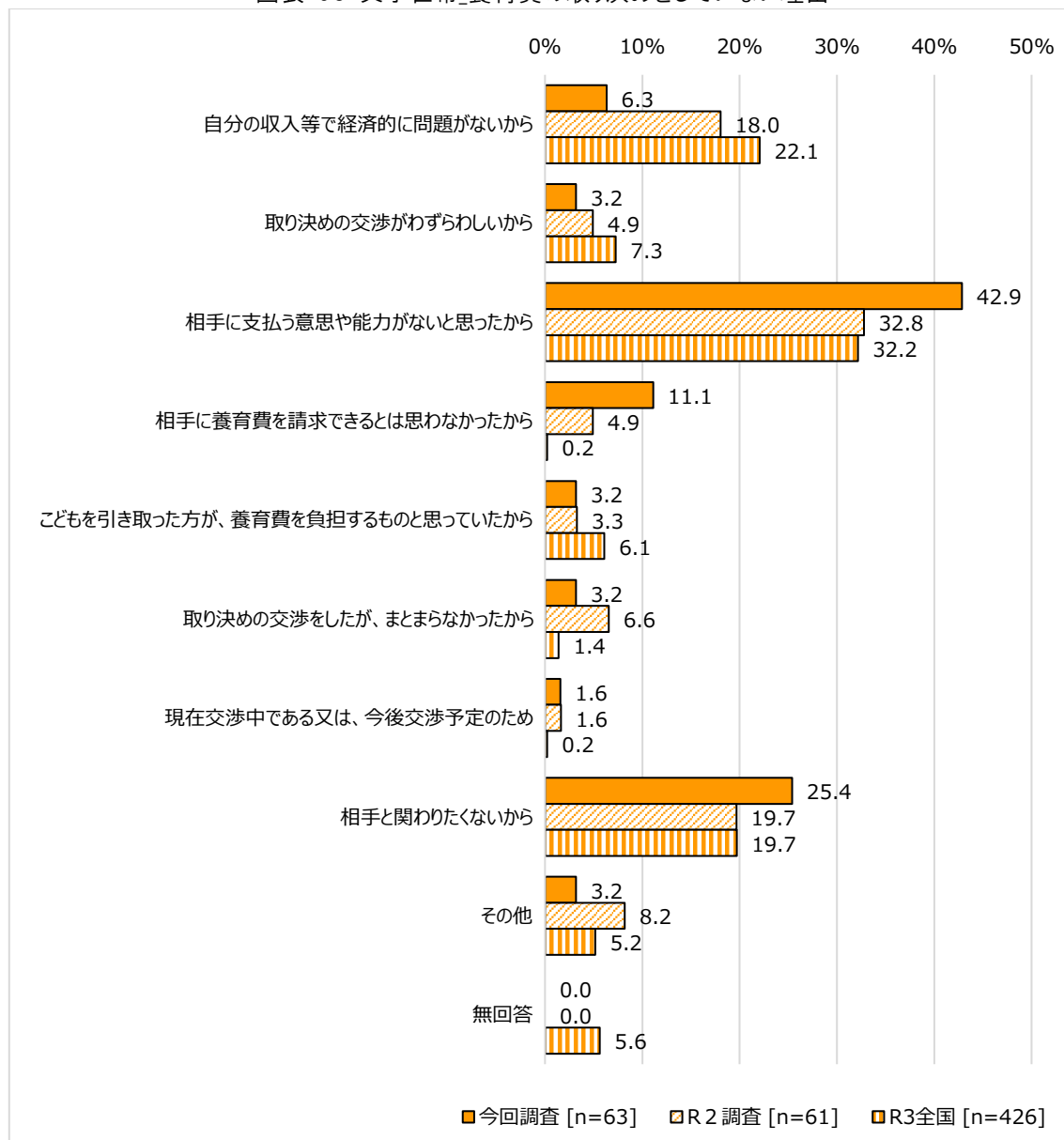
図表 92 母子世帯_養育費の取り決めをしていない理由



【父子世帯】

養育費の「取り決めをしていない」と回答した人のその理由は、「相手に支払う意思や能力がないと思ったから」が最も高く42.9%、次いで「相手と関わりたくないから」が25.4%、「相手に養育費を請求できるとは思わなかったから」が11.1%などとなっている。

図表 93 父子世帯_養育費の取り決めをしていない理由



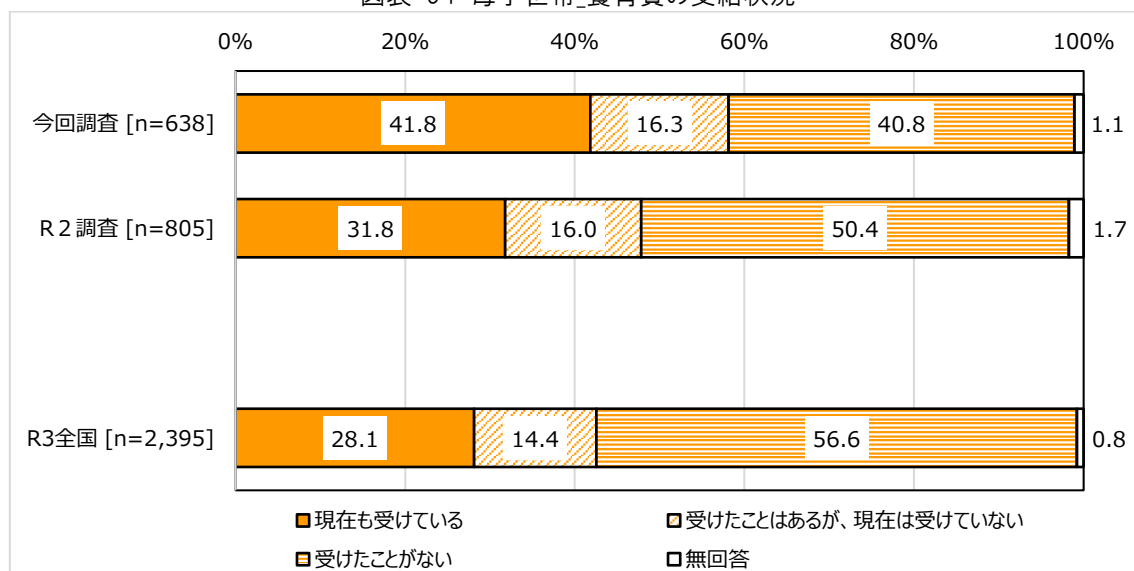
④養育費の受給状況と金額

【母子世帯】

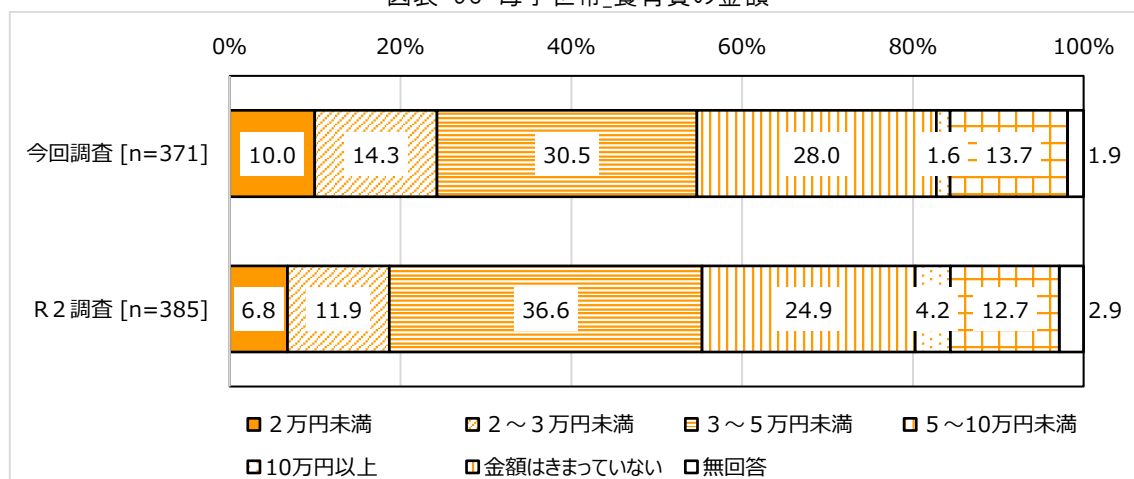
養育費の受給状況は、「現在も受けている」が最も高く41.8%、次いで「受けたことがない」が40.8%、「受けたことはあるが、現在は受けていない」が16.3%となっている。

「現在も受けている」「受けたことはあるが、現在は受けていない」と回答した人の受給金額は「3～5万未満」が最も高く30.5%、次いで「5～10万未満」が28.0%、「2～3万未満」が14.3%などとなっている。

図表 94 母子世帯_養育費の受給状況



図表 95 母子世帯_養育費の金額

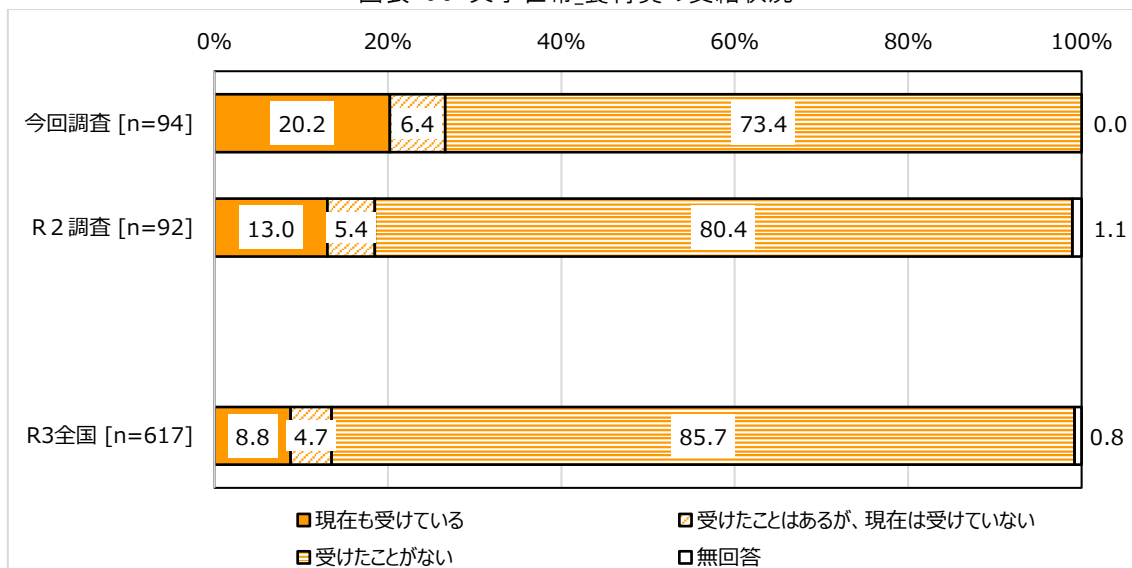


【父子世帯】

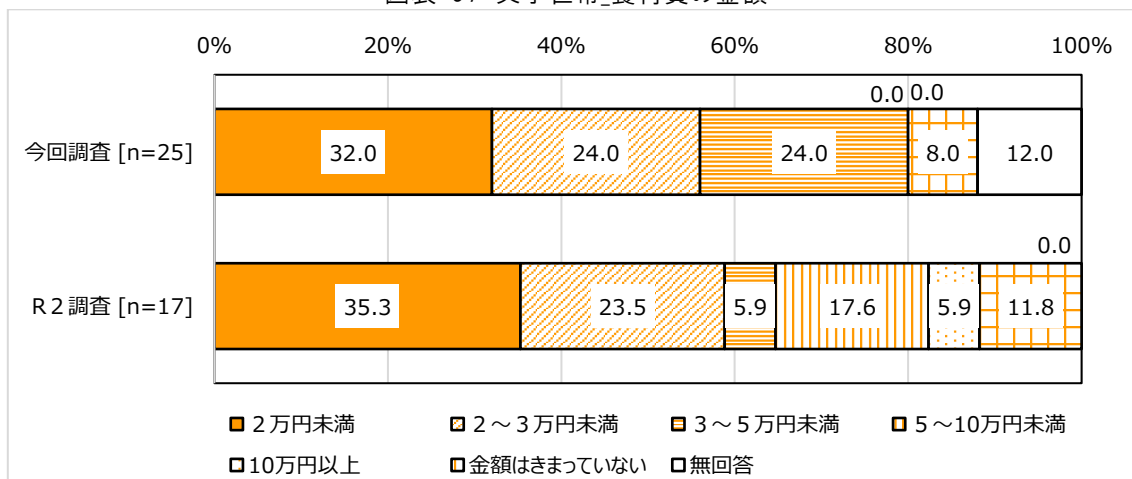
養育費の受給状況は、「受けたことがない」が最も高く73.4%、次いで「現在も受けている」が20.2%、「受けたことはあるが、現在は受けていない」が6.4%となっている。

「現在も受けている」「受けたことはあるが、現在は受けていない」と回答した人の受給金額は「2万未満」が最も高く32.0%、次いで「2～3万未満」「3～5万未満」がそれぞれ24.0%などとなっている。

図表 96 父子世帯_養育費の受給状況



図表 97 父子世帯_養育費の金額



⑤希望する養育費の金額

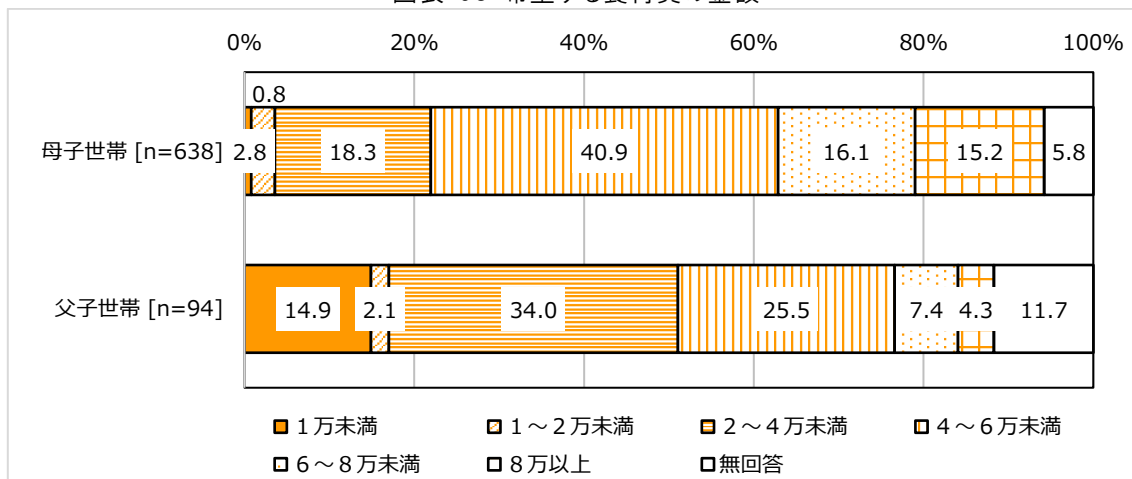
【母子世帯】

希望する養育費の金額は、「4～6万未満」が最も高く40.9%、次いで「2～4万未満」が18.3%、「6～8万未満」が16.1%などとなっている。

【父子世帯】

希望する養育費の金額は、「2～4万未満」が最も高く34.0%、次いで「4～6万未満」が25.5%、「1万未満」が14.9%などとなっている。

図表 98 希望する養育費の金額



⑥松山市に養育費の履行確保のための取組として希望するもの

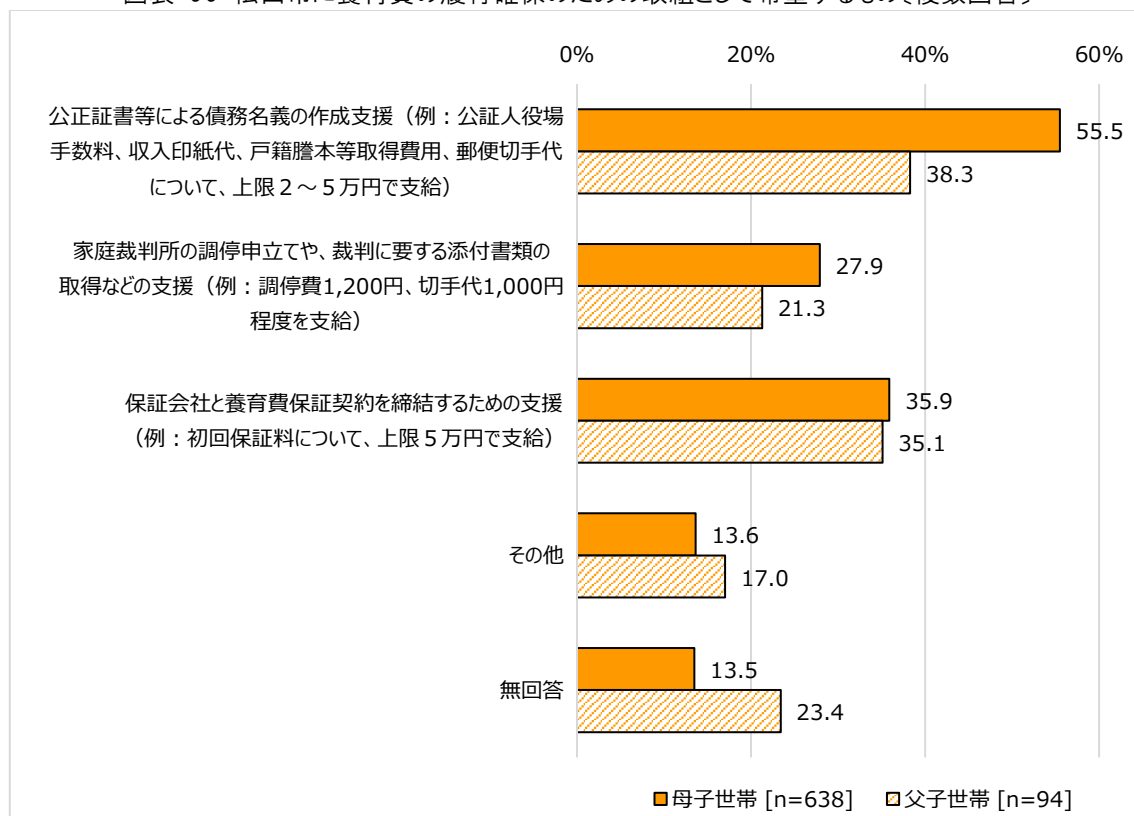
【母子世帯】

松山市に養育費の履行確保のための取組として希望するものは、「公正証書等による債務名義の作成支援（例：公証人役場手数料、収入印紙代、戸籍謄本等取得費用、郵便切手代について、上限２～５万円で支給）」が最も高く55.5%、次いで「保証会社と養育費保証契約を締結するための支援（例：初回保証料について、上限５万円で支給）」が35.9%、「家庭裁判所の調停申立てや、裁判に要する添付書類の取得などの支援（例：調停費1,200円、切手代1,000円程度を支給）」が27.9%となっている。

【父子世帯】

松山市に養育費の履行確保のための取組として希望するものは、「公正証書等による債務名義の作成支援（例：公証人役場手数料、収入印紙代、戸籍謄本等取得費用、郵便切手代について、上限２～５万円で支給）」が最も高く38.3%、次いで「保証会社と養育費保証契約を締結するための支援（例：初回保証料について、上限５万円で支給）」が35.1%、「家庭裁判所の調停申立てや、裁判に要する添付書類の取得などの支援（例：調停費1,200円、切手代1,000円程度を支給）」が21.3%となっている。

図表 99 松山市に養育費の履行確保のための取組として希望するもの〔複数回答〕



(7) 親子交流について

＜協議離婚、調停離婚、審判離婚、裁判離婚によりひとり親世帯になった人のみ回答＞

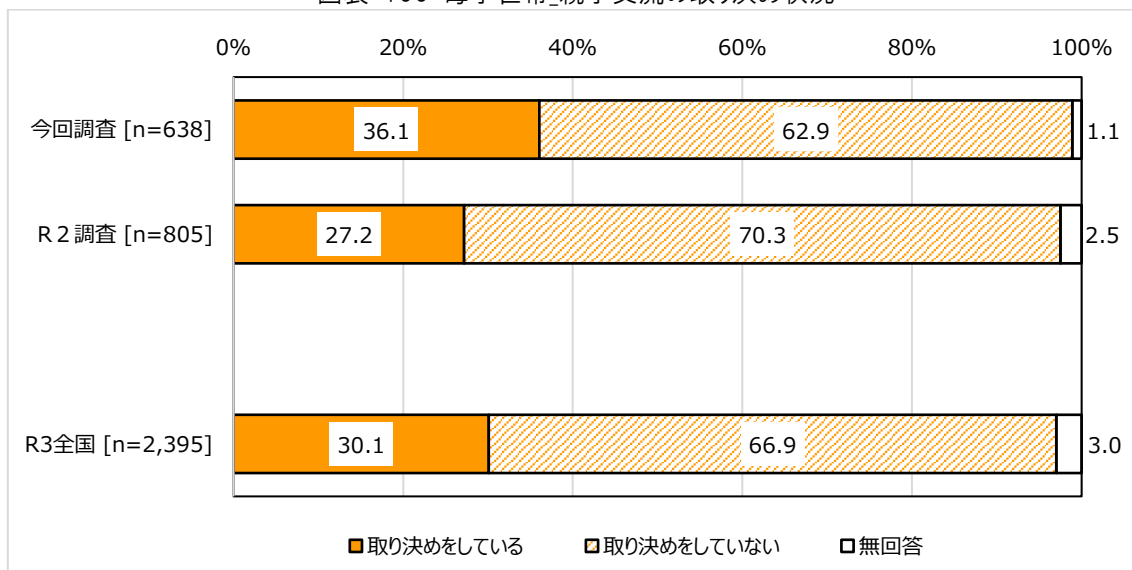
①親子交流の取り決め状況と取り決めに記した文書の有無

【母子世帯】

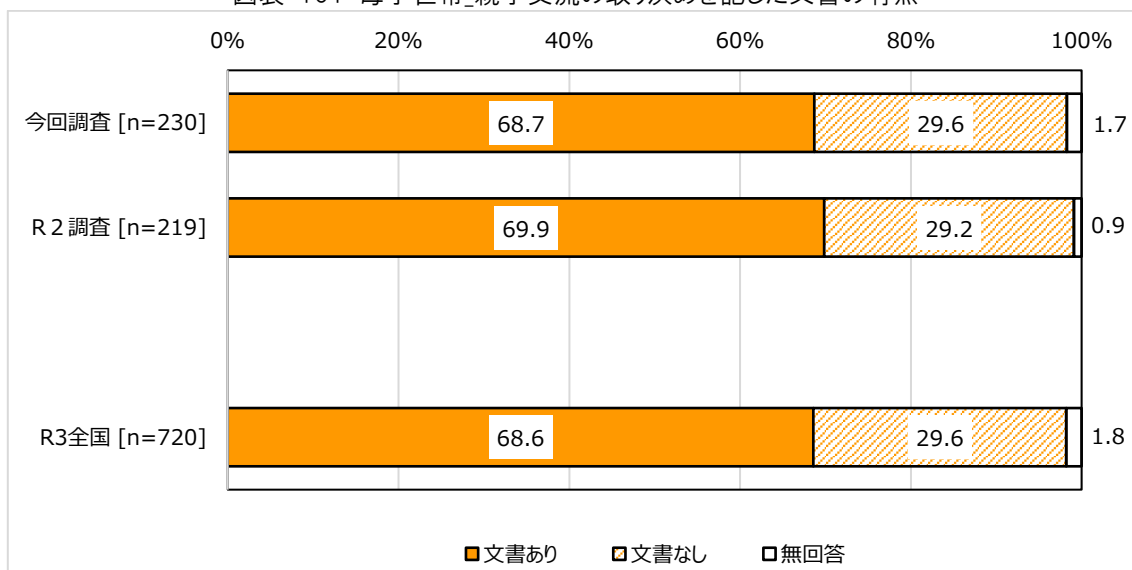
親子交流の取り決め状況は、「取り決めている」が36.1%、「取り決めていない」が62.9%となっている。

「取り決めている」と回答した人のうち、「文書あり」が68.7%、「文書なし」が29.6%となっている。

図表 100 母子世帯_親子交流の取り決め状況



図表 101 母子世帯_親子交流の取り決めに記した文書の有無

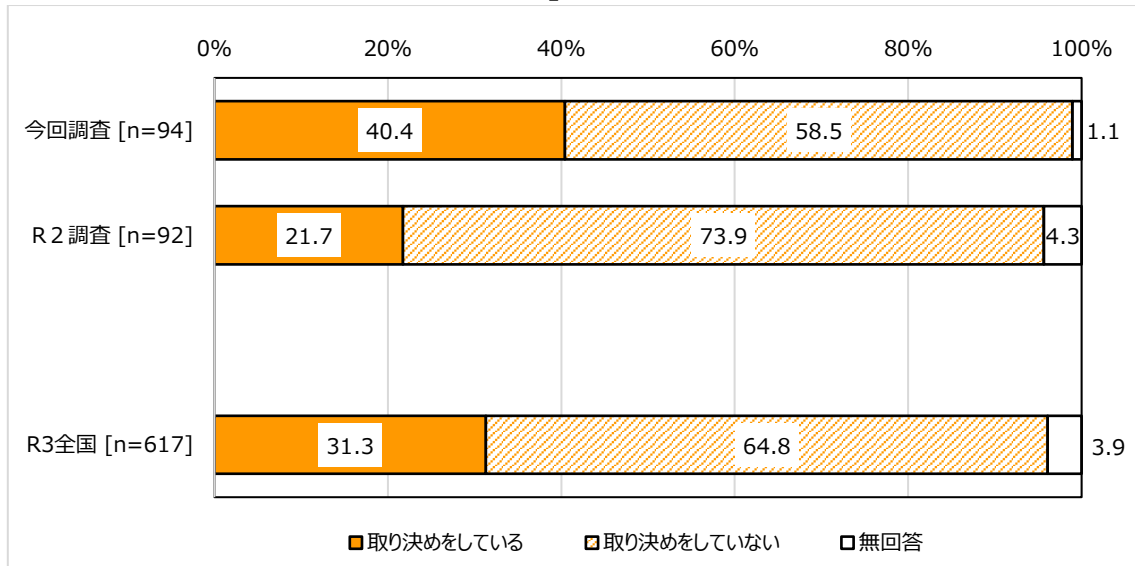


【父子世帯】

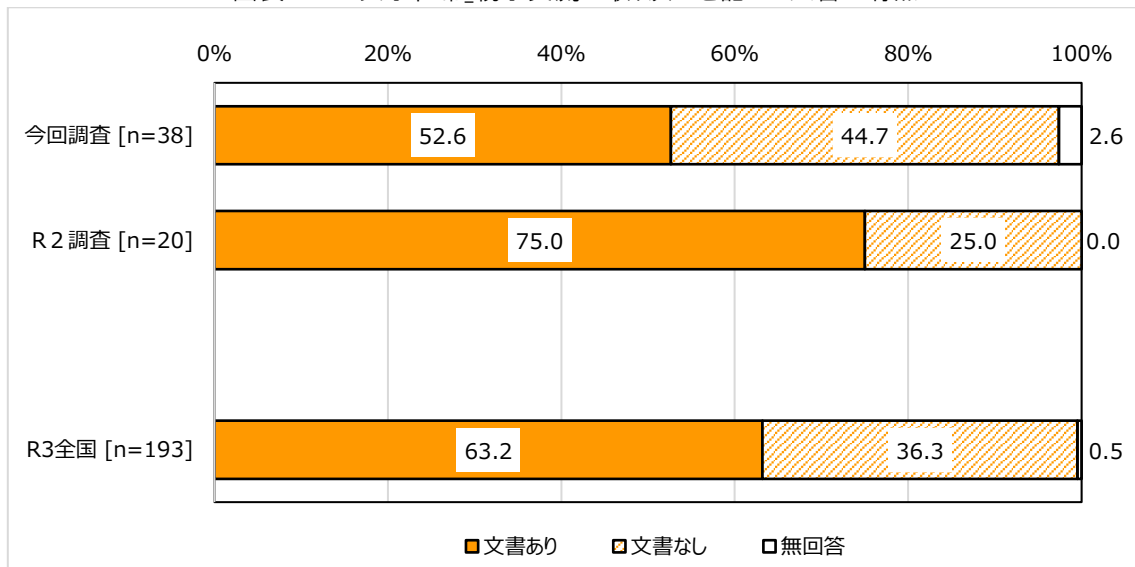
親子交流の取り決め状況は、「取り決めている」が40.4%、「取り決めているない」が58.5%となっている。

「取り決めている」と回答した人のうち、「文書あり」が52.6%、「文書なし」が44.7%となっている。

図表 102 父子世帯_親子交流の取り決め状況



図表 103 父子世帯_親子交流の取り決めに記した文書の有無



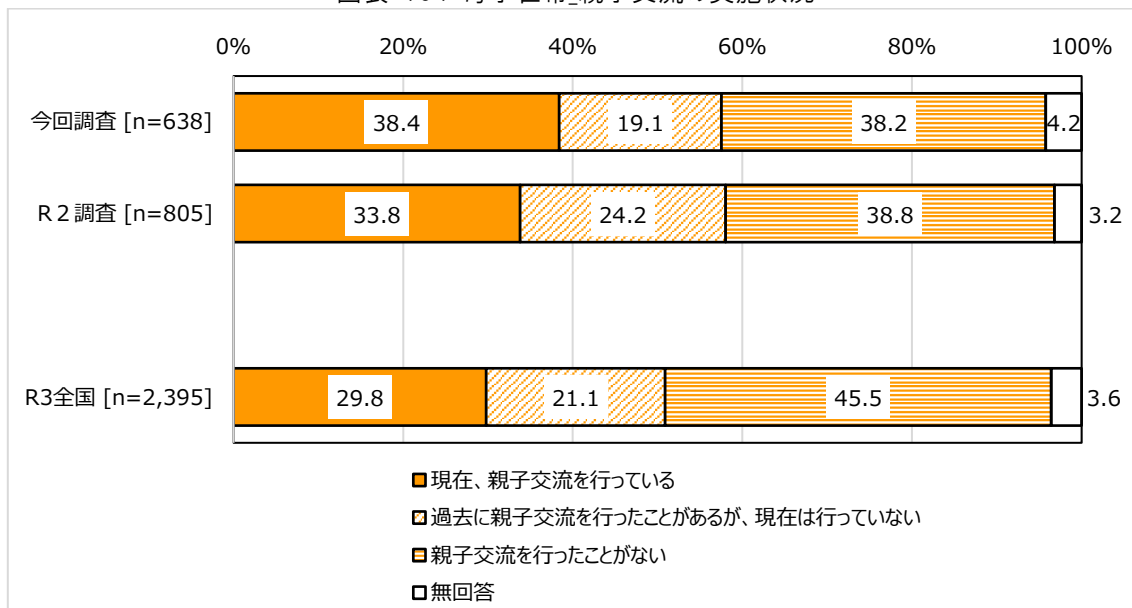
②親子交流の実施状況と親子交流の頻度

【母子世帯】

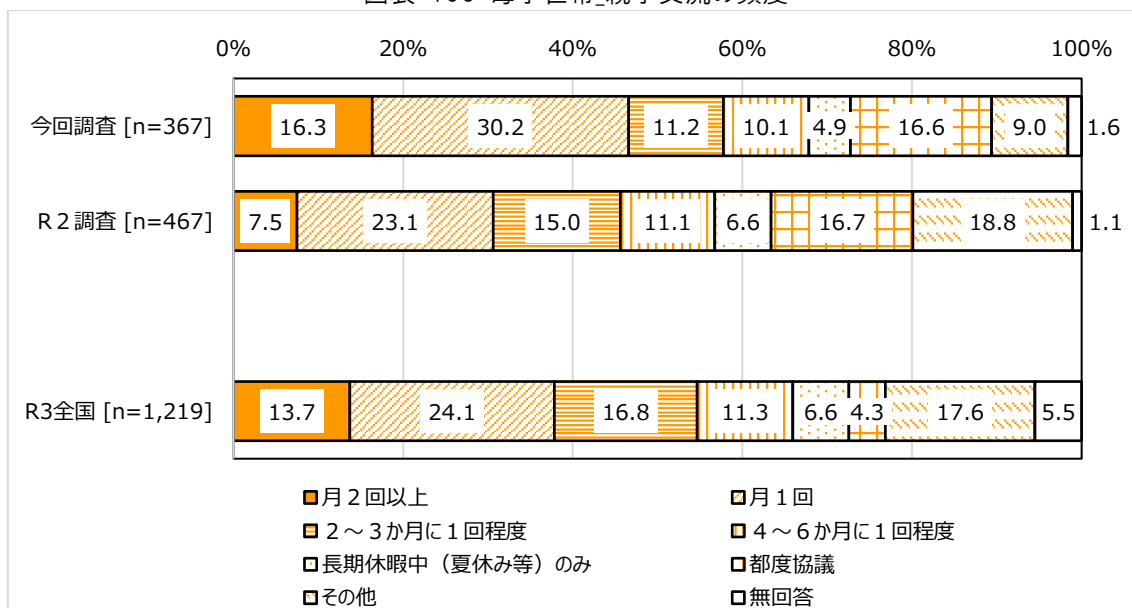
親子交流の実施状況は、「現在、親子交流を行っている」が最も高く38.4%、次いで「親子交流を行ったことがない」が38.2%、「過去に親子交流を行ったことがあるが、現在は行っていない」が19.1%となっている。

「現在、親子交流を行っている」「過去に親子交流を行ったことがあるが、現在は行っていない」と回答した人の実施頻度は、「月1回」が最も高く30.2%、次いで「都度協議」が16.6%、「月2回以上」が16.3%などとなっている。

図表 104 母子世帯_親子交流の実施状況



図表 105 母子世帯_親子交流の頻度

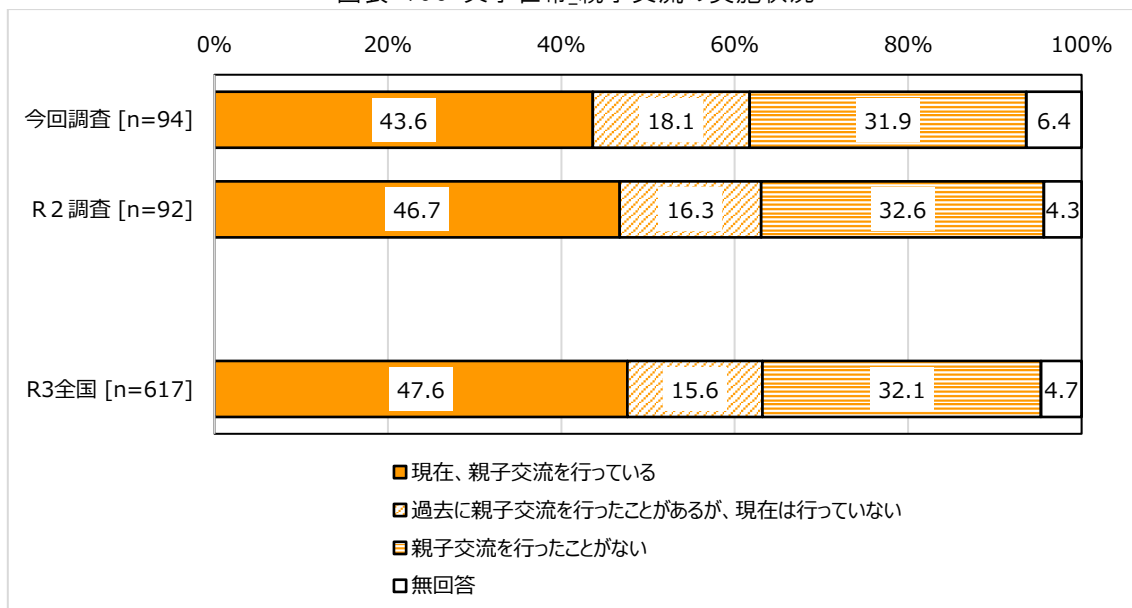


【父子世帯】

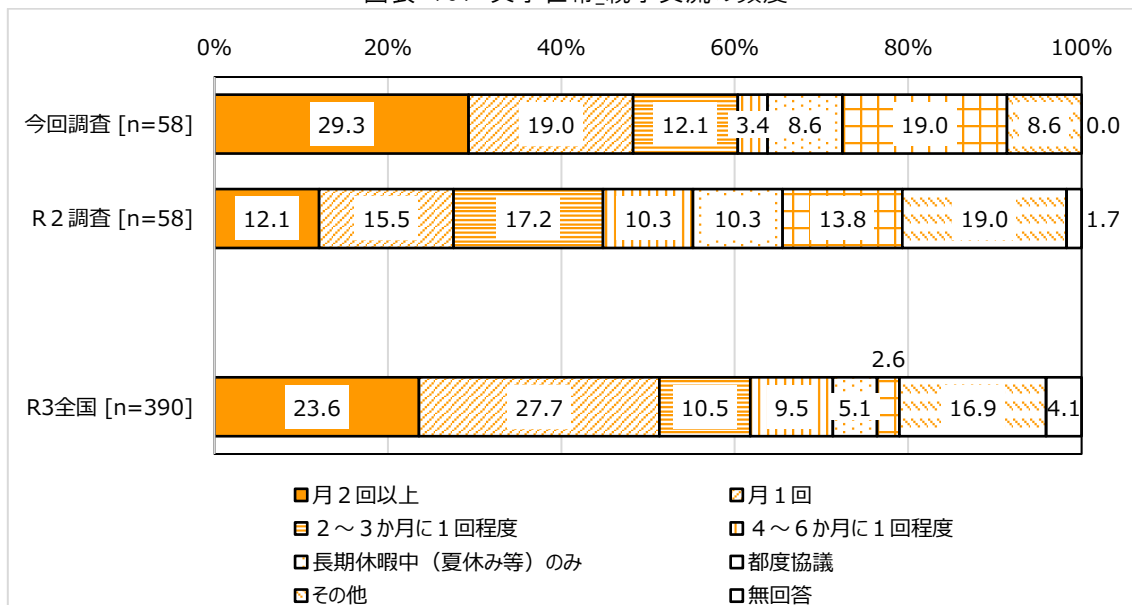
親子交流の実施状況は、「現在、親子交流を行っている」が最も高く43.6%、次いで「親子交流を行ったことがない」が31.9%、「過去に親子交流を行ったことがあるが、現在は行っていない」が18.1%となっている。

「現在、親子交流を行っている」「過去に親子交流を行ったことがあるが、現在は行っていない」と回答した人の実施頻度は、「月2回以上」が最も高く29.3%、次いで「月1回」「都度協議」がそれぞれ19.0%などとなっている。

図表 106 父子世帯_親子交流の実施状況



図表 107 父子世帯_親子交流の頻度



③希望する親子交流の回数

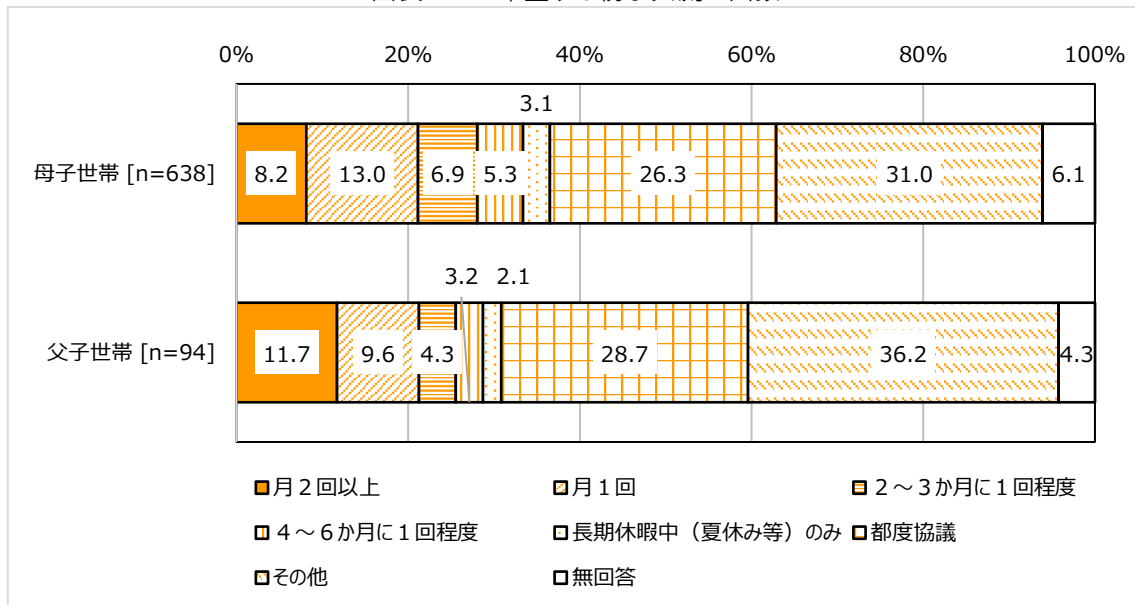
【母子世帯】

希望する親子交流の回数は、「都度協議」が最も高く26.3%、次いで「月1回」が13.0%、「月2回以上」が8.2%などとなっている。

【父子世帯】

希望する親子交流の回数は、「都度協議」が最も高く28.7%、次いで「月2回以上」が11.7%、「月1回」が9.6%などとなっている。

図表 108 希望する親子交流の回数



④こどもが自立した後の将来設計

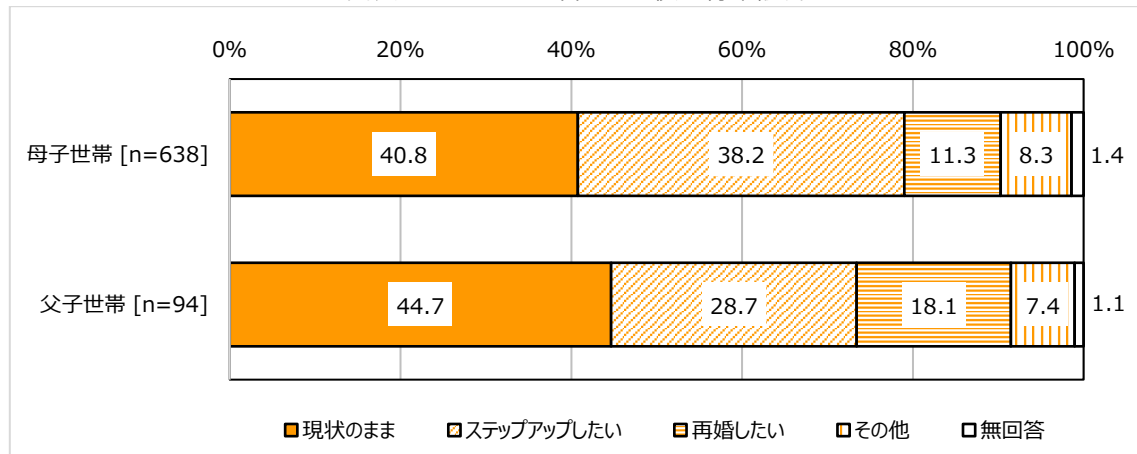
【母子世帯】

こどもが自立した後の将来設計は、「現状のまま」が最も高く40.8%、次いで「ステップアップしたい」が38.2%、「再婚したい」が11.3%などとなっている。

【父子世帯】

こどもが自立した後の将来設計は、「現状のまま」が最も高く44.7%、次いで「ステップアップしたい」が28.7%、「再婚したい」が18.1%などとなっている。

図表 109 こどもが自立した後の将来設計



(8) こどもに関することについて

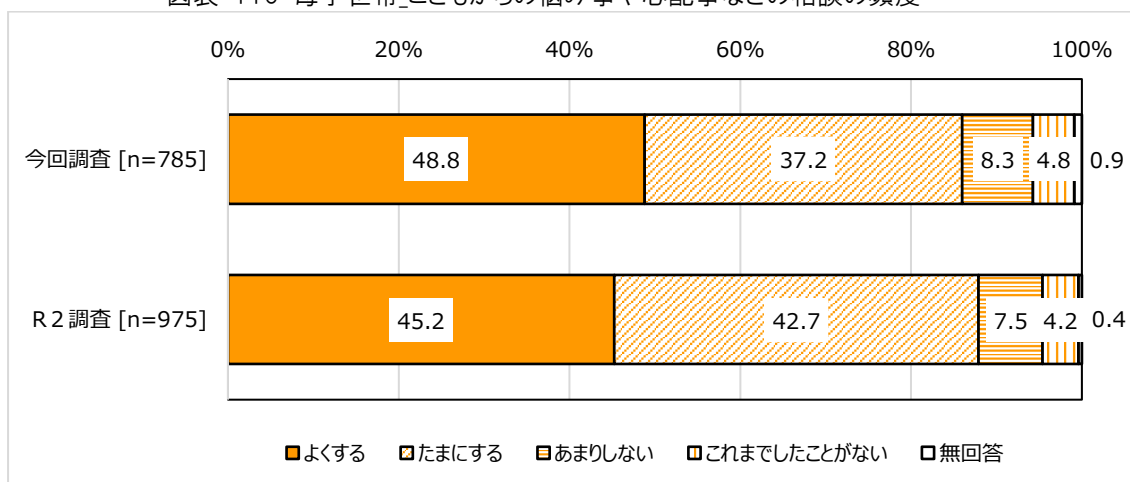
①こどもからの悩み事や心配事などの相談の頻度とその内容

【母子世帯】

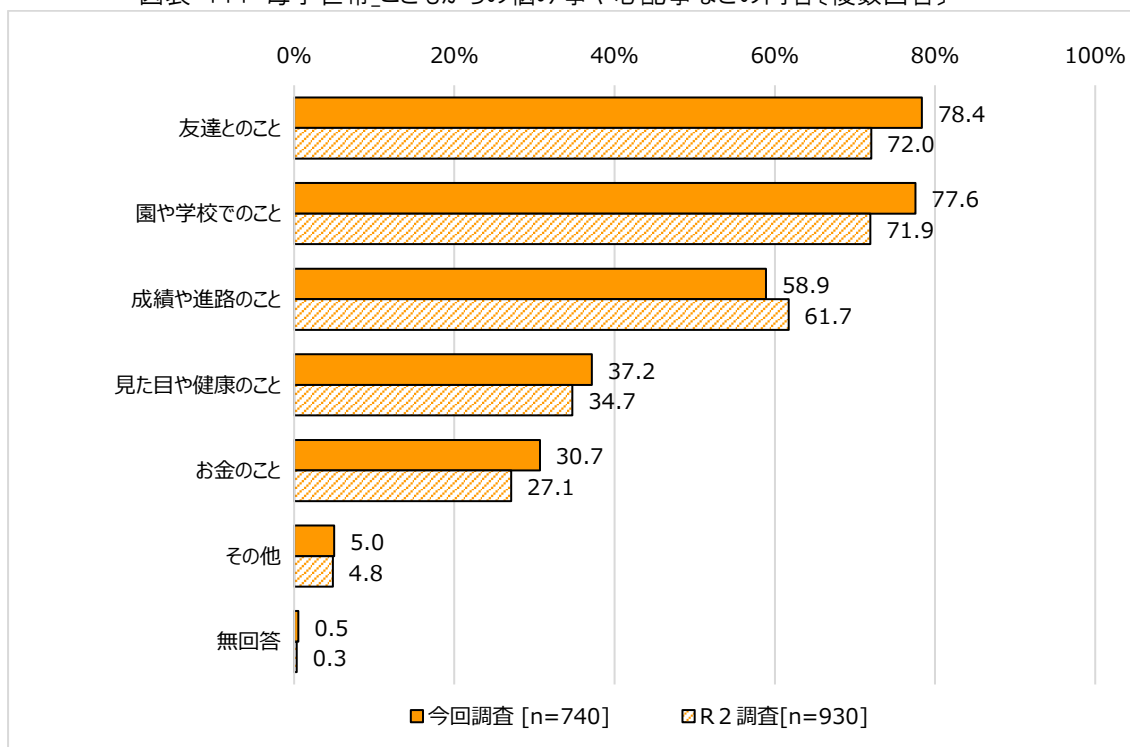
こどもからの悩み事や心配事などの相談の頻度は、「よくする」が最も高く48.8%、次いで「たまにする」が37.2%、「あまりしない」が8.3%などとなっている。

「よくする」「たまにする」「あまりしない」と回答した人のこどもと話す内容は、「友達とのこと」が最も高く78.4%、次いで「園や学校でのこと」が77.6%、「成績や進路のこと」が58.9%などとなっている。

図表 110 母子世帯_こどもからの悩み事や心配事などの相談の頻度



図表 111 母子世帯_こどもからの悩み事や心配事などの内容〔複数回答〕

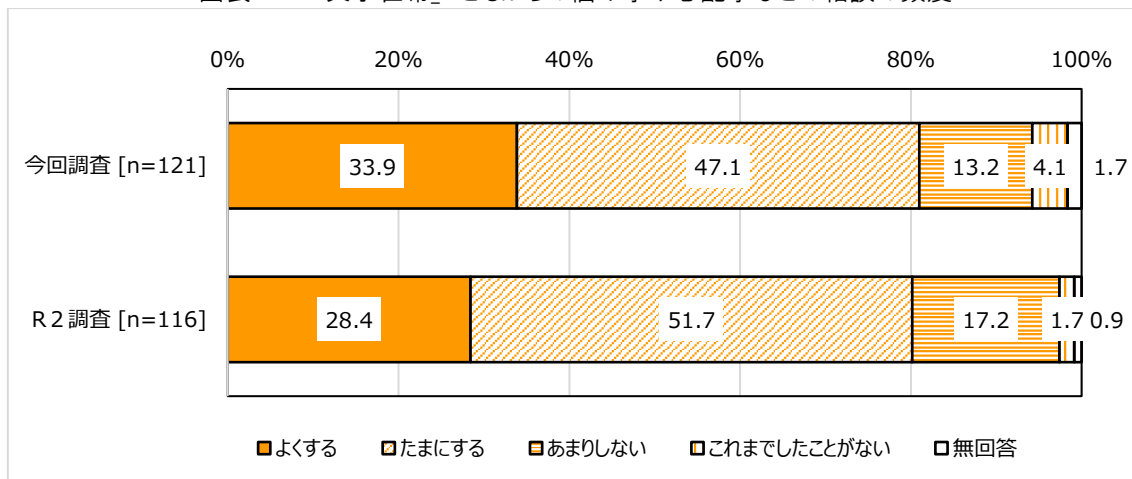


【父子世帯】

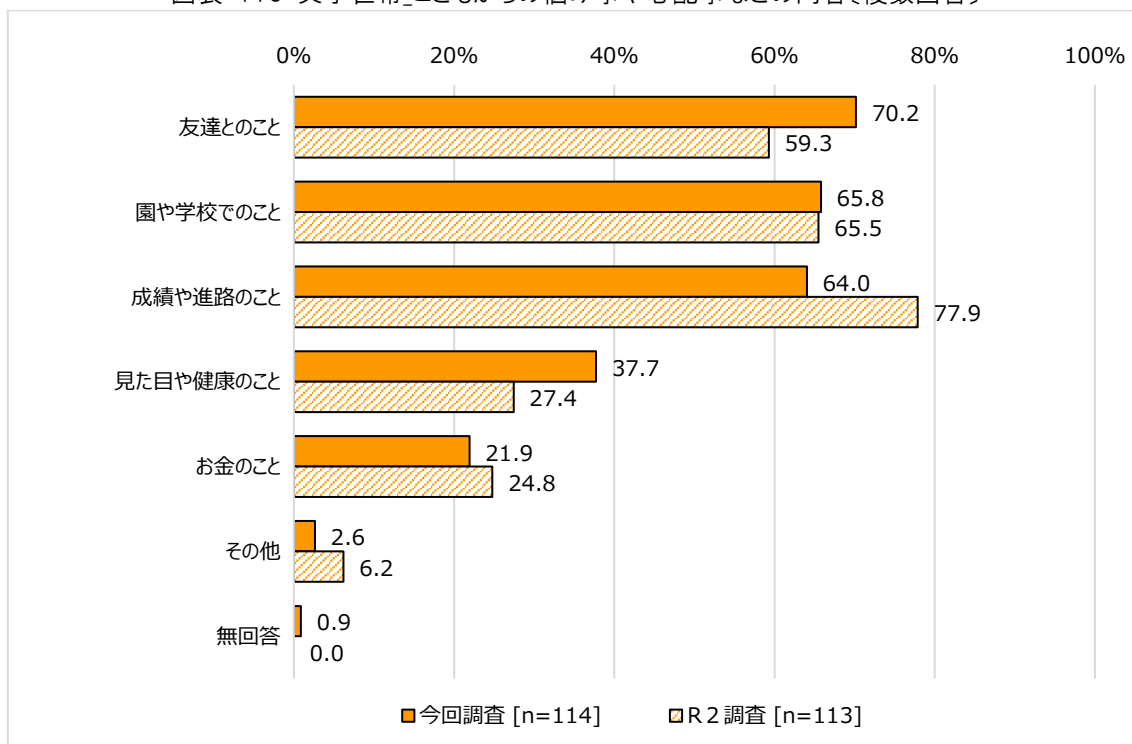
こどもからの悩み事や心配事などの相談の頻度は、「たまにする」が最も高く47.1%、次いで「よくする」が33.9%、「あまりしない」が13.2%などとなっている。

「よくする」「たまにする」「あまりしない」と回答した人のこどもと話す内容は、「友達とのこと」が最も高く70.2%、次いで「園や学校でのこと」が65.8%、「成績や進路のこと」が64.0%などとなっている。

図表 112 父子世帯_こどもからの悩み事や心配事などの相談の頻度



図表 113 父子世帯_こどもからの悩み事や心配事などの内容〔複数回答〕



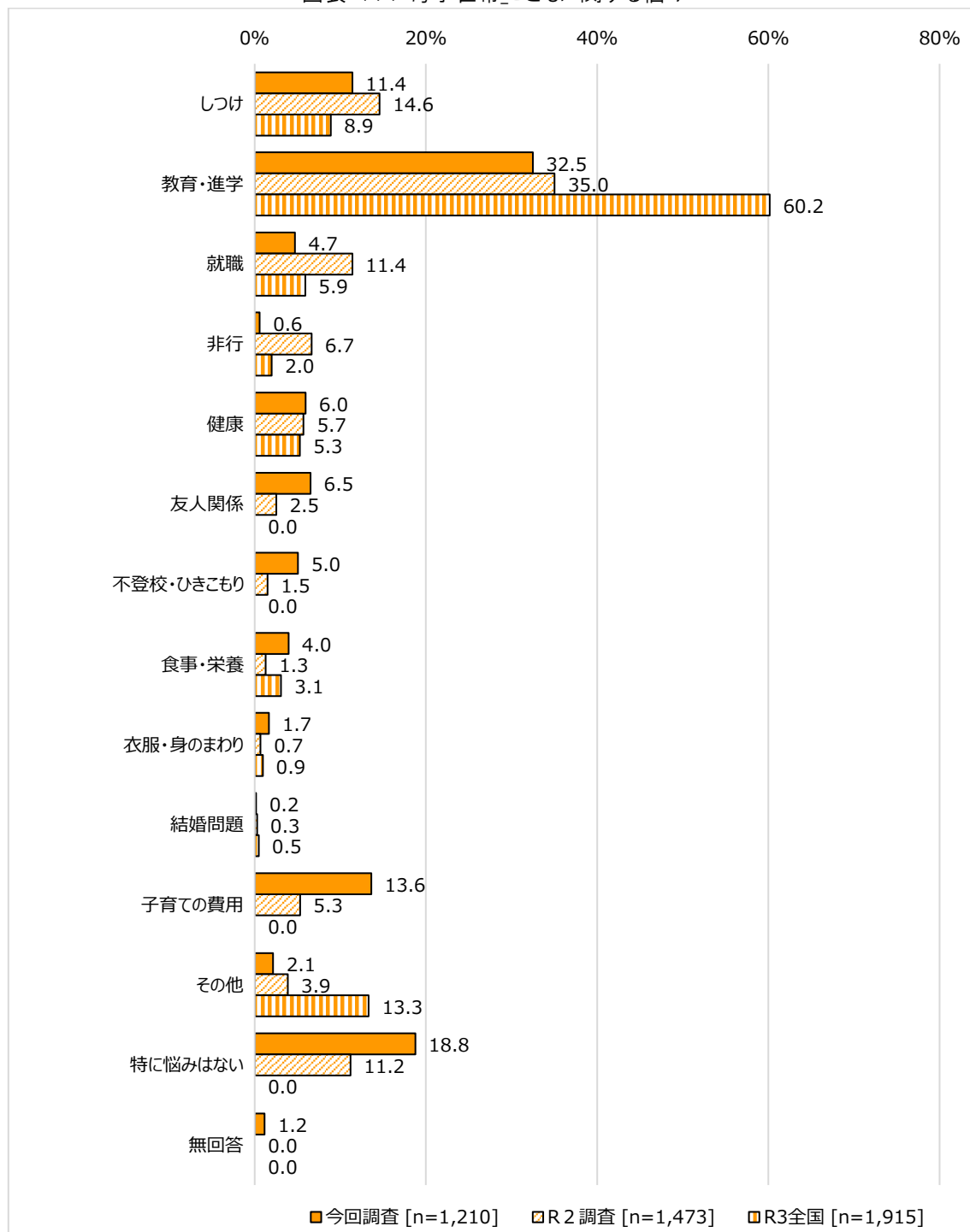
②子どもに関する悩み

<子どもごとに回答>

【母子世帯】

子どもに関する悩みは、「教育・進学」が最も高く32.5%、次いで「子育ての費用」が13.6%、「しつけ」が11.4%などとなっている。また、「特に悩みはない」は18.8%となっている。

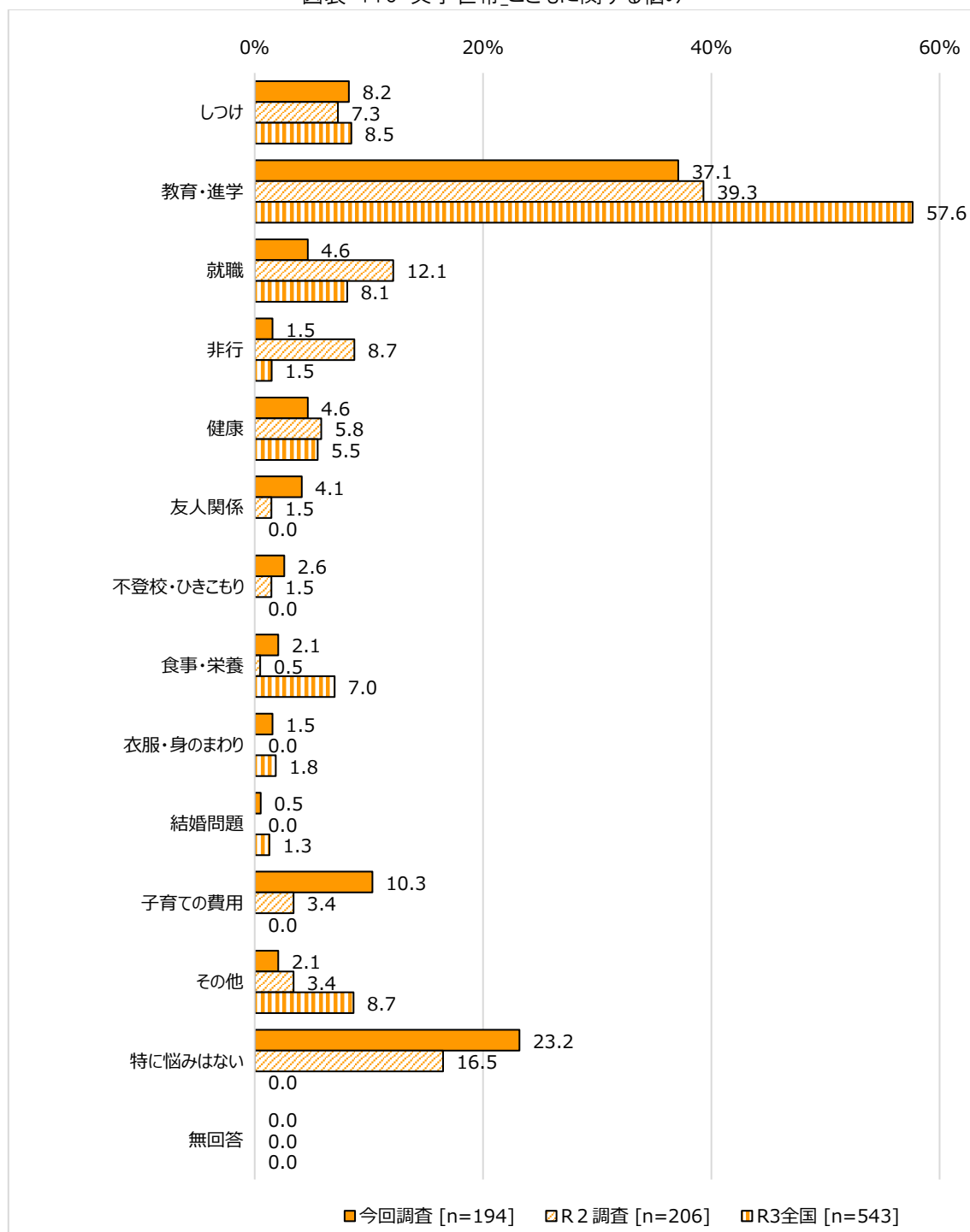
図表 114 母子世帯_子どもに関する悩み



【父子世帯】

こどもに関する悩みは、「教育・進学」が最も高く37.1%、次いで「子育ての費用」が10.3%、「しつけ」が8.2%などとなっている。また、「特に悩みはない」は23.2%となっている。

図表 115 父子世帯_こどもに関する悩み



〔こどもの年齢別〕

こどもに関する悩みをこどもの年齢別にみると、「0～6歳」では「しつけ」が最も高く26.2%、次いで「子育ての費用」が20.8%、「教育・進学」が14.9%となっている。

「7～12歳」では「教育・進学」が最も高く28.2%、次いで「しつけ」が17.6%、「子育ての費用」が13.6%となっている。

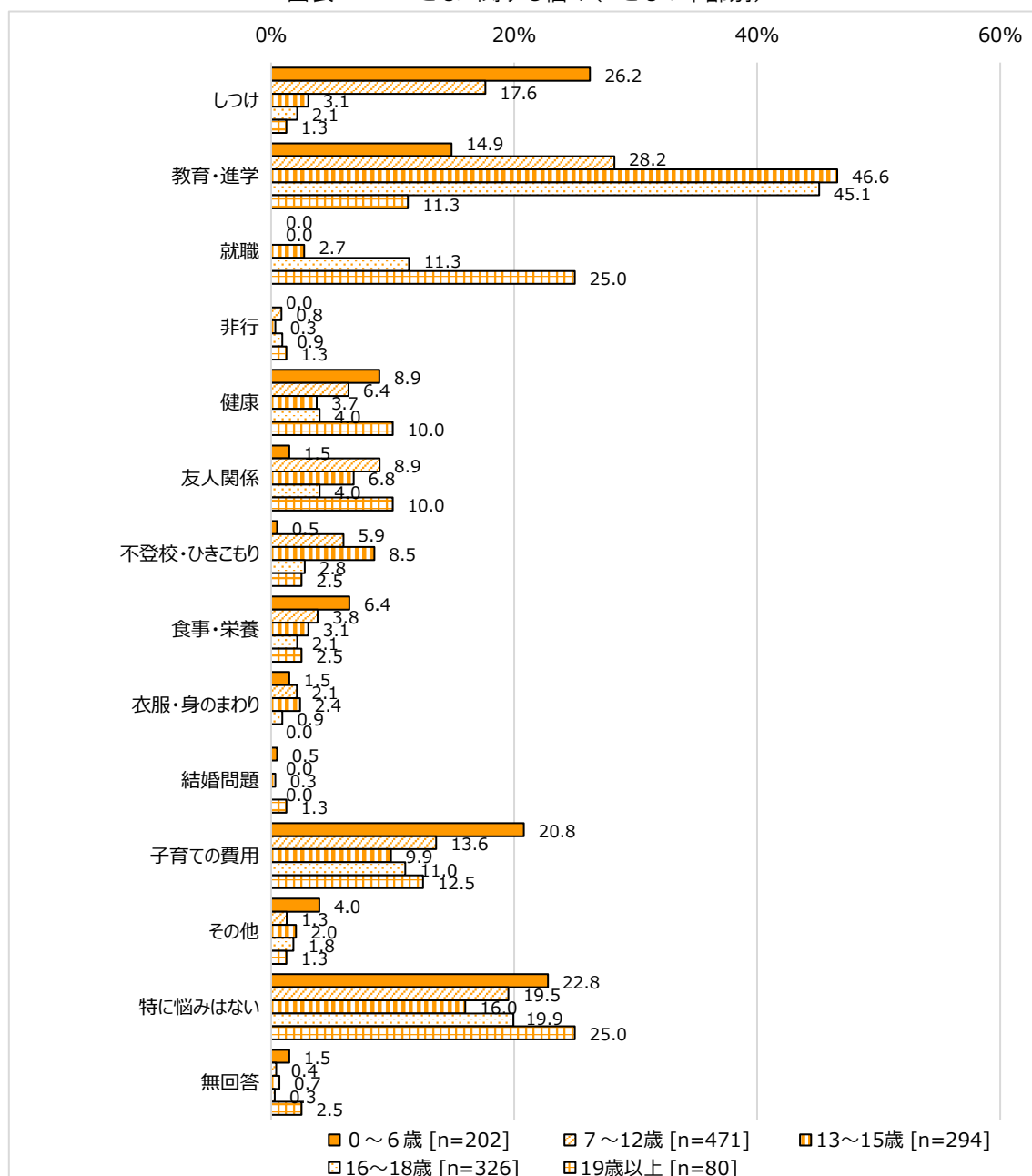
「13～15歳」では「教育・進学」が最も高く46.6%、次いで「子育ての費用」が9.9%、「不登校・ひきこもり」が8.5%となっている。

「16～18歳」では「教育・進学」が最も高く45.1%、次いで「就職」が11.3%、「子育ての費用」が11.0%となっている。

「19歳以上」では「就職」が最も高く25.0%、次いで「子育ての費用」が12.5%、「教育・進学」が11.3%となっている。

全ての年代において、「教育・進学」と「子育ての費用」が上位3位までに入っている。

図表 116 こどもに関する悩み(こどもの年齢別)



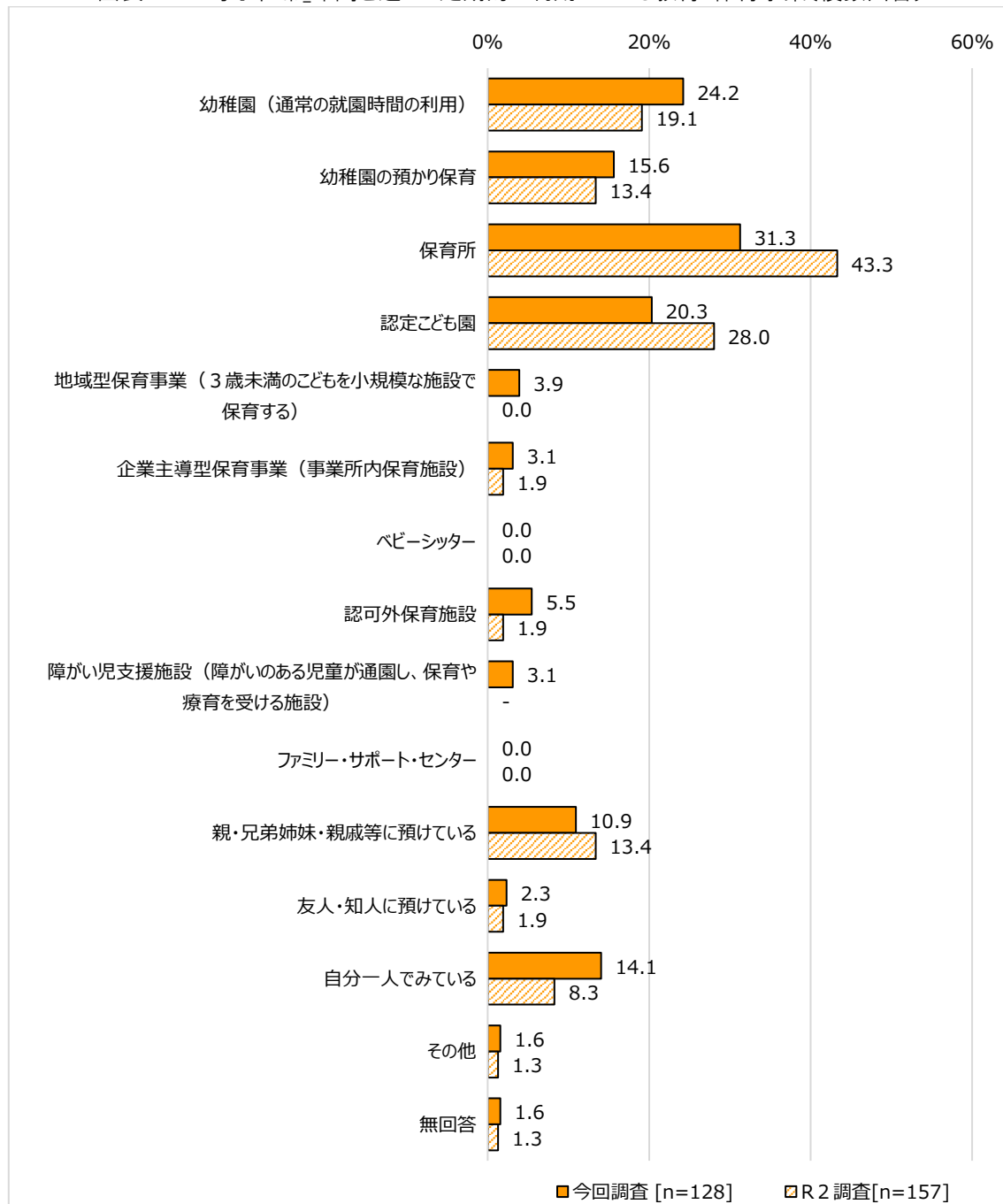
③年間を通じて定期的に利用している教育・保育事業

<小学校入学前のこどもがいる人のみ回答>

【母子世帯】

年間を通じて定期的に利用している教育・保育事業は、「保育所」が最も高く31.3%、次いで「幼稚園（通常の就園時間の利用）」が24.2%、「認定こども園」が20.3%などとなっている。

図表 117 母子世帯_年間を通じて定期的に利用している教育・保育事業〔複数回答〕

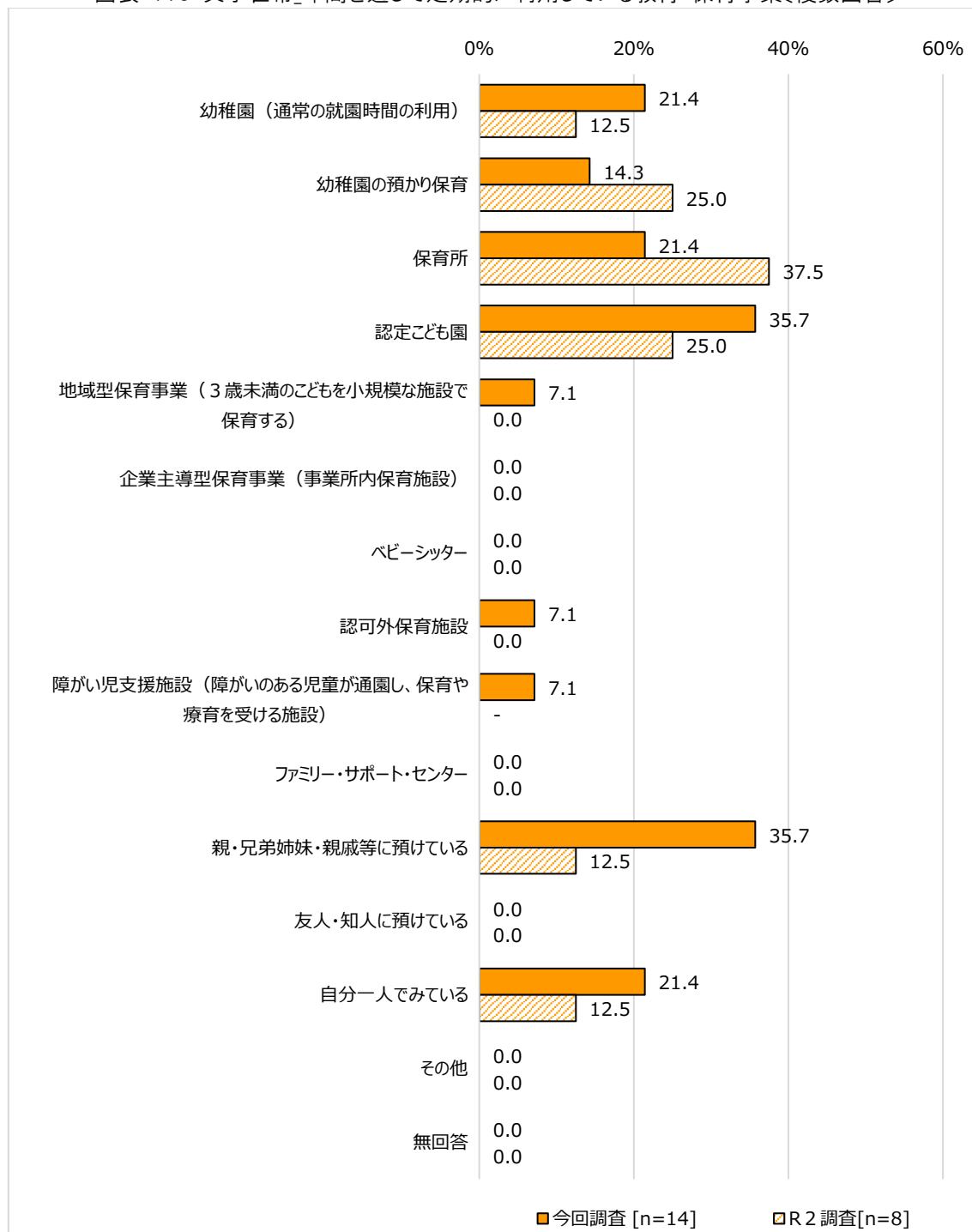


※「障がい児支援施設（障がいのある児童が通園し、保育や療育を受ける施設）」は今回調査のみ

【父子世帯】

年間を通じて定期的に利用している教育・保育事業は、「認定こども園」「親・兄弟姉妹・親戚等に預けている」が最も高くそれぞれ35.7%、次いで「幼稚園（通常の就園時間の利用）」「保育所」「自分一人でみている」がそれぞれ21.4%などとなっている。

図表 118 父子世帯_年間を通じて定期的に利用している教育・保育事業〔複数回答〕



※「障がい児支援施設（障がいのある児童が通園し、保育や療育を受ける施設）」は今回調査のみ

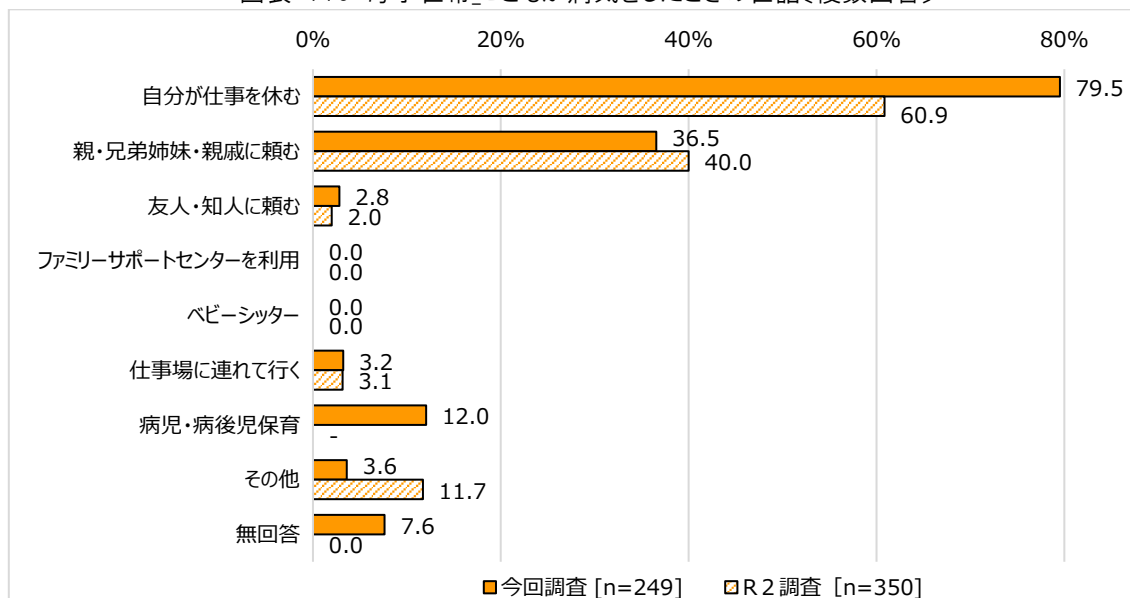
④こどもが病気をしたときの世話

<小学校3年生以下のこどもがいる人のみ回答>

【母子世帯】

こどもが病気をしたときの世話は、「自分が仕事を休む」が最も高く79.5%、次いで「親・兄弟姉妹・親戚に頼む」が36.5%、「病児・病後児保育」が12.0%などとなっている。

図表 119 母子世帯_こどもが病気をしたときの世話〔複数回答〕



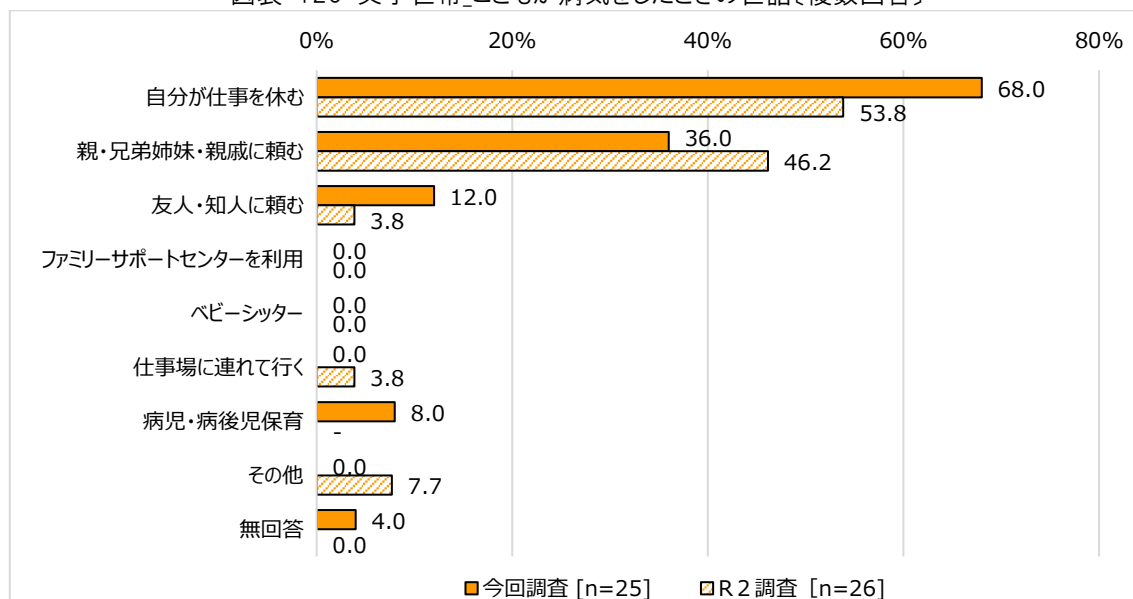
※「病児・病後児保育」は今回調査のみ

※R2調査は「親・兄弟姉妹・親戚に頼む」→「親・兄弟姉妹に頼む」

【父子世帯】

こどもが病気をしたときの世話は、「自分が仕事を休む」が最も高く68.0%、次いで「親・兄弟姉妹・親戚に頼む」が36.0%、「友人・知人に頼む」が12.0%などとなっている。

図表 120 父子世帯_こどもが病気をしたときの世話〔複数回答〕



※「病児・病後児保育」は今回調査のみ

※R2調査は「親・兄弟姉妹・親戚に頼む」→「親・兄弟姉妹に頼む」

⑤放課後や長期休暇中のこどもの過ごし方

＜小学生のこどもがいる人のみ回答＞

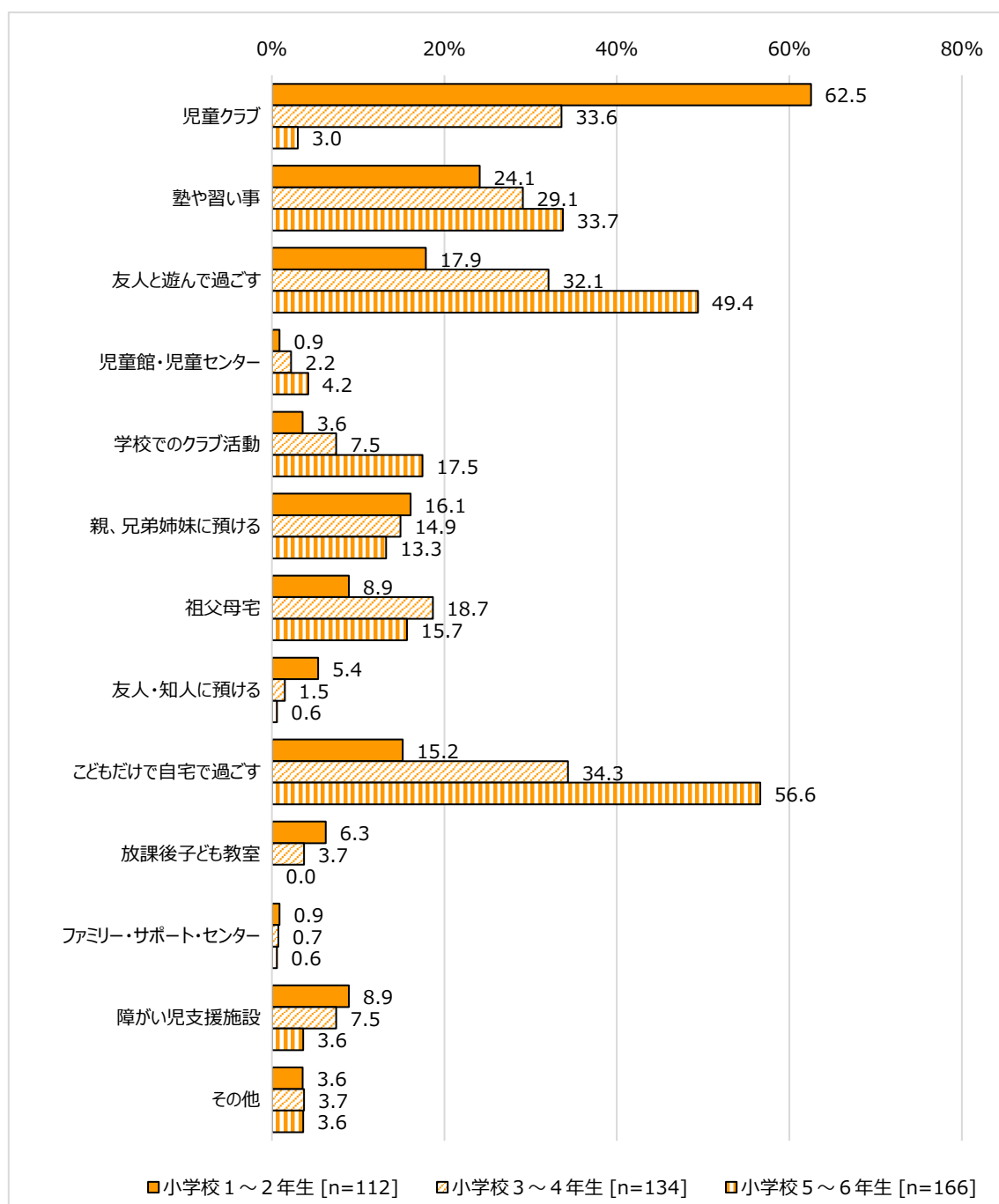
(ア)放課後の過ごし方(学年別)

放課後に親がいないとき、小学生のこどもが過ごす場所は、「小学校1～2年生」では「児童クラブ」が最も高く62.5%、次いで「塾や習い事」が24.1%、「友人と遊んで過ごす」が17.9%などとなっている。

「小学校3～4年生」では「こどもだけで自宅で過ごす」が最も高く34.3%、次いで「児童クラブ」が33.6%、「友人と遊んで過ごす」が32.1%などとなっている。

「小学校5～6年生」では「こどもだけで自宅で過ごす」が最も高く56.6%、次いで「友人と遊んで過ごす」が49.4%、「塾や習い事」が33.7%などとなっている。

図表 121 放課後に親がいないとき、小学生のこどもが過ごす場所(学年別)〔複数回答〕



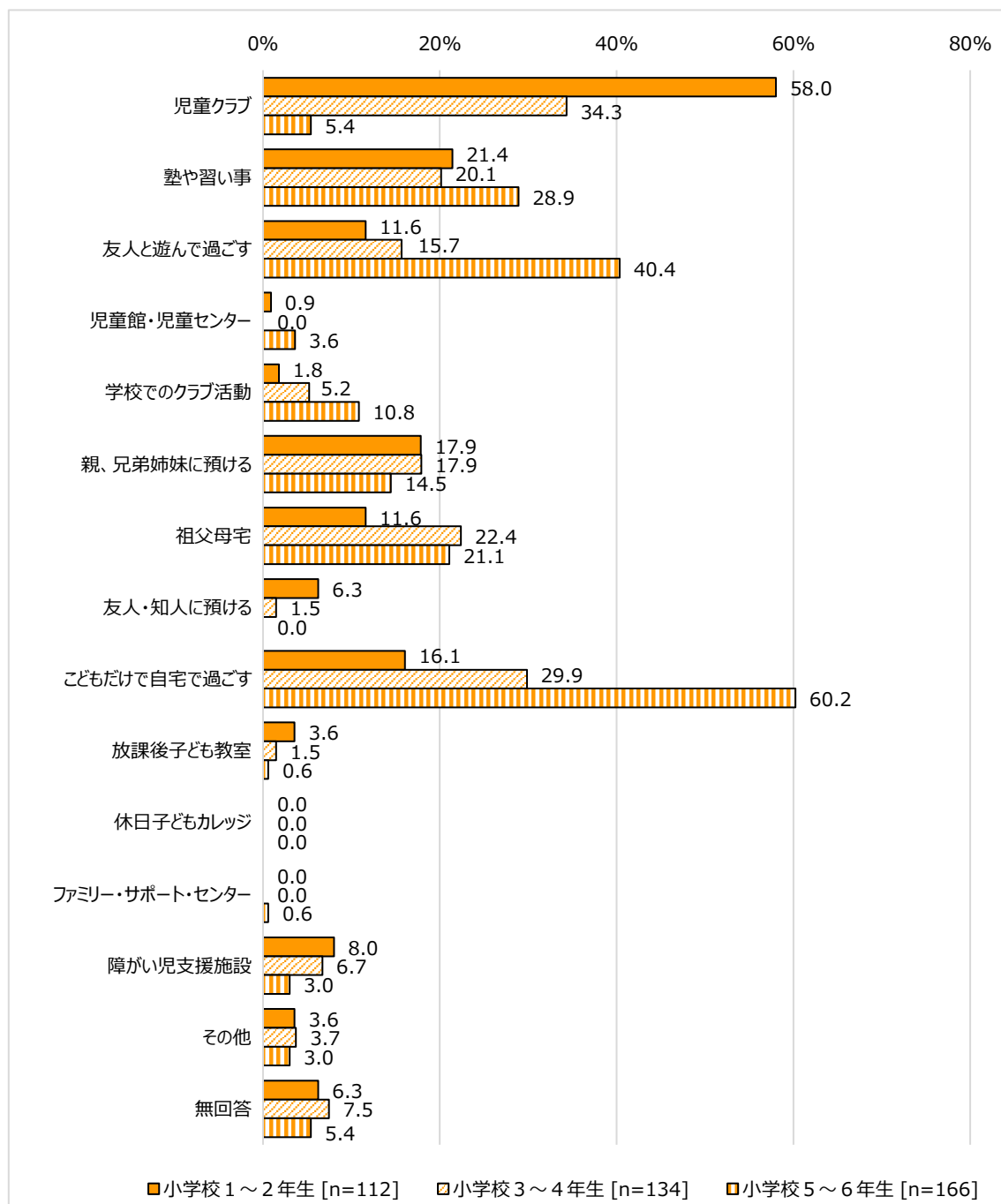
(イ)長期休暇中の過ごし方(学年別)

長期休暇中に親がいないとき、小学生のこどもが過ごす場所は、「小学校1～2年生」では「児童クラブ」が最も高く58.0%、次いで「塾や習い事」が21.4%、「親、兄弟姉妹に預ける」が17.9%などとなっている。

「小学校3～4年生」では「児童クラブ」が最も高く34.3%、次いで「こどもだけで自宅で過ごす」が29.9%、「祖父母宅」が22.4%などとなっている。

「小学校5～6年生」では「こどもだけで自宅で過ごす」が最も高く60.2%、次いで「友人と遊んで過ごす」が40.4%、「塾や習い事」がなど28.9%となっている。

図表 122 長期休暇中に親がいないとき、小学生のこどもが過ごす場所(学年別)[複数回答]



⑥こども自身が希望する進学について

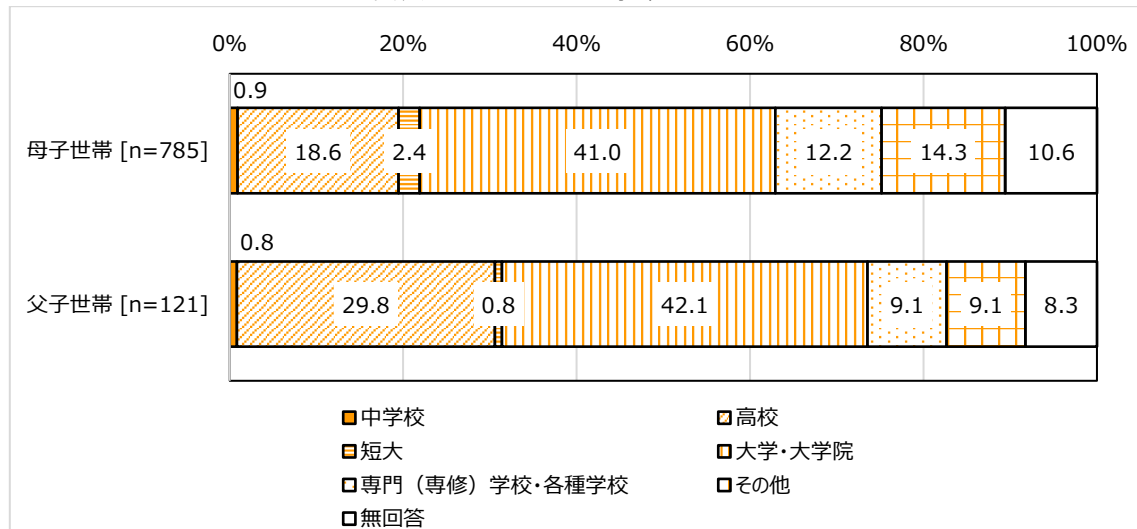
【母子世帯】

こども自身が希望している進学は、「大学・大学院」が最も高く41.0%、次いで「高校」が18.6%、「専門（専修）学校・各種学校」が12.2%などとなっている。

【父子世帯】

こども自身が希望している進学は、「大学・大学院」が最も高く42.1%、次いで「高校」が29.8%、「専門（専修）学校・各種学校」が9.1%などとなっている。

図表 123 こどもの進学希望について

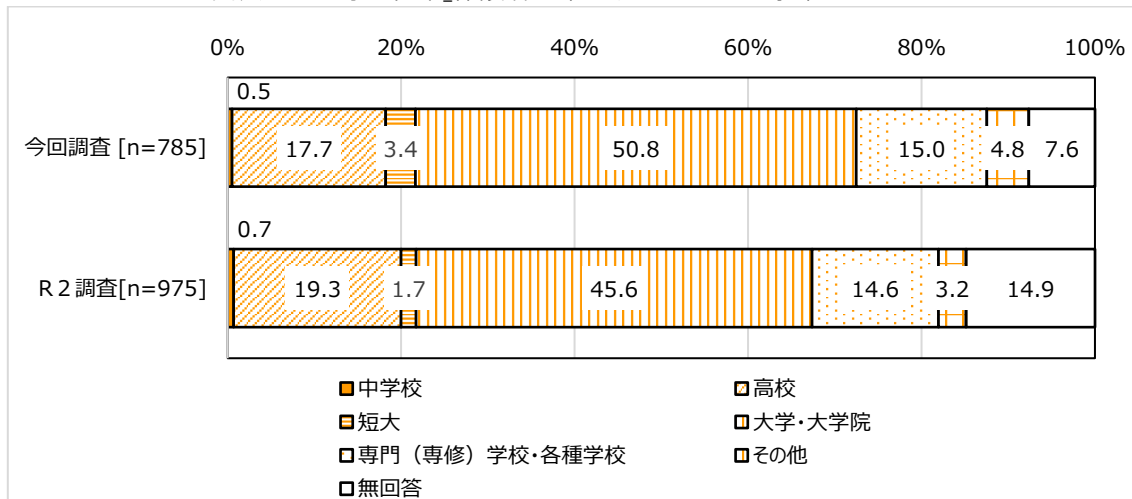


⑦保護者の希望するこどもの進学希望について

【母子世帯】

保護者の希望するこどもの進学希望は、「大学・大学院」が最も高く50.8%、次いで「高校」が17.7%、「専門（専修）学校・各種学校」が15.0%などとなっている。

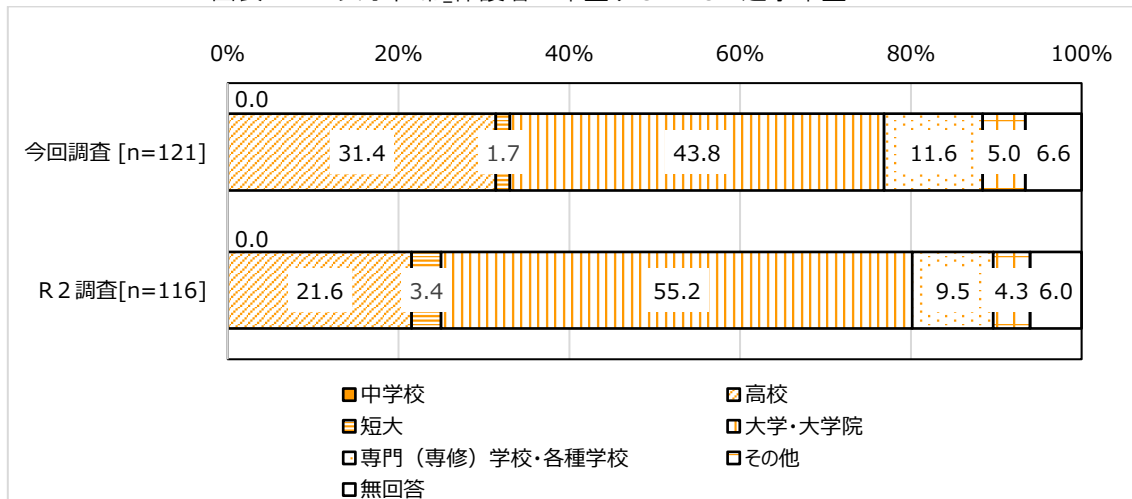
図表 124 母子世帯_保護者の希望するこどもの進学希望について



【父子世帯】

保護者の希望するこどもの進学希望は、「大学・大学院」が最も高く43.8%、次いで「高校」が31.4%、「専門（専修）学校・各種学校」が11.6%などとなっている。

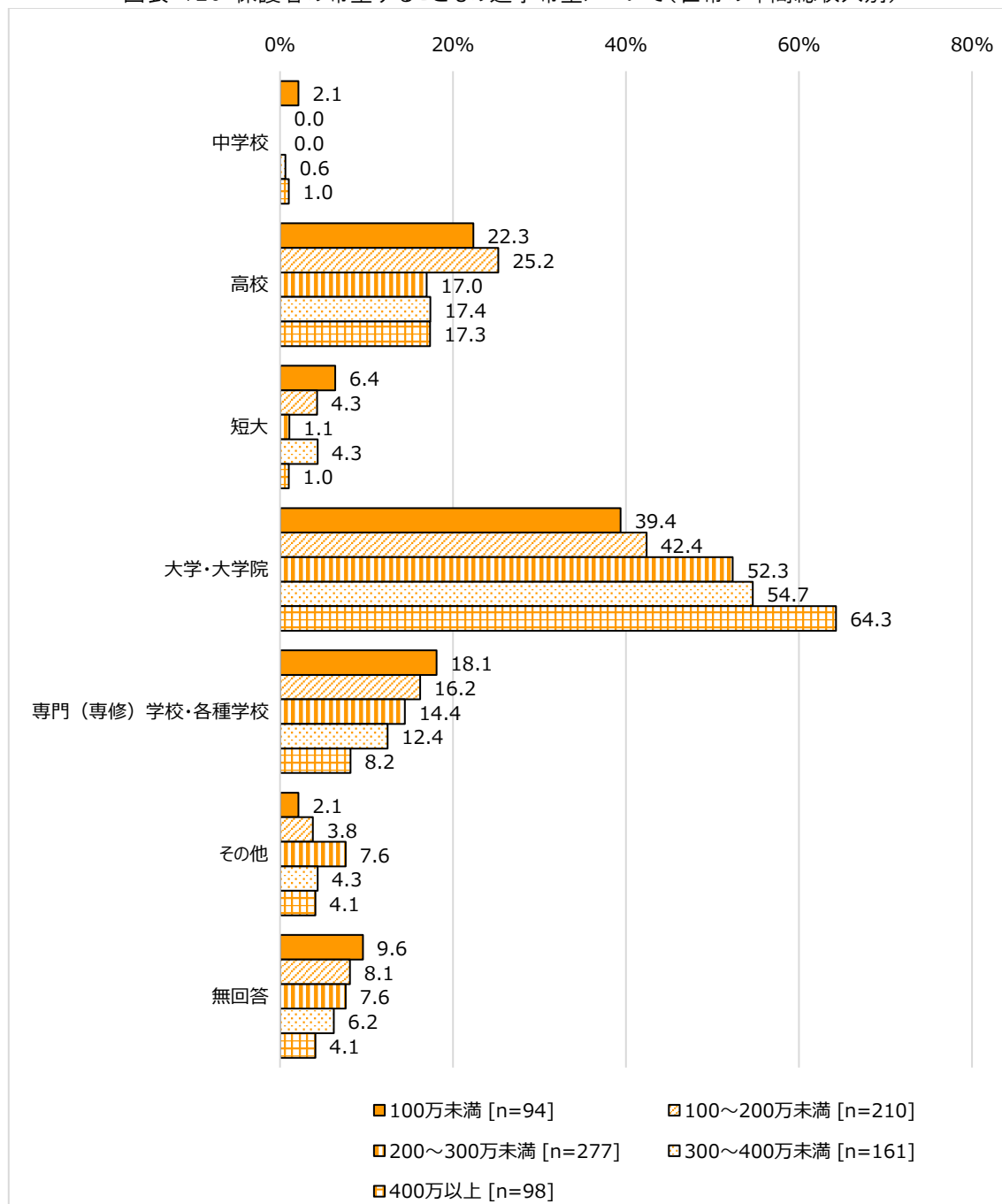
図表 125 父子世帯_保護者の希望するこどもの進学希望について



〔世帯の年間総収入別〕

保護者の希望するこどもの進学希望について世帯の年間総収入別にみると、収入にかかわらず「大学・大学院」が最も高くなっている。また、「100万未満」「100～200万未満」では「高校」が、「200～300万未満」「300～400万未満」「400万以上」では「大学・大学院」が他よりも高くなっている。

図表 126 保護者の希望するこどもの進学希望について（世帯の年間総収入別）

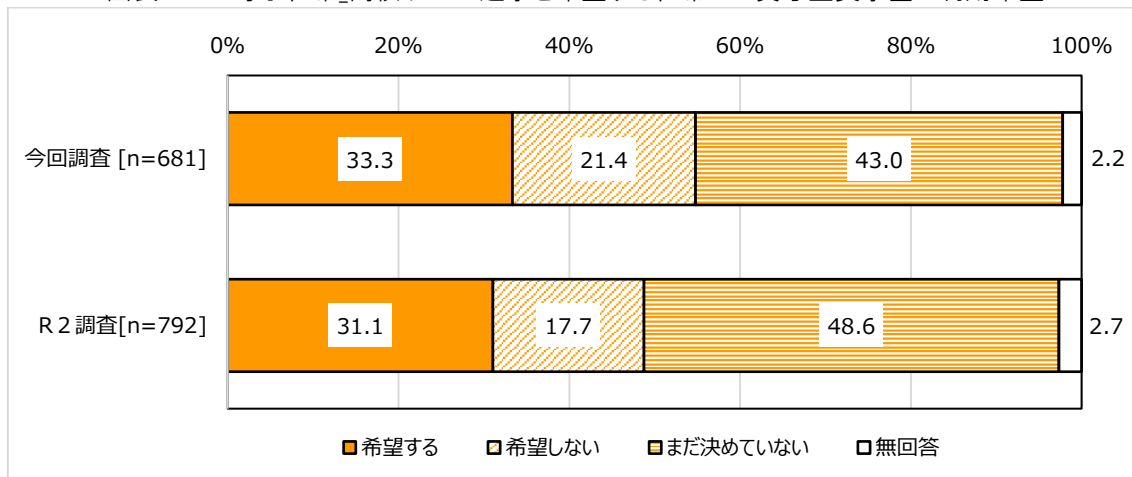


⑧高校以上の進学を希望する世帯での貸与型奨学金の利用希望

【母子世帯】

こどもの進学を「高校」「大学・大学院」「専門（専修）学校・各種学校」までと考えていると回答した人の貸与型奨学金の利用希望は、「まだ決めていない」が最も高く43.0%、次いで「希望する」が33.3%、「希望しない」が21.4%となっている。

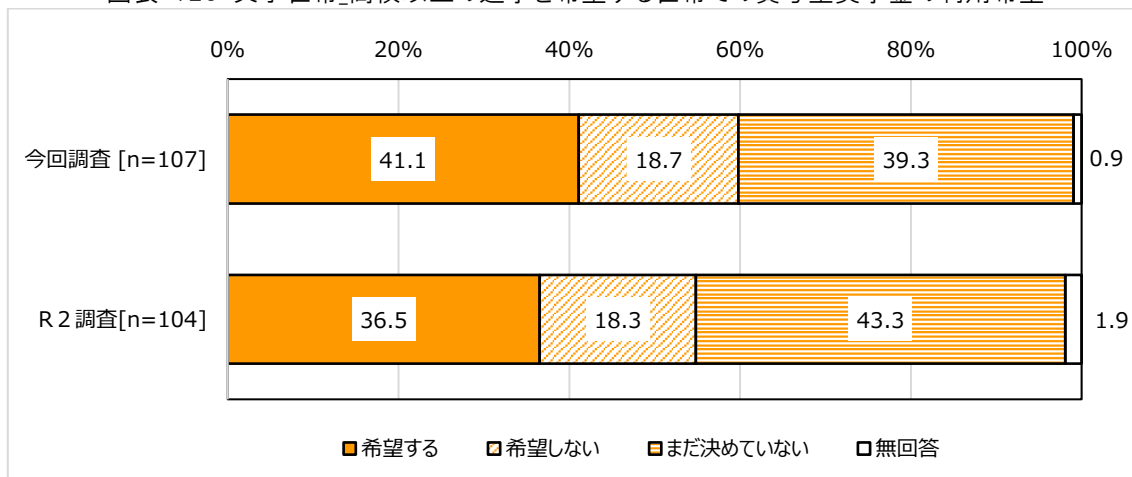
図表 127 母子世帯_高校以上の進学を希望する世帯での貸与型奨学金の利用希望



【父子世帯】

こどもの進学を「高校」「大学・大学院」「専門（専修）学校・各種学校」までと考えていると回答した人の貸与型奨学金の利用希望は、「希望する」が最も高く41.1%、次いで「まだ決めていない」が39.3%、「希望しない」が18.7%となっている。

図表 128 父子世帯_高校以上の進学を希望する世帯での貸与型奨学金の利用希望



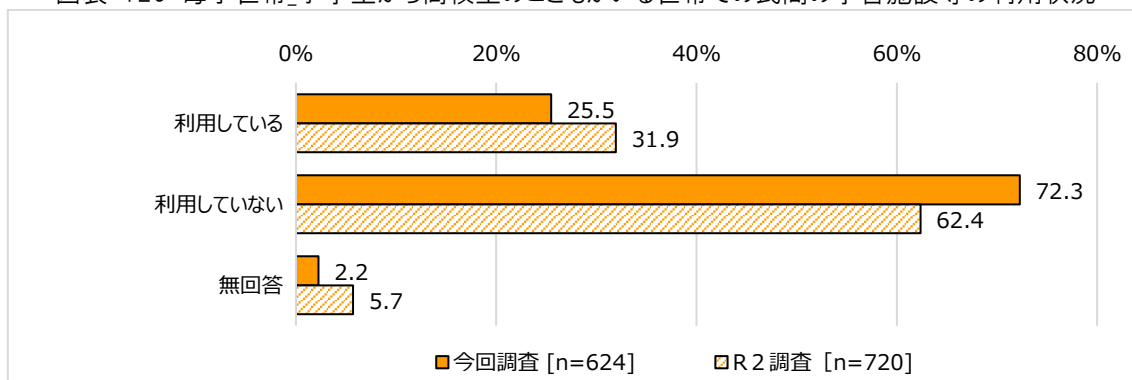
⑨小学生から高校生のこどもがいる世帯での民間の学習施設等の利用状況と利用しない理由

【母子世帯】

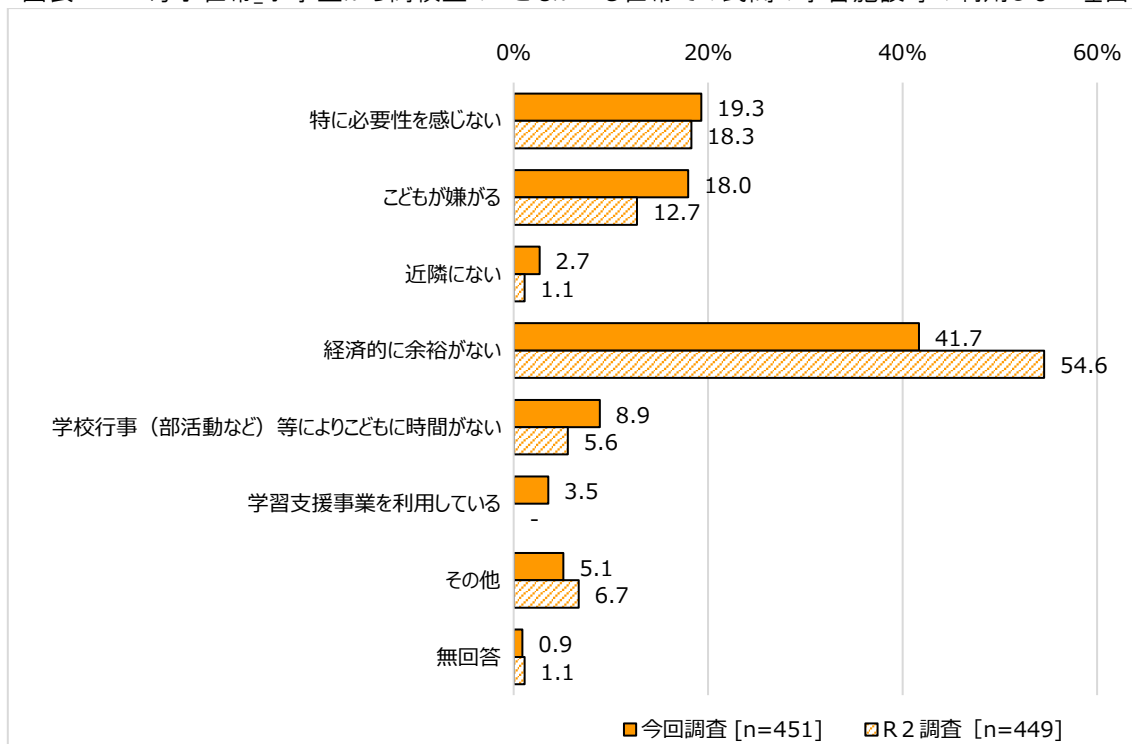
小学生から高校生のこどもがいる世帯での民間の学習施設等の利用状況は、「利用している」が25.5%、「利用していない」が72.3%となっている。

「利用していない」と回答した人のその理由についてみると、「経済的に余裕がない」が最も高く41.7%、次いで「特に必要性を感じない」が19.3%、「こどもが嫌がる」が18.0%などとなっている。

図表 129 母子世帯_小学生から高校生のこどもがいる世帯での民間の学習施設等の利用状況



図表 130 母子世帯_小学生から高校生のこどもがいる世帯での民間の学習施設等の利用しない理由



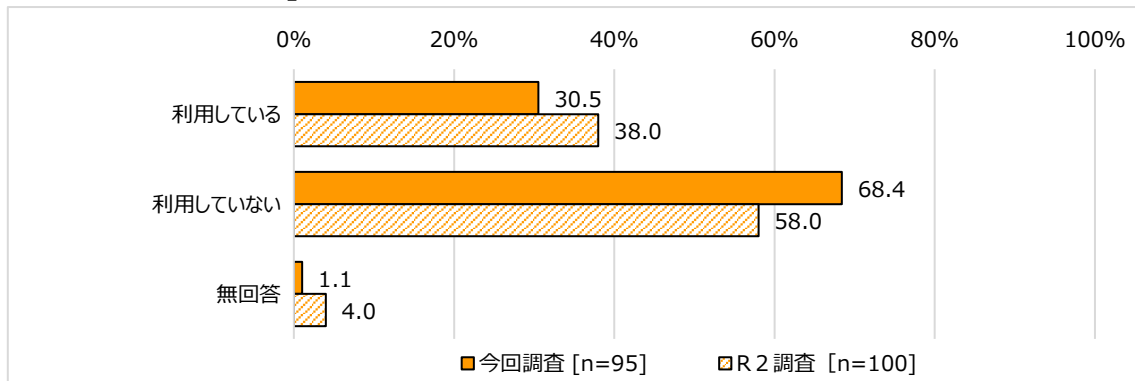
※「学習支援事業を利用している」は今回調査のみ

【父子世帯】

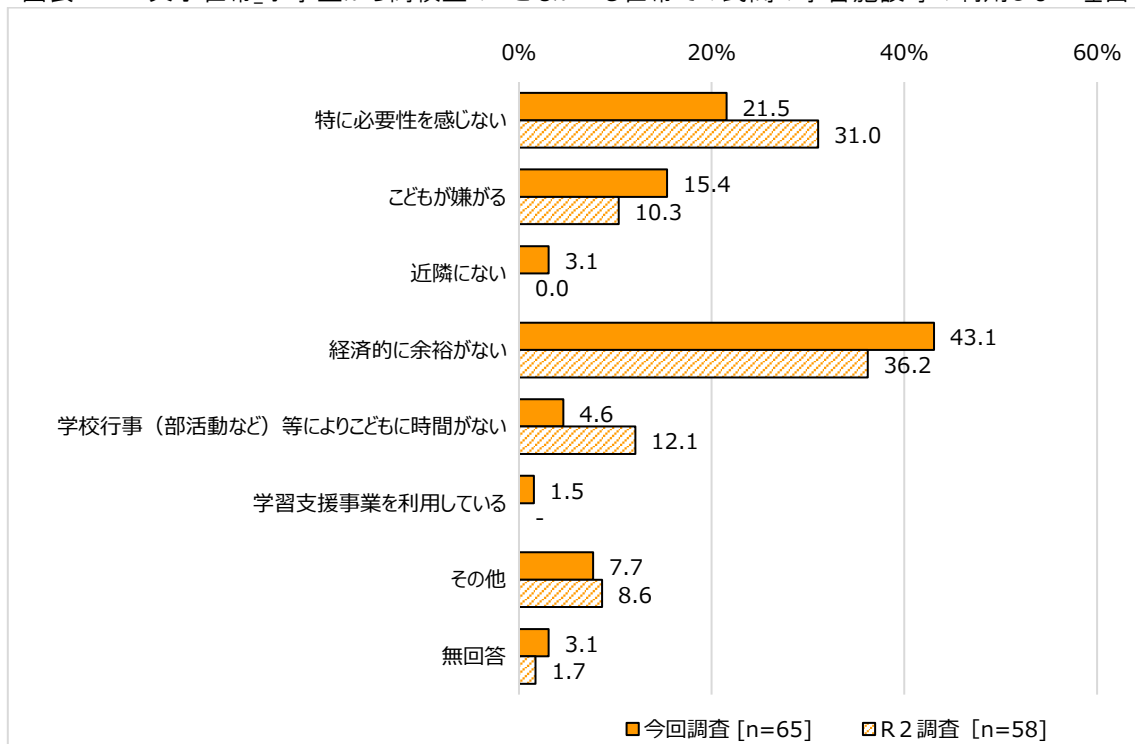
小学生から高校生のこどもがいる世帯での民間の学習施設等の利用状況は、「利用している」が30.5%、「利用していない」が68.4%となっている。

「利用していない」と回答した人のその理由についてみると、「経済的に余裕がない」が最も高く43.1%、次いで「特に必要性を感じない」が21.5%、「こどもが嫌がる」が15.4%などとなっている。

図表 131 父子世帯_小学生から高校生のこどもがいる世帯での民間の学習施設等の利用状況



図表 132 父子世帯_小学生から高校生のこどもがいる世帯での民間の学習施設等の利用しない理由



※「学習支援事業を利用している」は今回調査のみ

⑩市が実施している学習支援の利用意向

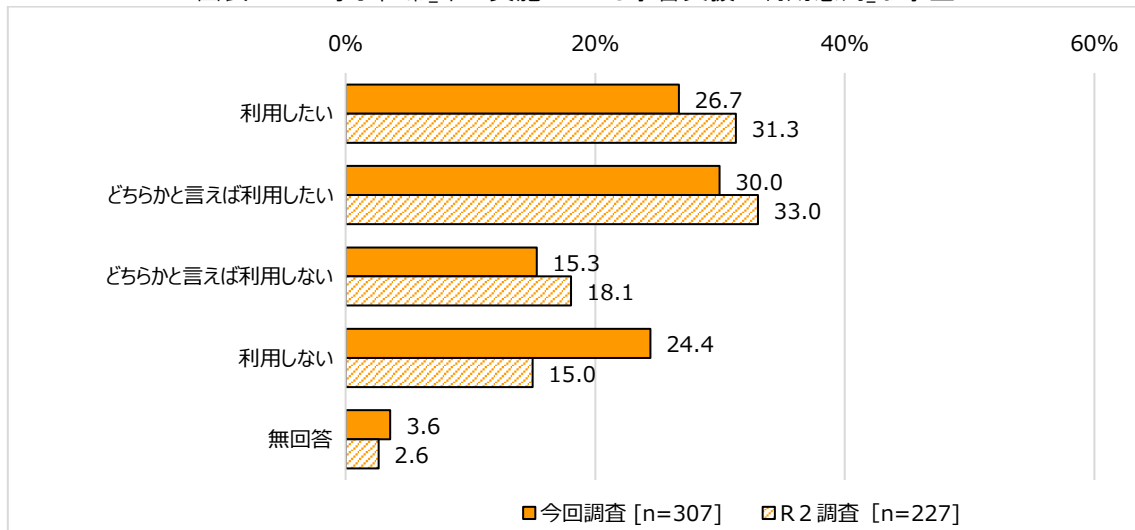
(ア)小学生対象

<民間の学習施設を利用していない小学生のこどもがいる人のみ回答>

【母子世帯】

市が実施している学習支援の利用意向は、「どちらかと言えば利用したい」が最も高く30.0%、次いで「利用したい」が26.7%、「利用しない」が24.4%、「どちらかと言えば利用しない」が15.3%となっている。

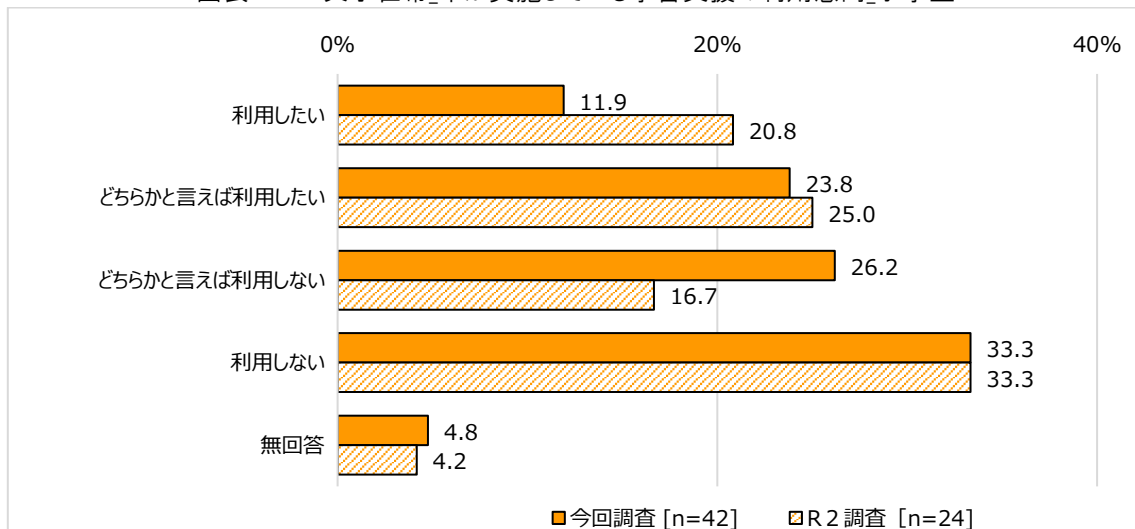
図表 133 母子世帯_市が実施している学習支援の利用意向_小学生



【父子世帯】

市が実施している学習支援の利用意向は、「利用しない」が最も高く33.3%、次いで「どちらかと言えば利用しない」が26.2%、「どちらかと言えば利用したい」が23.8%、「利用したい」が11.9%となっている。

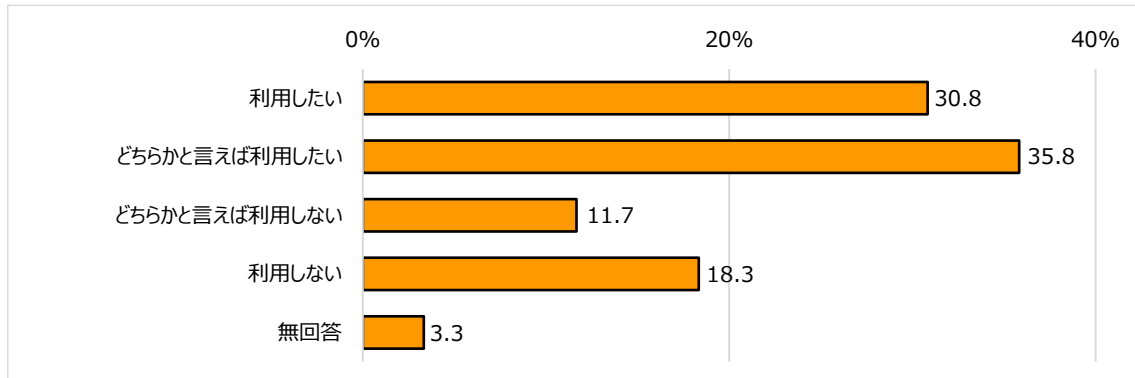
図表 134 父子世帯_市が実施している学習支援の利用意向_小学生



〔経済的な理由で民間の学習施設に通うことのできない世帯〕

経済的な理由で民間の学習施設に通うことのできない世帯について、市が実施している学習支援の利用意向は、「どちらかと言えば利用したい」が最も高く35.8%、次いで「利用したい」が30.8%、「利用しない」が18.3%、「どちらかと言えば利用しない」が11.7%となっている。

図表 135 経済的な理由で民間の学習施設に通うことのできない世帯での小学生対象の学習支援の利用意向[n=120]



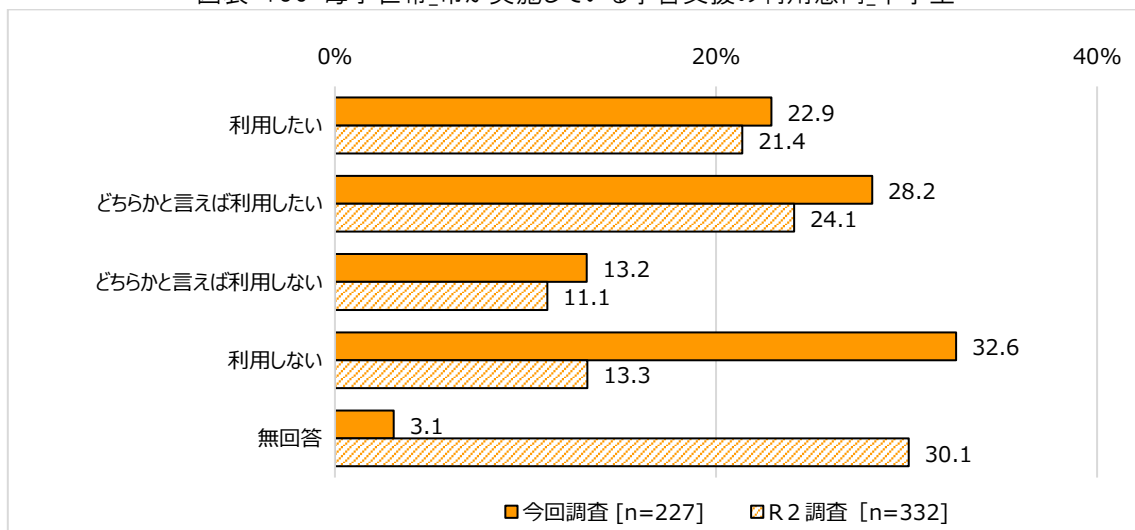
(イ)中学生対象

<民間の学習施設を利用していない中学生のこどもがいる人のみ回答>

【母子世帯】

市が実施している学習支援の利用意向は、「利用しない」が最も高く32.6%、次いで「どちらかと言えば利用したい」が28.2%、「利用したい」が22.9%、「どちらかと言えば利用しない」が13.2%となっている。

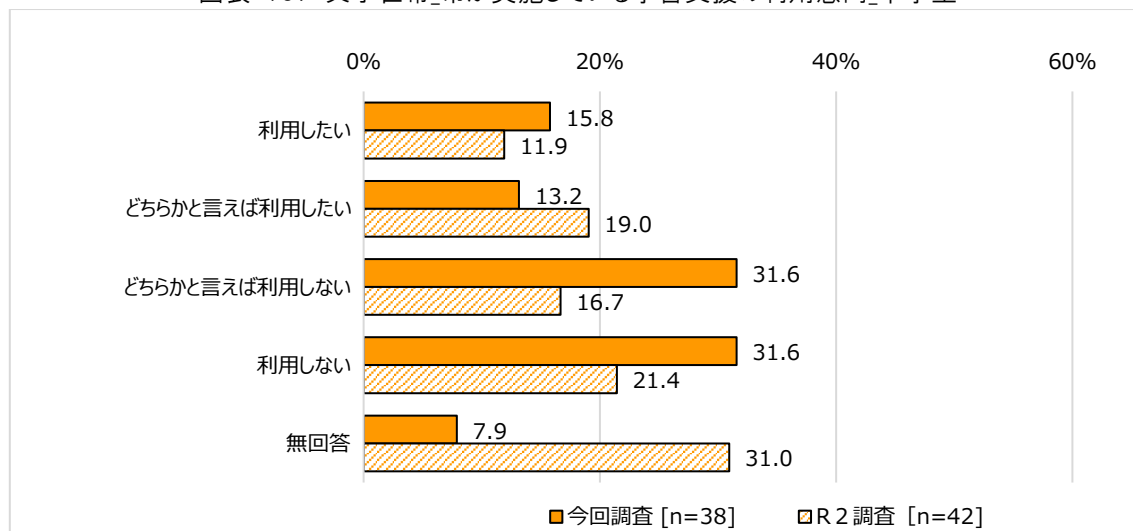
図表 136 母子世帯_市が実施している学習支援の利用意向_中学生



【父子世帯】

市が実施している学習支援の利用意向は、「どちらかと言えば利用しない」「利用しない」が最も高くそれぞれ31.6%、次いで「利用したい」が15.8%、「どちらかと言えば利用したい」が13.2%となっている。

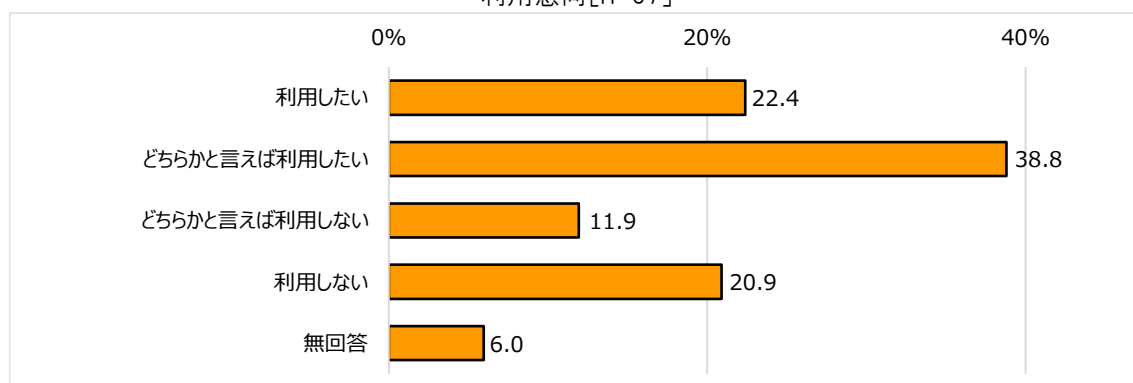
図表 137 父子世帯_市が実施している学習支援の利用意向_中学生



〔経済的な理由で民間の学習施設に通うことのできない世帯〕

経済的な理由で民間の学習施設に通うことのできない世帯について、市が実施している学習支援の利用意向は、「どちらかと言えば利用したい」が最も高く38.8%、次いで「利用したい」が22.4%、「利用しない」が20.9%、「どちらかと言えば利用しない」が11.9%となっている。

図表 138 経済的な理由で民間の学習施設に通うことのできない世帯での中学生対象の学習支援の利用意向[n=67]



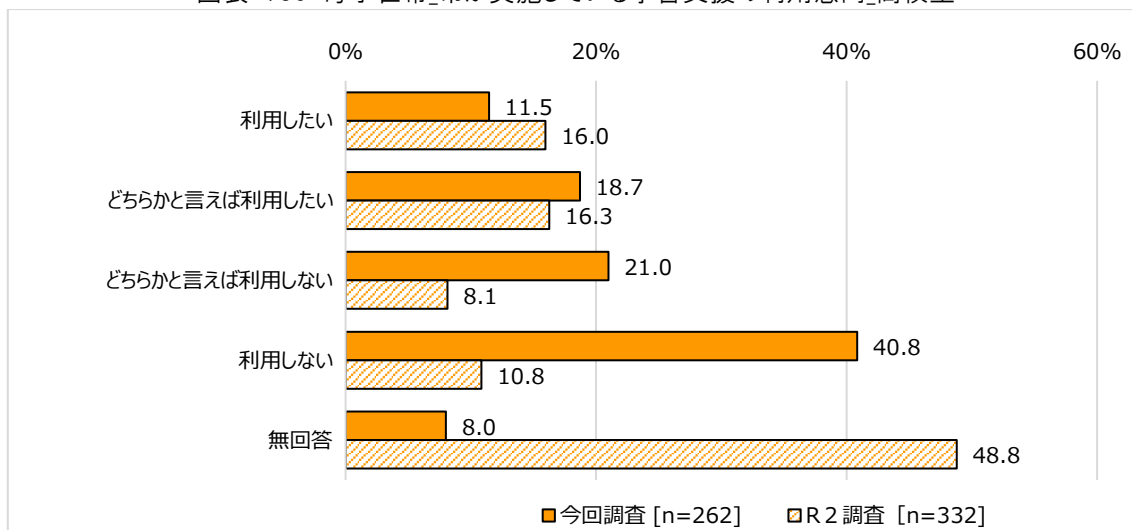
(ウ)高校生対象

<民間の学習施設を利用していない高校生のこどもがいる人のみ回答>

【母子世帯】

市が実施している学習支援の利用意向は、「利用しない」が最も高く40.8%、次いで「どちらかと言えば利用しない」が21.0%、「どちらかと言えば利用したい」が18.7%、「利用したい」が11.5%となっている。

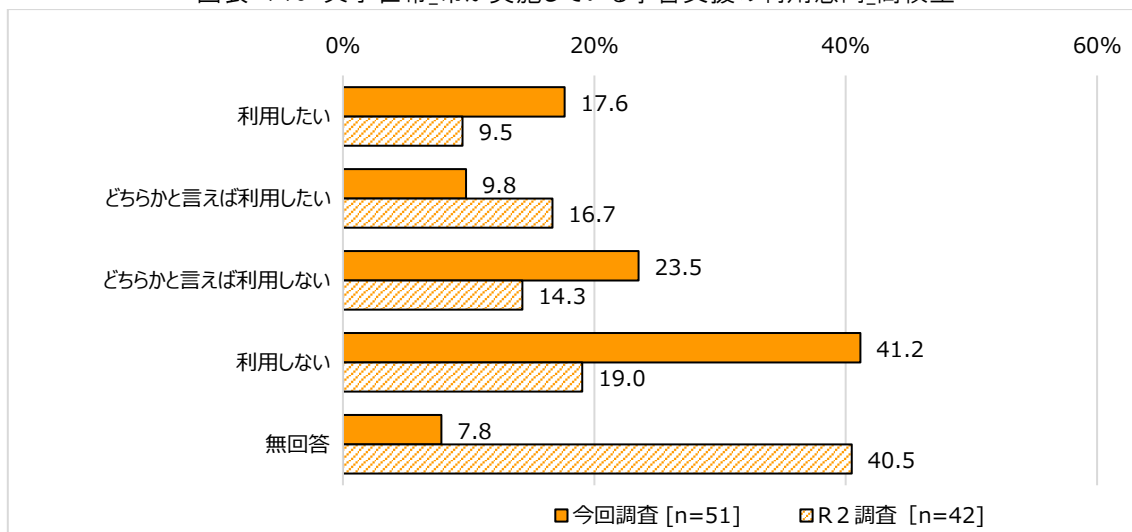
図表 139 母子世帯_市が実施している学習支援の利用意向_高校生



【父子世帯】

市が実施している学習支援の利用意向は、「利用しない」が最も高く41.2%、次いで「どちらかと言えば利用しない」が23.5%、「利用したい」が17.6%、「どちらかと言えば利用したい」が9.8%となっている。

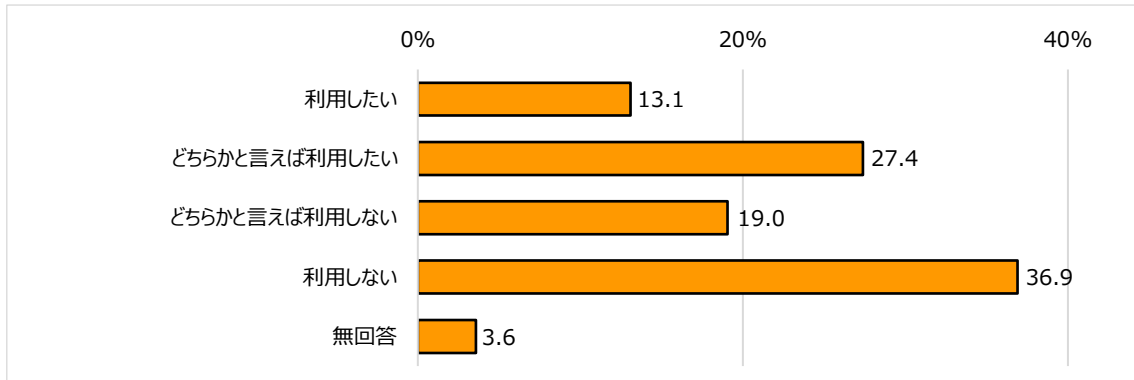
図表 140 父子世帯_市が実施している学習支援の利用意向_高校生



〔経済的な理由で民間の学習施設に通うことのできない世帯〕

経済的な理由で民間の学習施設に通うことのできない世帯について、市が実施している学習支援の利用意向は、「利用しない」が最も高く36.9%、次いで「どちらかと言えば利用したい」が27.4%、「どちらかと言えば利用しない」が19.0%、「利用したい」が13.1%となっている。

図表 141 経済的な理由で民間の学習施設に通うことのできない世帯での高校生対象の学習支援の利用意向[n=84]



(エ)市が実施している学習支援を利用しない理由

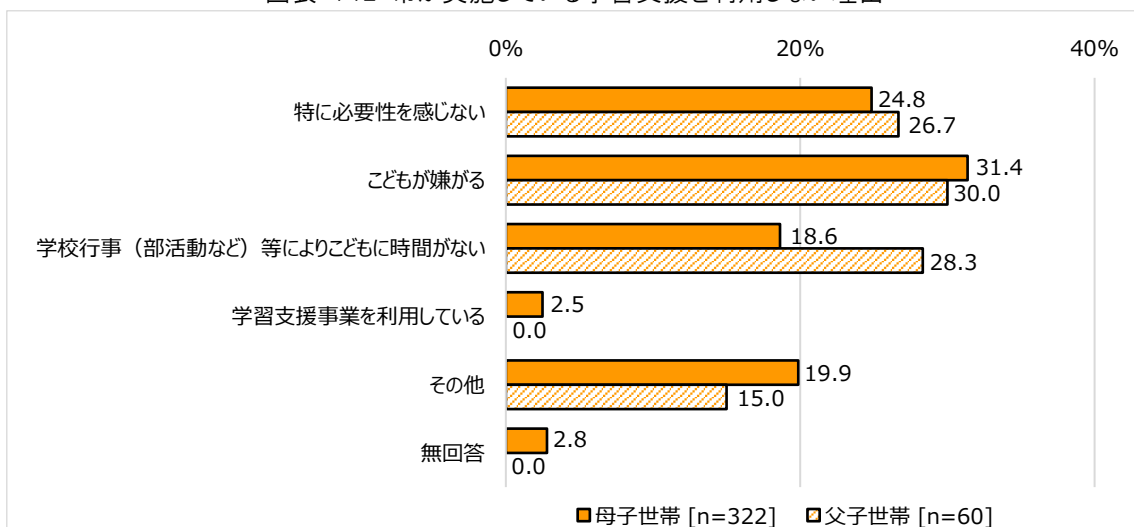
【母子世帯】

市が実施している学習支援を「どちらかと言えば利用しない」「利用しない」と回答した人のその理由は、「こどもが嫌がる」が最も高く31.4%、次いで「特に必要性を感じない」が24.8%、「学校行事（部活動など）等によりこどもに時間がない」が18.6%などとなっている。

【父子世帯】

市が実施している学習支援を「どちらかと言えば利用しない」「利用しない」と回答した人のその理由は、「こどもが嫌がる」が最も高く30.0%、次いで「学校行事（部活動など）等によりこどもに時間がない」が28.3%、「特に必要性を感じない」が26.7%などとなっている。

図表 142 市が実施している学習支援を利用しない理由



(9) 相談相手や困りごとについて

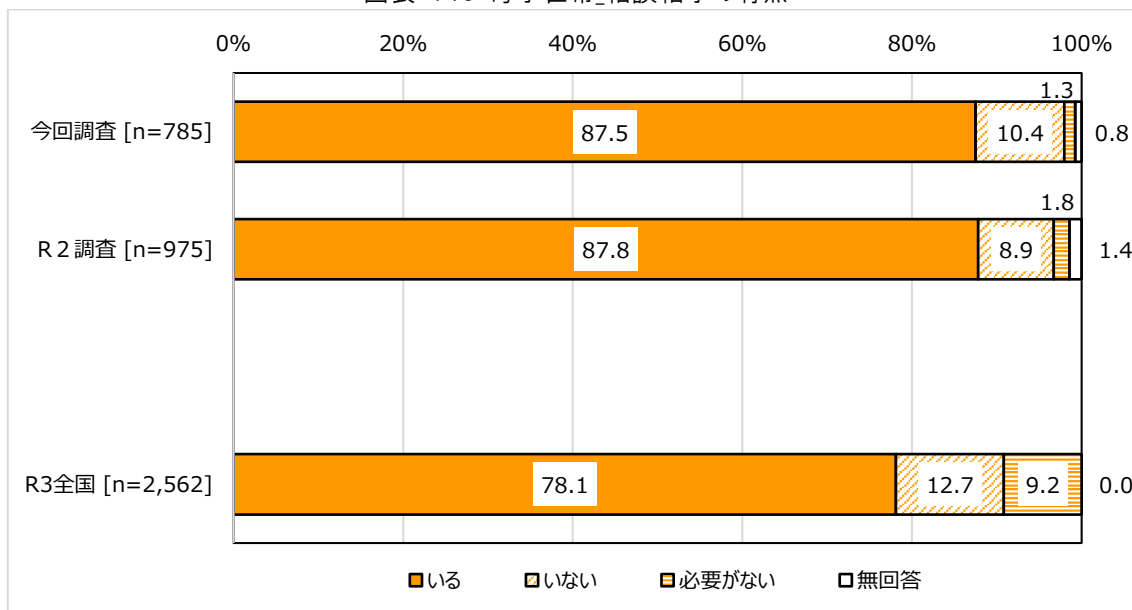
①相談相手の有無と相談相手

(ア)相談相手の有無

【母子世帯】

相談相手の有無は、「いる」が87.5%、「いない」が10.4%、「必要がない」が1.3%となっている。

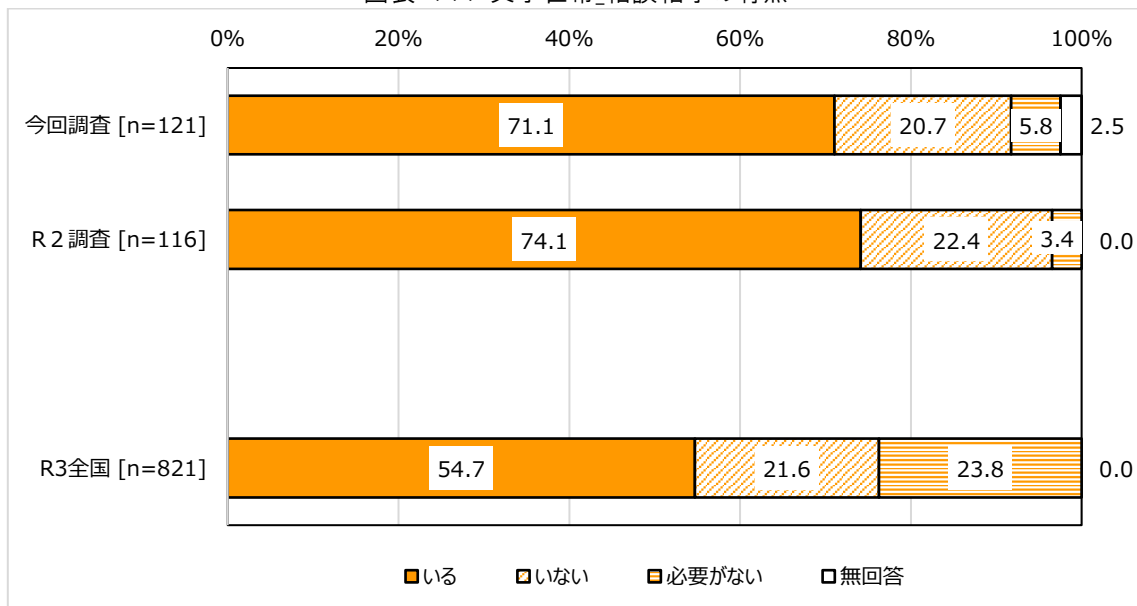
図表 143 母子世帯_相談相手の有無



【父子世帯】

相談相手の有無は、「いる」が71.1%、「いない」が20.7%、「必要がない」が5.8%となっている。

図表 144 父子世帯_相談相手の有無

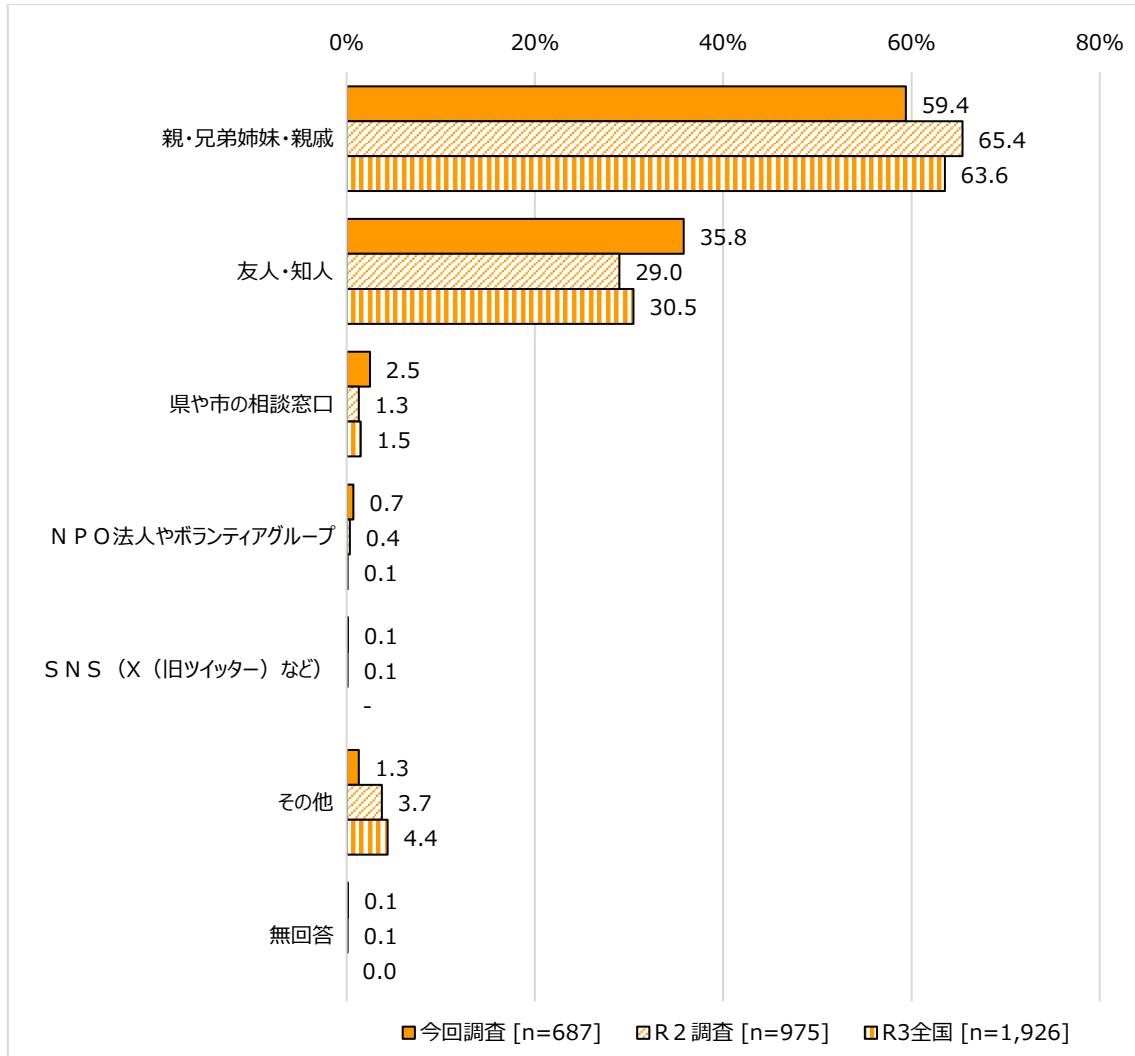


(イ)主な相談相手

【母子世帯】

主な相談相手は、「親・兄弟姉妹・親戚」が最も高く59.4%、次いで「友人・知人」が35.8%、「県や市の相談窓口」が2.5%などとなっている。

図表 145 母子世帯_主な相談相手



※R2調査、R3全国は「友人・知人」→「知人・隣人」

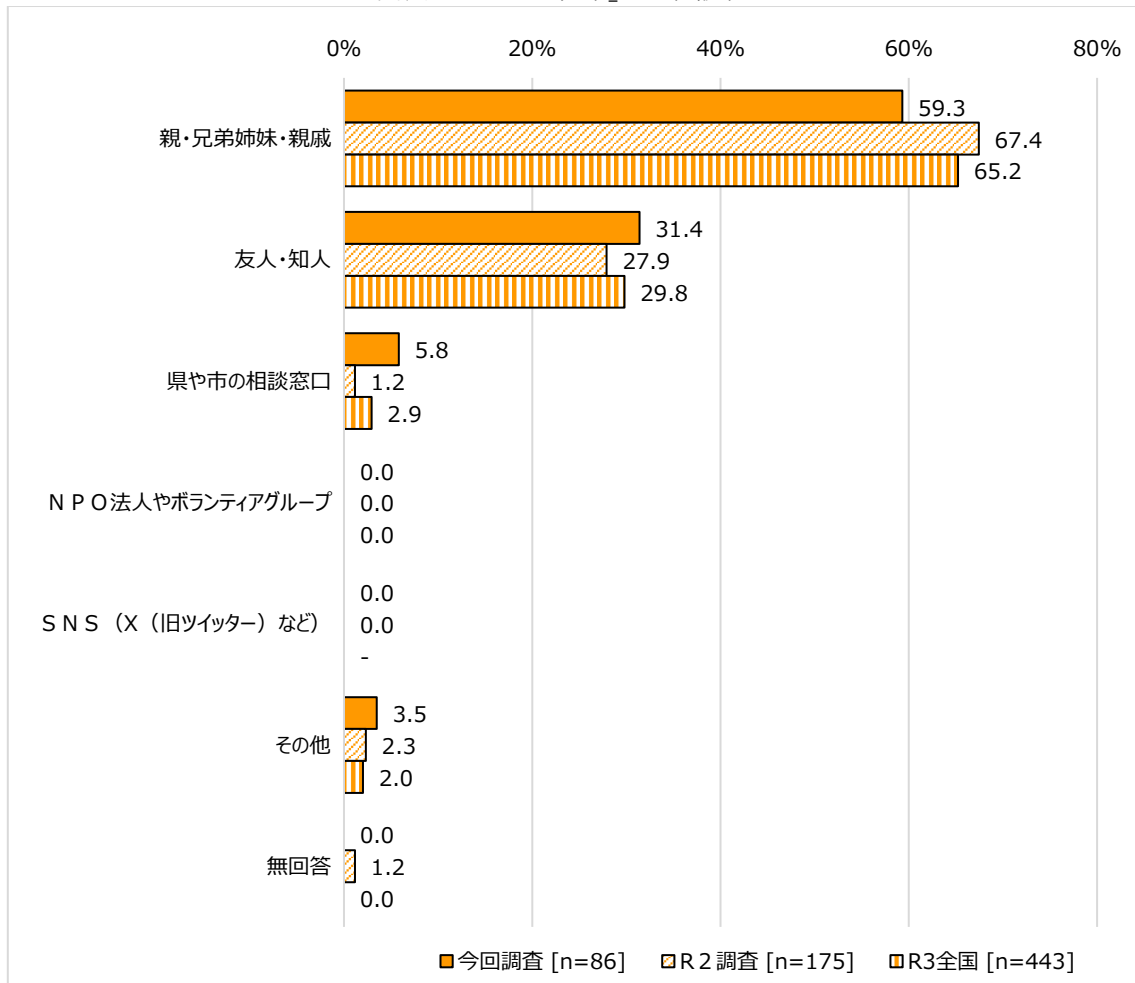
※「県や市の相談窓口」は、R2調査→「公的機関（福祉事業所など）」、R3全国は→「公的機関」

※「S N S (X (旧ツイッター) など)」はR3全国はなし

【父子世帯】

主な相談相手は、「親・兄弟姉妹・親戚」が最も高く59.3%、次いで「友人・知人」が31.4%、「県や市の相談窓口」が5.8%などとなっている。

図表 146 父子世帯_主な相談相手



※R2調査、R3全国は「友人・知人」→「知人・隣人」

※「県や市の相談窓口」は、R2調査→「公的機関（福祉事業所など）」、R3全国は→「公的機関」

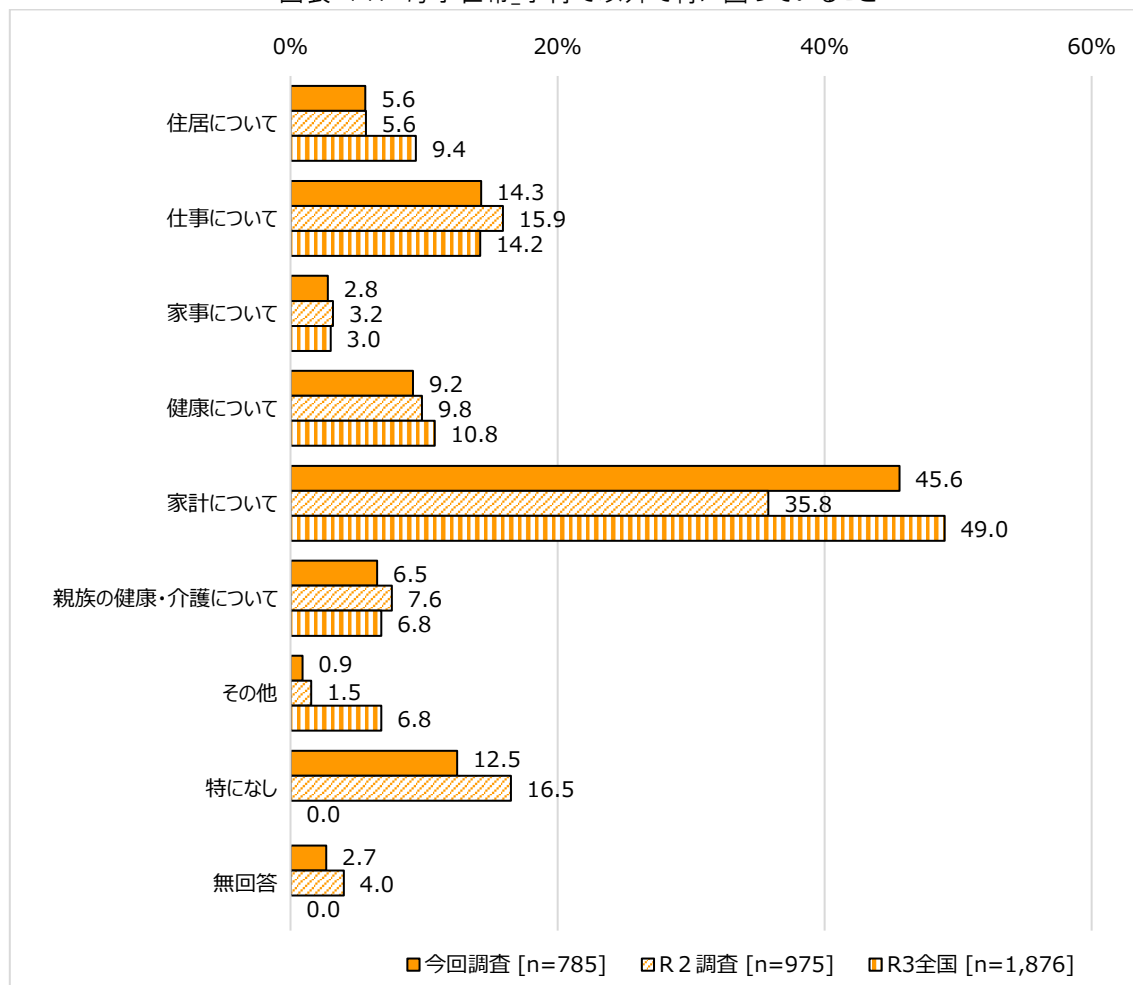
※「SNS (X (旧ツイッター) など)」はR3全国はなし

②子育て以外で特に困っていること

【母子世帯】

子育て以外で特に困っていることは、「家計について」が最も高く45.6%、次いで「仕事について」が14.3%、「健康について」が9.2%などとなっている。また、「特になし」が12.5%となっている。

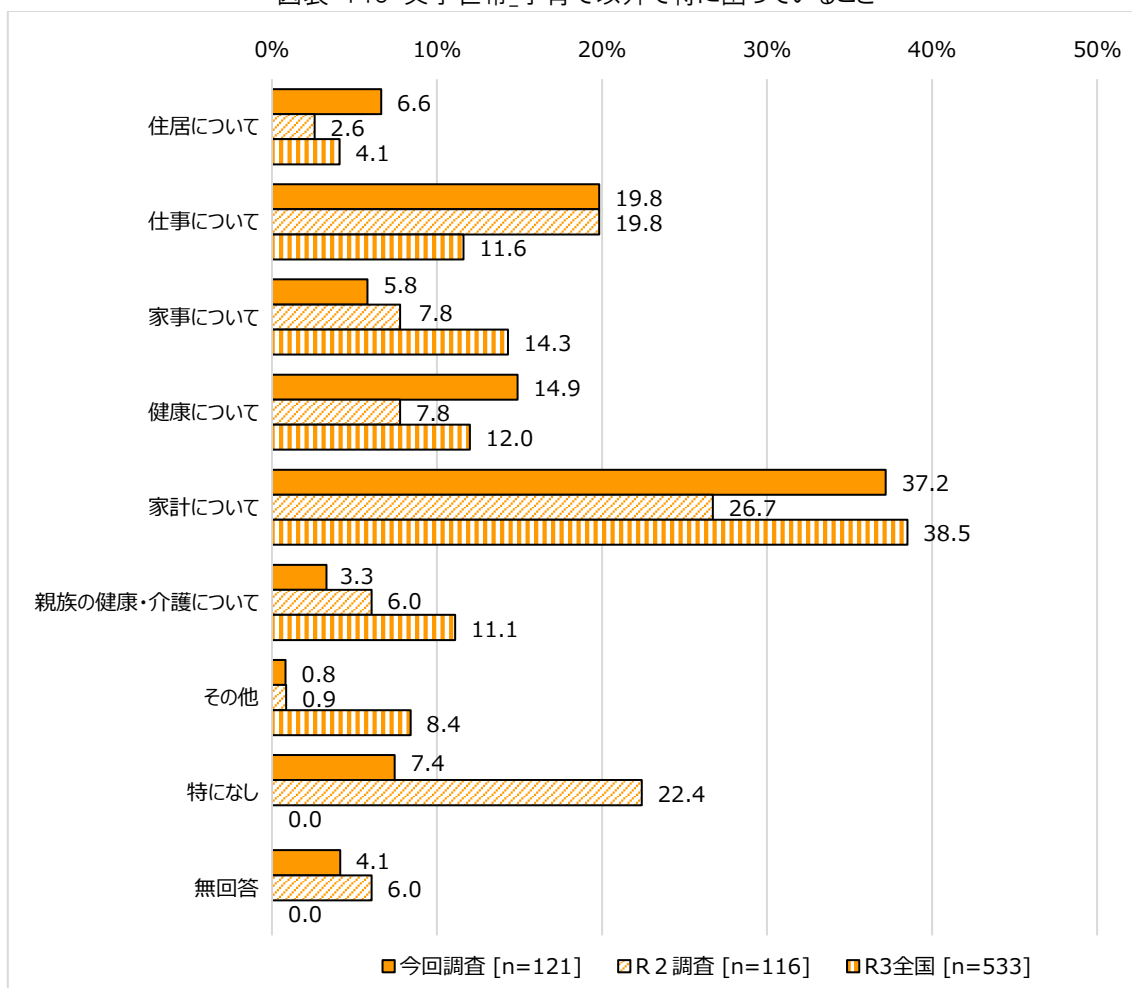
図表 147 母子世帯_子育て以外で特に困っていること



【父子世帯】

子育て以外で特に困っていることは、「家計について」が最も高く37.2%、次いで「仕事について」が19.8%、「健康について」が14.9%などとなっている。また、「特になし」が7.4%となっている。

図表 148 父子世帯_子育て以外で特に困っていること



(10) 福祉関係の公的制度等について

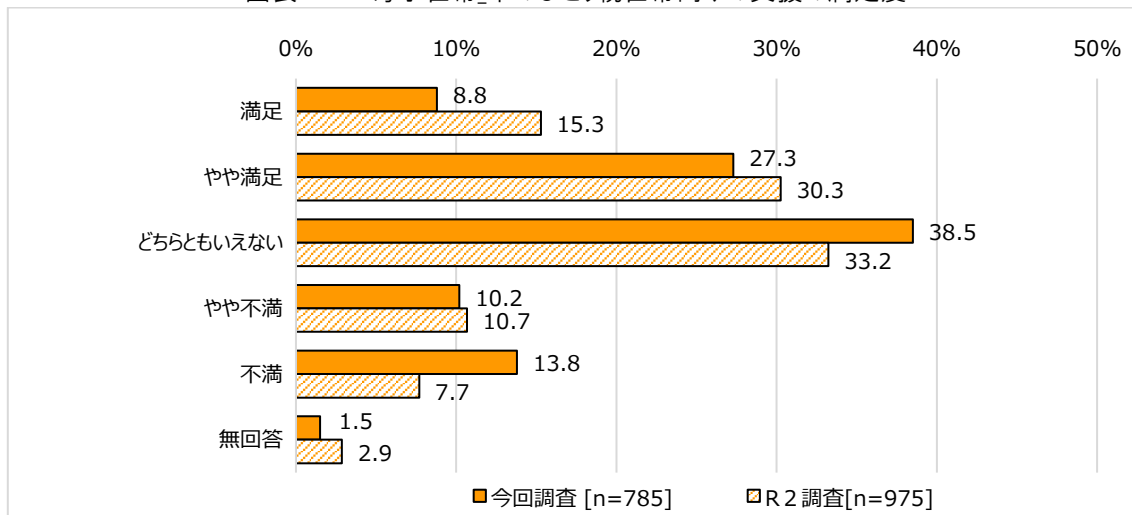
①市のひとり親世帯向けの支援の満足度とその理由

(ア)市のひとり親世帯向けの支援の満足度

【母子世帯】

市のひとり親世帯向けの支援の満足度は、「どちらともいえない」が最も高く38.5%、次いで「やや満足」が27.3%、「不満」が13.8%などとなっている。

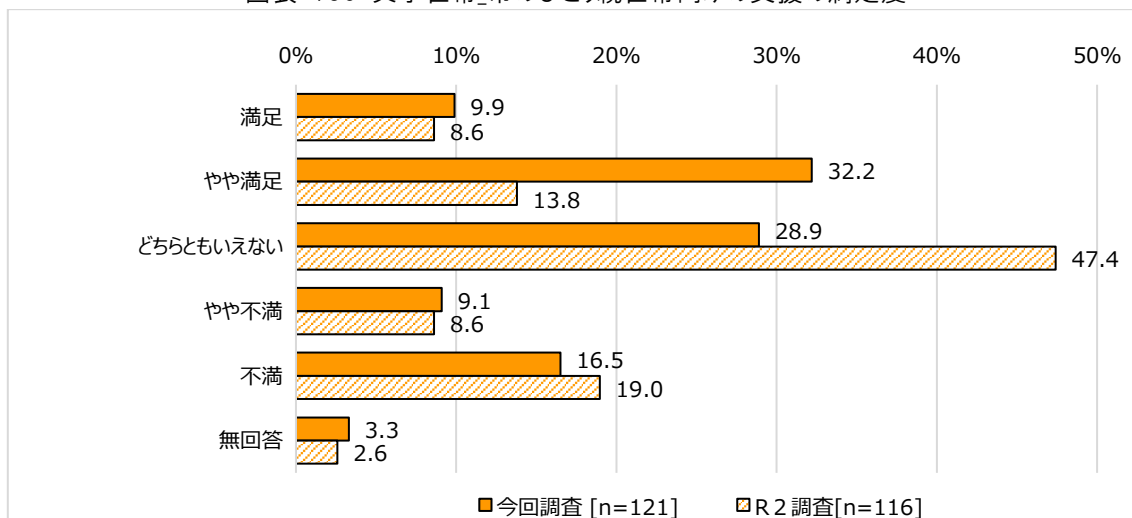
図表 149 母子世帯_市のひとり親世帯向けの支援の満足度



【父子世帯】

市のひとり親世帯向けの支援の満足度は、「やや満足」が最も高く32.2%、次いで「どちらともいえない」が28.9%、「不満」が16.5%などとなっている。

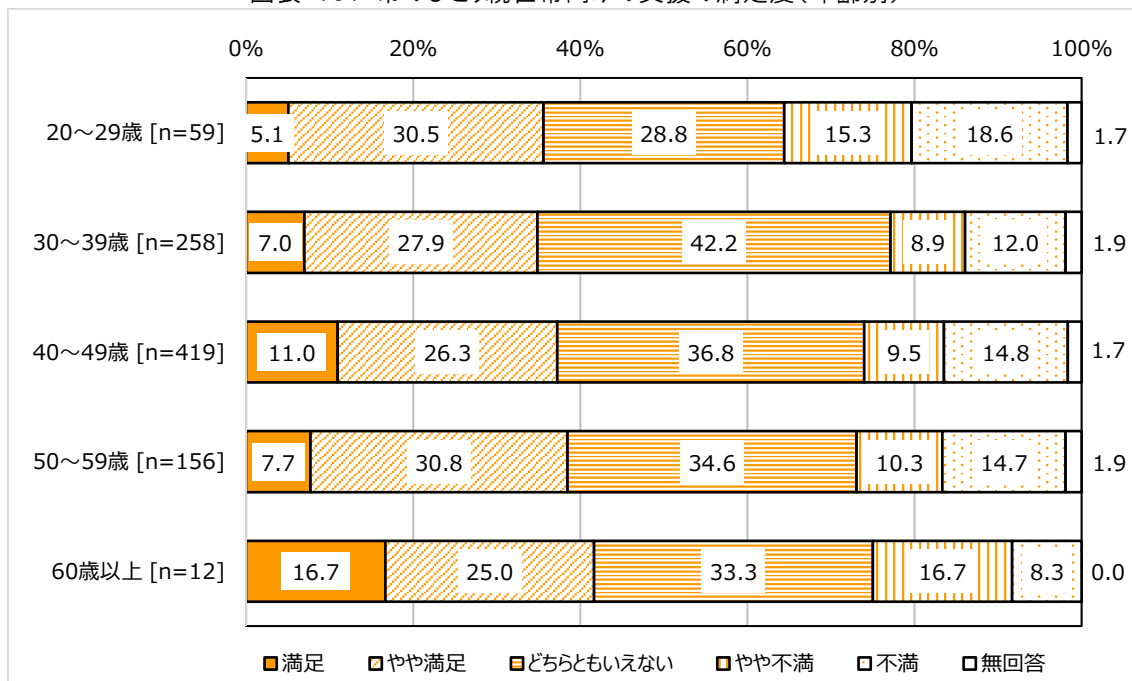
図表 150 父子世帯_市のひとり親世帯向けの支援の満足度



〔年齢別〕

保護者の年齢別にみると、すべての年代で『満足』（「満足」「やや満足」の合計）が『不満』（「やや不満」「不満」の合計）よりも高くなっている。年齢が上がるにつれ『満足』がやや増えている傾向にある。

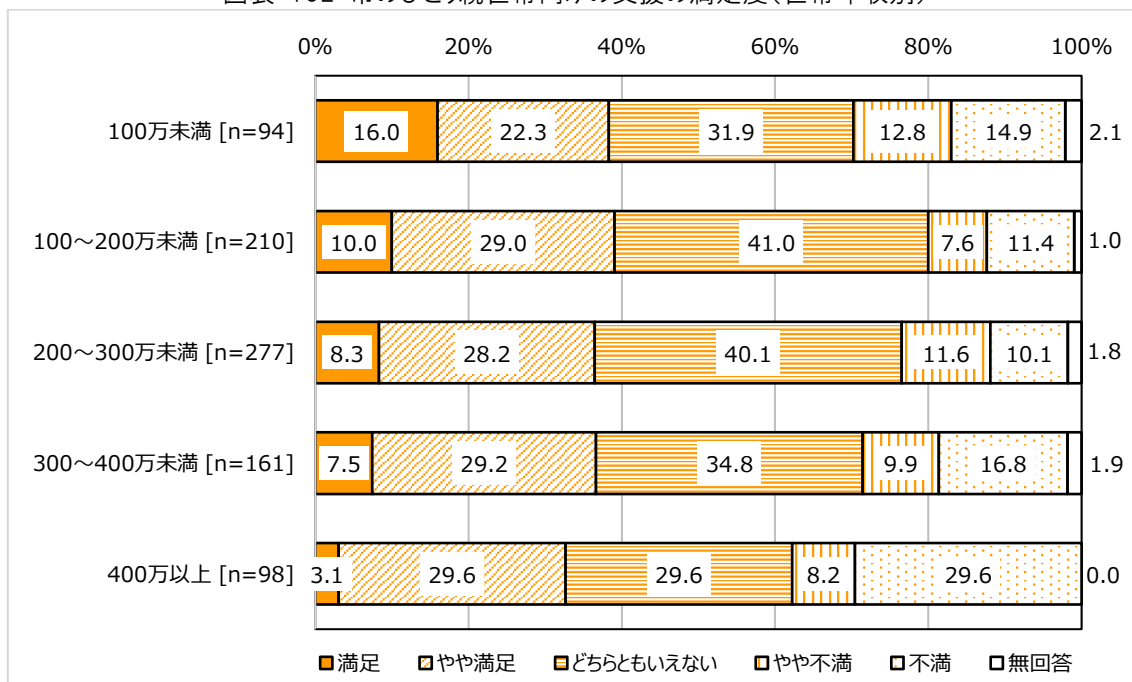
図表 151 市のひとり親世帯向けの支援の満足度（年齢別）



〔世帯年収別〕

世帯年収別にみると、400万円以上の世帯を除き、『満足』（「満足」「やや満足」の合計）が『不満』（「やや不満」「不満」の合計）よりも高くなっている。「100万未満」で「満足」が、「400万以上」で「不満」が他よりも高くなっている。

図表 152 市のひとり親世帯向けの支援の満足度（世帯年収別）



(イ)その理由

母子・父子世帯の別と支援の満足度の別を組み合わせた、以下の区分で整理している。

区分		回答者数・延べ記述件数			
母子世帯	「満足」または「やや満足」	104人	144件	331人	436件
	「どちらともいえない」	87人	106件		
	「やや不満」または「不満」	140人	186件		
父子世帯	「満足」または「やや満足」	13人	15件	44人	49件
	「どちらともいえない」	10人	10件		
	「やや不満」または「不満」	21人	24件		

【母子世帯】（331人・436件）

i)「満足」または「やや満足」と回答した人の、満足度の理由（182人・271件）

■経済的支援

①医療費助成がありがたい	20件
②児童手当・児童扶養手当がありがたい	12件
③児童扶養手当等の支援金額が不十分	8件
④就学支援がありがたい	6件
⑤高校生以上のこどもを対象とした経済的支援が必要	6件
⑥給付条件における収入基準に疑問	6件
⑦収入増による支援金の減額に不満	4件
⑧支援のタイミングにずれがある	3件
⑨保育無償化がありがたい	2件
⑩給付条件における同居家族の扱いに疑問	2件
⑪その他	9件

■子育て・生活支援

①住宅支援の必要性	6件
②情報の周知が不足	4件
③保育所・児童クラブなどの子育て支援の改善を望む	2件
④その他	3件

■その他（51件）

・何らかの形で満足、助かっており感謝している。（15件）

ii)「どちらともいえない」と回答した人の、満足度の理由（87人・106件）

■経済的支援

①高校生以上のこどもを対象とした経済的支援が必要	9件
②給付条件における収入基準に疑問	8件
③収入増による支援金の減額に不満	7件

④児童扶養手当等の支援金額が不十分	5件
⑤給付条件における同居家族の扱いに疑問	4件
⑥医療費助成がありがたい	4件
⑦児童手当・児童扶養手当がありがたい	3件
⑧その他の経済的支援が必要	3件
⑨その他	9件

■子育て・生活支援

①行政の対応に不満	7件
②情報の周知が不足	5件
③住宅支援の必要性	2件
④手続きの改善を望む	2件
⑤保育所・児童クラブなどの子育て支援の改善を望む	2件
⑥その他	3件

■その他（33件）

- ・どのような支援があるか把握していない。（3件）

iii) 「やや不満」または「不満」と回答した人の、満足度の理由（140人・186件）

■経済的支援

①給付条件における収入基準に疑問	36件
②児童扶養手当等の支援金額が不十分	19件
③高校生以上のこどもを対象とした経済的支援が必要	14件
④その他の経済的支援が必要	13件
⑤収入増による支援金の減額に不満	12件
⑥児童手当二人目以降の金額に不満	7件
⑦給付条件における同居家族の扱いに疑問	5件
⑧不正受給への不公平感	4件
⑨前年度の収入に応じるため、支援のタイミングのずれがある	3件
⑩医療費助成がありがたい	3件
⑪その他	12件

■子育て・生活支援

①行政の対応に不満	4件
②保育所・児童クラブなどの子育て支援の改善を望む	4件
③住宅支援の必要性	3件
④手続きの改善を望む	2件
⑤その他	5件

■その他（40件）

- ・支出が増えているため、経済的に厳しい。（3件）

【父子世帯】（44 人・49 件）

i) 「満足」または「やや満足」と回答した人の、満足度の理由（13人・15件）

①何らかの形で満足、助かっており感謝している	6 件
②児童扶養手当等の支援金額が不十分	2 件
③住宅支援の必要性	2 件
④その他	3 件

ii) 「どちらともいえない」と回答した人の、満足度の理由（10人・10件）

①母子世帯に比べて支援が少ない	2 件
②児童扶養手当受給世帯でないため、恩恵を感じない	2 件
③その他	6 件

iii) 「やや不満」または「不満」と回答した人の、満足度の理由（21人・24件）

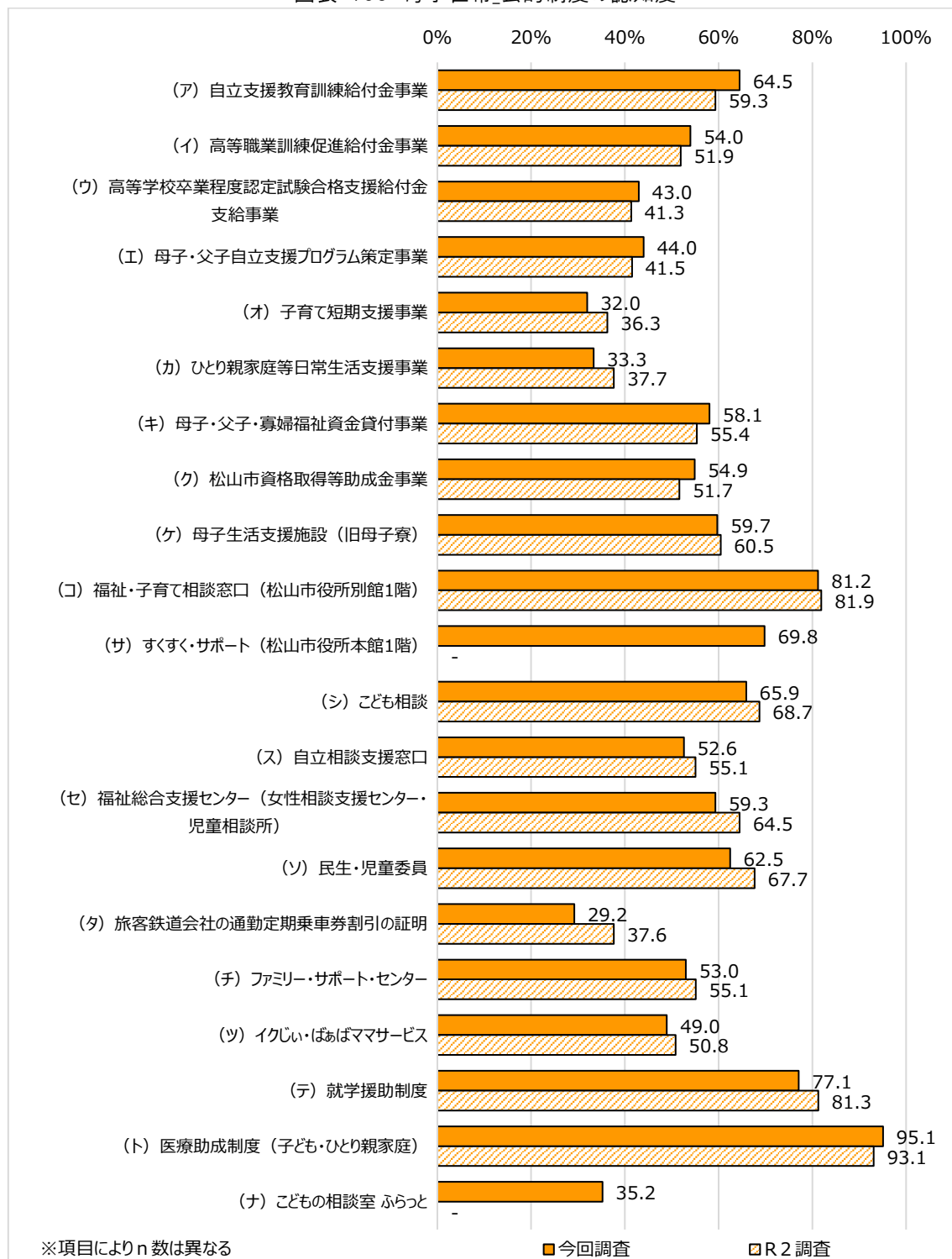
①給付条件における収入基準に疑問	9 件
②児童扶養手当等の支援金額が不十分	2 件
③母子世帯に比べて支援が少ない	2 件
④利用できる支援を増やしてほしい	2 件
⑤その他	9 件

公的制度の認知度

【母子世帯】

公的制度の認知度（「知っている」と回答した人）は、「医療助成制度（子ども・ひとり親家庭）」が最も高く95.1%、次いで「福祉・子育て相談窓口（松山市役所別館1階）」が81.2%、「就学援助制度」が77.1%などとなっている。

図表 153 母子世帯_公的制度の認知度



※R2調査は「松山市資格取得等助成金事業」→「松山市資格取得等支援事業」、「こども相談」→「子ども総合相談」

「福祉総合支援センター（女性相談支援センター・児童相談所）」→「福祉総合支援センター（婦人相談所・児童相談所）」

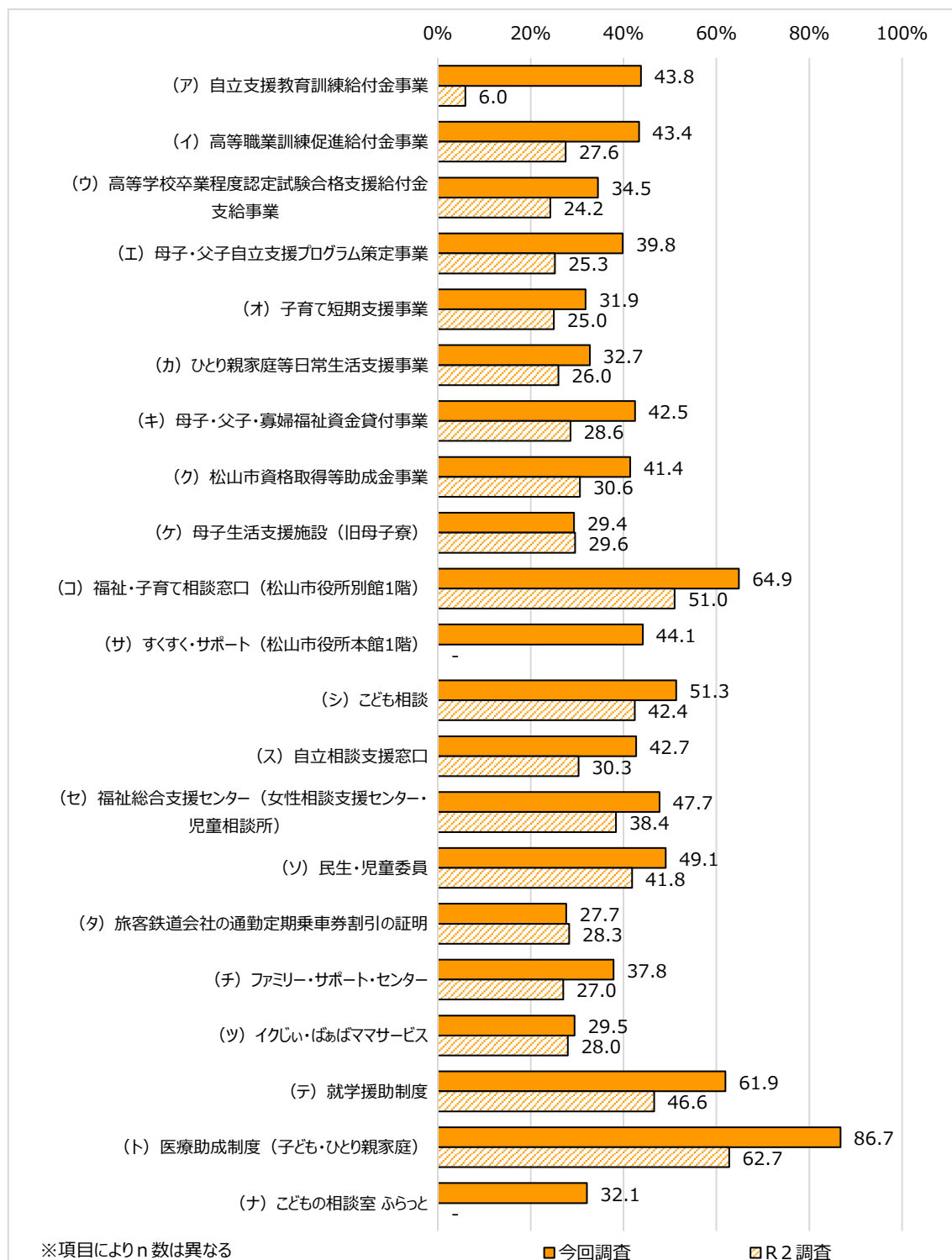
「旅客鉄道会社の通勤定期乗車券割引の証明」→「旅客鉄道会社（JR）の通勤定期乗車券割引の証明」

※「（サ）すくすく・サポート（松山市役所本館1階）」「（ナ）こどもの相談室 ふらっと」は今回調査のみ

【父子世帯】

公的制度の認知度（「知っている」と回答した人）は、「医療助成制度（子ども・ひとり親家庭）」が最も高く86.7%、次いで「福祉・子育て相談窓口（松山市役所別館1階）」が64.9%、「就学援助制度」が61.9%などとなっている。

図表 154 父子世帯_公的制度の認知度



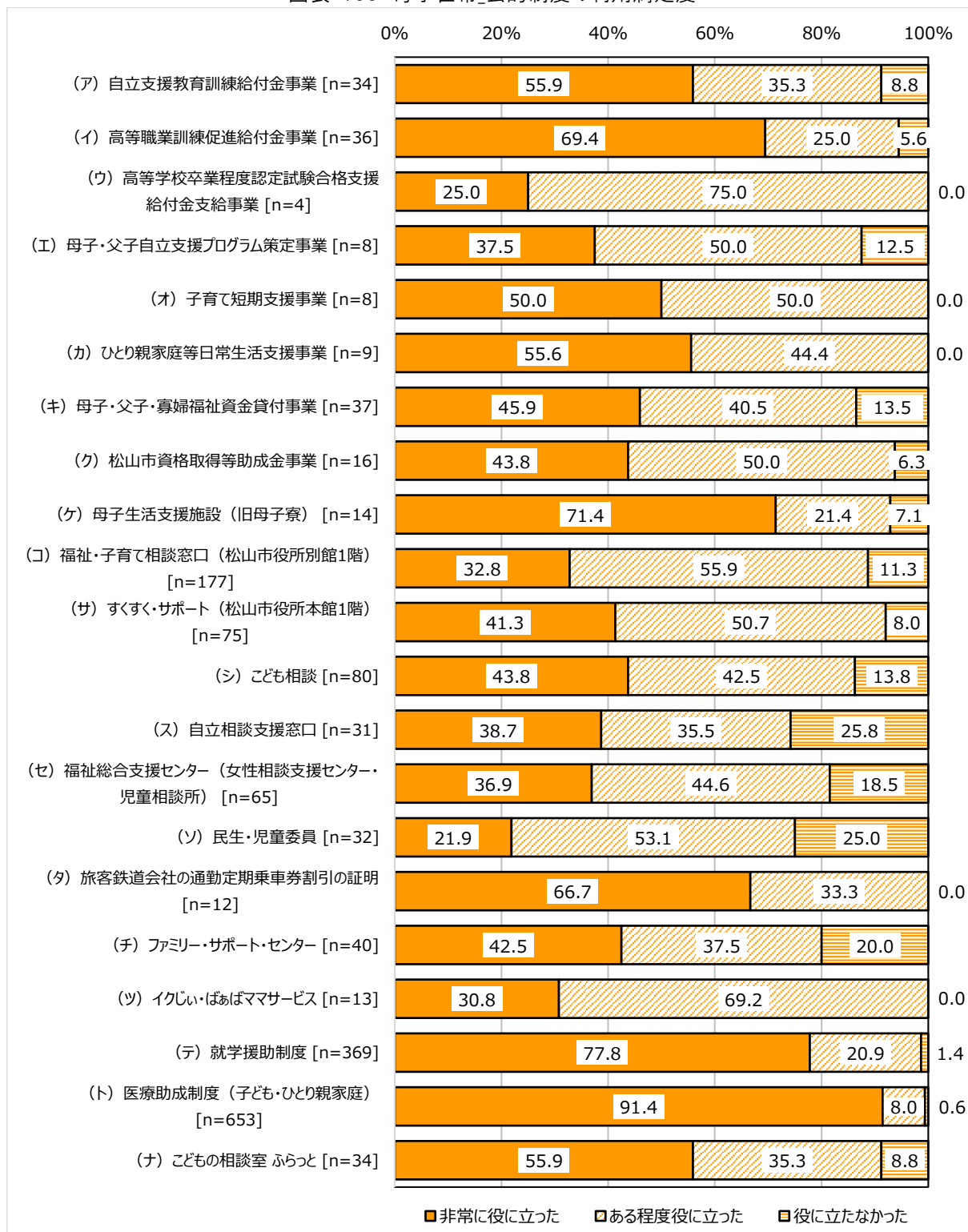
※R2調査は「松山市資格取得等助成金事業」→「松山市資格取得等支援事業」、「こども相談」→「子ども総合相談」
「福祉総合支援センター（女性相談支援センター・児童相談所）」→「福祉総合支援センター（婦人相談所・児童相談所）」
「旅客鉄道会社の通勤定期乗車券割引の証明」→「旅客鉄道会社（JR）の通勤定期乗車券割引の証明」
※「（サ）すくすく・サポート（松山市役所本館1階）」「（ナ）こどもの相談室 ふらっと」は今回調査のみ

②公的制度の利用満足度

【母子世帯】

公的制度を利用したことがある人の利用満足度は、「非常に役に立った」では、「医療助成制度（子ども・ひとり親家庭）」が最も高く91.4%、次いで「就学援助制度」が77.8%、「母子生活支援施設（旧母子寮）」が71.4%などとなっている。

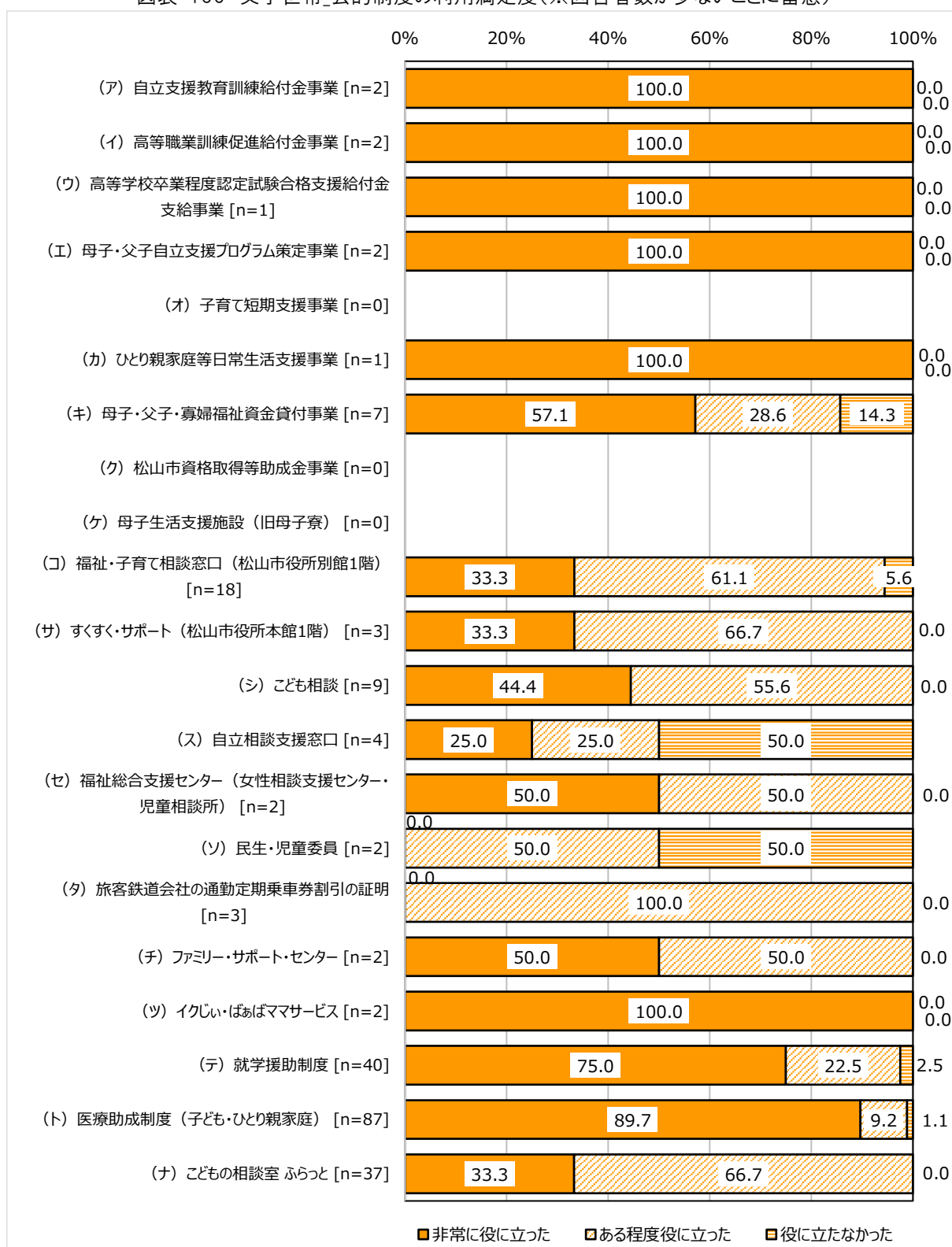
図表 155 母子世帯_公的制度の利用満足度



【父子世帯】

父子世帯で公的制度を利用したことのある人の利用満足度は、「非常に役に立った」では、「自立支援教育訓練給付金事業」「高等職業訓練促進給付金事業」「高等学校卒業程度認定試験合格支援給付金支給事業」「母子・父子自立支援プログラム策定事業」「ひとり親家庭等日常生活支援事業」「イクじい・ばあばママサービス」が最も高く100.0%となっている。

図表 156 父子世帯_公的制度の利用満足度(※回答者数が少ないことに留意)



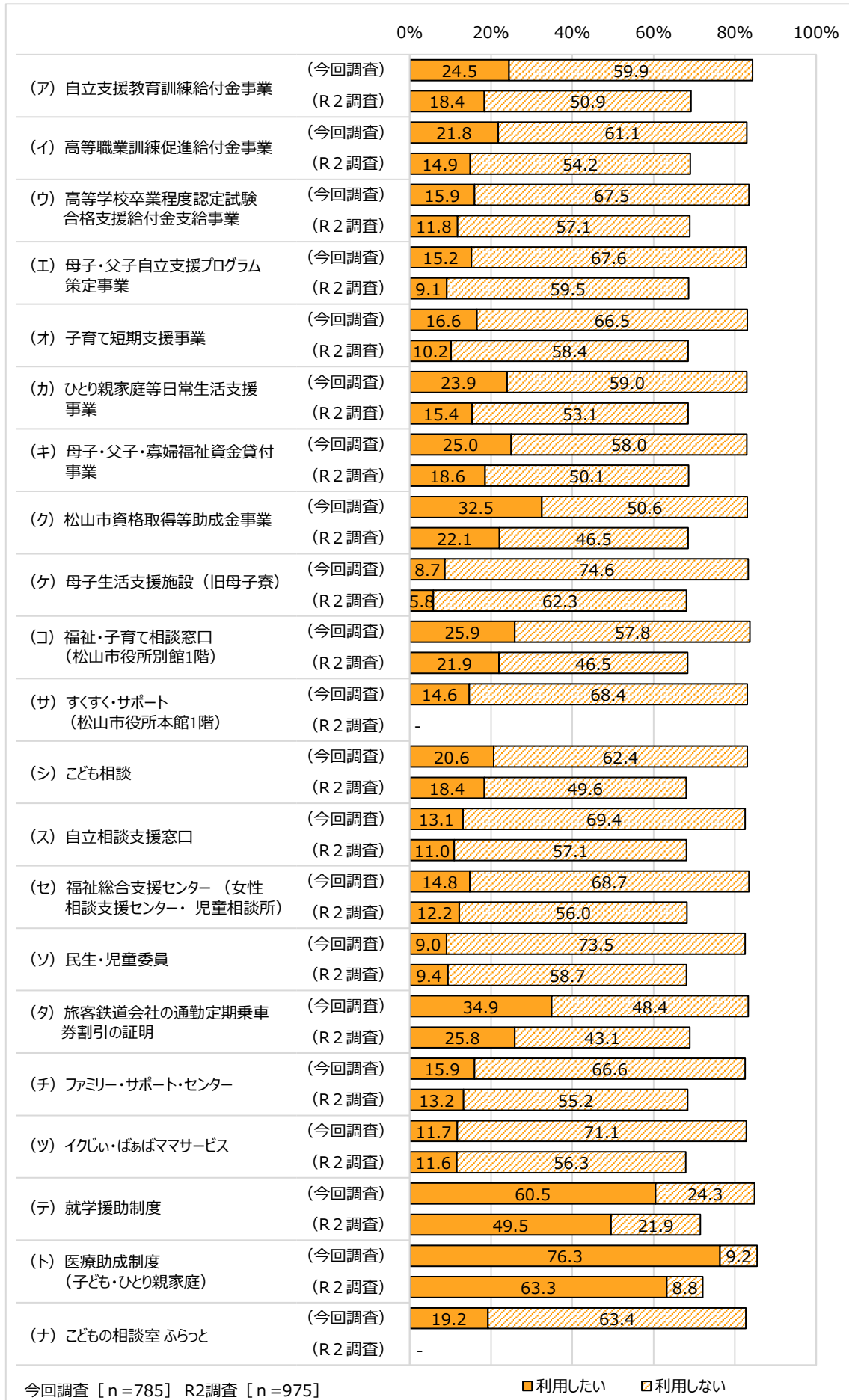
③公的制度の今後の利用意向

【母子世帯】

公的制度の今後の利用意向で「利用したい」と回答した人は、「医療助成制度（子ども・ひとり親家庭）」が最も高く76.3%、次いで「就学援助制度」が60.5%、「旅客鉄道会社の通勤定期乗車券割引の証明」が34.9%などとなっている。

※R2調査は「松山市資格取得等助成金事業」→「松山市資格取得等支援事業」、「こども相談」→「子ども総合相談」
「福祉総合支援センター（女性相談支援センター・児童相談所）」→「福祉総合支援センター（婦人相談所・児童相談所）」
「旅客鉄道会社の通勤定期乗車券割引の証明」→「旅客鉄道会社（ＪＲ）の通勤定期乗車券割引の証明」
※「（サ）すくすく・サポート（松山市役所本館1階）」「（ナ）こどもの相談室 ふらっと」は今回調査のみ

図表 157 母子世帯_公的制度の今後の利用意向

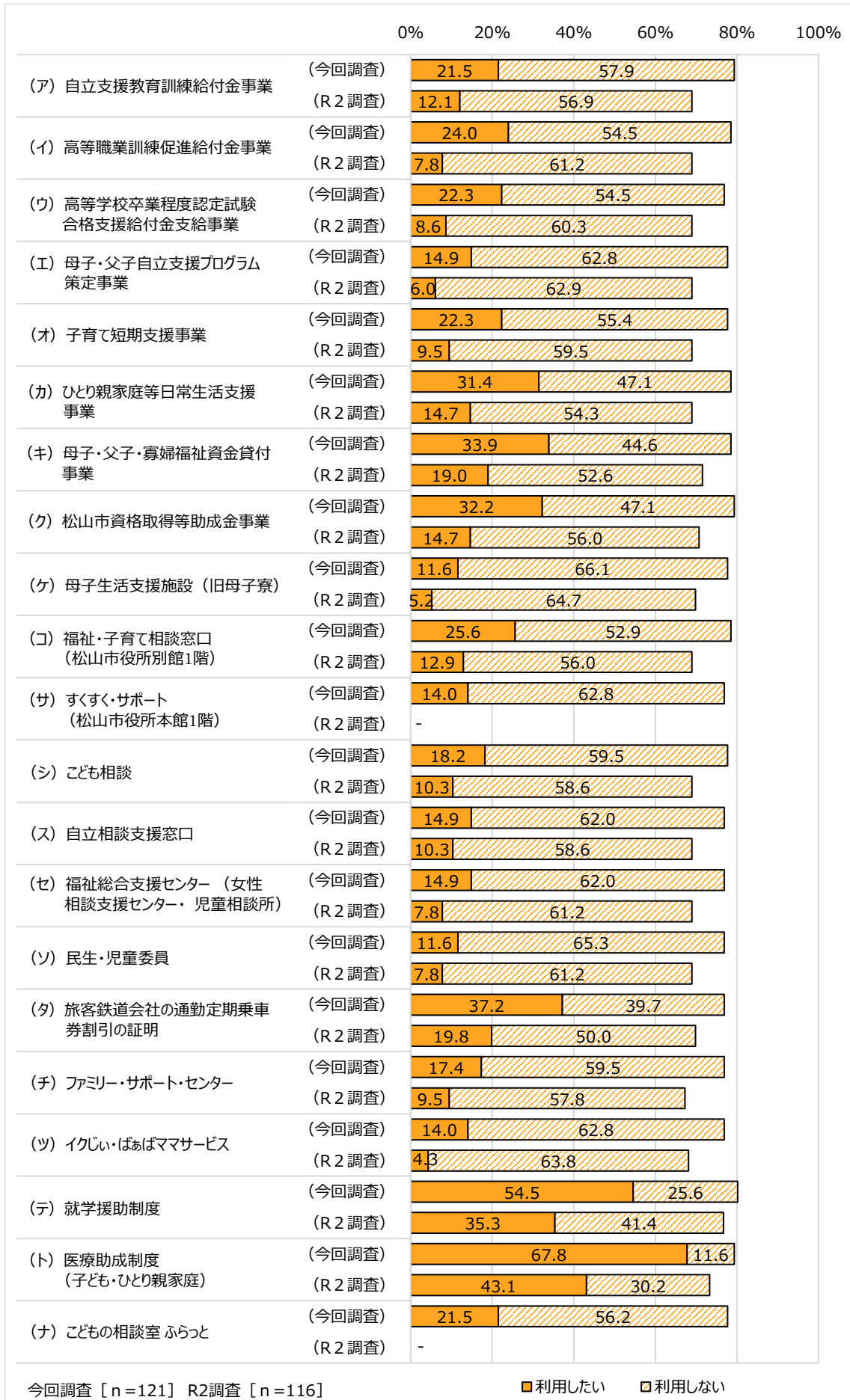


【父子世帯】

公的制度の今後の利用意向で「利用したい」と回答した人は、「医療助成制度（子ども・ひとり親家庭）」が最も高く67.8%、次いで「就学援助制度」が54.5%、「旅客鉄道会社の通勤定期乗車券割引の証明」が37.2%などとなっている。

※R2調査は「松山市資格取得等助成金事業」→「松山市資格取得等支援事業」、「こども相談」→「子ども総合相談」
「福祉総合支援センター（女性相談支援センター・児童相談所）」→「福祉総合支援センター（婦人相談所・児童相談所）」
「旅客鉄道会社の通勤定期乗車券割引の証明」→「旅客鉄道会社（ＪＲ）の通勤定期乗車券割引の証明」
※「（サ）すくすく・サポート（松山市役所本館1階）」「（ナ）こどもの相談室 ふらっと」は今回調査のみ

図表 158 父子世帯_公的制度の今後の利用意向

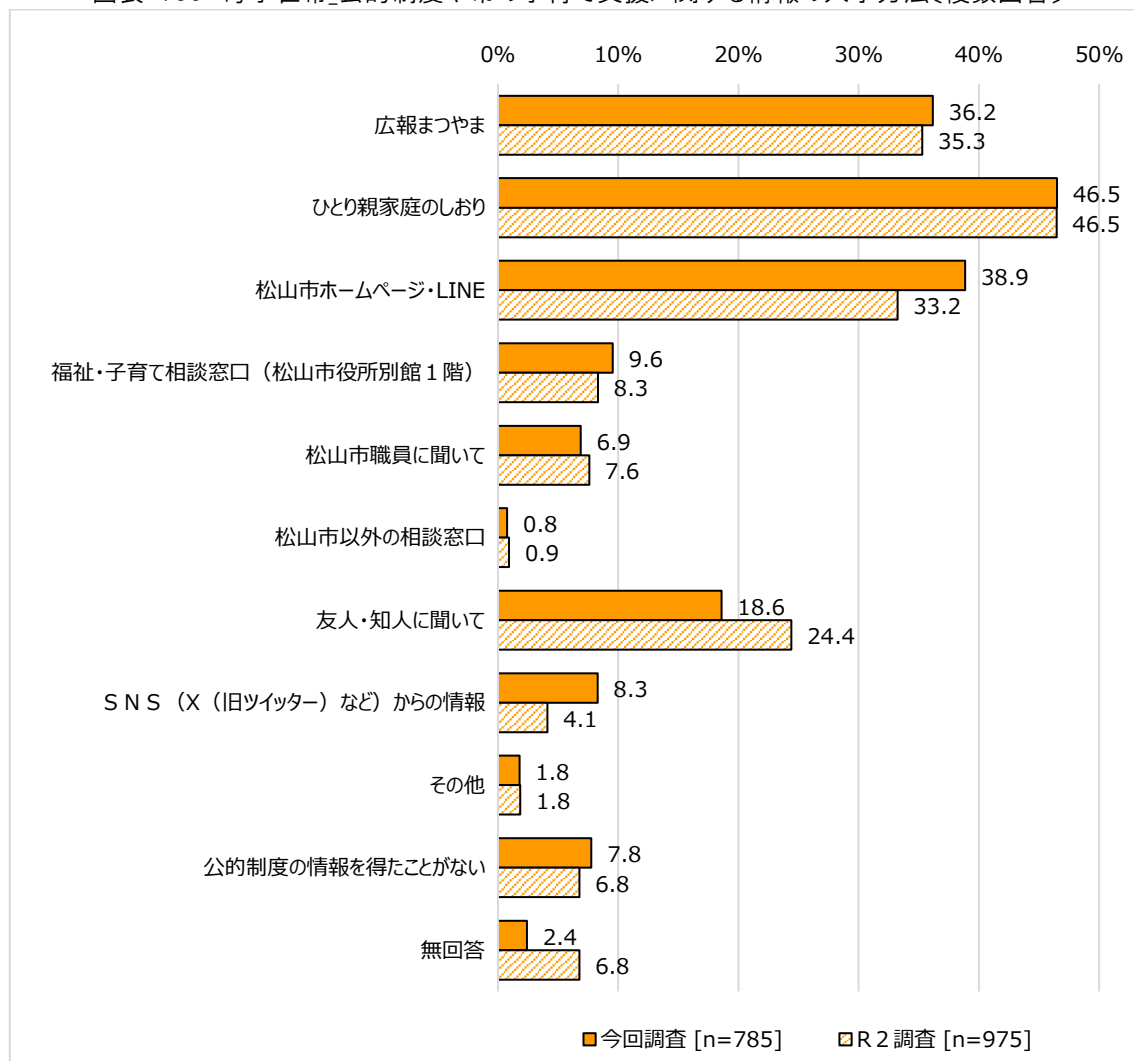


④公的制度や市の子育て支援に関する情報の入手方法

【母子世帯】

公的制度や市の子育て支援に関する情報の入手方法は「ひとり親家庭のしおり」が最も高く46.5%、次いで「松山市ホームページ・LINE」が38.9%、「広報まつやま」が36.2%などとなっている。

図表 159 母子世帯_公的制度や市の子育て支援に関する情報の入手方法〔複数回答〕

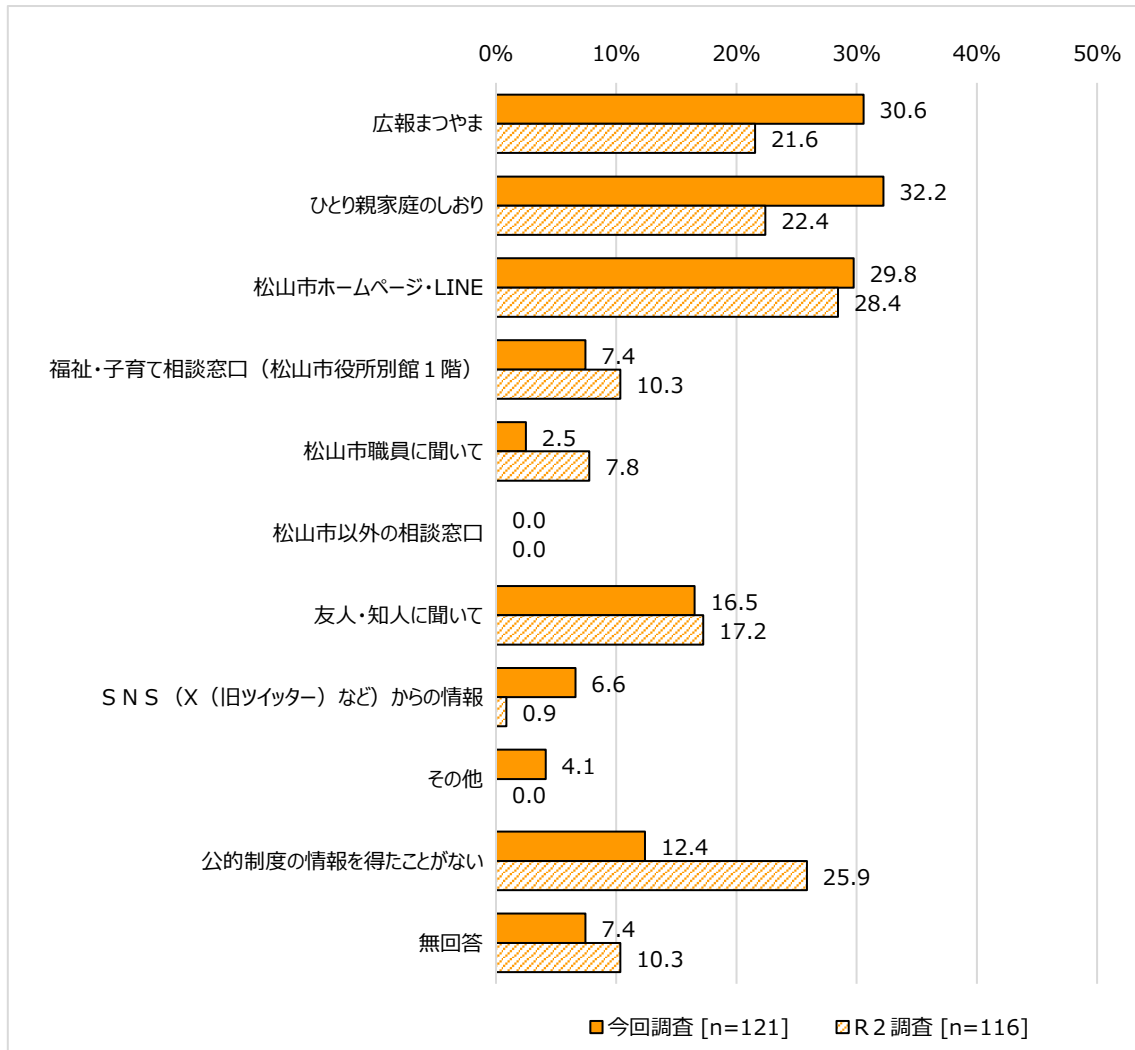


※R2調査は「松山市ホームページ・LINE」→「松山市ホームページ」

【父子世帯】

公的制度や市の子育て支援に関する情報の入手方法は、「ひとり親家庭のしおり」が最も高く32.2%、次いで「広報まつやま」が30.6%、「松山市ホームページ・LINE」が29.8%などとなっている。

図表 160 父子世帯_公的制度や市の子育て支援に関する情報の入手方法〔複数回答〕



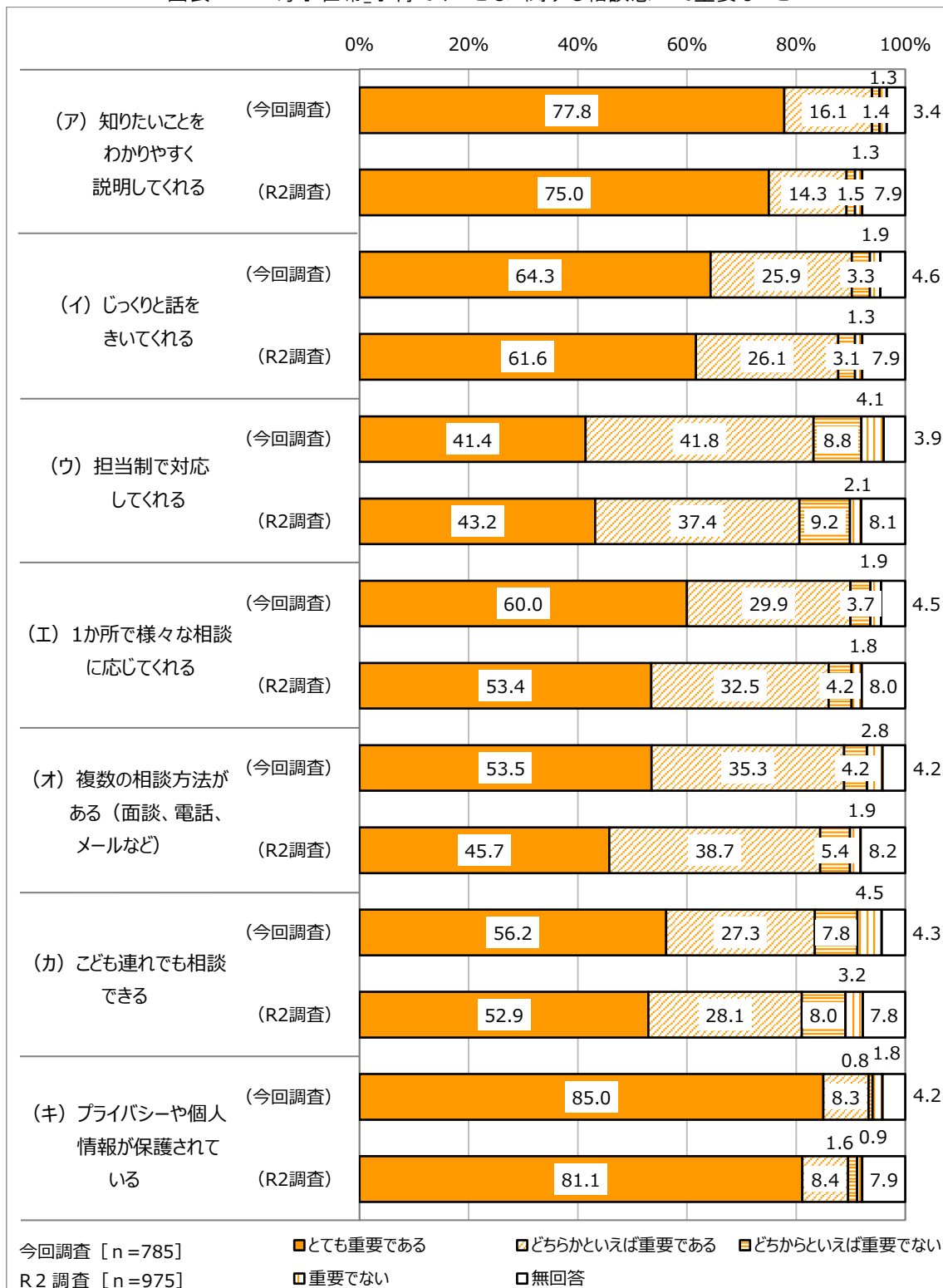
※R2調査は「松山市ホームページ・LINE」→「松山市ホームページ」

⑤子育てや子どもに関する相談窓口で重要なこと

【母子世帯】

子育てや子どもに関する相談窓口で重要なことは、『重要である』（「とても重要である」「どちらかといえば重要である」の合計）では、「知りたいことをわかりやすく説明してくれる」が最も高く93.9%、次いで「プライバシーや個人情報が保護されている」が93.3%、「じっくりと話をきいてくれる」が90.2%などとなっている。

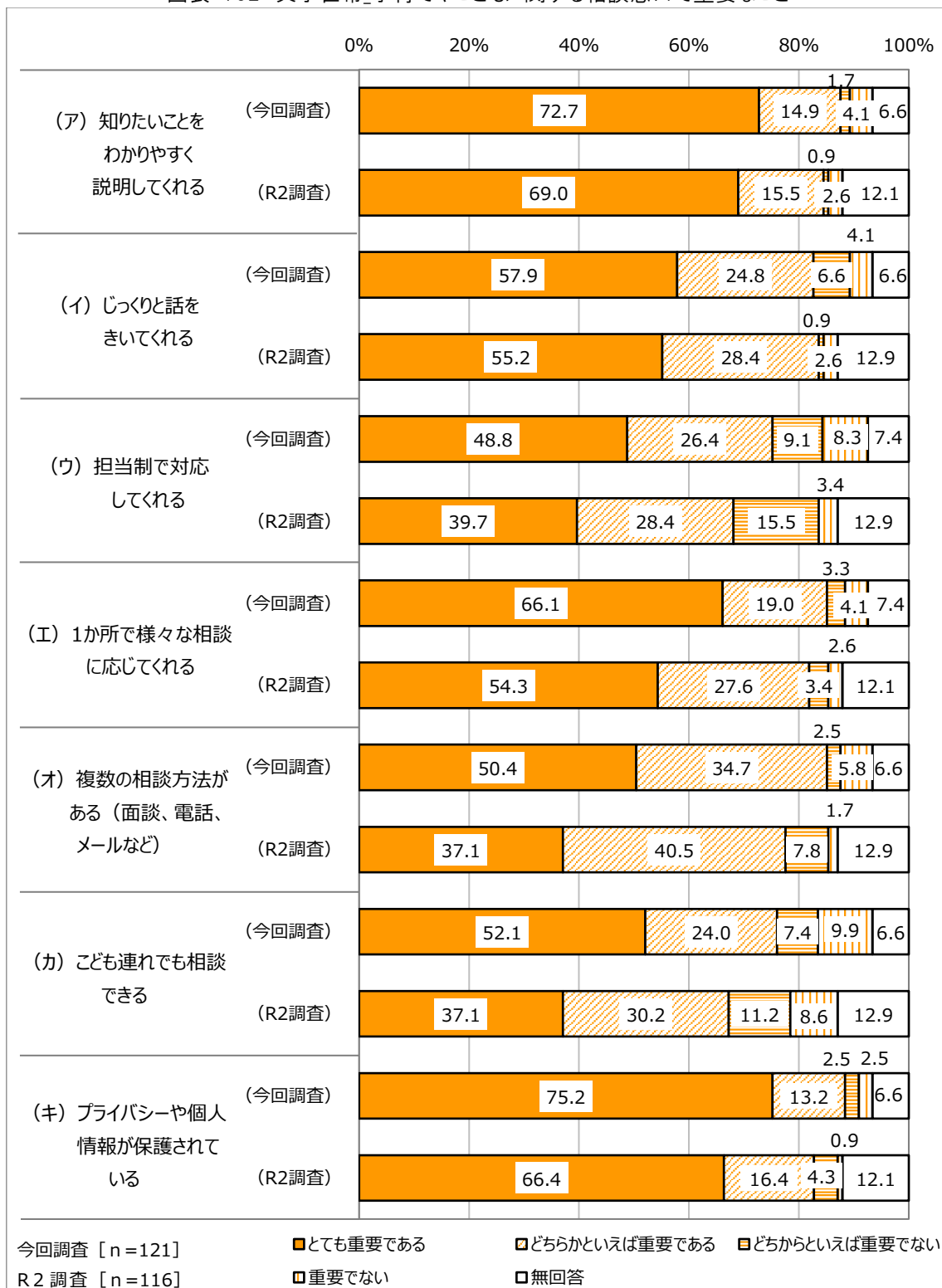
図表 161 母子世帯_子育てや子どもに関する相談窓口で重要なこと



【父子世帯】

子育てやこどもに関する相談窓口で重要なことは、『重要である』（「とても重要である」「どちらかといえば重要である」の合計）では、「プライバシーや個人情報が保護されている」が最も高く88.4%、次いで「知りたいことをわかりやすく説明してくれる」が87.6%、「1か所で様々な相談に応じてくれる」「複数の相談方法がある（面談、電話、メールなど）」がそれぞれ85.1%などとなっている。

図表 162 父子世帯_子育てやこどもに関する相談窓口で重要なこと



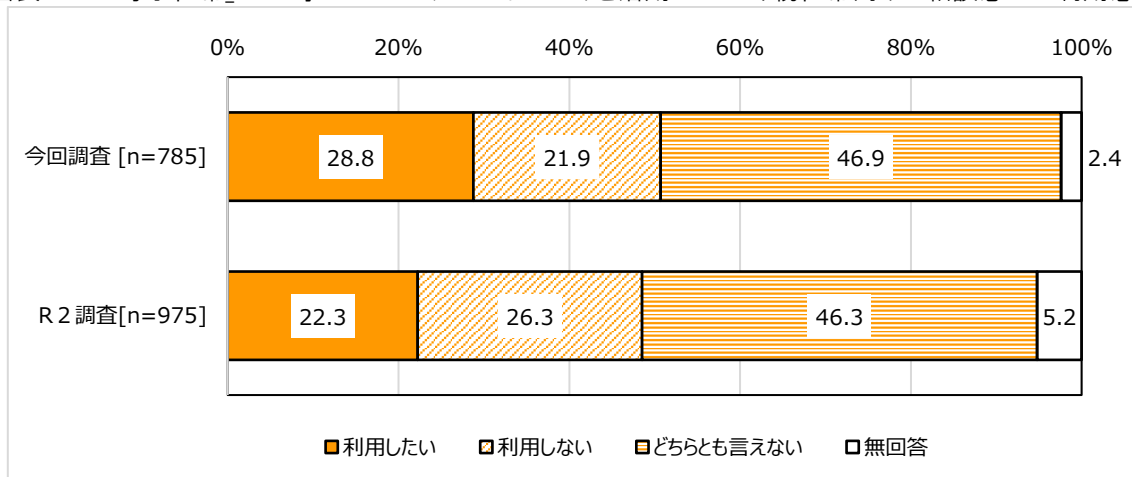
⑥LINE等のコミュニケーションアプリを活用したひとり親世帯向けの相談窓口について

【母子世帯】

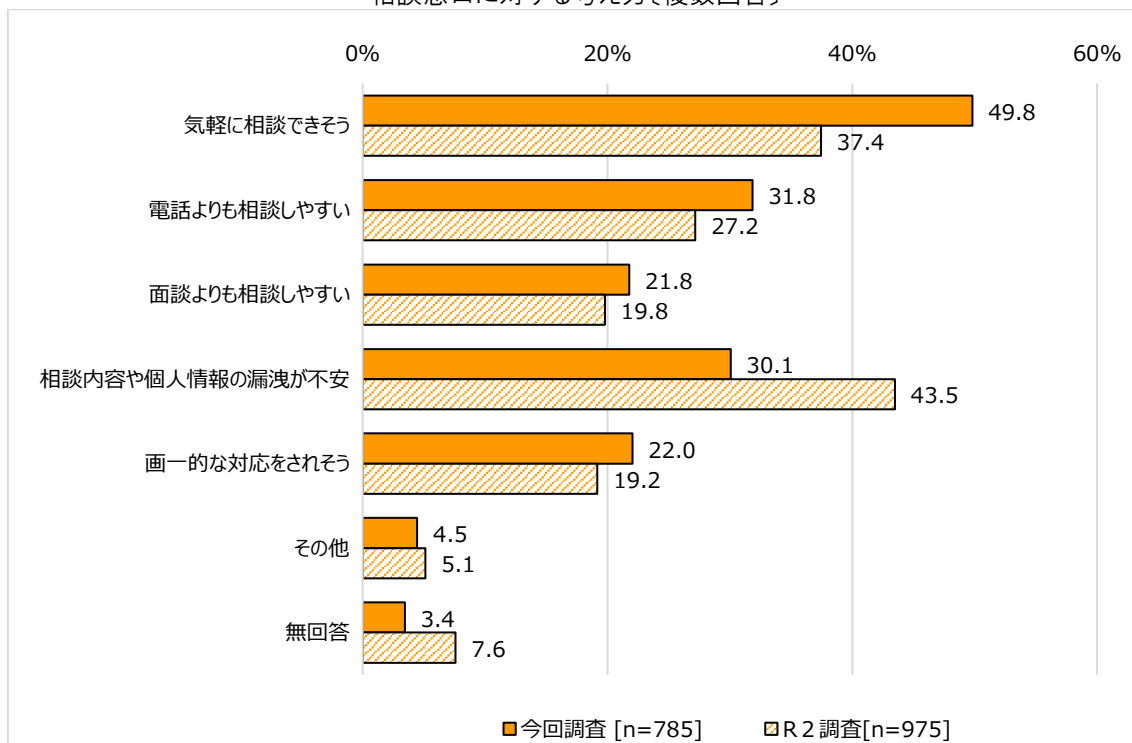
LINE等のコミュニケーションアプリを活用したひとり親世帯向けの相談窓口の利用意向は、「どちらとも言えない」が最も高く46.9%、次いで「利用したい」が28.8%、「利用しない」が21.9%となっている。

こうした窓口についての考え方は、「気軽に相談できそう」が最も高く49.8%、次いで「電話よりも相談しやすい」が31.8%「相談内容や個人情報の漏洩が不安」が30.1%などとなっている。

図表 163 母子世帯 LINE等のコミュニケーションアプリを活用したひとり親世帯向けの相談窓口の利用意向



図表 164 母子世帯 LINE等のコミュニケーションアプリを活用したひとり親世帯向けの相談窓口に対する考え方〔複数回答〕

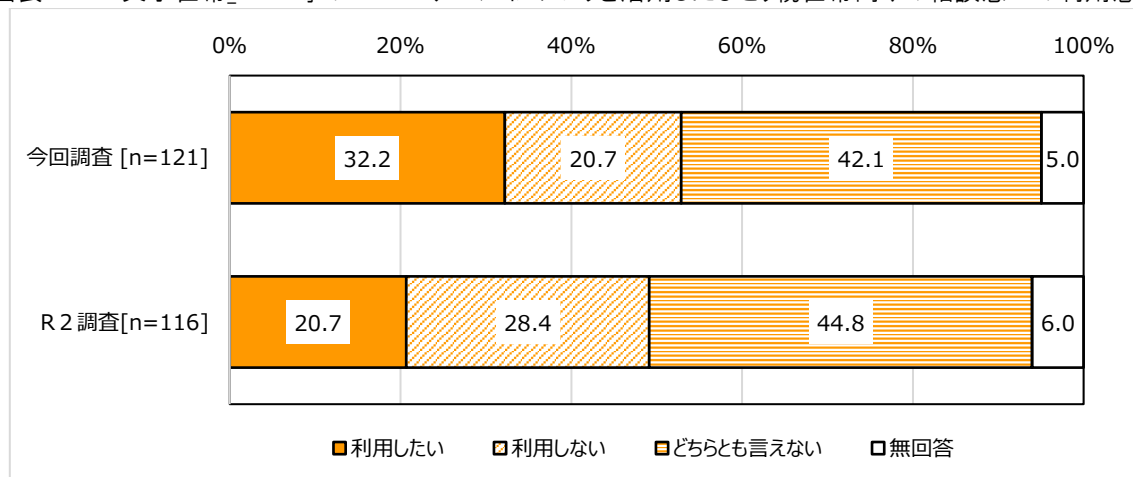


【父子世帯】

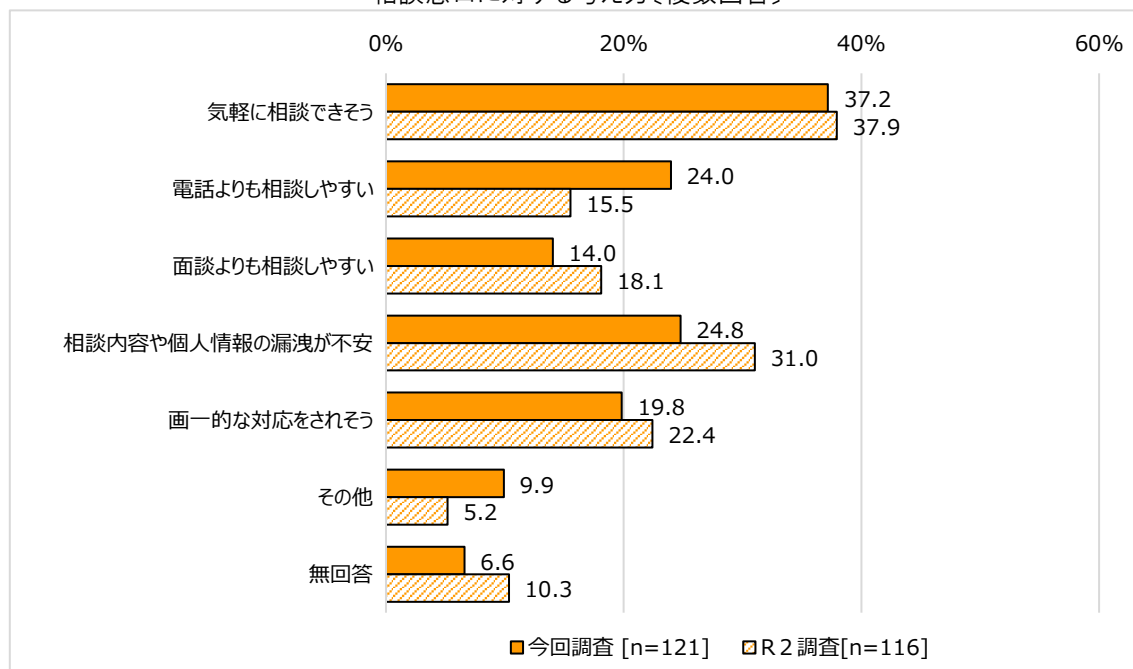
LINE等のコミュニケーションアプリを活用したひとり親世帯向けの相談窓口の利用意向は、「どちらとも言えない」が最も高く42.1%、次いで「利用したい」が32.2%、「利用しない」が20.7%となっている。

こうした窓口についての考え方は、「気軽に相談できそう」が最も高く37.2%、次いで「相談内容や個人情報の漏洩が不安」が24.8%「電話よりも相談しやすい」が24.0%となどとなっている。

図表 165 父子世帯_LINE等のコミュニケーションアプリを活用したひとり親世帯向けの相談窓口の利用意向



図表 166 父子世帯_LINE等のコミュニケーションアプリを活用したひとり親世帯向けの相談窓口に対する考え方〔複数回答〕



(11) 自由記述について

母子・父子世帯の別と親の年齢の別を組み合わせた、以下の区分で整理している。

区分		回答者数・延べ記述件数			
母子世帯	20～29歳	60人	85件	245人	348件
	30～39歳	113人	159件		
	40～49歳	64人	95件		
	50～59歳	3人	3件		
	その他	5人	6件		
父子世帯				41人	48件

【母子世帯】（245 人・348 件）

i) 20～29歳（60人・85件）

①児童手当受給制度等の充実、見直し	17件
②教育関連の支援の拡充、見直し	11件
③経済的不安の解消	10件
④保育所・児童クラブなどの子育て支援の改善	8件
⑤各々の現状にあった利用しやすいサービス	7件
⑥仕事についての悩みの解消	5件
⑦住居関連の支援	5件
⑧行政の対応改善	5件
⑨医療費助成制度の拡充・見直し	4件
⑩養育費問題の解消	3件
⑪支援情報の発信強化	3件
⑫精神的不安の解消	2件
⑬ひとり親世帯への理解	2件
⑭その他	3件

ii) 30～39歳（113人・159件）

①児童手当受給制度等の充実、見直し	35件
②保育所・児童クラブなどの子育て支援の改善	14件
③経済的不安の解消	13件
④教育関連の支援の拡充、見直し	13件
⑤行政の対応改善	13件
⑥各々の現状にあった利用しやすいサービス	10件
⑦仕事についての悩みの解消	9件
⑧支援情報の発信強化	9件
⑨養育費問題の解消	6件
⑩精神的不安の解消	6件

⑪医療費助成制度の拡充・見直し	4件
⑫住居関連の支援	3件
⑬その他サービスの充実	3件
⑭ひとり親世帯への理解	2件
⑮障がい児への支援	2件
⑯その他	17件

iii) 40～49歳（64人・95件）

①教育関連の支援の拡充、見直し	14件
②児童手当受給制度等の充実、見直し	11件
③行政の対応改善	11件
④経済的不安の解消	10件
⑤精神的不安の解消	9件
⑥仕事についての悩みの解消	6件
⑦支援情報の発信強化	6件
⑧ひとり親世帯への理解	4件
⑨保育所・児童クラブなどの子育て支援の改善	4件
⑩住居関連の支援	4件
⑪各々の現状にあった利用しやすいサービス	3件
⑫養育費問題の解消	2件
⑬医療費助成制度の拡充・見直し	2件
⑭その他サービスの充実	1件
⑮その他	8件

iv) 50～59歳（3人・3件）

①各々の現状にあった利用しやすいサービス	1件
②支援情報の発信強化	1件
③その他	1件

v) その他（5人・6件）

①保育所・児童クラブなどの子育て支援の改善	2件
②養育費問題の解消	1件
③教育関連の支援の拡充、見直し	1件
④児童手当受給制度等の充実、見直し	1件
⑤その他	1件

【父子世帯】（41人・48件）

①児童手当受給制度等の充実、見直し	13件
②支援情報の発信強化	9件
③行政の対応改善	4件

④経済的不安の解消	3件
⑤ひとり親世帯への理解	3件
⑥各々の現状にあった利用しやすいサービス	3件
⑦仕事についての悩みの解消	2件
⑧その他サービスの充実	2件
⑨精神的不安の解消	1件
⑩教育関連の支援の拡充、見直し	1件
⑪保育所・児童クラブなどの子育て支援の改善	1件
⑫住居関連の支援	1件
⑬その他	5件